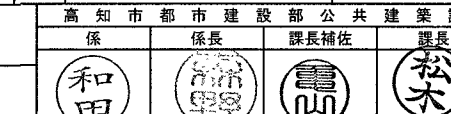


東石立町市営住宅集会所新築工事 特記仕様書		2025.10	項目	特記事項	項目	特記事項																																		
I 工事概要 1. 工事場所 高知市東石立町字岩戸89-2ほか 2. 工事種目 【集会所】 木造平家建て 延べ面積117.45㎡ 3. 関連工事等 ○電気設備工事 ○機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事 4. 概成工期 完成期限の()日(令和 年 月 日) (1.2.1)			13 発生材の処理 産業廃棄物の運搬、処分等については、(1.3.11)により適切に処分するものとし、事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場へ処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、産業廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB 2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・引渡しを要するもの () ・現場再利用を図るもの () ○再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート) ・特別管理産業廃棄物の処理方法 ()	20 直接仮設の養生 21 建築材料等 22 特別な材料の工法 23 風圧力 24 仕上面の出隅処理 25 事業損失補償 26 完成時の提出図書 27 完成写真 28 別途設備工事との取合い 29 不当要求等への対応	内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。 注1： 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2： 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1： 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2： 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 公共建築工事種仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものと、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo)： ※ 39m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分： ※ III ・ 内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。 ※現場説明書による。 ○完成図(作成範囲) ○配置図 ○平面図 ○立面図 ○断面図 ○仕上表 (1.7.1) (1.7.2) ○完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等) ・しない) (1.7.3) ○保全に関する資料(提出部数 ※2部 (部)) 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。また、工種別・下請業者の一覧表を提出する。 ○施工図、施工計画書 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。(1.7.2) 下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>分類・規格</th> <th>撮影枚数</th> <th>部数</th> <th>原版の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○各室</td> <td>手札版(L版)</td> <td>※2枚・枚</td> <td>※1部・部</td> <td>・100×125以上</td> </tr> <tr> <td>○外部</td> <td>キャビネット</td> <td>※4枚・枚</td> <td>※1部・部</td> <td>・24×36以上</td> </tr> <tr> <td>・外部</td> <td>半切パネル(木製枠※アルミ枠)</td> <td>※1枚・枚</td> <td>※1部・部</td> <td>※1部・部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>スライド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上記のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等に提出する。 画像形式等 フォーマット：JPEG 画質：標準 画像サイズ：1024×768ピクセル程度 施工範囲 ○貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ○壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ○駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強種別</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">貫通孔、開口部の補強</td> <td>梁 150φ×1箇所(排水用、地中梁部分)</td> </tr> <tr> <td>壁</td> </tr> <tr> <td>スラブ</td> </tr> <tr> <td>壁切込み及び補強</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井切込み及び補強</td> <td>天井隅(300角) 1箇所</td> </tr> </tbody> </table> 暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次に従う。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)	○各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上	○外部	キャビネット	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上	・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部	※1部・部	・	スライド				補強種別	内容	貫通孔、開口部の補強	梁 150φ×1箇所(排水用、地中梁部分)	壁	スラブ	壁切込み及び補強		天井切込み及び補強	天井隅(300角) 1箇所
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)																																				
○各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上																																				
○外部	キャビネット	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上																																				
・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部	※1部・部																																				
・	スライド																																							
補強種別	内容																																							
貫通孔、開口部の補強	梁 150φ×1箇所(排水用、地中梁部分)																																							
	壁																																							
	スラブ																																							
壁切込み及び補強																																								
天井切込み及び補強	天井隅(300角) 1箇所																																							
II 建築工事仕様 1. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築木造工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 2. 適用基準等 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ※公共建築木造工事標準仕様書 (令和4年版) ※公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 3. 「週休2日制工事」の実施について ※対象 ○選択Ⅰ型 ・選択Ⅱ型) 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休日とする「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領(管轄工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html) ・対象外(理由：) 4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について ※対象 ○見込んでいない(理由：※過去のWBGT値に基づき算定した日数が0日のため) ・ ○見込んでいる(作業不能日数：※現場説明書による) ・ ・対象外(理由：)			14 工場の保険 15 契約保証 16 前払金支出割合区分補正 17 証明書の提出(グリーン購入法) 18 技能士及び技能資格者	再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上) 再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(コプリス・プラス)により作成し、提出は以下のとおり。 a) コプリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ(https://kplus.jaic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。 工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。 ※ 金銭的保証方式 ・有 ○無 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。(1.4.2) ※ 適用する (○：一級、●：二級) (1.5.2) (1.5.3)																																				
一般共通事項 1 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時) 2 総合工程表 3 総合図 4 工事日誌 5 工事写真 6 下請負者の報告 7 電気保安技術者 8 施工条件 9 交通誘導警備員	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。(1.1.4) 原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。(1.2.3) 週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。(1.2.4) また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。 工事写真はL版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙)撮影方法は、「管轄工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。なお、実施については、国技建管第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。 各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。 適用する。(1.3.3) 施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。(1.3.5) 工所用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 図示 (1.3.5) その他の施工条件 ・資機材の搬出入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ・ ・		19 化学物質の室内濃度の測定 適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。 化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を監督職員に提出する。(1.5.9) ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空气中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン 測定箇所 (1)箇所 測定時期 ※完成前 ・着手前 測定対象室 (集会所) なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となつて、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。																																					
10 工事安全計画書 11 統括安全衛生管理義務者の指名	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。(1.3.7)		30 消防計画 31 工事特性等 仮設工事 1 足場その他 2 監督職員事務所	消防計画 工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。 受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。 本足場を設ける場合は、(2.2.4(2))によるほか、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ・設ける ※設けない (2.3.1)																																				
東石立町市営住宅集会所新築工事		(株) THINK 建築設計事務所 高知市葛島1-9-24 T`s 2F TEL 088-885-4400	一級建築士事務所 登録(知事)第487号	代表 山本 義夫 一級建築士 第176481号	高知市都市建設部公共建築課 係 係長 課長補佐 課長 	木造特記仕様書(1) A - 01																																		

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																														
3 監督職員の備品等	備品等の設置 (2.3.1) <table border="1"> <tr> <th>備品の種類</th> <th>機・椅子</th> <th>書 棚</th> <th>黒 板</th> <th>PC</th> <th>掛 時 計</th> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>枚</td> <td>台</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>温度計</th> <th>ゴム長靴</th> <th>雨がっぱ</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>個</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>衣類ロッカー</th> <th>冷暖房機器</th> <th>消 火 器</th> <th>湯 沸 器</th> <th>加入電話付属器</th> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>人用</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>掃 除 具</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数 量</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	備品の種類	機・椅子	書 棚	黒 板	PC	掛 時 計	数 量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数 量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消 火 器	湯 沸 器	加入電話付属器	数 量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃 除 具					数 量	個					5 鋼杭地業 材料 (4.4.3)(表4.4.1) ・鋼管くい 種類の記号 (・SKK400 ・SKK490) ・H形鋼くい 種類の記号 (・SHK400 ・SHK490M) 寸法 ※ 図示 工法 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 支持層の位置及び土質: ※ 図示 杭の根入れ長さ: ※ 図示 杭の精度: 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 傾斜 ・ 1/100以内 杭の継手の工法 ※ 図示 (4.4.5) ・ 杭頭処理 杭頭の切断方法 ※ ガス切断 ・ 図示 (4.4.6)	6 圧接完了後の試験 7 機械式継手 8 溶接継手 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 ・ A級 鉄筋相互のあき ・ 評定等の内容による 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示 ・ 超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示 不合格となった場合の措置 ※ 図示 (5.5.5) 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3) ・ A級 鉄筋相互のあき (5.6.3) ・ 評定等の内容による 施工完了後の継手部の試験 (5.6.5) ・ 外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示 ・ 超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示 不合格となった場合の措置 ※ 図示 (5.6.5)
備品の種類	機・椅子	書 棚	黒 板	PC	掛 時 計																																														
数 量	組	台	枚	台	個																																														
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																														
数 量	個	足	着	個	個																																														
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消 火 器	湯 沸 器	加入電話付属器																																														
数 量	人用	台	個	台	台																																														
備品の種類	掃 除 具																																																		
数 量	個																																																		
4 工用水・電力	構内既存の施設(用水) ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設(電力) ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※ 利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工用水電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工用水電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設分電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電株式会社などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※ 図示	6 場所打ち コンクリート杭地業 掘削工法 ・ アースドリル工法 (安定液 ※ 使用する ・ 使用しない) (4.5.1)(4.5.5) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 (孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない) 併用する工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.1)(4.5.6) ・ 拉底杭工法 (安定液 ・ 使用する ・ 使用しない) 帯筋の加工及び組立て: ※ 図示 (4.5.4) 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 100mm ・ 図示 (4.5.4) 鉄筋かごの補強 ※ 図示 (4.5.4) 鉄筋の節ごとの継手 ※ 重ね継手 (4.5.4) セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 (4.5.4) コンクリートの設計基準強度(Fc) ※ 図示 (4.5.4) コンクリートの種別 ※ 表4.5.1による (4.5.4) スランプ ※ 18cm (4.5.4) 構造体強度補正值(S) ※ 3N/mm ² (4.5.4) 鋼管(鋼管部分の材料) ※ 図示 (4.5.4) 支持層の位置及び土質: ※ 図示 (4.5.4～4.5.5) 孔壁の確認 ・ 行う(超音波測定器による) ・ 行わない (4.5.4～4.5.5) 杭の精度: 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 傾斜 ・ 1/100以内	① コンクリートの種類・強度・スランプ ※ 普通コンクリート (6.2.1～6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>◎ 21</td> <td>・ 15 ◎ 18</td> <td>塀</td> </tr> <tr> <td>◎ 18</td> <td>・ 15 ◎ 18</td> <td>土間・樫</td> </tr> <tr> <td>◎ 24</td> <td>・ 15 ◎ 18</td> <td>基礎・地中梁・立上り</td> </tr> </table> ・ 軽量コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>◎ 21</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 18</td> <td>・ 15 ・ 18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> コンクリートの種別 ※ I類 ・ II類 (6.2.1)(表6.2.1)	設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	◎ 21	・ 15 ◎ 18	塀	◎ 18	・ 15 ◎ 18	土間・樫	◎ 24	・ 15 ◎ 18	基礎・地中梁・立上り	設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	◎ 21	・ 15 ・ 18		・ 18	・ 15 ・ 18		・																										
設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																																																	
◎ 21	・ 15 ◎ 18	塀																																																	
◎ 18	・ 15 ◎ 18	土間・樫																																																	
◎ 24	・ 15 ◎ 18	基礎・地中梁・立上り																																																	
設計基準強度 Fc(N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																																																	
◎ 21	・ 15 ・ 18																																																		
・ 18	・ 15 ・ 18																																																		
・																																																			
5 仮囲い	※ 原形の復旧	7 砂利及び砂地業 材料 (4.6.2) 砂利地業 ※ 切込砂利又は切込砕石 ※ 再生クラッシュラン(直接基礎下を除く) 砂地業 ・ 山砂 ・ 川砂又は砕砂 厚さ ◎ 図示 ※ 60mm (4.6.3)	② セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1)(6.13.2) ・ 高炉セメントB種 (適用箇所:) ・ フライアッシュセメントB種 (適用箇所:)																																																
6 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※ 原形の復旧 ・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() (2.4.1)	8 捨コンクリート地業 コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート (6.14.1) 設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm ² ・ 18cm スランプ ※ 15cm (4.6.4) 厚さ ※ 50mm	③ 骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B (6.3.1)																																																
土工事	種別 ・ A種(水結みのきく砂質土) (3.2.3)(表3.2.1) ※ B種 ・ C種 ・ D種 ※ 構外搬出適切処理(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) (3.2.5) ・ 構外指示の場所に処分(搬出調査等を提出する) ・ 受入れ施設名: ・ 受入れ場所: ◎ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 500m ³ 以上を構外搬出適切処理する場合は確認結果表を作成し、再生資源利用計画の添付資料とする。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/kensetuhasseido-nansuyutusaki.html)	9 床下防湿層 施工範囲 ※ 建物内土間スラブ及び土間コンクリートの直下(ピット下を除く) (4.6.5) (断熱材がある場合は、断熱材の直下) ・ 図示 ◎ ポリエチレンフィルムの厚さ ※ 0.15mm ◎ 柱状改良600φ 深層混合処理工法 詳細は構造図(S-08)による	④ 混和材料 ◎ 混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ 高性能AE減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ ・ 混和材 ・ フライアッシュ (・ I種 ・ II種 ・ IV種) (JIS A 6201) ・ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ・ コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) ・ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)																																																
1 埋戻し及び盛土	位置、本数、寸法 ※ 図示 (4.2.2) 杭の種類 ※ 本杭	10 地盤改良 鉄筋工事 (5.2.1)(表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>◎ SD295</td> <td>D10～16</td> <td>建築本体(基礎・地中梁ほか)・外構</td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD490</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SR235</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SR295</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	使用箇所	◎ SD295	D10～16	建築本体(基礎・地中梁ほか)・外構	・ SD345			・ SD390			・ SD490			・ SR235			・ SR295			⑤ 骨材 ◎ 混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ 高性能AE減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ ・ 混和材 ・ フライアッシュ (・ I種 ・ II種 ・ IV種) (JIS A 6201) ・ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ・ コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) ・ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)																											
種類の記号	呼び名	使用箇所																																																	
◎ SD295	D10～16	建築本体(基礎・地中梁ほか)・外構																																																	
・ SD345																																																			
・ SD390																																																			
・ SD490																																																			
・ SR235																																																			
・ SR295																																																			
2 建設発生土の処理	※ 構外搬出適切処理(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) (3.2.5) ・ 構外指示の場所に処分(搬出調査等を提出する) ・ 受入れ施設名: ・ 受入れ場所: ◎ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 500m ³ 以上を構外搬出適切処理する場合は確認結果表を作成し、再生資源利用計画の添付資料とする。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/kensetuhasseido-nansuyutusaki.html)	10 地盤改良 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 () 鉄線の径(mm) ()	⑥ 構造体強度補正值(S) ※ 表6.3.2による (6.3.2)																																																
3 山留め	山留め工法 ・ 山留めの撤去 ※ 撤去する ・ 存置する (3.3.3)	10 地盤改良 継手 (5.3.4)(表5.3.2～表5.3.3) <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>継 手 方 法</th> <th>呼び名</th> </tr> <tr> <td>柱・梁の主筋</td> <td>※ ガス圧接継手 ◎ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>※ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>※ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> 継手の位置 ※ 図示 ◎ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱・梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に行う場合 ※ 図示 (5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ◎ 5.3.4(3)による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示	部 位	継 手 方 法	呼び名	柱・梁の主筋	※ ガス圧接継手 ◎ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	D16以下	耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手		その他	※ 重ね継手		⑦ 打増し厚さ 外部に面するコンクリートの打増し厚さ(mm) 外壁 ※ 図示 ・ 20 ・ 25 ・ 軒天 ※ 図示 ・ 10 ・ 15 ・ 20 基礎立上 ※ 図示 (6.8.1)																																				
部 位	継 手 方 法	呼び名																																																	
柱・梁の主筋	※ ガス圧接継手 ◎ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	D16以下																																																	
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手																																																		
その他	※ 重ね継手																																																		
地業工事	位置、本数、寸法 ※ 図示 (4.2.2) 杭の種類 ※ 本杭	10 地盤改良 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 () 鉄線の径(mm) ()	⑧ 構造体コンクリートの仕上り コンクリートの打直し仕上げ ※ 合板せき板を用いる場合 (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>◎ A種</td> <td>※ 12</td> <td>打放し(素地又は撥水材塗程度) 仕上げの箇所</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※ 12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※ 12</td> <td></td> </tr> </table> ・ せき板の材料として合板を用いない場合 材料 () 厚さ ()	種 別	厚 さ (mm)	施工箇所	◎ A種	※ 12	打放し(素地又は撥水材塗程度) 仕上げの箇所	・ B種	※ 12		・ C種	※ 12																																					
種 別	厚 さ (mm)	施工箇所																																																	
◎ A種	※ 12	打放し(素地又は撥水材塗程度) 仕上げの箇所																																																	
・ B種	※ 12																																																		
・ C種	※ 12																																																		
1 試験杭	位置、本数、寸法 ※ 図示 (4.2.2) 杭の種類 ※ 本杭	10 地盤改良 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 () 鉄線の径(mm) ()	⑨ コンクリートの仕上りの平たんさ 適用部位 ※ 下表 ・ 図示 (6.2.5)(表6.2.5)(15.4.2) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="2">コンクリートの仕上り</th> <th colspan="2">適用部位による仕上げの目安</th> </tr> <tr> <th>内装仕上げ</th> <th>平たんさ</th> <th>柱・梁・壁</th> <th>床</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>コクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合</td> <td>3mにつき7mm以下</td> <td>化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 塗紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り</td> <td>合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フローテフア(置敷式)</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合</td> <td>3mにつき10mm以下</td> <td>仕上塗材塗り 外装タイルモルタル張り</td> <td>カーペット張り 防水下地 セメントモルタル塗り</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合</td> <td>1mにつき10mm以下</td> <td>セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 鋼線下地</td> <td>タイル張り モルタル塗り 二重床</td> </tr> </table>	種別	コンクリートの仕上り		適用部位による仕上げの目安		内装仕上げ	平たんさ	柱・梁・壁	床	a種	コクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 塗紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フローテフア(置敷式)	b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上塗材塗り 外装タイルモルタル張り	カーペット張り 防水下地 セメントモルタル塗り	c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 鋼線下地	タイル張り モルタル塗り 二重床																								
種別	コンクリートの仕上り		適用部位による仕上げの目安																																																
	内装仕上げ	平たんさ	柱・梁・壁	床																																															
a種	コクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 塗紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フローテフア(置敷式)																																															
b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上塗材塗り 外装タイルモルタル張り	カーペット張り 防水下地 セメントモルタル塗り																																															
c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 鋼線下地	タイル張り モルタル塗り 二重床																																															
2 杭の載荷試験	試験の種類 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 (4.2.3) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 試験深さ ・ 設計GLより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示	10 地盤改良 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 () 鉄線の径(mm) ()	⑩ スリーブの材質、規格等 ※ 下記の通り ・ 図示 (6.8.2)(表6.8.1) (i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。 (ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。 (iii) (i)及び(ii)以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。 (iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。 なお、柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。																																																
3 地盤の載荷試験	試験の種類 ※ 平板載荷試験 試験位置 ()箇所 ※ 図示 (4.2.4) 試験深さ ・ 設計GLより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示	10 地盤改良 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 () 鉄線の径(mm) ()	⑩ スリーブの材質、規格等 ※ 下記の通り ・ 図示 (6.8.2)(表6.8.1) (i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。 (ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。 (iii) (i)及び(ii)以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。 (iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。 なお、柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。																																																
4 既製コンクリート杭地業	杭の種類 ※ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) (4.3.3) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) 種類、性能、曲げ強度等による区分等 ※ 図示 寸法及び継手の箇所数 ※ 図示 (4.3.3) 杭先端部の形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉塞形 ※ 図示 (4.3.3) 工法 ・ セメントミルク工法 (4.3.4) 支持層の位置及び土質: ※ 図示 掘削深さ及び杭の支持層への根入れ長さ: ※ 図示 杭の精度: 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 傾斜 ・ 1/100以内 ・ 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 工法: 支持層の位置及び土質: ※ 図示 杭の根入れ長さ: ※ 図示 杭の精度: 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 傾斜 ・ 1/100以内 杭の継手工法 ※ アーク溶接 (4.3.6) ・ 機械式継手 (工法: ※ 性能評価された工法) ・ 杭頭の処理 杭頭の切断方法 ※ ダイヤモンドカッター (4.3.8)	10 地盤改良 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 () 鉄線の径(mm) ()	⑩ スリーブの材質、規格等 ※ 下記の通り ・ 図示 (6.8.2)(表6.8.1) (i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。 (ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。 (iii) (i)及び(ii)以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。 (iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。 なお、柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。																																																

項目	特記事項	
12 軽量コンクリート	(6.10.1)(6.10.2)(表 6.10.1)	
	種類	所要気乾単位容積質量 (t/m3) スランプ 適用箇所
	・ 1種 ・ 2種	※表6.10.1による ※21 ※図示
13 無筋コンクリート (捨コンクリートを除く)	(6.14.1)	
	コンクリートの種類	※普通コンクリート ・ 軽量コンクリート
	設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランプ(cm)
	※18	※15 ・ 18 ※6.14.1(4)による ・ 図示

項目	特記事項	
1 複数の構・工法	部位及び工法	※ 図示 (4.1.1)
2 耐火構造	木材を用いて耐火構造とする場合の適用	(4.1.6)
	・ 平成12年告示第1399号に基づくもの	・ 国土交通大臣の認定を受けたもの
③ 木材の防腐・防蟻処理	・ 処理不要樹種	※ 4.2.1(1)(7)による (4.2.1)
	適用部位	※ 図示
	○ 薬剤の加圧注入	※ 日本農林規格の保存処理 性能区分 ・ K2 ※ K3 ・ K4
		・ AQ認証保存処理材 ・ 3種 ※ 2種 ・ 1種
		・ JIS K 1570又はJIS A 9002
		・ インサイジング加工 適用部位 ※ 図示
	処理に使用した使用薬剤、注入量等の証明書を監督職員に提出すること	
	○ 見え掛り部は透明とする。	
	○ 薬剤の塗布	※ JIS K 1571またはこれと同等の性能を有するもの (4.1.6)
	適用部位	○ 土台 ※ 土台天端から上部1m以下の部分 (外周部)
	処理に使用した薬剤、使用量等の記録を監督職員に提出すること	
	・ 薬剤の接着剤への混入	適用部位 ※ 図示
	・ 合板等の加圧注入	適用部位 ※ 図示
	・ 断熱材の防腐・防蟻処理	適用部位・処理の種類 ※ 図示
④ 土壌の防蟻処理	薬剤及び使用量	(4.2.3)
	◎ (公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定工法とし、事前に監督職員に資料を提出すること	
	○ 処理方法は、(公社)日本しろあり対策協会の防除施工標準仕様書による。防蟻保証期間は 5 年間とし、完成引渡時には監督職員に保証書を提出すること。	
⑤ 防腐措置	床下換気	※ ねこ土台 ・ 換気孔 ○ 図示 (4.2.4)
	小屋裏換気位置、大きさ	
	給気孔 位置 (※ 図示 ・)	大きさ (※ 図示 ・)
	排気孔 位置 (※ 図示 ・)	大きさ (※ 図示 ・)
6 防火被覆の処理	防火被覆材の材料及び厚さ	※ 図示 (4.3.2)
	防火被覆材の留め付け材の種類等	※ 図示
	防火被覆材の目地等の処理	※ 図示
	継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理	※ 図示
	防火被覆処理部への二次部材取付部の処理	※ 図示
7 燃えしろ層の処理	燃えしろ層の厚さ	※ 図示 (4.3.3)
	柱又は梁を接合する継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理	※ 図示
	接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理	※ 図示
	燃えしろ層への二次部材取付部の処理	※ 図示
8 不燃処理木材等	・ 不燃材料 (※ 図示 ・)	(4.3.4)
	・ 準不燃材料 (※ 図示 ・)	
	・ 難燃材料 (※ 図示 ・)	

軸組構法 (壁構造系) 工事

① 製材	目視等級または機械等級区分構造用製材 (JAS 1083-3,4) (5.2.2)					
部位	樹種	目視等級	機械等級	含水率	保存処理	材面の美観作用製材の基準により指定する
土台	桧	○ 甲種 ・ 1級 ・ 乙種 ○ 2級	※ 図示	○ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ○ K3 ・ K4	○ 上小節 (見出し)
柱	杉	○ 甲種 ・ 1級 ○ 乙種 ○ 2級	※ 図示	○ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ○ K3 ・ K4	○ 上小節 (見出し)
梁	杉	○ 甲種 ・ 1級 ○ 乙種 ○ 2級	※ 図示	○ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4	○ 上小節 (見出し)
母屋、垂木	杉	○ 甲種 ・ 1級 ○ 乙種 ○ 2級	※ 図示	○ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4	
大引、横太	杉	○ 甲種 ・ 1級 ○ 乙種 ○ 2級	※ 図示	○ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ○ K3 ・ K4	○ 上小節 (見出し)
筋かい	桧	○ 甲種 ・ 1級 ・ 乙種 ○ 2級	※ 図示	○ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ○ K3 ・ K4	○ 上小節 (見出し)

各部位の寸法は図示とする。

広葉樹製材 (JAS 1083-6) (5.2.2)					
部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理
		・ 特等 ・ 1等 ・ 2等	※ 図示	・ 13%以下 ・ 10%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4

基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの
 ※ 縦振動ヤング係数測定対象部材 (※ 梁 ・ 柱 ・ 図示)
 測定数 ・ 全数 ※ 抽出 (抽出方法： ・ JIS Z 2101による ※ 無作為に10%)

項目	特記事項					
広葉樹製材 (JAS 1083-6) (5.2.2)	部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理
			・ 特等 ・ 1等 ・ 2等	※ 図示	・ 13%以下 ・ 10%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4

基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの
 ※ 縦振動ヤング係数測定対象部材 (※ 梁 ・ 柱 ・ 図示)
 測定数 ・ 全数 ※ 抽出 (抽出方法： ・ JIS Z 2101による ※ 無作為に10%)

無等級材「日本農林規格以外の製材」 (5.2.2)					
部位	樹種	寸法	含水率	保存処理	材面の品質
		※ 図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4	
		※ 図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4	

含水率及び欠点等の確認：5.2.2.(1).(d).②による
 基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの
 ※ 縦振動ヤング係数測定対象部材 (※ 梁 ・ 柱 ・ 図示)
 測定数 ・ 全数 ※ 抽出 (抽出方法： ・ JIS Z 2101による ※ 無作為に10%)

・ 国土交通大臣が指定した乾燥処理を施した木材 (5.2.2)
 施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下

下地用製材 (JAS 1083-5) (5.2.2)						
部位	樹種	等級	寸法	含水率	保存処理	備考
間柱、胴縁 まぐさ、窓台	杉	・ 1級 ○ 2級	※ 図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ○ K3 ・ K4	
		・ 1級 ・ 2級	※ 図示	・ 20%以下 ※ 15%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4	

「製材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用集成材「集成材の日本農林規格」 (5.2.2)							
部位	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法	保存処理
		・ 1種 ・ 2種 ・ 3種		・ A ・ B ・ C		※ 図示	
		・ 1種 ・ 2種 ・ 3種		・ A ・ B ・ C		※ 図示	

化粧ばり構造用集成柱「集成材の日本農林規格」 (5.2.2)					
部位	樹種 (芯材)	品名	化粧層の厚さ	見付け材面	寸法
				・ 1等 ・ 2等 ・ 1等 ・ 2等	※ 図示

「集成材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、部位ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

枠組壁工法構造用製材 (JAS 0600) (5.2.2)							
施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	含水率	保存処理
	・ 甲種枠組材 ・ 乙種枠組材 ・ MSR枠組材					※ 19%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4
	・ 甲種枠組材 ・ 乙種枠組材 ・ MSR枠組材					※ 19%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4
	・ 甲種枠組材 ・ 乙種枠組材 ・ MSR枠組材					※ 19%以下	・ K2 ・ K3 ・ K4

「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けたMSR枠組材 (5.2.2)
 施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下

枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (JAS 0600) (5.2.2)						
施工箇所	品名	樹種	樹種群	寸法型式	等級	備考
	・ 甲種たて継ぎ材 ・ 乙種たて継ぎ材 ・ MSRたて継ぎ材					
	・ 甲種たて継ぎ材 ・ 乙種たて継ぎ材 ・ MSRたて継ぎ材					

「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

国土交通大臣の基準強度の数値等の指定を受けたたて継ぎ材 (5.2.2)
 施工箇所： () 含水率： ・ 20%以下 ※ 15%以下

項目	特記事項							
5 構造用単板積層材	構造用単板積層材 (JAS 0701) (5.2.2)							
	施工箇所	樹種	品名	曲げ性能	寸法	接着性能 (使用環境)	水平せん断区分	保存処理
					※ 図示			
					※ 図示			
					※ 図示			

「単板積層材の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

丸太材 (皮はぎ材) (5.2.2)						
施工箇所	樹種	寸法	含水率	末口径	備考	
			※ 20%以下 ・ 15%以下			

加工前にすべてについて、目視による材の欠点がないことの確認を行い、監督職員に報告書を提出すること。
 基準強度：平成12年告示第1452号第五号に基づくもの
 ※ 縦振動ヤング係数測定対象部材 ()
 測定数 ・ 全数 ※ 抽出 (抽出方法： ・ JIS Z 2101による ※ 無作為に10%)

木質接着成形軸材料 木質複合軸材料 木質断熱複合パネル 木質接着複合パネル (5.2.2)				
施工箇所	形状	寸法	含水率	備考

直交集成板 (JAS 3079) (5.2.2)						
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法
				・ A ・ B ・ C		※ 図示
				・ A ・ B ・ C		※ 図示

「直交集成板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用パーティクルボード (JIS A 5908) (5.2.3)					
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	耐水性による区分	
		・ S18	・ S-RN ・ S-RS	・ REG ・ MR1 ・ MR2	

構造用ミディアムデンシティファイバーボード (構造用MDF) (JIS A 5905) (5.2.3)					
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	接着剤による区分	
	9	・ 30タイプ	・ 25タイプ	・ RN ・ RS ・ U ・ M ・ P	

構造用合板「合板の日本農林規格」 (5.2.3)								
施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	曲げ性能	接着の程度	防虫処理
屋根		12	※ 針葉樹 (杉以外)	※ 1級 ○ 2級	※ C-D以上		※ 特類 ・ 1類	・ 行う ※ 行わない
床		9	※ 針葉樹	※ 1級 ○ 2級	※ C-D以上		※ 特類 ・ 1類	・ 行う ※ 行わない

※ 屋外又は屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する接着の程度は特類とする。
 「合板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

化粧ばり構造用合板「合板の日本農林規格」 (5.2.3)					
施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	備考
				・ 特類 ・ 1類 ・ 特類 ・ 1類	

※ 屋外又は屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する接着の程度は特類とする。
 「合板の日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

構造用パネル (JAS 0360) (5.2.3)				
施工箇所	品名	厚さ (mm)	備考	

「構造用パネルの日本農林規格」以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じて、施工箇所ごとに指定している要求性能を満たしているものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること

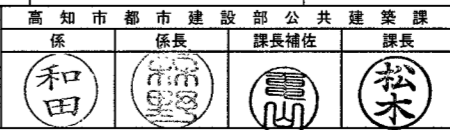
パーティクルボード (JIS A 5908) (5.2.3)					
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ強さによる区分	表裏面の状態による区分	耐水性による区分	
		・ 18 ・ 24-10 ・ 30-15	・ 13 ・ 17.5-10.5	・ RN ・ RS ・ VN ・ VS ・ DV ・ DO ・ DC	・ REG ・ MR1 ・ MR2

ハードファイバーボード (JIS A 5905) (5.2.3)						
施工箇所	厚さ (mm)	油、樹脂などの特殊処理	曲げ強さによる区分	表面の状態による区分	難燃性による区分	
		・ S (無処理) ・ T (処理)	・ S35 ・ S20 ・ T45	・ S25 ・ S20 ・ T35	・ RN ・ RS ・ DI ・ RN ・ RS ・ DE	・ 難燃2 ・ 難燃3

東石立町市営住宅集会所新築工事

(株) THINK 建築設計事務所
 高知市葛島1-9-24 T' s 2F TEL 088-885-4400

一級建築士事務所 代表 山本 義夫
 登録 (知事) 第487号 一級建築士 第176481号



木造特記仕様書 (3)

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																				
10	<p>せつこうボードその他のボード (JIS規格) (5.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 種</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・構造用せつこうボードA種</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・構造用せつこうボードB種</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・せつこうボード</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・強化せつこうボード</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・せつこうラスボード</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・シーキングボード</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ラスシート</td> <td>※ L S 4</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table> <p>パルプセメント板 (JIA A 5414) (5.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>種 類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 0.9I ・ 0.9E ・ 0.9ID ・ 0.9ED</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1.1I ・ 1.1E ・ 1.1ID ・ 1.1ED</td> </tr> </table> <p>国土交通大臣認定の乾燥処理を施した構造用面材 (5.2.3) 施工箇所: () 含水率: ・ 20%以下 ※ 15%以下</p> <p>◎ 5.2.4.(1).(a)のZ、CまたはMマーク表示金物による ◎ 5.2.4.(1).(b)のDまたはSマーク表示金物による ◎ 5.2.4.(1).(c)の金物による</p> <p>寸法、形状および鋼材の材質 ※ 図示 (5.2.4) 表面処理の適用 (14.2.2) (18.3.2) (18.3.3) (5.2.4) ・ 溶融亜鉛メッキ ※ 電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないように表面処理を施したものを</p> <p>溶接接合 溶接技能者への技量付加試験 ・ 行う ※ 行わない 代替エンドタブを使用する場合は、技量付加試験を行うか、AW検定協議会が実施する代替エンドタブ検定により認定された溶接技能者でなければならない 開先の形状 ※ 図示 ・ 「鉄骨工事技術指針・工場制作編」による (7.6.4) スカラップの形状 ※ 図示 (7.6.7) エンドタブ ※ 切断する ・ 切断しない 適用箇所 ※ 見えがかり部 ・ 図示</p> <p>接合金物の工法 (5.5.8) 面材の取付に必要な木材の彫り込み ※ 行わない ・ 行う (※ 接合金物の厚さ) 見え掛り部に取付け方法 ※ 図示</p>	種 種	厚 さ(mm)	施 工 箇 所	・硬質木片セメント板	※ 図示	※ 図示	・構造用せつこうボードA種	※ 図示	※ 図示	・構造用せつこうボードB種	※ 図示	※ 図示	・せつこうボード	※ 図示	※ 図示	・強化せつこうボード	※ 図示	※ 図示	・せつこうラスボード	※ 図示	※ 図示	・シーキングボード	※ 図示	※ 図示	・ラスシート	※ L S 4	※ 図示	施 工 箇 所	厚 さ(mm)	種 類			・ 0.9I ・ 0.9E ・ 0.9ID ・ 0.9ED			・ 1.1I ・ 1.1E ・ 1.1ID ・ 1.1ED	19	<p>木材の加工</p> <p>ボルト孔の大きさ ※ 表5.4.2による ドリフトピンの孔径 ※ ピン径と同径 見え掛り面の表面の仕上げ程度 機械加工によるかんかな掛け仕上げの程度 (製材) ・ A種 ○ B種 ・ C種 機械加工による仕上げの程度 (構造用集成材) ・ A種 ※ B種 手加工によるかんかな掛け仕上げの程度 (製材) ○ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 機械加工によるかんかな掛け仕上げの程度 (丸太材) ・ A種 ・ B種 手加工によるかんかな掛け仕上げの程度 (丸太材) ・ H-A種 ・ H-B種</p> <p>基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ (5.5.4) ◎ 土台バックシン: t=20 樹脂製既製品を使用する。 建方精度の許容値 ※ 垂直、水平の誤差の範囲 (1/1,000以下) (5.5.6)</p> <p>◎ 土台 仕口の形状 ※ 図示 ・ 大入りあり掛け (5.6.1) 隅の仕口 ※ 図示 ・ 大入り小根ほぞ差し割りくさび締め ・ 片あり掛け 継手の形状 ※ 図示 ・ 腰掛けかま継ぎ ・ 腰掛けあり継ぎ 仕口及び継手の位置 ※ 図示 ◎ 火打土台 仕口の形状 ※ 図示 ・ かたぎ大入れ ・ かたぎ馴付きボルト締め (5.6.2) 留付け釘の種類及び方法 ※ 図示 ・ N 9 0 釘 2 本打ち ・ 鋼製火打土台の施工箇所 ※ 図示</p> <p>◎ 柱 土台との仕口の形状 (5.6.3) ※ 図示 ・ 短ほぞ差し ・ 長ほぞ差し込み栓打ち ・ 扇ほぞ差し ・ 落としありホールダウン金物併用 仕口の形状 ※ 図示 ・ 短ほぞ差し山形プレート併用 ・ 長ほぞ差し込み栓打ち 平成12年告示1460号、N値計算または許容応力度計算等により、必要耐力を有する接続金物等を併用すること ◎ 間柱 横架材との仕口の形状 (5.6.4) ※ 図示 ・ 上部ほぞ差し下部突付け又は上下部とも大入れ 留付け方法及び接合金物、接合金具の種類 ※ 図示 筋かいが当たる箇所の留付け方法及び接合金物、接合金具の種類 ※ 図示 通し貫が当たる箇所の留付け方法及び接合金物、接合金具の種類 ※ 図示 ◎ 胴差 通し柱との仕口の形状 (5.6.5) ※ 図示 ・ 平成12年告示1654号による。 ・ 小胴付きほぞ差し 取付方法並びに接合金具及び接続具 ※ 図示 ・ 平成12年告示1654号に基づくもの 継手の形状 ※ 図示 ・ 追掛け大せん継ぎ ◎ 軒桁 継手の位置 ※ 図示 (5.6.6) 継手の形状 ※ 図示 ・ 追掛け大せん継ぎ ○ 継ぎ 継手の位置 ※ 図示</p> <p>◎ 間仕切桁 (頭つなぎ) 主要な間仕切桁と桁又は胴差とのT字取合い部の仕口の形状、留付け方法 (5.6.7) 並びに接合金物及び接合金具 ※ 図示 ・ 大入りあり掛け羽子板ボルトM12締め 継手の形状 ※ 図示 ・ 追掛け大せん継ぎ 継手の位置 ※ 図示</p> <p>◎ まぐさ・窓台 柱・間柱との仕口形状 ※ 図示 ○ かたぎ大入れ (5.6.8) 接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ○ ひら金物ため釘Z N 65 4本打ち ・ かすがい打ち (5.6.9)</p> <p>◎ 木製筋かい ○ 上下端部の仕口形状 ※ 図示 ○ 120mm×120mm以上の筋かいの仕口の形状 ※ 図示 ・ かたぎ大入れ 留付け方法並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ ひら金物ため釘Z N 65 4本打ち及びM12六角ボルト2本締め</p> <p>・ 貫 留付け方法及び留付け釘の種類 ※ 図示 (5.6.10) ・ 木すり 留付け釘の種類 ※ 図示 ・ N 5 0 釘 (5.6.11)</p>	23	<p>床組</p> <p>◎ 大引 大引の継手の形状及び留付け釘の種類 (5.8.1) ※ 図示 ○ 腰掛あり継ぎ ・ 相欠き継ぎの上N75釘2本打ち 大引と土台との仕口の形状及び留付け釘の種類 ※ 図示 ○ 大入りあり掛け、腰掛け又は乗せ掛けの上N75釘2本斜め打ち 大引と柱との仕口の形状及び留付け釘の種類 ※ 図示 ○ 柱添え木に乗せ掛けの上N75釘2本打ち ・ 木製床束 上部仕口の形状 ※ 図示 ・ 突付け (5.8.2) 留付け方法並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ N75釘斜め打ちの上かすがい打ち又はひら金物Z N 75 ため釘4本打ち</p> <p>◎ 鋼製床束の仕様及び設置方法 ※ 図示 ・ 樹脂製床束の仕様及び設置方法 ※ 図示</p> <p>◎ 根太掛 継手の形状 ※ 図示 ○ 突付け (5.8.3) 留付け釘の種類及び留付け方法 ※ 図示 ○ N75釘2本平打ち 根太の間隔 ※ 図示 ・ 300mm程度 (5.8.4) ◎ 根太 継手の形状及び留付け釘の種類 ※ 図示 ○ 突付けN90釘打ち 梁又は大引と根太との仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 腰渡しN75釘2本斜め打ち</p> <p>・ 床組に根太を用いない場合の工法等 ※ 図示 (5.8.5) ・ 床梁 仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 大入りあり掛け羽子板ボルトM12締め</p> <p>◎ 構造用面材による床組 (5.8.7) ◎ 構造用合板5.2.3(ウ)による適用部位 ※ 図示 ・ 化粧ばり構造用合板5.2.3(エ)による適用部位 ※ 図示 ・ 構造用パネル6.2.3(オ)による適用部位 ※ 図示 ・ パーティクルボード5.2.3(カ)による適用部位 ※ 図示 ◎ 根太を設けた床組 ・ 根太と床梁又は胴差の上端高さが同じ場合 床梁・胴差との接合部の根太の仕口の形状 ※ 図示 根太の留付け方法並びに接合金物及び接合金具の種別 ※ 図示 構造用面材の留付け釘の種類、留付け方法及び釘打ち間隔 ※ 図示 ◎ 根太と床梁又は胴差の上端高さが異なる場合 床梁等に直交する根太の仕口の形状 ※ 図示 受材・際根太の寸法 ※ 図示 留付け釘の種類、留付け方法及び釘打ち間隔 ※ 図示 構造用面材の留付け釘の種類、留付け方法及び釘打ち間隔 ※ 図示 ・ 根太を設けない床組 留付け釘の種類、留付け方法及び釘打ち間隔 ※ 図示</p> <p>◎ 非耐力壁 柱の端部と横架材との仕口の形状、留付け釘の種類、留付け方法並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 (5.9.1) 隅柱と土台との仕口の形状、留付け方法並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示</p> <p>◎ 軸組耐力壁 筋かいの端部における仕口の形状 ※ 図示 (5.9.2) 軸組の柱の柱脚及び柱頭の仕口の形状 ※ 図示 ・ 鉄筋筋かいの材料及び工法 ※ 図示 (5.9.3) ◎ 大壁造の面材耐力壁 ◎ 面材耐力壁の種類、厚さ、留付け釘の種類、釘打ち間隔 ※ 図示 ◎ 構造用面材の下地に用いる樹種及び受材 樹種及び断面寸法 ※ 図示 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示</p> <p>・ 床勝ち大壁造の面材耐力壁 ※ 図示 (5.9.4) ・ 面材耐力壁の種類、厚さ、留付け釘の種類、釘打ち間隔 ※ 図示 ・ 構造用面材の下地に用いる受材 ※ 図示 樹種及び断面寸法 ※ 図示 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示</p> <p>・ 真壁造の面材耐力壁または床勝ち真壁造の面材耐力壁 ※ 図示 (5.9.5) (5.9.6) ・ 面材耐力壁の種類、厚さ、留付け釘の種類、釘打ち間隔 ※ 図示 ・ 構造用面材の下地に用いる受材及び貫の材料 樹種及び断面寸法 ※ 図示 ・ 構造用面材の下地に受材を用いる場合の工法 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示 ・ 構造用面材を受材以外で継ぐ場合 (間柱及び胴つなぎ) 樹種及び断面寸法 ※ 図示 ・ 構造用面材の下地に貫を用いる場合の工法 貫の本数 ※ 5本以上 最上段の貫とその直上の横架材及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔 ※ 図示 貫を柱に差し通す場合の留付け方法 ※ 図示 柱との仕口の形状及び留付け釘の種類 ※ 図示</p> <p>・ 真壁造土壁耐力壁 (5.9.7) 貫の樹種及び断面寸法 ※ 図示 間渡し竹 ・ 幅20mm以上の割り竹 ・ 小径12mm以上の丸竹 種類 ※ マダケ ・ シノチク 貫の本数 ※ 3本以上 横貫と柱の接合又は縦貫と横架材の接合方法 ※ 図示 間渡し竹と柱及び横架材との接合方法 ※ 図示 土塗り壁の塗り厚さ ※ 図示 (5.9.8)</p> <p>・ 面格子壁耐力壁 (5.9.8) 樹種、断面寸法及び格子の間隔 ※ 図示 留付け釘の種類及び木ねじの種類 ※ 図示 面格子と柱との仕口の形状及び留付け方法 ※ 図示 面格子と横架材との仕口の形状及び留付け方法 ※ 図示</p> <p>・ 落とし込み板壁耐力壁 (5.9.9) 樹種及び断面寸法 ※ 図示 ・ 木だばの適用 ※ 図示 ・ 鋼材だばの適用 ※ 図示 鋼材の種類 ・ SR235 ・ SD295 表面処理の適用 (14.2.3) (18.3.2) (18.3.3) (5.2.4) ・ 溶融亜鉛メッキ ※ 電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないように表面処理を施したものを</p> <p>・ 大臣認定耐力壁 (5.9.10) 適用箇所 ※ 図示</p>
	種 種	厚 さ(mm)	施 工 箇 所																																						
	・硬質木片セメント板	※ 図示	※ 図示																																						
	・構造用せつこうボードA種	※ 図示	※ 図示																																						
	・構造用せつこうボードB種	※ 図示	※ 図示																																						
	・せつこうボード	※ 図示	※ 図示																																						
	・強化せつこうボード	※ 図示	※ 図示																																						
	・せつこうラスボード	※ 図示	※ 図示																																						
	・シーキングボード	※ 図示	※ 図示																																						
	・ラスシート	※ L S 4	※ 図示																																						
	施 工 箇 所	厚 さ(mm)	種 類																																						
			・ 0.9I ・ 0.9E ・ 0.9ID ・ 0.9ED																																						
			・ 1.1I ・ 1.1E ・ 1.1ID ・ 1.1ED																																						
	11	<p>釘及び木ねじ (5.2.4)</p> <p>※ 5.2.4.(2).(イ).(a).①または②による釘または木ねじ 屋外で使用する釘の材質: ※ ステンレス製 ・ 5.2.4.(2).(イ).(a).③釘またはねじ以外の接合金具 適用部位 ※ 図示 寸法、形状および鋼材の材質 ※ 図示</p> <p>構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部の釘打ち (5.5.9) ・ 隠し釘打ち ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ 釘頭現し</p>	20	<p>搬入及び建方</p>	24	<p>壁</p>																																			
	12	<p>ボルト及びナット (5.2.4)</p> <p>ボルト及びナット材料: ※ 表5.2.2による (5.2.4) 表面処理の適用 (14.2.2) (18.3.2) (18.3.3) (5.2.4) ・ 溶融亜鉛メッキ ※ 電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないように表面処理を施したものを</p> <p>構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部の取付け方法 (5.5.10) ※ 座掘りして埋木処理</p>	21	<p>軸組</p>																																					
	13	<p>アンカーボルト (5.2.4)</p> <p>材質、寸法等 ※ 図示 (5.2.4) 埋込み深さ ※ 図示 (5.5.3) 保持及び埋込み工法 ※ A種 ※ B種 (表5.5.1) 位置の許容誤差 ※ ± 5 mm (5.5.3)</p>	22	<p>小屋組</p> <p>◎ 小屋梁 仕口及び継手の形状、位置並びに接合金物及び接合金具の種類 (5.7.1) ※ 図示 軒桁又は敷桁との仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 小屋束 上部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 (5.7.2) ※ 図示 ・ 短ほぞ差しかすがい打ち 下部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 短ほぞ差しかすがい打ち ◎ 登り梁 上部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 (5.7.3) (合掌) ※ 図示 ・ かすがい掛けN75釘斜め打ち 下部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示</p> <p>・ トラスの斜材 (5.7.4) 上部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 下部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示</p> <p>◎ 棟木、母屋 (5.7.5) 継手の形状及び位置並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 小屋束芯より150mm程度持ち出し腰掛あり継ぎかすがい両側面打ち T字部の仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ・ 大入りあり掛るかすがい上端打ち ・ 桁行筋かい・振れ止め (5.7.6) 設置位置 ※ 図示 留付け方法及び留付け釘の種類 ※ 図示 ◎ 垂木 軒先部以外の留付け方法並びに留付け釘の種類 (5.7.7) ※ 図示 ・ 当たり欠き乗せ掛けひねり金物又は折曲げ金物Z N 40 ため釘打ち 軒先部の留付け方法及び接合金物及び接合金具の種類 ※ 図示 ◎ 火打梁 梁・胴差・桁等との仕口の形状並びに接合金物及び接合金具の種類 (5.7.8) ※ 図示 ・ かたぎ大入れM12ボルト締め ・ 上半分かたぎ大入れM12ボルト締め ・ 鋼製火打梁の施工箇所 ※ 図示 ◎ 屋根野地 (5.7.9) ・ ひき板の樹種、厚さ、継手の形状、取付け方法 (5.4.3) ※ 図示 ・ 厚さ9mm継手は登り板約10枚毎に乱継ぎ垂木芯で突付けN38釘2本平打ち ◎ 構造用合板野地板 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 (5.4.3) ※ 図示 ・ N 5 0 釘間隔150mm以下 ・ パーティクルボード野地板 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 (5.4.4) ※ 図示 ・ N 5 0 釘間隔150mm以下 ・ 構造用パネル野地板 留付け釘の種類及び釘打ち間隔 ※ 図示 ・ N 5 0 釘間隔150mm以下</p>																																					
	14	<p>座金 (5.2.4)</p> <p>材質 ※ 図示 (5.2.4)</p> <p>厚さ、寸法及び形状 (表5.2.3) 引張り応力を受けるボルトの座金 ※ 表5.2.3 ボルト径12 (※ A種 ・ B種 ・ D種 ・ 図示) ボルト径16 (※ C種 ・ E種 ・ 図示) せん断応力を受けるボルトの座金 (表5.2.4) ※ 表5.2.4 ボルト径12 (※ H種 ・ I種)</p> <p>表面処理の適用 (14.2.2) (18.3.2) (18.3.3) (5.2.4) ・ 溶融亜鉛メッキ ※ 電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 ◎ 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないように表面処理を施したものを</p>																																							
	15	<p>ラグスクリー (5.2.4)</p> <p>材質、寸法、形状等 ※ 図示 (5.2.4) (5.2.11) 表面処理の適用 (14.2.2) (18.3.2) (18.3.3) (5.2.4) ・ 溶融亜鉛メッキ ※ 電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないように表面処理を施したものを</p> <p>見え掛り部の取付け方法 ※ 図示 (5.5.11)</p>																																							
16	<p>ドリフトピン (5.2.4)</p> <p>材質 ※ JIS G 3101のSS400 (5.2.4) 形状 ※ JIS G 3191の丸鋼 (5.2.4) 径、寸法等 ※ 図示 (5.2.4) (5.5.12) 表面処理の適用 (14.2.2) (18.3.2) (18.3.3) (5.2.4) ・ 溶融亜鉛メッキ ※ 電気亜鉛メッキ ・ 錆止め塗装 ◎ 防腐・防蟻処理製材等に使用する場合は、腐食が起きないように表面処理を施したものを</p> <p>見え掛り部の取付け方法 ※ 図示 (5.5.12)</p>																																								
17	<p>木栓及び木だば (5.2.4)</p> <p>樹種、形状及び長さ ※ 図示 (5.2.4) 木だば径 ※ 図示 (5.5.13)</p>																																								
18	<p>接着剤 (5.2.4)</p> <p>◎ 床鳴り防止用接着剤の種類 (5.2.4) ・ 接着剤による接合の接着剤の種類 ・ 変成エポキシ樹脂系 ・ ウレタン樹脂系 ・ 接着剤を併用した接合の接着剤の種類 ・ エポキシ樹脂系</p> <p>(5.4.3) (5.4.3) (5.4.4)</p>																																								

東石立町市営住宅集会所新築工事

(株) THINK 建築設計事務所
 高知市葛島1-9-24 T s 2F TEL 088-885-4400

一級建築士事務所 代表 山本 義夫
 登録(知事)第487号 一級建築士 第176481号



木造特記仕様書 (4)

A - 04

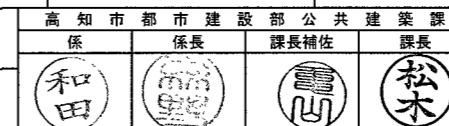
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
① 表面仕上げ	機械加工によるかな掛け仕上げの程度 (製材・造作用集成材) 《表10.1.1》《10.1.3》 <table border="1"> <tr><td>表面仕上げの種類</td><td>適用箇所</td></tr> <tr><td>・ A種</td><td>内部造作材、外部造作材</td></tr> <tr><td>※ B種</td><td>下地材</td></tr> <tr><td>※ C種</td><td>下地材</td></tr> </table> 手加工によるかな掛け仕上げの程度 (製材) 《表10.1.2》《10.1.3》 <table border="1"> <tr><td>表面仕上げの種類</td><td>適用箇所</td></tr> <tr><td>・ H-A種</td><td>内部造作材、外部造作材</td></tr> <tr><td>※ H-B種</td><td>下地材</td></tr> <tr><td>※ H-C種</td><td>下地材</td></tr> </table>	表面仕上げの種類	適用箇所	・ A種	内部造作材、外部造作材	※ B種	下地材	※ C種	下地材	表面仕上げの種類	適用箇所	・ H-A種	内部造作材、外部造作材	※ H-B種	下地材	※ H-C種	下地材	④ 合板等	下地用合板 ◎ 「合板の日本農林規格」による普通合板 《10.2.3》 <table border="1"> <tr><th>施工箇所 (品名)</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理</th><th>難燃処理</th><th>防火処理</th></tr> <tr><td>天井</td><td>◎ 5.5</td><td>○ ラワン ・ しな</td><td>※ 1類</td><td>広葉樹 (※ 2等以上)</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>壁</td><td>◎ 12</td><td>・</td><td>・ 2類</td><td>針葉樹 (※ C-D以上)</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> ◎ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 <table border="1"> <tr><th>施工箇所 (品名)</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理</th><th>強度等級</th></tr> <tr><td>補強下地</td><td>◎ 12.0</td><td>○ 針葉樹</td><td>※ 1類</td><td>※ 2級以上</td><td>※ C-D以上</td><td>・</td><td>※ 指定しない</td></tr> <tr><td></td><td>◎ 15</td><td>・</td><td>・ 特類</td><td>・ 1級</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> ・ 「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板 <table border="1"> <tr><th>施工箇所 (品名)</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※ 1類 ・ 特類</td><td>・</td></tr> </table> ・ 「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>化粧板に使用する単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※ 1類 ・ 2類</td><td>・</td></tr> </table> ・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table border="1"> <tr><th>施工箇所 (品名)</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程度</th><th>単板の樹種名</th><th>化粧加工の方法</th><th>防虫処理</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>※ 1類 ・ 2類</td><td></td><td></td><td>・</td></tr> </table> ・ パーティクルボード <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面の状態による区分</th><th>曲げ強さによる区分</th><th>耐水性による区分</th><th>難燃性による区分</th></tr> <tr><td></td><td>※ 15.0</td><td>・ 素地 (研磨品)</td><td>※ 13タイプ</td><td>※ MR1 (M) 又は MR2 (P) タイプ</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ 単板張り (・ 研磨品 ・ 無研磨品)</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ・ 構造用パネル <table border="1"> <tr><th>施工箇所 (品名)</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級</td></tr> </table> ・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面の状態による区分</th><th>曲げ強さによる区分</th><th>接着剤による区分</th><th>難燃性による区分</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	施工箇所 (品名)	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	天井	◎ 5.5	○ ラワン ・ しな	※ 1類	広葉樹 (※ 2等以上)	・	・	・	壁	◎ 12	・	・ 2類	針葉樹 (※ C-D以上)	・	・	・	施工箇所 (品名)	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級	補強下地	◎ 12.0	○ 針葉樹	※ 1類	※ 2級以上	※ C-D以上	・	※ 指定しない		◎ 15	・	・ 特類	・ 1級	・	・	・	施工箇所 (品名)	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※ 1類 ・ 特類	・	施工箇所	厚さ (mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※ 1類 ・ 2類	・	施工箇所 (品名)	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理			※ 1類 ・ 2類			・	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分		※ 15.0	・ 素地 (研磨品)	※ 13タイプ	※ MR1 (M) 又は MR2 (P) タイプ				・ 単板張り (・ 研磨品 ・ 無研磨品)				施工箇所 (品名)	寸法 (mm)	等級			・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							② 材料	材料の含水率の規定がない場合の種類 《表10.2.1》《10.2.1》 下地材 ※ A種15%以下 ・ B種20%以下 造作材 ※ A種15%以下 ・ B種18%以下	⑤ 接合具等	釘 《10.2.4》 ※ 10.2.4. (1). (ア)による釘 ・ 10.2.4. (1). (イ)による釘 (材質並びに寸法及び形状: ※ 図示) 釘打ち工法 下張材に対する釘の打込み本数 ※ 図示 斜めに釘を打ち込む場所 ※ 図示 造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し	③ 木材	◎ 下地用製材 《10.2.2》 <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>※ 図示</td></tr> <tr><td>樹種</td><td>○ 杉 ・ 桧</td></tr> <tr><td>寸法 (mm)</td><td>※ 図示</td></tr> <tr><td>等級</td><td>日本農林規格を使用する場合 : ・ 1級 ※ 2級 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等</td></tr> <tr><td>含水率</td><td>※ 15%以下</td></tr> <tr><td>保存処理</td><td>・</td></tr> <tr><td>防虫処理</td><td>・ 行う ○ 行わない</td></tr> <tr><td>難燃処理</td><td>・ 行う ○ 行わない</td></tr> </table> ◎ 造作用製材 <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>※ 図示</td></tr> <tr><td>樹種</td><td>・ 杉 ○ 桧</td></tr> <tr><td>寸法 (mm)</td><td>※ 図示</td></tr> <tr><td>等級</td><td>日本農林規格を使用する場合 見え掛かり面: ※ 上小節 ・ 無節 見え掛かり面以外: ※ 小節以上 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛かり面: ※ 上小節 ・ 無節 ・ 特一等 見え掛かり面以外: ※ 小節以上 ・ 特一等</td></tr> <tr><td>含水率</td><td>※ 15%以下</td></tr> <tr><td>保存処理</td><td>・</td></tr> <tr><td>防虫処理</td><td>・ 行う ○ 行わない</td></tr> <tr><td>難燃処理</td><td>・ 行う ○ 行わない</td></tr> </table> ・ 広葉樹製材 <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>※ 図示</td></tr> <tr><td>樹種</td><td>・</td></tr> <tr><td>寸法 (mm)</td><td>※ 図示</td></tr> <tr><td>等級</td><td>日本農林規格を使用する場合 : ・ 特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等</td></tr> <tr><td>形状</td><td>※ 図示</td></tr> <tr><td>含水率</td><td>※ 10%以下</td></tr> <tr><td>保存処理</td><td>・</td></tr> <tr><td>防虫処理</td><td>・ 行う ・ 行わない</td></tr> <tr><td>難燃処理</td><td>・ 行う ・ 行わない</td></tr> </table> ◎ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 《10.2.2》 <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面数</th><th>見付け材面の品質</th></tr> <tr><td>トイレ</td><td>面台</td><td>桧</td><td>※ 図示</td><td>3</td><td>※ 1等 ・ 2等</td></tr> </table> ・ 「集成材の日本農林規格」による化粧張り造作用集成材 <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面数</th><th>見付け材面の品質</th></tr> <tr><td></td><td>化粧薄板:</td><td></td><td>※ 図示</td><td></td><td></td><td>※ 1等 ・ 2等</td></tr> <tr><td></td><td>芯材:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>化粧薄板:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>芯材:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>※ 図示</td><td></td><td>※ 15%以下</td></tr> </table> ・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧張り造作用集成材 <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th></tr> <tr><td></td><td>化粧薄板:</td><td></td><td>※ 図示</td><td></td><td>※ 15%以下</td></tr> <tr><td></td><td>芯材:</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>化粧薄板:</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>芯材:</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ・ 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 《10.2.2》 <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面の化粧加工</th><th>防虫処理</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)</td><td>・ 行う</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 図示</td><td>・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ 行わない</td></tr> </table> ・ 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面の化粧加工</th><th>防虫処理</th><th>含水率</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)</td><td>・ 行う</td><td>※ 14%以下</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ 図示</td><td>・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 行わない</td><td></td></tr> </table> ・ CLT (直交集成材) <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>曲げ強度 (強度等級)</th><th>種別</th><th>接着性能 (使用環境)</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※ 図示</td></tr> </table>	施工箇所	※ 図示	樹種	○ 杉 ・ 桧	寸法 (mm)	※ 図示	等級	日本農林規格を使用する場合 : ・ 1級 ※ 2級 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等	含水率	※ 15%以下	保存処理	・	防虫処理	・ 行う ○ 行わない	難燃処理	・ 行う ○ 行わない	施工箇所	※ 図示	樹種	・ 杉 ○ 桧	寸法 (mm)	※ 図示	等級	日本農林規格を使用する場合 見え掛かり面: ※ 上小節 ・ 無節 見え掛かり面以外: ※ 小節以上 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛かり面: ※ 上小節 ・ 無節 ・ 特一等 見え掛かり面以外: ※ 小節以上 ・ 特一等	含水率	※ 15%以下	保存処理	・	防虫処理	・ 行う ○ 行わない	難燃処理	・ 行う ○ 行わない	施工箇所	※ 図示	樹種	・	寸法 (mm)	※ 図示	等級	日本農林規格を使用する場合 : ・ 特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等	形状	※ 図示	含水率	※ 10%以下	保存処理	・	防虫処理	・ 行う ・ 行わない	難燃処理	・ 行う ・ 行わない	施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	トイレ	面台	桧	※ 図示	3	※ 1等 ・ 2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ (mm)	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質		化粧薄板:		※ 図示			※ 1等 ・ 2等		芯材:							化粧薄板:							芯材:						施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率			※ 図示		※ 15%以下	施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ (mm)	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板:		※ 図示		※ 15%以下		芯材:						化粧薄板:						芯材:					施工箇所	品名	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理				・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 行う				・ 図示	・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)					・ 行わない	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率			・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 行う	※ 14%以下			・ 図示	・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)					・ 行わない		施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)							※ 図示	⑥ 耐水性、防虫処理	・ 耐水性処理 《10.3.1》 ※ 屋外に使用する仕上げ木材の木材保護塗料塗り (WP) ・ 防虫処理 《10.3.2》 ※ ラワン及びびならを使用する場合 K1	⑦ 屋根回り	◎ 軒先・くばり ◎ 鼻隠しの樹種及び寸法 ※ 図示 ◎ 破風板の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 破小舞、登りよどの樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 面戸板の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 瓦葺き屋根 心木の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 杉 高さ40mm×幅45mm以上 心木の防腐、防蟻処理 ・ 適用する (4.2.1による)	⑧ 外部開口部回り	◎ 軒天井下地 野縁受け、野縁及び下地材の樹種及び寸法 ※ 図示	⑨ 内部開口部回り	◎ 窓及び出入口の取付け下地材及び受材の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 外部出入口木製建具回り木製枠材の樹種及び寸法 ※ 図示 下枠の材料 ステンレス製 (厚さ2mm以上) の寸法及び形状 ※ 図示 厚さ40mm以上の花こう岩による石材で種類、寸法及び形状 ※ 図示	⑩ 内部床回り	◎ 内部出入口木製建具回り木製枠材の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 内部窓回り 樹種及び寸法 ※ 図示	⑪ 外壁回り	◎ 内部床下地 下地用床板 ◎ 10.2.3 (ア) による下地用合板 厚さ ※ 12mm ・ 10.2.3 (イ) によるパーティクルボード 強度及び接着剤による区分 ※ 13Pタイプ又は13Mタイプ 厚さ ※ 15mm ・ 構造用合板の上の仕上げ用下地用床板 (10.2.3 (イ) による合板) 厚さ ※ 図示	12 外壁板張り	・ 押縁下見板張り (ささら子下見板張り) ※ 図示 押縁及び下見板の樹種及び寸法 ・ 南京下見板張り (よろい下見板張り) ※ 図示 下見板の樹種及び寸法 ・ 横羽目板・縦羽目板張り ※ 図示 羽目板の樹種及び寸法 ・ 目板付縦羽目板張り ※ 図示 目板及び羽目板の樹種及び寸法 ・ 敷目板張り ※ 図示 敷目板の樹種及び寸法	13 外壁造作	・ 付け土台 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 雨押え 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 見切り縁・笠木・外部回り縁 樹種及び寸法 ※ 図示	14 ひさし	・ 隠しひさし 製材の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 露除けひさし 製材の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 腕木ひさし (しころひさし) 製材の樹種及び寸法 ※ 図示	15 内部壁	◎ 内壁木下地 胴縁の樹種、寸法及び間隔 ※ 図示 ◎ 内壁板張り 《10.9.2》 ◎ 横羽目板・縦羽目板張り 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 目板付縦羽目板張り 目板及び羽目板の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 敷目板張り 樹種及び寸法 ※ 図示	16 内部造作	◎ 幅木 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 回り縁 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 天井下地 《10.9.4》 吊木受け及び吊木 樹種及び寸法 ※ 図示 野縁、野縁受け及び板野縁 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 天井板張り 《10.9.5》 ・ 敷目天井板張り 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 打上げ天井板張り 樹種及び寸法 ※ 図示	17 和室の造作	・ 柱 樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 背割不要の処理を行った製材 ※ 図示 ・ 開口部回り 敷居、かもし等の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 壁回り 塗込め貫の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 床回り 塗下地材の樹種並びに寸法及び厚さ ※ 図示 畳寄せの樹種並びに寸法及び厚さ ※ 図示 ・ 天井回り ・ 竿縁天井板張りの樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 格縁天井板張りの樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 特殊吊金具 ※ 図示 ・ 床の間回り 床の間に使用する製材等の樹種及び寸法 ※ 図示 ・ 掛軸用金物 ※ 図示 ・ 床脇間に使用する製材等の樹種及び寸法 ※ 図示
表面仕上げの種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ A種	内部造作材、外部造作材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ B種	下地材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ C種	下地材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
表面仕上げの種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ H-A種	内部造作材、外部造作材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ H-B種	下地材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ H-C種	下地材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所 (品名)	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
天井	◎ 5.5	○ ラワン ・ しな	※ 1類	広葉樹 (※ 2等以上)	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
壁	◎ 12	・	・ 2類	針葉樹 (※ C-D以上)	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所 (品名)	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
補強下地	◎ 12.0	○ 針葉樹	※ 1類	※ 2級以上	※ C-D以上	・	※ 指定しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	◎ 15	・	・ 特類	・ 1級	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所 (品名)	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			※ 1類 ・ 特類	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ (mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			※ 1類 ・ 2類	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所 (品名)	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		※ 1類 ・ 2類			・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	※ 15.0	・ 素地 (研磨品)	※ 13タイプ	※ MR1 (M) 又は MR2 (P) タイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		・ 単板張り (・ 研磨品 ・ 無研磨品)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所 (品名)	寸法 (mm)	等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹種	○ 杉 ・ 桧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
寸法 (mm)	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
等級	日本農林規格を使用する場合 : ・ 1級 ※ 2級 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
含水率	※ 15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
保存処理	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
防虫処理	・ 行う ○ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
難燃処理	・ 行う ○ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹種	・ 杉 ○ 桧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
寸法 (mm)	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
等級	日本農林規格を使用する場合 見え掛かり面: ※ 上小節 ・ 無節 見え掛かり面以外: ※ 小節以上 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛かり面: ※ 上小節 ・ 無節 ・ 特一等 見え掛かり面以外: ※ 小節以上 ・ 特一等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
含水率	※ 15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
保存処理	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
防虫処理	・ 行う ○ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
難燃処理	・ 行う ○ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
寸法 (mm)	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
等級	日本農林規格を使用する場合 : ・ 特等 ※ 1等 ・ 2等 日本農林規格以外を使用する場合 : ※ 特一等 ・ 一等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
形状	※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
含水率	※ 10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
保存処理	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
防虫処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
難燃処理	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
トイレ	面台	桧	※ 図示	3	※ 1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ (mm)	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	化粧薄板:		※ 図示			※ 1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	芯材:																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	化粧薄板:																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	芯材:																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		※ 図示		※ 15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ (mm)	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	化粧薄板:		※ 図示		※ 15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	芯材:																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	化粧薄板:																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	芯材:																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			・ 図示	・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 行う	※ 14%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		・ 図示	・ 無 (等級: ・ 1等 ・ 2等 ・ 3等)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
						※ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																			
防水工事		3	有機系接着剤による陶磁器質タイル張り	10	粘土瓦葺																																																			
1 FRP系塗膜防水	<p>ルーフドレンの種類 ※ FRP系塗膜防水用ルーフドレン 鉄鉋製 (11.2.2)</p> <p>下地の構造 (11.2.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 根太掛 樹種及び寸法 ※ 図示 防腐及び防蟻処理の種類 <ul style="list-style-type: none"> 4.2.1.(4).(a)によるK2 根太 樹種及び寸法 ※ 図示 スギ、幅45mm×高さ55mm程度、間隔300程度 防腐、防蟻及び防虫処理の種類 <ul style="list-style-type: none"> 4.2.1.(4).(a)によるK2 <p>下地合板</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造用合板「合板の日本農林規格」 <ul style="list-style-type: none"> 厚さ ※ 12mm 表板の樹種等 ※ 図示 防虫処理 ※ 行う 普通合板「合板の日本農林規格」 <ul style="list-style-type: none"> 厚さ ※ 12mm 表板の樹種等 ※ 図示 防虫処理 ※ 行う <p>釘または木ねじの留付け間隔 ※ 150mm程度</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火板の種類 ※ ケイ酸カルシウム板厚さ10mm 防水層の下地の勾配 ※ 1/100以上 水切り金物及び外装材の取合いの詳細 ※ 図示 水張り試験 ※ 行わない 	<p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>タイルの試験張り ※ 行わない 行う (11.1.4)</p> <p>タイルの見本焼き ※ 行わない 行う</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>外装タイルにおける目地詰め ※ 行う 行わない (11.3.3)(11.3.5)</p> <p>外装タイル接着剤における目地のシーリング材 (11.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法・MCR工法 (11.3.6) 	<p>材料</p> <p>止める瓦の使用 ※ 使用しない 使用する (14.5.2)</p> <p>JIS A 5208に基づく凍害試験等 ※ 行わない 行う</p> <p>瓦浅木 (14.5.2)</p> <p>材質： ※ 図示 杉</p> <p>防腐処理の方法 ※ 図示</p> <p>寸法： ※ 図示 21mm以上×15mm以上</p> <p>横補強用心材 (14.5.2)</p> <p>材質： ※ 図示 杉</p> <p>防腐処理の方法 ※ 図示</p> <p>寸法： ※ 図示 21mm以上×15mm以上</p> <p>横補強等に使用する金物 (14.5.2)</p> <p>材質： ※ 図示</p> <p>形状： ※ 図示</p> <p>寸法： ※ 図示 留付け方法： ※ 図示</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>建築基準法に基づく地震力に対応した瓦の繋ぎ方法などの工法 ※ 図示</p> <p>瓦浅木を留付け木材以外の野地板にする場合</p> <p>野地板の材料： ※ 図示 留付け工法： ※ 図示</p> <p>瓦の取付 ※ 14.5.3(4)の特記がない場合による</p> <p>棟の工法 ※ 14.5.3(5)(7)による(冠瓦伏せ棟)</p> <p>14.5.3(5)(4)による(し積み棟)</p>																																																					
2 保証書	受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から)	屋根及びとい工事		11	スレート葺																																																			
3 シーリング	<p>シーリング材の種類 (11.3.2)《表11.3.1》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>主成分による区分</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SR-1</td> <td>シリコーン系</td> <td>水回り取合い</td> </tr> <tr> <td>SR-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>金属建具、金属取合い</td> </tr> <tr> <td>PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td>コンクリート打継、誘発目地</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所()</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※ 図示及び9.7.3による (11.3.3)</p> <p>接着性試験 行う ※ 簡易接着性試験 (11.3.5)</p> <p>引張接着性試験 (部位)</p>	記号	主成分による区分	施工箇所	SR-1	シリコーン系	水回り取合い	SR-2			MS-2	変成シリコーン系	金属建具、金属取合い	PS-2	ポリサルファイド系		PU-2	ポリウレタン系	コンクリート打継、誘発目地	<p>下葺材料 (14.2.2)</p> <p>※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ) (厚さ： ※ 図示 mm)</p> <p>※ アスファルトルーフィング940</p> <p>下葺の工法 (14.2.3)</p> <p>壁面との取り合い部の壁面に下葺材張りに必要な下地の種別、形状 ※ 図示</p> <p>14.3節に定める以外の金属板葺 (14.3.1)</p> <p>※ 製造所の仕様による 図示</p> <p>金属板材料、厚さ (14.3.2)《表14.3.1》</p> <p>※ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(ガルバリウム鋼板)</p> <p>塗装ステンレス鋼板 (厚さ ※ 図示)</p> <p>固定釘等の材質 (表14.3.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 亜鉛めっき鉄釘 ※ ステンレス釘 鋼釘 亜鉛めっき鉄木ねじ ※ ステンレス鋼木ねじ <p>心木なし瓦葺葺き 母屋固定の場合の釘の寸法 ※ 図示</p> <p>金属板の留付け (14.3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 吊子の各部材の寸法 ※ 図示 通し吊子の各部材の寸法 ※ 図示 通し付け子の釘留め間隔 ※ 図示 	<p>材料</p> <p>屋根スレート (JIS A 5423) (14.6.2)</p> <p>種類、寸法及び形状、投物、色彩等 ※ 図示</p> <p>工法 (14.6.3)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>雪止め ※ 設けない 設ける</p> <p>材料 (14.7.2)</p> <p>アスファルトシングル</p> <p>品質、形状、色調及び寸法 ※ 図示</p> <p>工法 (14.7.3)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>軒先、くらは等の曲面 ※ 設ける (※ 半径500mm以上 半径 mm) ※ 設けない</p> <p>雪止め ※ 設けない 設ける</p>																																			
記号	主成分による区分	施工箇所																																																						
SR-1	シリコーン系	水回り取合い																																																						
SR-2																																																								
MS-2	変成シリコーン系	金属建具、金属取合い																																																						
PS-2	ポリサルファイド系																																																							
PU-2	ポリウレタン系	コンクリート打継、誘発目地																																																						
4 透湿防水シート、防水テープ及び改質アスファルト防水工事	<p>両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm幅以上のもので、傷やしわがないもの (11.4.2)</p> <p>バルコニー手すりの工法 ※ 11.4.3(ケ)①から⑤による (11.4.3)</p> <p>アルミニウム笠木の固定方法、形状及び仕上げ ※ 図示</p>	4 平葺(一文字葺)の工法	<p>工法 (14.3.4)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>加工 葺板のはげのつくり方 ※ 図示</p> <p>一般部の葺き方 吊子の間隔 ※ 図示</p> <p>各部工法 吊子及び釘の留付け間隔 ※ 図示</p> <p>軒先及びくらはの釘の留付け間隔 ※ 図示</p> <p>雪止め ※ 設けない 設ける</p>	12 アスファルトシングル葺	<p>材料 (14.7.2)</p> <p>アスファルトシングル</p> <p>品質、形状、色調及び寸法 ※ 図示</p> <p>工法 (14.7.3)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>軒先、くらは等の曲面 ※ 設ける (※ 半径500mm以上 半径 mm) ※ 設けない</p> <p>雪止め ※ 設けない 設ける</p>																																																			
5 ケイ酸質系塗布防水	<p>防水層の種類 (9.6.1)(9.6.3)(表9.6.1~表9.6.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-UI</td> <td></td> <td>C-UP</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下地処理</p>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	C-UI		C-UP		5 心木あり瓦葺の工法	<p>工法 (14.3.5)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>一般部の葺き方</p> <p>瓦葺及び釘の留付け間隔 ※ 図示</p> <p>溝板及びキャップの留付け方法 ※ 14.3.5(3)(7)(c)の特記がない場合による</p> <p>鋼板による屋根一般部分</p> <p>瓦葺、吊子及び釘の留付け間隔 ※ 図示</p> <p>各部工法</p> <p>棟覆い 鋼板以外の板による心木あり瓦葺葺きの棟部分の工法</p> <p>釘打ちの間隔 ※ 図示</p> <p>鋼板による心木あり瓦葺葺きの棟部分の工法</p> <p>留付け釘の間隔 ※ 図示</p> <p>軒先 留付け釘の間隔 ※ 図示</p> <p>雪止め ※ 設けない 設ける</p> <p>心木 樹種 ※ 図示 防腐防蟻処理 ※ 図示</p> <p>※ 特殊工法によるものは各製造所の仕様による</p>	13 とい	<p>材料 (14.8.2)《表14.8.1》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>板厚</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金属板</td> <td></td> <td></td> <td>軒どい・たてどい・谷どい</td> </tr> <tr> <td>銅板</td> <td>※ 0.35mm</td> <td></td> <td>軒どい・たてどい・谷どい</td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td> <td></td> <td></td> <td>※ たてどい</td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管カラー(軟VP)</td> <td></td> <td>図示</td> <td>※ たてどい</td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル雨どい</td> <td></td> <td>図示</td> <td>※ 軒どい・たてどい</td> </tr> </tbody> </table>	材種	板厚	寸法	施工箇所	金属板			軒どい・たてどい・谷どい	銅板	※ 0.35mm		軒どい・たてどい・谷どい	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)			※ たてどい	硬質ポリ塩化ビニル管カラー(軟VP)		図示	※ たてどい	硬質塩化ビニル雨どい		図示	※ 軒どい・たてどい																			
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																					
C-UI		C-UP																																																						
材種	板厚	寸法	施工箇所																																																					
金属板			軒どい・たてどい・谷どい																																																					
銅板	※ 0.35mm		軒どい・たてどい・谷どい																																																					
硬質ポリ塩化ビニル管(VP)			※ たてどい																																																					
硬質ポリ塩化ビニル管カラー(軟VP)		図示	※ たてどい																																																					
硬質塩化ビニル雨どい		図示	※ 軒どい・たてどい																																																					
6 止水板	鉄板芯材+非加硫ブチルゴム	6 心木なし瓦葺の工法	<p>工法 (14.3.6)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>一般部の葺き方</p> <p>釘打ちの間隔 ※ 図示</p> <p>各部工法</p> <p>棟覆い 留付け釘の間隔 ※ 図示</p> <p>軒先 留付け釘の間隔 ※ 図示</p> <p>屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨押えを付ける場合 留付け釘の間隔 ※ 図示 雨押えを用いない場合 吊子の間隔 ※ 図示 <p>雪止め ※ 設けない 設ける</p> <p>※ 特殊工法によるものは各製造所の仕様による</p>	14	軽量鉄骨天井下地																																																			
7 撥水材	仕様 シラン系浸透性吸水防止材(石油系溶剤タイプ)	7 横葺の工法	<p>工法 (14.3.7)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>雪止め ※ 設けない 設ける</p> <p>※ 特殊工法によるものは各製造所の仕様による</p>	15	金属成形板張り(天井)																																																			
石工事		8 立平葺の工法	<p>工法 (14.3.8)</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法</p> <p>吊子の工法 ※ 図示 標準工法</p> <p>雪止め ※ 設けない 設ける</p> <p>※ 特殊工法によるものは各製造所の仕様による</p>	16	金属成形板張り(天井)																																																			
1 施工	石材の割付け 図示 ※ 10.1.3(1)(7)及び(4)による (10.1.3)	9 折板葺	<p>材料 (14.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>吸水率の区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物の適用</th> <th>品質(公表準備)(円/m2)</th> </tr> <tr> <td>階段段鼻</td> <td>150×60×20</td> <td>Ⅰ類</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅲ類</td> <td>施釉</td> <td>無釉</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>標準品</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>タイルの試験張り ※ 行わない 行う (11.1.4)</p> <p>タイルの見本焼き ※ 行わない 行う</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 目荒し工法 (11.2.6)</p> <p>壁タイル張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装タイル ※ 改良種上げ張り 外装タイル ※ 密着張り 改良種上げ張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル MASK張り モザイクタイル張り <p>既調査モルタル (11.2.3)</p> <p>タイル工事用の張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を工場において所定の割合に配合したものである。</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分	うわぐすり	色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表準備)(円/m2)	階段段鼻	150×60×20	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施釉	無釉	標準	特注			○	○	○	○	○	○	標準品	17	金属成形板張り(天井)																								
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分	うわぐすり	色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表準備)(円/m2)																																																
階段段鼻	150×60×20	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施釉	無釉	標準	特注																																																
		○	○	○	○	○	○	標準品																																																
2 天然石	<p>材料 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>形状、寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>パフ仕上げの有無</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	岩石の種類	形状、寸法(mm)	厚さ(mm)	パフ仕上げの有無	仕上げの種類	床		※ 図示	※ 図示			18	金属成形板張り(天井)	<p>材料 (14.6.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>製法</th> <th>形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面処理(表14.2.1による)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム</td> <td>押出し</td> <td>スパンドレル形</td> <td>板厚 板幅</td> <td>色合い等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロール</td> <td></td> <td></td> <td>ブラウン系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プレス</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td>ブラック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ステンカラー</td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用下地 ※ 14章4節による 図示 (14.6.3)</p> <p>伸縮調整継手 設ける (施工箇所 ※ 図示) (14.6.3)</p>	材種	製法	形状	寸法(mm)	表面処理(表14.2.1による)	アルミニウム	押出し	スパンドレル形	板厚 板幅	色合い等		ロール			ブラウン系		プレス	パネル形		ブラック					ステンカラー															
施工箇所	岩石の種類	形状、寸法(mm)	厚さ(mm)	パフ仕上げの有無	仕上げの種類																																																			
床		※ 図示	※ 図示																																																					
材種	製法	形状	寸法(mm)	表面処理(表14.2.1による)																																																				
アルミニウム	押出し	スパンドレル形	板厚 板幅	色合い等																																																				
	ロール			ブラウン系																																																				
	プレス	パネル形		ブラック																																																				
				ステンカラー																																																				
3 テラゾ	<p>種石の種類 ※ 大理石 (10.2.1)</p> <p>種石の大きさ ※ 1.5~12mm</p> <p>仕上げの種類 ※ 粗磨き 水磨き 本磨き (表10.2.2)</p> <p>形状、寸法 ※ 図示</p>	19	金属成形板張り(天井)	<p>材料 (14.6.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>製法</th> <th>形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面処理(表14.2.1による)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム</td> <td>押出し</td> <td>スパンドレル形</td> <td>板厚 板幅</td> <td>色合い等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロール</td> <td></td> <td></td> <td>ブラウン系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プレス</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td>ブラック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ステンカラー</td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用下地 ※ 14章4節による 図示 (14.6.3)</p> <p>伸縮調整継手 設ける (施工箇所 ※ 図示) (14.6.3)</p>	材種	製法	形状	寸法(mm)	表面処理(表14.2.1による)	アルミニウム	押出し	スパンドレル形	板厚 板幅	色合い等		ロール			ブラウン系		プレス	パネル形		ブラック					ステンカラー																											
材種	製法	形状	寸法(mm)	表面処理(表14.2.1による)																																																				
アルミニウム	押出し	スパンドレル形	板厚 板幅	色合い等																																																				
	ロール			ブラウン系																																																				
	プレス	パネル形		ブラック																																																				
				ステンカラー																																																				
1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置 ※ 表11.1.1による 図示 (11.1.3)(表11.1.1)	20	金属成形板張り(天井)	<p>材料 (14.6.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>製法</th> <th>形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面処理(表14.2.1による)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム</td> <td>押出し</td> <td>スパンドレル形</td> <td>板厚 板幅</td> <td>色合い等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロール</td> <td></td> <td></td> <td>ブラウン系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プレス</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td>ブラック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ステンカラー</td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用下地 ※ 14章4節による 図示 (14.6.3)</p> <p>伸縮調整継手 設ける (施工箇所 ※ 図示) (14.6.3)</p>	材種	製法	形状	寸法(mm)	表面処理(表14.2.1による)	アルミニウム	押出し	スパンドレル形	板厚 板幅	色合い等		ロール			ブラウン系		プレス	パネル形		ブラック					ステンカラー																											
材種	製法	形状	寸法(mm)	表面処理(表14.2.1による)																																																				
アルミニウム	押出し	スパンドレル形	板厚 板幅	色合い等																																																				
	ロール			ブラウン系																																																				
	プレス	パネル形		ブラック																																																				
				ステンカラー																																																				
2 セメントモルタルによるタイル張り	<p>位置 ※ 表11.1.1による 図示 (11.1.3)(表11.1.1)</p> <p>(11.1.4)</p> <p>(11.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>吸水率の区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物の適用</th> <th>品質(公表準備)(円/m2)</th> </tr> <tr> <td>階段段鼻</td> <td>150×60×20</td> <td>Ⅰ類</td> <td>Ⅱ類</td> <td>Ⅲ類</td> <td>施釉</td> <td>無釉</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>標準品</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>タイルの試験張り ※ 行わない 行う (11.1.4)</p> <p>タイルの見本焼き ※ 行わない 行う</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 目荒し工法 (11.2.6)</p> <p>壁タイル張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装タイル ※ 改良種上げ張り 外装タイル ※ 密着張り 改良種上げ張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル MASK張り モザイクタイル張り <p>既調査モルタル (11.2.3)</p> <p>タイル工事用の張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を工場において所定の割合に配合したものである。</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分	うわぐすり	色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表準備)(円/m2)	階段段鼻	150×60×20	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施釉	無釉	標準	特注			○	○	○	○	○	○	標準品	21	金属成形板張り(天井)	<p>材料 (14.6.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>製法</th> <th>形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面処理(表14.2.1による)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム</td> <td>押出し</td> <td>スパンドレル形</td> <td>板厚 板幅</td> <td>色合い等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロール</td> <td></td> <td></td> <td>ブラウン系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プレス</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td>ブラック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ステンカラー</td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用下地 ※ 14章4節による 図示 (14.6.3)</p> <p>伸縮調整継手 設ける (施工箇所 ※ 図示) (14.6.3)</p>	材種	製法	形状	寸法(mm)	表面処理(表14.2.1による)	アルミニウム	押出し	スパンドレル形	板厚 板幅	色合い等		ロール			ブラウン系		プレス	パネル形		ブラック					ステンカラー
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分	うわぐすり	色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表準備)(円/m2)																																																
階段段鼻	150×60×20	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施釉	無釉	標準	特注																																																
		○	○	○	○	○	○	標準品																																																
材種	製法	形状	寸法(mm)	表面処理(表14.2.1による)																																																				
アルミニウム	押出し	スパンドレル形	板厚 板幅	色合い等																																																				
	ロール			ブラウン系																																																				
	プレス	パネル形		ブラック																																																				
				ステンカラー																																																				

東石立町市営住宅集会所新築工事

(株) THINK 建築設計事務所
高知市葛島1-9-24 T's 2F TEL 088-885-4400

一級建築士事務所 代表 山本 義夫
登録(知事)第487号 一級建築士 第176481号



木造特記仕様書(6)

A-06

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
6 アルミニウム製壁木	部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 (14.7.2) (表14.7.1) 隅角部、端部の役物 ※使用する(笠木本体の製造所仕様による) 表面処理 ・ 表14.2.1 (・BA-1 ・BA-2) 種 色合い等 ※標準色 笠木の固定金具の固定工法 建築基準法に基づく風圧力の (※1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法	6 こまい壁塗り	のりの種類 (15.11.2) 土壁用のり ※つものまた 砂壁用のり ※ふのり 色土の種類 ・土仕上げに用いる色土 () ・大津仕上げに用いる色土 () 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 () ・人工的に着色・製造したもの () 下塗りの調合 ※表15.11.2による 塗厚 ※表15.11.8による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 () 工程の種類 ※A種 ・ B種 土物仕上げ工法の種類 (15.11.5) (表15.11.9) ・土物仕上げ工法 (15.11.7) ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 大津仕上げ工法の種類 (15.11.8) ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき工法	7 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット ・適用する (16.5.2) ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 (16.2.2) ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 適用箇所 ※図示 鋼板類の種類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (16.5.3) ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金押出形材 鋼板類の厚さ ※図示 (図示がない場合は表16.5.1による) (16.5.4) 標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法 (表16.4.5による) (16.5.6) ・適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による
左官工事		7 ロックウール吹付け	ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (15.12.2) ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの 仕上げ吹付け厚さ (mm) ・ 図示 (15.12.3)	8 ステンレス製建具	耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ S- A- W- (16.6.2) ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 (16.2.2) 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 適用箇所 ※図示 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3. (1)) 表面仕上げ ※HL ※鏡面仕上げ (16.6.4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (・a角 ・ b角 ・ c角) (16.6.5) 製造所 評価名簿による
① モルタル塗り	モルタル ※現場調合材料 ・ 既調合材料 () (15.3.2) 既製目地材 ・ 適用する (形状: ※図示) (15.3.2) 床の目地 ・ 適用する (目地割り ※2㎡程度 最大目地間隔3m程度) (15.3.5) 種類 ※押し目地 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※行う ・ 行わない (15.3.5)	7 器具工事		9 木製建具	建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 (16.7.2) (表16.7.1) ○フラッシュ戸 (16.7.2) (表16.7.2) 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※16.7.2(2)(4)(a~c)による 表面板の厚さ ※表16.7.6による ・かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () 見込み寸法(mm) ※図示 (図示がない場合は表16.7.7による) (16.7.3) (表16.7.7) ・ふすま 種別 ※I型 ・ II型 (16.7.2) (表16.7.3) 上張りの種類 ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子 ※ビニル紙 ・ 雲花紙(押入等の裏側) 見込み寸法(mm) ※図示 (図示がない場合は表16.7.7による) (16.7.3) (表16.7.7) 縁の仕上げ ※塗り縁 ・ 生地縁(素地) ・ 生地縁(クレンクリヤー塗装) (表16.7.10) ・戸ぶすまの見込み寸法(mm) ※図示 (図示がない場合は表16.7.7による) (16.7.3) (表16.7.7) 上張りの種類 ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子 ※ビニル紙 ・ 雲花紙(押入等の裏側) ・紙張り障子の見込み寸法(mm) ※図示 (図示がない場合は表16.7.7による) (16.7.3) (表16.7.7) 枠、くつずりの材料 ※図示 (16.7.2) 接着剤の材料 ※16.7.2(7)による (16.7.2) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
2 ラス系下地 (木下地の内外壁)	ラス系下地の種類 (15.2.4) ・二層下地通気工法 (材料: ※波型ラス(W700)) 換気口部の措置 ※公共建築木造工事標準仕様書11.4.3(2)(f)による ・単層下地通気工法 (材料: ※リプラスC(RC800)に裏打ち材と一体化したラス) ・ラスモルタル下地直張り工法 ・ラスシートモルタル下地直張り工法	1 防火戸	防火戸の指定及び運動装置等 ※図示 (16.1.3)	⑩ 建具用金物	種類及び見え掛り部分の材質 ※表16.8.1による ○図示 (16.8.2) 金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表16.8.2による ・図示 樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表16.8.3による ・図示 木製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表16.8.4による ・図示 木製建具の戸車及びレール ※表16.8.5による ○図示 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※図示
③ 仕上塗材仕上げ	薄付け仕上塗材 (15.6.2) (表15.6.1) 呼び名 仕上りの形状 工法 備考 ・外装薄塗材Si ・砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ロー塗り ・可とう形外装薄塗材Si ・砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ロー塗り ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ロー塗り ・ 着色骨材砂壁状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・ ゆず肌状 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ロー塗り ・ 防水形外装薄塗材E ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ロー塗り ・ 凹凸状 吹付け ・ 適用する ・外装薄塗材S ・砂壁状 吹付け ・内装薄塗材C ・凹凸状 吹付け ・内装薄塗材L ・平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ロー塗り ・内装薄塗材Si ・砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 吹付け ・内装薄塗材E ・平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ロー塗り ・内装薄塗材W ・京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り	2 建具見本の製作	※製作しない ・ 製作する (16.1.4)	⑪ 鍵	マスターキーの製作(対応) ○製作する (○新規 ・ 既存合わせ) (16.8.4) ・ 製作しない(※既存マスターキーに合わせる ・ 合わせない) 鍵の製作本数 ※3本1組 製造所 評価名簿による (評価名簿に記載のないものは図示による)
	厚付け仕上塗材 呼び名 仕上りの形状 工法 備考 ・外装厚塗材C ・吹放し ・ 凸部処理 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ひき起こし ・ かき落とし ・外装厚塗材Si ・吹放し ・ 凸部処理 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ こて塗り ・ ひき起こし ・ ロー塗り ・内装厚塗材C ・吹放し ・ 凸部処理 吹付け ・ 平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ひき起こし ・ かき落とし ・ 平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ひき起こし ・ かき落とし ・内装厚塗材L ・平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ひき起こし ・ かき落とし ・内装厚塗材G ・平たん状 ・ 凹凸状 こて塗り ・ ひき起こし ・ かき落とし ・内装厚塗材Si ・吹放し ・ 凸部処理 吹付け ・内装厚塗材E ・平たん状 ・ 凹凸状 ・ こて塗り ・ ひき起こし ・ ロー塗り	3 防犯建物部品	適用箇所: ※図示 (16.1.6)	12 自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置 (16.9.2) (表16.9.1) 性能値 ※表16.9.1による 種類 ※SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 バリアフリートイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置 (16.9.2) (表16.9.2) 性能値 ※表16.9.2による バリアフリートイレスイッチの開閉スイッチ ※押しボタン ・ 非接触 (16.9.3) (表16.9.4) 戸の開閉方式 ・ 図示 ・ 片引き ・ 引分け ・ 片開き (16.9.3) 引き戸用検出装置 (16.9.2) (16.9.3) (表16.9.3) 性能値 ※表16.9.3による 種類 ・ 光線(反射)スイッチ ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ 押しボタンスイッチ ・ タッチスイッチ (・無線式 ・ 光電式) 防錆 ・ 適用する (塩害のおそれのある場合) ※適用しない 凍結防止措置 ・ 行う 製造所 評価名簿による
	複層仕上塗材 呼び名 仕上りの形状 工法 備考 ・複層塗材CE ○ゆず肌状 ロー塗り ・複層塗材RE ※耐候形3種 ・複層塗材Si 凸部処理 ・ 凹凸状 吹付け ・複層塗材E 上塗材の種類 (表15.6.2) ・可とう形複層塗材CE ・ ゆず肌状 ロー塗り ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 吹付け ※水系771μつやあり (表15.6.2) ・ 防水形複層塗材CE ・ ゆず肌状 ロー塗り ・ 防水形複層塗材RE ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 吹付け ・ 防水形複層塗材E ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 吹付け 増塗材 ・ 適用する	4 アルミニウム製建具	外部に面する建具の性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) (16.2.2) (表14.2.1) (表16.2.1) (表16.2.2) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 備考 ・ A種 S-4 ※ B種 S-5 A-3 W-4 ・ C種 S-6 A-4 W-5 外部に面する建具の性能等級(木下地) (16.2.2) (表16.2.1) (表16.2.2) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 備考 ・ D種 S-2 ○ E種 S-3 A-3 W-3 ※図示 ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 (16.2.2) 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5 適用箇所 ※図示 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.2.3) (16.6.3) 網戸等 (16.2.3) 種類 材質 線径 網目 適用箇所 ○防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製(SUS316) ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ ※図示 ・防鳥網 ※ステンレス(SUS304)線材 ※1.5mm ※網目寸法15mm ※図示 外部に面する建具 表面処理の種類 ※BB-1種 ・ BB-2種 (16.2.4) (表14.2.1) 色合い等 ※標準色 () ・ 特注色 () 屋内に使用する建具 表面処理の種類 ※BC-1種 ・ BC-2種 (16.2.4) (表14.2.1) 色合い等 ※標準色 () ・ 特注色 () 結露水の処理方法 ※製造所の仕様による ・ 図示 (16.2.4) 水切り板、ぜん板 ※製造所の仕様による ・ 図示 (16.2.5) 製造所 評価名簿による	13 自閉式上り引戸装置	性能 ※表16.10.1による (16.10.3) (表16.10.1) 製造所 評価名簿による
	軽量骨材仕上塗材 呼び名 仕上りの形状 工法 備考 ・吹付け用軽量塗材 ・砂壁状 吹付け ・こて塗用軽量塗材 ・平たん状 こて塗り	5 樹脂製建具	外部に面する樹脂製建具の性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) (16.3.2) (表16.3.1) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 備考 ・ A種 S-4 ※ B種 S-5 A-4 W-4 ・ C種 S-6 W-5 外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地) (16.3.2) (表16.3.2) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 備考 ・ D種 S-2 ・ E種 S-3 A-4 W-3 ※図示 ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 (16.3.2) (表16.3.2) 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 (16.3.2) (表16.3.3) 適用箇所 ※図示 外部に面する建具の日射取得性の等級 ・ N1 ・ N2 ・ N3 (16.3.2) 網戸等 (16.2.3) (16.3.3) 種類 材質 線径 網目 適用箇所 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製(SUS316) ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ ※図示 ・防鳥網 ※ステンレス(SUS304)線材 ※1.5mm ※網目寸法15mm ※図示 外部に面する建具の日射取得性の等級 ・ ※図示 ガラス ・ 複層ガラス ・ 単板ガラス 表面色 ※標準色 ・ 特注色 () 水切り板、ぜん板 ※製造所の仕様による ・ 図示 製作所 評価名簿による	14 重量シャッター	シャッターの種類 (16.11.2) (表16.11.2) ・管理用シャッター 耐風圧強度 (N/m2) ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 (N/m2) ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・ 手動 (16.11.2) (表16.11.1) 急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所 ※図示 障害物感知装置の設置箇所 ※図示 危害防止機構の設置箇所 ※図示 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける (16.11.2) スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3) 鋼板の種類 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3. (1)) 製造所 評価名簿による
4 マスチック塗材塗り	種類 ・ A種 ・ B種 (15.7.2) (表15.7.1)	6 鋼製建具	簡易気密型ドアセット ・ 適用する (16.4.2) (表16.4.1) 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 (16.4.2) (表16.2.1) ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 (16.2.2) 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 適用箇所 ※図示 鋼板類の厚さ ※図示 (図示がない場合は表16.4.2による) (16.4.4) ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3) 点検口類のくつずりの材料 (16.4.3) 標準型鋼製建具の有効内法寸法 (表16.4.5による) (16.4.6) ・適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による	15 軽量シャッター	開閉形式 ・ 電動式(手動併用) ※手動 (16.12.2) (表16.12.1) 耐風圧強度 (N/m2) 電動シャッターに設ける自動的に停止する機能を有する障害物感知装置の設置箇所 ※図示 スラットの材質の種類 (16.12.3) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※ Z06又はF06を満足するもの ・ JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※ A290を満足するもの スラットの種類 ・ インターロック形 製造所 評価名簿による (16.12.4)
5 しっくい塗り	下地 (15.10.1) ・木張り下地 (調合及び各層の塗厚: ※表15.10.3による) ・こまい土壁下地 (調合及び各層の塗厚: ※表15.10.4による) ・せつこうラスボード (調合及び各層の塗厚:) ・せつこうボード (調合及び各層の塗厚:) 材料 (15.10.2) ・15.10.2(1)(f)、(h)による 色しっくい ・ 適用する 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 (15.10.4) (表15.10.5) ・なで切り仕上げ ・ パターン仕上げ				

東石立町市営住宅集会所新築工事

(株) THINK 建築設計事務所

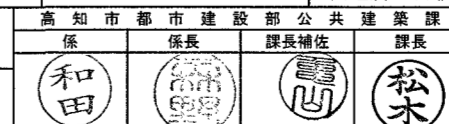
高知市葛島1-9-24 T' s 2F TEL 088-885-4400

一級建築士事務所

登録(知事)第487号

代表 山本 義夫

一級建築士 第176481号



木造特記仕様書 (7)

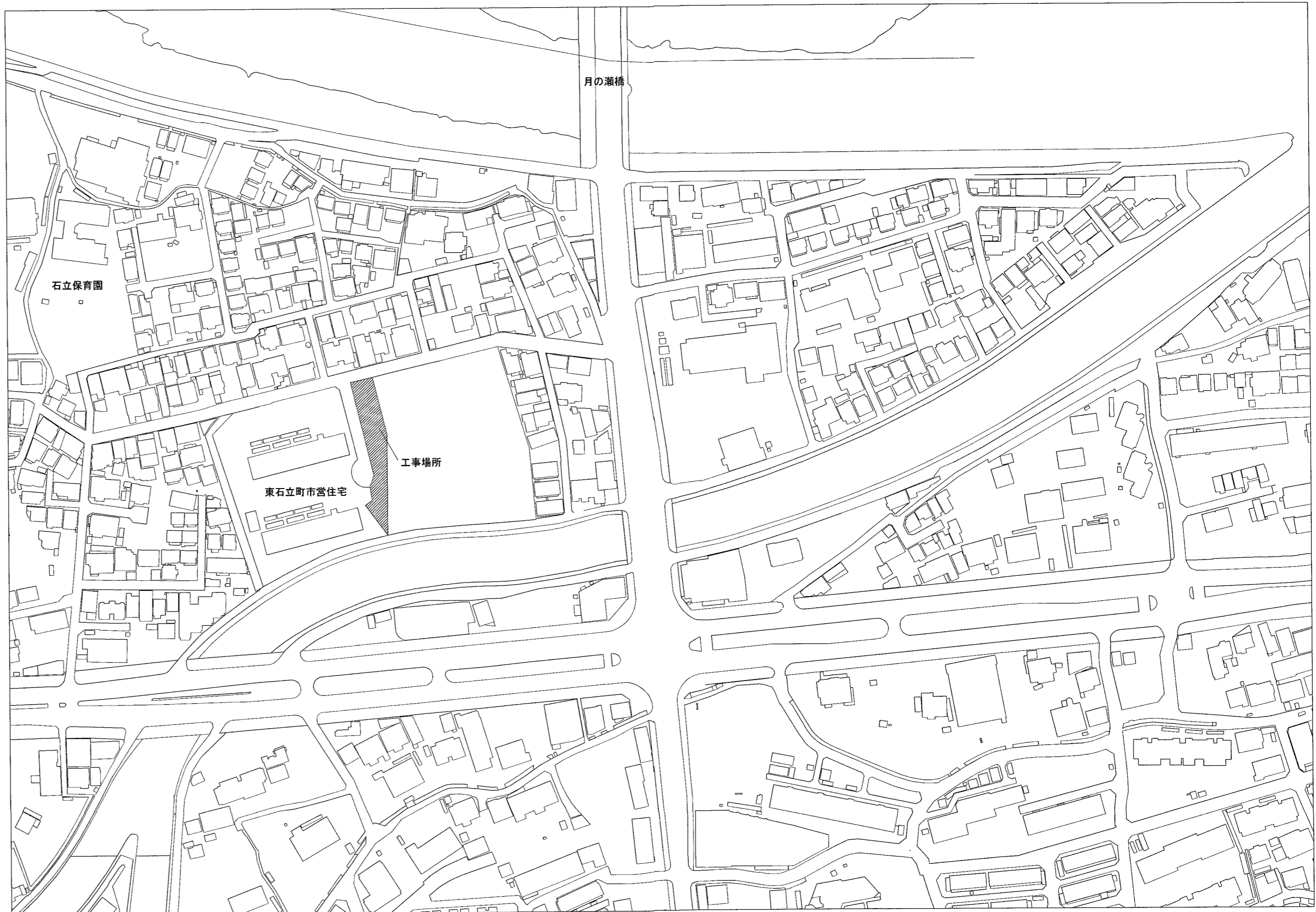
A - 07

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
16 オーバーヘッドドア	(16.13.2~16.13.3) セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 耐風圧性能区分 ※ スチールタイプ ※ アルミニウムタイプ ※ ファイバーグラスタイプ ※ バランス式 ※ チェーン式 ※ 電動式 ※ スタンダード形 ※ ローヘッド形 ※ ハイリフト形 ※ パーチャル形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ ステンレス鋼板 ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所 ※図示 製造所 評価名簿による	④ 塗装の略号及び塗り種別等	(18.4.1~18.14.2)(表18.4.1~表18.14.1) 略号 塗装 種別 ・ SOP 合成樹脂調合ペイント塗り 木部 屋外 ※A種 ・ B種 屋内 ※A種 ※B種 鉄鋼面 ※A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面 表18.4.3による ・ CL クリヤラッカー塗り ※A種 ※B種 ・ NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り ※A種 ※B種 ・ DP 耐候性塗料塗り 鉄鋼面 上塗り塗料等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り モルタル・プラスター面 ※A種 ※B種 ボード面 ※A種 ※B種 木部 表18.8.2による 屋内の鉄鋼面 ※A種 ※B種 屋内の亜鉛めっき鋼面 表18.8.4による ・ EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り ※A種 ※B種 ・ UC ウレタン樹脂ワニス塗り ・ 貯け塗り ビグメントステイン塗り ・ OS オイルステイン塗り ・ WP 木材保護塗料塗り ※A種 ※B種 塗料の種類等 CI塗りの種別がA種の場合における着色塗料の種類 (表18.5.2) UC塗りの着色工程の適用 ※適用しない ・ 適用する (表18.10.1) OS塗りの仕様 ※図示 (表18.11.2)	⑧ フローリング張り	(19.5.2~19.5.5)(表19.5.1~表19.5.6) 単層フローリング 種類 工法 厚さ(mm) 樹種 備考 ○ フローリングボード1等 ○釘留め工法(根太張り) ※15 ※なら ○ 桧 幅100、本実 ・ 釘留め工法(直張り) ・12 ・ 接着工法 ・8 ・ フローリングブロック1等 ・ 接着工法 ※15 ※なら ・ 接着工法 フローリングボードの幅及び長さ ※表19.5.1、表19.5.3、表19.5.5による フローリングブロックの大きさ ・300×300 ・303×303 複合フローリング 工法 種別 厚さ(mm) 樹種 備考 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ A種 ※12 ※なら ・ 釘留め工法(直張り) ・ B種 ・15 ・ 接着工法 ※C種 (ひき板の厚さ) ・ 3mm以上 ※表19.5.4 フローリングの大きさ ※表19.5.2、表19.5.4、表19.5.6による 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート (19.5.5) 塗装 ・ 工場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ A種 ※B種 ○ 現場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ A種 ※B種 ・ オイルステイン塗りのうエワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り (自然塗料) 複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの (19.5.2) 種別 ※D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ※KT-III ・ KT-K ・ KT-N) (19.6.2)(表19.6.1) ・ 衝撃緩和型量 量表 ・ C1 ・ C2 材料 (19.7.2)(表19.7.1) 種類 JISの記号 厚さ(mm) 規格等 ・ 硬質木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 普通木毛セメント板 NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 硬質木片セメント板 HF ・ 12 ・ 16 ・ 18 ・ 21 ・ 普通木片セメント板 NF ・ 30 ○ けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK タイプ2(無石綿) ○6 ・ 8 ・ 化粧けい酸カルシウム板 ・ 6 ・ ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ(※9(準不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ(※12(不燃) ・ 15 ・) ・ ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・ グラスウール吸音ボード2号2K GW-B ※25(ガラスクロス包) ○ せっこうボード GB-R ※12.5(不燃) ・ 15(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5(不燃) ・ 化粧無(下地張り用) ・ 化粧無(トラバチン模様) ・ 化粧有(トラバチン模様) ・ シーリングせっこうボード GB-S ※12.5(不燃) ・ 15(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 強化せっこうボード GB-F ・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃) ・ せっこうラスボード GB-L ・ 9.5 ・ 12.5 ・ 化粧せっこうボード(トラバチン模様) GB-D ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 化粧せっこうボード(木目) GB-D ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 模様() ○ 化粧スラゲせっこうボード ○8.0(不燃) ○ 普通合板 表板の樹種名 ※図示 板面の品質 (2等以上) 厚さ(mm) (12.0、5.5) 接着の程度 ○1類 ・ 2類 ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理 ・ コンクリート型枠用合板 厚さ(mm) () ・ 構造用合板 厚さ(mm) () ・ 天然木化粧合板 化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) () ・ 防虫処理 ・ 特殊加工化粧合板 表面性能 ・ F ・ FW ・ W ・ SW (・ メラミン化粧合板) 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 厚さ(mm) (・ ポリエステル化粧合板) (・ プリント合板) ・ ミディアムデンシティファイバーボード MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 単板張りパーティクルボード ・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 化粧パーティクルボード ・ 塗装 ・ 単層オーバーレイ ・ 塗装 ・ プラスチックオーバーレイ ・ 10(難燃) ・ 12(難燃) ・ ハードボード(実地) HB ・ 無研磨板(・ スタンダード ・ テンパード) ・ 研磨板(・ スタンダード ・ テンパード) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ ハードボード(化粧) ・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ インジュレーションボード A級(・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 せっこうボードの目地処理の種類 (19.7.3)(表19.7.5) 目地工法の種類 せっこうボードのエッジの種類 継目処理工法 ・ テーパーエッジ ※ベベルエッジ 突付け工法 ※ベベルエッジ ・ スクエアエッジ 目透し工法 ※スクエアエッジ ・ ベベルエッジ 合板類の張付け ・ A種 ※B種 (19.7.3)(表19.7.3) パーティクルボード、MDF及び合板のホルムアルデヒド放散量 (19.7.2) ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの 遮音壁に用いるシール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (19.7.2) 壁紙 (19.8.2) 種類 程度 防火性能 施工箇所 ※塩化ビニル樹脂系 標準品 ・ 不燃 ○準不燃 ・ 難燃 図示 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.4) コンクリート面及びALC面 ・ A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.5) せっこうボード及びその他のボード面 ・ A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.7) 壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ (19.8.2)
17 ガラス	(16.14.2) ガラスの種類及び厚さ 概要 ・ 熱線吸収ガラス(グリーン) ※図示(製作所は評価名簿による) ※ その他のガラス ※図示 ガラスの大きさ ※製造所の仕様による (16.14.3)	① ビニル床シート張り	(19.2.2~19.2.3) 種類の記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所 備考 ※FS ※無地 ※2.0 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 物置 標準品 ・ マーブ柄 ・ 防滑性 ○抗菌 給湯室 ※FS ※無地 ※2.0 ・ 消臭 ・ 耐動荷重性 WC 乾式トイレ用ビニル床シート ・ マーブ柄 ・ 防滑性 ○抗菌 公表価格5,000円/m程度 接合部の処理 ※熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所) 帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10 ⁷ ~10 ¹⁰ Ω程度	9 畳敷き	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り
18 ガラス留め材	(16.14.2) 種別 建具の種類 材質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・ ガasket ・ グレージングチャンネル形 樹脂製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・ ガasket ・ グレージングビード 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ ガasket ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ・ ガasket ※建具の製造所の仕様による 木製 ※シーリング材 ・ 押縁留め シーリング材 ※SR-I (表9.7.1)	② ビニル床タイル張り	(19.2.2) 種類の記号 色柄 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所 ※KT ※無地 ※300×300 ※2.0 ・ 帯電防止 ・ 防滑性 ・ T ・ FT ・ 柄物 ・ 2.0 ・ 帯電防止 ・ 防滑性 ・ FOA ・ FOB ・ 帯電防止 ・ 防滑性 帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10 ⁷ ~10 ¹⁰ Ω程度	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り
19 ガラスブロック積み	(16.14.5) ガラスブロック材料 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 防火性能 壁用金属枠及び補強材 ・ 図示 ・ ステンレス(SUS304) ・ アルミニウム 力骨 材質 寸法 形状 ※ ステンレス鋼(SUS304) ※径5.5mm ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色(金属製化粧カバー) 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示 目地幅の寸法及び伸縮調整目地の位置 ※図示	③ 誘導用床材及び警告用床材	(19.2.2) 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考 ・ レジコンクリート系 ※300×300 ※30 ※JIS T 9251適合品 ○ タイル系 ・ 60 ・ 塩化ビニル系 ※300×300 ※図示	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り
20 建築窓ガラス用フィルム	名称 種類、記号 ※ ガラス飛散防止フィルム ※GI-1、GD-1 ・ GI-2、GD-2 品質 JIS A 5759による	④ ビニル幅木	(19.2.2) 材種 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考 ※軟質 ・ 硬質 ※1.5 ・ ※60 ○75 ○300	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り
塗装工事	① 材料 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする。 (18.1.3) 防火材料 ・ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする (18.1.3) ・ 次の箇所を除き、防火材料とする (箇所) ② 素地ごしらえ (18.2.2~18.2.7)(表18.2.1~表18.2.7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗り ※A種 ・ B種 透明塗料塗り ・ A種 ※B種 鉄鋼面 耐候性塗料塗り(DP)の場合 ・ A種 ※B種 ・ C種 上記以外の場合 ・ A種 ・ B種 ※C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 モルタル面及びびせっこうプラスター面 ・ A種 ※B種 コンクリート・ALCパネル面(DPを除く) ・ A種 ※B種 コンクリート(DP)・押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 せっこうボード面(継目処理工法) ※A種 ・ B種 せっこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面 ・ A種 ※B種	⑤ ゴム床タイル張り	(19.2.2) 色柄 種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 備考 ・ 単層 ・ 複層 ・ 3.0 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 9.0	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り
3 錆止め塗料塗り	(18.3.2~18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4) 下地面等 錆止め塗料の種類 工程の種別 鉄鋼面 見え掛り部分 SOP A種 ※A種 ・ B種 DP 1回目 C種 表18.3.4による 2、3回目 D種 EP-G ・ A種 ※B種 ※A種 ・ B種 見え隠れ部分 SOP A種 ※A種 ※B種 DP 1回目 C種 表18.3.4による 2、3回目 D種 EP-G ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種 鋼製建具等 SOP ※A種 ・ B種 ※A種 ・ B種 DP B種 表18.3.6による EP-G C種 ※A種 ・ B種 亜鉛めっき鋼面 SOP ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種 DP B種 表18.3.6による EP-G C種 ・ A種 ※B種	⑥ カーペット敷き	(19.3.2)(表19.3.1) 織り方 バイル形状 帯電性 品質(公表単価(円/m ²)) ・ ウィルトカーペット ・ カットバイル ・ 人体帯電圧 3kV以下 ・ グラフエスカーペット ・ ループバイル ・ フェシスカカーペット ・ カット、ループ併用 色柄、バイル系の種類 ※模様のない無地のもの 種別(・A種 ・ B種 ・ C種) (19.3.1) ・ タフテッドカーペット (19.3.2~19.3.3)(表19.3.2) バイル形状 バイル長 工法 帯電性 品質(公表単価(円/m ²)) ・ カットバイル ・ ※全面接着工法 ・ 人体帯電圧 3kV以下 ・ ループバイル ・ グリッパー工法 ・ レベルループバイル ・ カット、ループ併用 ・ タイルカーペット (19.3.3) 種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質(公表単価(円/m ²)) ※第一種 ・ カットバイル ※ループバイル ※500×500 ※6.5 ※第二種 ・ カットバイル、ループ併用 ・ ※7.0 タイルカーペットの敷き方 平場部分 ※市松敷き ・ 模様流し (19.3.3) 階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き 下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)に基づく第2種2号、呼び厚さ8.0mm (19.3.2) 取付け用付属品 (19.3.3) 見切り ※ (材質 種類 形状) ・ 図示 押え金物 ※ (材質 種類 形状) ・ 図示	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り
		⑦ 合成樹脂塗床	(19.4.2~3)(表19.4.4~8) 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 厚膜型塗床材 ※図示 ※平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ 弾性軟質樹脂系塗床材 ・ ・ つや消し仕上げ ・ 厚膜型塗床材 ※図示 ・ 薄膜流しのべ工法 ・ 平滑仕上げ エポキシ樹脂系塗床材 ・ ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 防汚仕上げ ・ 薄膜型塗床材 ※図示 ※平滑仕上げ 塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2) ※F☆☆☆☆	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り	10 せっこうボード、その他のボード及び合板張り
東石立町市営住宅集会所新築工事	(株) THINK 建築設計事務所 高知市葛島1-9-24 T' 2F TEL 088-885-4400	一級建築士事務所 代表 山本 義夫 登録(知事)第487号	一級建築士事務所 代表 山本 義夫 一級建築士 第176481号	高知市都市建設部公共建築課 保 係長 課長補佐 課長 木造特記仕様書(8) A-08	

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																									
12 吸音材	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)</td> <td>ロックウール吸音ボード1号60K</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)</td> <td>吸音用グラスウールボード2号32K</td> <td>・ 25</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの</p>	材種	種類	厚さ(mm)	・ ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)	ロックウール吸音ボード1号60K	・ 25	・ グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)	吸音用グラスウールボード2号32K	・ 25	③ サイディング工事	<p>窯業系サイディング (JIS A 5422) (20.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>働き長さ</th> <th>働き幅</th> <th>厚さ</th> <th>表面仕上げ</th> <th>耐凍害性能</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>現場塗装用</td> <td>重ねしる有り</td> <td>3030</td> <td>910</td> <td>14</td> <td>無塗装(シーラ塗布)</td> <td></td> <td>防火構造</td> </tr> </table> <p>通気胴縁の樹種: ※ 杉 防腐処理: ※ 行う 張り方: ※ 縦張り工法 建具上部の雨水排出路 ※ 設ける (位置: ※ 図示) ・ 設けない 現場塗装用サイディングの現場塗装 下地処理及び仕上げ ※ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 図示 ・ 幅10mm以下、深さ5mm以上 複合金属サイディング (JIS A 6711) (20.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>有効幅</th> <th>長さ</th> <th>厚さ</th> <th>表面材</th> <th>心材の種類</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>通気胴縁の樹種: ※ 杉 防腐処理: ※ 行う 張り方: ※ 縦張り工法 換気口部の防水措置 ※ 20.3.2.(3),(4),(5),(6)及び③による 換気口、接続パイプ ※ 接続パイプJIS K 6741 (硬質ポリ塩化ビニル管) パイプ受け ※ 接続パイプ適合品とした既製品</p> <p>④ 手すり ⑤ 天井見切縁 ⑥ 点検口</p> <p>⑦ ステンレス流し台 ⑧ コンロ台 ⑨ 吊戸棚 ⑩ レンジフード ⑪ 水切り棚 ⑫ フェンス</p> <p>⑬ 車止め支柱</p>	種類	形状	働き長さ	働き幅	厚さ	表面仕上げ	耐凍害性能	防火性能	現場塗装用	重ねしる有り	3030	910	14	無塗装(シーラ塗布)		防火構造	種類	形状	有効幅	長さ	厚さ	表面材	心材の種類	防火性能									舗装工事	<p>① 路床</p> <p>路床の材料 (22.2.2~22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ 砂(75μmふるい通過量が6%以下)</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table> <p>・ 路床安定処理 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 消石灰(・特号・1号) 添加量を定めるために用いるCBR()</p> <p>試験 路床土の支持力(CBR)試験 ※ 行わない ・ 行う (22.2.5) 路床締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う (22.2.5) 現場CBR試験 ※ 行わない ・ 行う (22.2.5)</p> <p>② 路盤</p> <p>路盤の厚さ ※ 図示 (22.3.2) 路盤材料 ・ クラッシュラン ※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ・ 粒度調整砕石 ・ 再生粒度調整砕石 ・ 粒度調整鉄鋼スラグ (22.3.3)(表22.3.1)</p> <p>③ アスファルト舗装</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 (22.4.2) 材料 アスファルト ※ 再生アスファルト (種類 ※ 60~80 ・ 80~100) (22.4.3) ・ ストレートアスファルト 骨材 ※ 再生アスファルトコンクリート再生骨材 (22.4.3) ・ 道路用砕石 ※ アスファルトコンクリート再生骨材 (22.4.4)(表22.4.4) 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>混合物の種類</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> </table> <p>シールコート ※ 行う ※ 行わない (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行う ※ 行わない (22.4.6) 舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.4.2)</p> <p>④ コンクリート舗装</p> <p>コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ コンクリート舗装</td> <td>・ 車路及び駐車場 ・ 歩行者用通路</td> <td>※ 150 ※ 70</td> </tr> </table> <p>コンクリート舗装に使用するコンクリート (22.5.3)(表22.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>所定のスランプ(cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 車路及び駐車場</td> <td>※ 24</td> <td>※ 8</td> <td>・ 25 ・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ 歩行者用通路</td> <td>※ 18</td> <td>※ 8</td> <td>・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 歩行者用通路</td> <td></td> <td></td> <td>・ 25 ・ 30</td> </tr> </table> <p>早強セメント ※ 使用する ※ 使用しない (22.5.3) 注入目地材料の種類 ※ 低弾性タイプ ※ 高弾性タイプ (22.5.2) 目地の種類 ※ 表22.5.3による ※ 図示 (22.5.4) 目地の構造 ※ 図22.5.1による ※ 図示 (22.5.4)</p> <p>⑤ カラー舗装 (22.6.2)(表22.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>着色部の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>加熱系 ・ ※ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系 ・ ニート工法 ・ 塗布工法</td> <td>車路及び歩行者用通路</td> <td>・ 3~5 ・ 1程度以下</td> </tr> </table> <p>加熱系混合物に添加する材料 ・ 着色骨材(材質:) ・ 自然石(材質:) (22.6.3) 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料の添加量 (22.6.4) ニート工法及び塗布工法の配合等 (22.6.4)</p> <p>⑥ 透水性アスファルト舗装</p> <p>舗装の構成(歩行者用通路) ※ 図示 (22.7.2) 舗装の構成(車路) ※ 図示 (22.7.2) 舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの (22.7.2) アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない (22.4.6)(22.7.6)</p> <p>⑦ ブロック舗装</p> <p>仕上がり面の平坦性 ※ 22.8.2(2)による (22.8.2) ・ コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> <th>表面加工</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 普通平板(N)</td> <td>※ 300角</td> <td>・ 30</td> <td>※ 砂</td> <td>・ 研ぎ出し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 透水性平板(P)</td> <td>・ 400角</td> <td>・ 60</td> <td>・ モルタル</td> <td>・ 洗い出し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 保水性平板(M)</td> <td>・ 450角</td> <td>・ 80</td> <td></td> <td>・ たたき出し</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>曲げ強度(N/mm²)</th> <th>品質(色、表面加工)</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック(N)</td> <td>車路 ※ 80</td> <td>・ ※ 5.0</td> <td>※ 標準色</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック(P)</td> <td>歩行者用通路 ※ 60</td> <td>・ ※ 3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧ 砂利敷き</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>通路</th> <th>種別</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建物周囲その他</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> </table> <p>(22.9.2)(表22.9.1)</p> <p>⑨ ライン引き</p> <p>種別 溶解式 t=1.5</p> <p>植栽及び屋上緑化工事</p> <p>① 植栽地の確認</p> <p>土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ※ 行わない ・ 行う (23.1.3) 電気伝導度(EC)試験 ※ 行わない ・ 行う (23.1.3)</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	※ 図示	・ フィルター層	・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ 砂(75μmふるい通過量が6%以下)	※ 図示	部位	混合物の種類	表層	・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)	舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)	・ コンクリート舗装	・ 車路及び駐車場 ・ 歩行者用通路	※ 150 ※ 70	部位	設計基準強度(N/mm ²)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)	・ 車路及び駐車場	※ 24	※ 8	・ 25 ・ 40	・ 歩行者用通路	※ 18	※ 8	・ 20 ・ 25	・ 歩行者用通路			・ 25 ・ 30	舗装の種類	部位	着色部の厚さ(mm)	加熱系 ・ ※ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物			常温系 ・ ニート工法 ・ 塗布工法	車路及び歩行者用通路	・ 3~5 ・ 1程度以下	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工	備考	※ 普通平板(N)	※ 300角	・ 30	※ 砂	・ 研ぎ出し		・ 透水性平板(P)	・ 400角	・ 60	・ モルタル	・ 洗い出し		・ 保水性平板(M)	・ 450角	・ 80		・ たたき出し		種類	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	品質(色、表面加工)	※ 普通ブロック(N)	車路 ※ 80	・ ※ 5.0	※ 標準色	・ 透水性ブロック(P)	歩行者用通路 ※ 60	・ ※ 3.0	・	・ 保水性ブロック(M)				種別	通路	種別	種別		※ A種 ・ B種	※ A種	※ B種		建物周囲その他	※ A種	※ B種
材種	種類	厚さ(mm)																																																																																																																																												
・ ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)	ロックウール吸音ボード1号60K	・ 25																																																																																																																																												
・ グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)	吸音用グラスウールボード2号32K	・ 25																																																																																																																																												
種類	形状	働き長さ	働き幅	厚さ	表面仕上げ	耐凍害性能	防火性能																																																																																																																																							
現場塗装用	重ねしる有り	3030	910	14	無塗装(シーラ塗布)		防火構造																																																																																																																																							
種類	形状	有効幅	長さ	厚さ	表面材	心材の種類	防火性能																																																																																																																																							
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																												
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	※ 図示																																																																																																																																												
・ フィルター層	・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ 砂(75μmふるい通過量が6%以下)	※ 図示																																																																																																																																												
部位	混合物の種類																																																																																																																																													
表層	・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																																													
舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)																																																																																																																																												
・ コンクリート舗装	・ 車路及び駐車場 ・ 歩行者用通路	※ 150 ※ 70																																																																																																																																												
部位	設計基準強度(N/mm ²)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)																																																																																																																																											
・ 車路及び駐車場	※ 24	※ 8	・ 25 ・ 40																																																																																																																																											
・ 歩行者用通路	※ 18	※ 8	・ 20 ・ 25																																																																																																																																											
・ 歩行者用通路			・ 25 ・ 30																																																																																																																																											
舗装の種類	部位	着色部の厚さ(mm)																																																																																																																																												
加熱系 ・ ※ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物																																																																																																																																														
常温系 ・ ニート工法 ・ 塗布工法	車路及び歩行者用通路	・ 3~5 ・ 1程度以下																																																																																																																																												
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工	備考																																																																																																																																									
※ 普通平板(N)	※ 300角	・ 30	※ 砂	・ 研ぎ出し																																																																																																																																										
・ 透水性平板(P)	・ 400角	・ 60	・ モルタル	・ 洗い出し																																																																																																																																										
・ 保水性平板(M)	・ 450角	・ 80		・ たたき出し																																																																																																																																										
種類	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	品質(色、表面加工)																																																																																																																																											
※ 普通ブロック(N)	車路 ※ 80	・ ※ 5.0	※ 標準色																																																																																																																																											
・ 透水性ブロック(P)	歩行者用通路 ※ 60	・ ※ 3.0	・																																																																																																																																											
・ 保水性ブロック(M)																																																																																																																																														
種別	通路	種別	種別																																																																																																																																											
	※ A種 ・ B種	※ A種	※ B種																																																																																																																																											
	建物周囲その他	※ A種	※ B種																																																																																																																																											
⑬ 接着剤	<p>壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木、フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p>	④ 手すり	<p>⑤ 天井見切縁</p>	⑥ 点検口	<p>⑦ ステンレス流し台</p>	⑧ コンロ台	⑨ 吊戸棚	⑩ レンジフード	⑪ 水切り棚	⑫ フェンス	⑬ 車止め支柱																																																																																																																																			
⑭ 腰壁シート	<p>腰壁用塩ビシート: 抗菌・抗ウイルス・防カビ・消臭 ※ F☆☆☆☆</p>	④ 手すり	⑤ 天井見切縁	⑥ 点検口	⑦ ステンレス流し台	⑧ コンロ台	⑨ 吊戸棚	⑩ レンジフード	⑪ 水切り棚	⑫ フェンス	⑬ 車止め支柱																																																																																																																																			
断熱・防露、ユニット及びその他工事	<p>① 断熱・防露</p> <p><断熱材選定> 図中の表記にかかわらず、設計熱抵抗値以上となる断熱材仕様および使用量であれば使用できる。ただし、かべは防火構造に適合するものに限る。</p> <p>壁、天井: 熱抵抗m²K/W=断熱材厚(m)÷熱伝導率(W/mK)(選定断熱材) ≥ 設計熱抵抗(2.63)m²K/W 床: 熱抵抗m²K/W=断熱材厚(m)÷熱伝導率(W/mK)(選定断熱材) ≥ 設計熱抵抗(1.47)m²K/W</p> <p>断熱材 (20.2.2)(20.2.3)(表20.1.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>断熱材の種類</th> <th>材料名</th> <th>厚さ、数</th> <th>施工部位</th> <th>防湿材</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">フェルト状断熱材</td> <td>○ グラスウール</td> <td></td> <td>・ 100</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール</td> <td></td> <td>24kg/m³</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 設ける</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ボード状断熱材</td> <td>○ グラスウール</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>○ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td>○ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ばら状断熱材</td> <td>・ ポリエチレンフォーム</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ インシュレーションファイバー</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 床</td> <td>※ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 製造所仕様</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">現場発泡断熱材</td> <td>・ ロックウール</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 製造所仕様</td> </tr> <tr> <td>・ セルローズファイバー</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 製造所仕様</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示 ・ 壁、天井</td> <td>※ 製造所仕様</td> </tr> </table> <p>開口部を断熱構造とする部位 ※ 図示</p> <p>防湿材 厚さ(mm) ※ 図示 (20.2.2) ※ JIS A 6930(住宅用プラスチック系防湿フィルム)によるもの ・ JIS Z 1702(包装用ポリエチレンフィルム)によるもので、厚さ0.05mm以上のもの ・ JIS K 6781(農業用ポリエチレンフィルム)によるもので、厚さ0.05mm以上のもの</p> <p>気密材 厚さ(mm) ※ 図示 (20.2.2) ・ JIS A 6930によるもの ○ JIS A 6111(透湿防水シート)によるもの ○ 「日本農林規格」による合板及び構造用パネル並びにJIS A 6901(せつこうボード)によるもの ○ JIS A 9521(発泡プラスチック保湿材)及びJIS A 9526(建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム)によるもの ○ 乾燥木材(含水率20%以下)等 ・ 金属部材 ・ コンクリート部材</p> <p>防風材 (20.2.2) ※ JIS A 6111による透湿防水シートB ・ 「日本農林規格」による合板及び構造用パネル ・ JIS A 5905(繊維板)によるシーシングボード ・ JIS A 5440(火山性ガラス質複層板(VSボード)) ・ JIS A 5905によるMDF</p> <p>断熱材の取付け等 (20.2.4) 充填断熱工法 ※ 20.2.4.(3).(7).(a).(b)及び(c)による ・ 20.2.4.(3).(7).(a).(b)及び(c)以外の取付: ※ 製造所仕様による 外張断熱工法 ・ 20.2.4.(3).(7).(a).(b)及び(c)による ・ 20.2.4.(3).(7).(a).(b)及び(c)以外の取付: ※ 製造所仕様による 防蟻処理: ・ 行う (種類:) ・ 行わない 防湿層の施工 ・ 室内側の防湿層を省略する (20.2.4) 開口部の回りの施工 ・ 床下及び小屋裏点検口の高い気密性の高い構造 ※ 図示 電気配線のコンセント及びスイッチボックスの回りの施工 (20.2.4) ・ 気密措置が講じられた専用のボックスを使用する ・ コンセント及びスイッチボックスの回りを防湿フィルムでくるむ</p> <p>② 各部位の工法</p> <p>床の施工 (20.2.5) 床に防湿フィルムを張らない場合の適用 ○ 床下地板に構造用合板、構造用パネル、パーティクルボード等の床合板等を用いる ○ 床合板等は、下地のある部分で継ぐか又はさね付きとし、それ以外の場合は、気密テープで床合板の継目の処理を行う</p> <p>天井の施工 (20.2.5) ・ 天井点検口を設ける天井の気密性及び断熱性の高い構造 ※ 図示</p> <p>気流止めの施工 (20.2.5) ・ 外気の壁内流入の防止を要する部位の気密材の材料及び工法 ※ 図示 ・ 間仕切り壁の内部の空間が天井裏又は床裏に解放されている部位の気密材の材料及び工法 ※ 図示</p> <p>断熱材及び防湿気密措置 (20.2.5) ○ 外壁と天井及び屋根との取合い部の工法 ※ 図示 ○ 外壁と床との取合い部の工法 ※ 図示 ○ 間仕切り壁と天井又は床との取合い部の工法 ※ 図示 ○ 下屋の小屋裏の天井と壁との取合い部の工法 ※ 図示 ○ 外壁と基礎との取合い部の工法 ※ 図示</p>	分類	断熱材の種類	材料名	厚さ、数	施工部位	防湿材	フェルト状断熱材	○ グラスウール		・ 100	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 設ける	○ ロックウール		24kg/m ³	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 設ける	ボード状断熱材	○ グラスウール		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設ける	○ ロックウール		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設ける	○ ビーズ法ポリスチレンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	○ 押出法ポリスチレンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	・ 硬質ウレタンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	ばら状断熱材	・ ポリエチレンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	・ フェノールフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	・ インシュレーションファイバー		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない	・ グラスウール		※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様	現場発泡断熱材	・ ロックウール		※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様	・ セルローズファイバー		※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様	・ 吹付け硬質ウレタンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																													
分類	断熱材の種類	材料名	厚さ、数	施工部位	防湿材																																																																																																																																									
フェルト状断熱材	○ グラスウール		・ 100	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 設ける																																																																																																																																									
	○ ロックウール		24kg/m ³	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 設ける																																																																																																																																									
ボード状断熱材	○ グラスウール		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設ける																																																																																																																																									
	○ ロックウール		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設ける																																																																																																																																									
	○ ビーズ法ポリスチレンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																																																																									
	○ 押出法ポリスチレンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																																																																									
	・ 硬質ウレタンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																																																																									
ばら状断熱材	・ ポリエチレンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																																																																									
	・ フェノールフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																																																																									
	・ インシュレーションファイバー		※ 図示	※ 図示 ・ 床	※ 設けない																																																																																																																																									
	・ グラスウール		※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																																																																																																									
現場発泡断熱材	・ ロックウール		※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																																																																																																									
	・ セルローズファイバー		※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																																																																																																									
	・ 吹付け硬質ウレタンフォーム		※ 図示	※ 図示 ・ 壁、天井	※ 製造所仕様																																																																																																																																									
排水工事	<p>排水工事</p> <p>① 屋外雨水排水</p> <p>材料 (21.2.1) 排水管用材料 ※ 表21.2.1による(材種、管の種類、呼び径等は図示による) 側塊の形状及び寸法 ※ 図示 排水樹の種類 ※ 図示 地業用材料 ・ 切込砂利、切込砕石 ※ 再生クラッシュラン (4.6.2)(21.2.2) 現場打ちの場合のコンクリート種類 ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm² スランプ ※ 15cm ・ 18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295</p> <p>② 排水樹ふた</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形式</th> <th>荷重(安全荷重(KN))</th> <th>鍵</th> </tr> <tr> <td>鋼鉄製格子ふた</td> <td>・ PC排水柵450角用</td> <td>・ T-2用(5) ・ T-6用(15)</td> <td>・ 有り ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>コンクリートふた</td> <td>・ PC排水柵500角用</td> <td>・ T-20用(50) ・ T-14用</td> <td></td> </tr> </table> <p>③ 埋戻し土 (21.2.1)(表3.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>④ グレーチング (21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">型式</th> <th rowspan="2">用途</th> <th rowspan="2">適用荷重</th> <th colspan="2">メインバーピッチ</th> <th rowspan="2">メインバー上面の形状</th> </tr> <tr> <th>普通目</th> <th>細目</th> </tr> <tr> <td>※ 受枠付</td> <td>○ 溝ふた用</td> <td>・ 歩行用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 凹凸型</td> </tr> <tr> <td>○ 落とし込み</td> <td>・ ますふた用</td> <td>・ T-2用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ かさあげ用</td> <td>・ T-6用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ U字溝用</td> <td>・ T-14用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ T-20用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ T-25用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>騒音防止ゴム ○ 適用する 製造所 評価名簿による</p> <p>プレキャストコンクリート既製品 ○ 耐荷重: T-25(横断用、縦断用) ○ コンクリート蓋: プレキャストコンクリート製、車道用(騒音防止ゴム付) ○ グレーチング蓋: 鋼製、溶融亜鉛メッキ、細目(横断用はノンスリップ)</p> <p>設置箇所、寸法 ※ 図示</p>	種類	形式	荷重(安全荷重(KN))	鍵	鋼鉄製格子ふた	・ PC排水柵450角用	・ T-2用(5) ・ T-6用(15)	・ 有り ・ 無し	コンクリートふた	・ PC排水柵500角用	・ T-20用(50) ・ T-14用		型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ		メインバー上面の形状	普通目	細目	※ 受枠付	○ 溝ふた用	・ 歩行用	・	・	・ 凹凸型	○ 落とし込み	・ ますふた用	・ T-2用	・	・	・		・ かさあげ用	・ T-6用	・	・	・		・ U字溝用	・ T-14用	・	・	・			・ T-20用	・	・	・			・ T-25用	・	・	・	④ 埋戻し土 (21.2.1)(表3.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種	⑧ 砂利敷き	⑨ ライン引き																																																																																		
種類	形式	荷重(安全荷重(KN))	鍵																																																																																																																																											
鋼鉄製格子ふた	・ PC排水柵450角用	・ T-2用(5) ・ T-6用(15)	・ 有り ・ 無し																																																																																																																																											
コンクリートふた	・ PC排水柵500角用	・ T-20用(50) ・ T-14用																																																																																																																																												
型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ		メインバー上面の形状																																																																																																																																									
			普通目	細目																																																																																																																																										
※ 受枠付	○ 溝ふた用	・ 歩行用	・	・	・ 凹凸型																																																																																																																																									
○ 落とし込み	・ ますふた用	・ T-2用	・	・	・																																																																																																																																									
	・ かさあげ用	・ T-6用	・	・	・																																																																																																																																									
	・ U字溝用	・ T-14用	・	・	・																																																																																																																																									
		・ T-20用	・	・	・																																																																																																																																									
		・ T-25用	・	・	・																																																																																																																																									
東石立町市営住宅集会所新築工事	(株) THINK 建築設計事務所 高知市葛島1-9-24 T' s 2F TEL 088-885-4400	一級建築士事務所 代表 山本 義夫 一級建築士 第176481号	一級建築士事務所 代表 山本 義夫 一級建築士 第176481号	高知市都市建設部公共建築課 係長 松本 義夫 課長補佐 松本 義夫 課長 松本 義夫	木造特記仕様書(9) A-09																																																																																																																																									

項目	特記事項																																				
2 植栽基盤の整備	<p>※ 行う ・ 行わない (23.2.2~23.2.3) (表23.2.1~表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <td>植栽</td> <td>樹高(m)</td> <td>工法</td> <td>有効土層の厚さ(cm)</td> <td>雨水の排水</td> <td>範囲</td> </tr> <tr> <td>・ 樹木</td> <td>・ 12以上</td> <td>※ A種</td> <td>※ 100 ・ 120 ・ 150</td> <td>・ 暗きよ排水</td> <td>・ 葉張り部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 7~12未満</td> <td>・ B種</td> <td>※ 80 ・ 100</td> <td>・ 開きよ排水</td> <td>※ 植栽部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 3~7未満</td> <td>・ C種</td> <td>※ 60 ・ 80</td> <td>・ 排水層</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 3未満</td> <td>・ D種</td> <td>※ 50 ・ 60</td> <td>・ 縦穴排水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 芝、地被類</td> <td>※ B種</td> <td>※ 20</td> <td></td> <td></td> <td>※ 植栽部分</td> </tr> </table>	植栽	樹高(m)	工法	有効土層の厚さ(cm)	雨水の排水	範囲	・ 樹木	・ 12以上	※ A種	※ 100 ・ 120 ・ 150	・ 暗きよ排水	・ 葉張り部分		・ 7~12未満	・ B種	※ 80 ・ 100	・ 開きよ排水	※ 植栽部分		・ 3~7未満	・ C種	※ 60 ・ 80	・ 排水層	・ 図示		・ 3未満	・ D種	※ 50 ・ 60	・ 縦穴排水		※ 芝、地被類	※ B種	※ 20			※ 植栽部分
植栽	樹高(m)	工法	有効土層の厚さ(cm)	雨水の排水	範囲																																
・ 樹木	・ 12以上	※ A種	※ 100 ・ 120 ・ 150	・ 暗きよ排水	・ 葉張り部分																																
	・ 7~12未満	・ B種	※ 80 ・ 100	・ 開きよ排水	※ 植栽部分																																
	・ 3~7未満	・ C種	※ 60 ・ 80	・ 排水層	・ 図示																																
	・ 3未満	・ D種	※ 50 ・ 60	・ 縦穴排水																																	
※ 芝、地被類	※ B種	※ 20			※ 植栽部分																																
3 植込み用土	※ 現場発生土の良質土 ・ 客土 (22.2.3)																																				
4 土壌改良材	土壌改良材の種類 () (23.2.3~23.2.4) 施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示 指定量 植栽基盤面積1m2あたり (L)																																				
5 植樹	樹種、寸法、株立数等 ※ 図示 (23.3.2)																																				
6 支柱材	材料 ※ 加圧式防腐処理丸太材 ・ 真竹 (23.3.2) 形状 ※ 図示 (23.3.3)																																				
7 幹巻き用材料	※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23.3.2)																																				
8 芝張り	種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ (23.4.2) 工法 平地 (※ 目地張り) (23.4.3) 法面 (※ べた張り)																																				
9 吹付けは種用種子等	(23.4.2)																																				
10 地被類	(23.4.2)																																				
11 新植、移植樹木、芝等の枯補償の期間	※ 引渡しの日から1年 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7)																																				

項目	特記事項
解体工事	
1 解体範囲	※ 図示(土中解体で図面に記載がない場合は、基礎捨コンクリートまでとする。) ・ その他()
2 解体作業注意事項	<p>a) 解体機器は圧砕機を主体とし、騒音及び振動等の発生防止に努める。 b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。 c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。 d) 解体作業中は散水等を行い、粉塵等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。 e) 工事作業者の通勤用車両での乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。 f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。 g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ばぬよう、騒音及び振動、工事関係車両の通行等に注意すること。 h) PCBが含まれる機器類が発見された場合は、監督職員に報告すること。また、そのPCBを含む機器類については、高知市が指示する場所に保管すること。 i) 以上の項目は受注者のもとより下請業者にも、周知徹底させること。</p>
3 作業時間等	資材、機材の搬入は朝夕の交通ラッシュ時には行わないこと。
4 騒音測定等	<p>解体作業中はデジタル式の(・騒音計 ・振動計)を設置し、記録すること。また、記録したものを報告書として提出すること。なお、関連法令で定める数値を上回った場合は、作業を中止し、監督職員に速やかに報告すること。</p> <p>測定点 ※ 敷地境界 ()か所：詳細な位置は監督職員と協議による ・ 図示 ・ その他()</p>
5 その他	<p>・ 電灯等は、別途設備工事で撤去することとする。 ・ 工事現場着手は電気及び機械設備工事の切り替え後とする。</p>



付近見取図

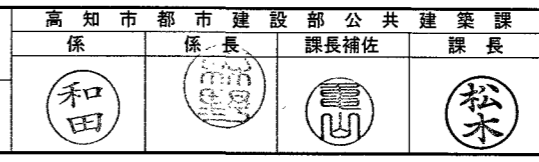
外部 仕上表

部分	仕上	部分	仕上
屋根-1、2	ガルバリウム鋼板 t=0.4 立平葺き、構造用合板t=12張、改質アスファルトルーフィングt=1.0 (屋根-1) 軒樋：硬質塩化ビニル既製品 角型120×120、SUS受け金物、堅樋：カラーVP既製品75φ、60φ、SUS掴み金物 (屋根-2) 軒樋：硬質塩化ビニル既製品半丸φ105/2、堅樋：カラーVP既製品60φ、SUS掴み金物	スロープ	床 モルタルコテ押さえ引き仕上げ 側壁・框は、コンクリート打ち放し 撥水剤塗布 手摺 SUS304 34φ、SUS FB-9×35加工
外壁	窯業系サイディングt=14 無塗装品 (シーラー品) 3尺、複層塗材E、水切；ガルバリウム鋼板t=0.5加工	車寄せ	アスファルト舗装 A (表層t=50+路盤t=150)
基礎立上	コンクリート打ち放し 誘発目地切の上、撥水材塗布	塀	コンクリート打ち放し 誘発目地切 @1800以内 撥水材塗布+フェンス
濡れ縁	桧板 (防腐剤注入材) t=21張り	南縁地	碎石敷き t=100
軒天	化粧スラグ石膏板(無塗装品) t=8 面取突付張り EP-G		
ポーチ	屋根 ガルバリウム鋼板 t=0.4 立平葺き、構造用合板t=12張、改質アスファルトルーフィング 軒樋：硬質塩化ビニル既製品 半丸 φ105/2、堅樋：カラーVP既製品 60φ 軒天 珪酸カルシウム板 t = 6.0 目透し張 EP-G 床 モルタルコテ押え 段端：段鼻タイル貼り 手摺 SUS304 34φ、SUS FB-9×35 (#400) 加工	ロータリー、車道	アスファルト舗装 A (表層t=50+路盤t=150)
		歩道	アスファルト舗装 B (表層t=40+路盤t=100)

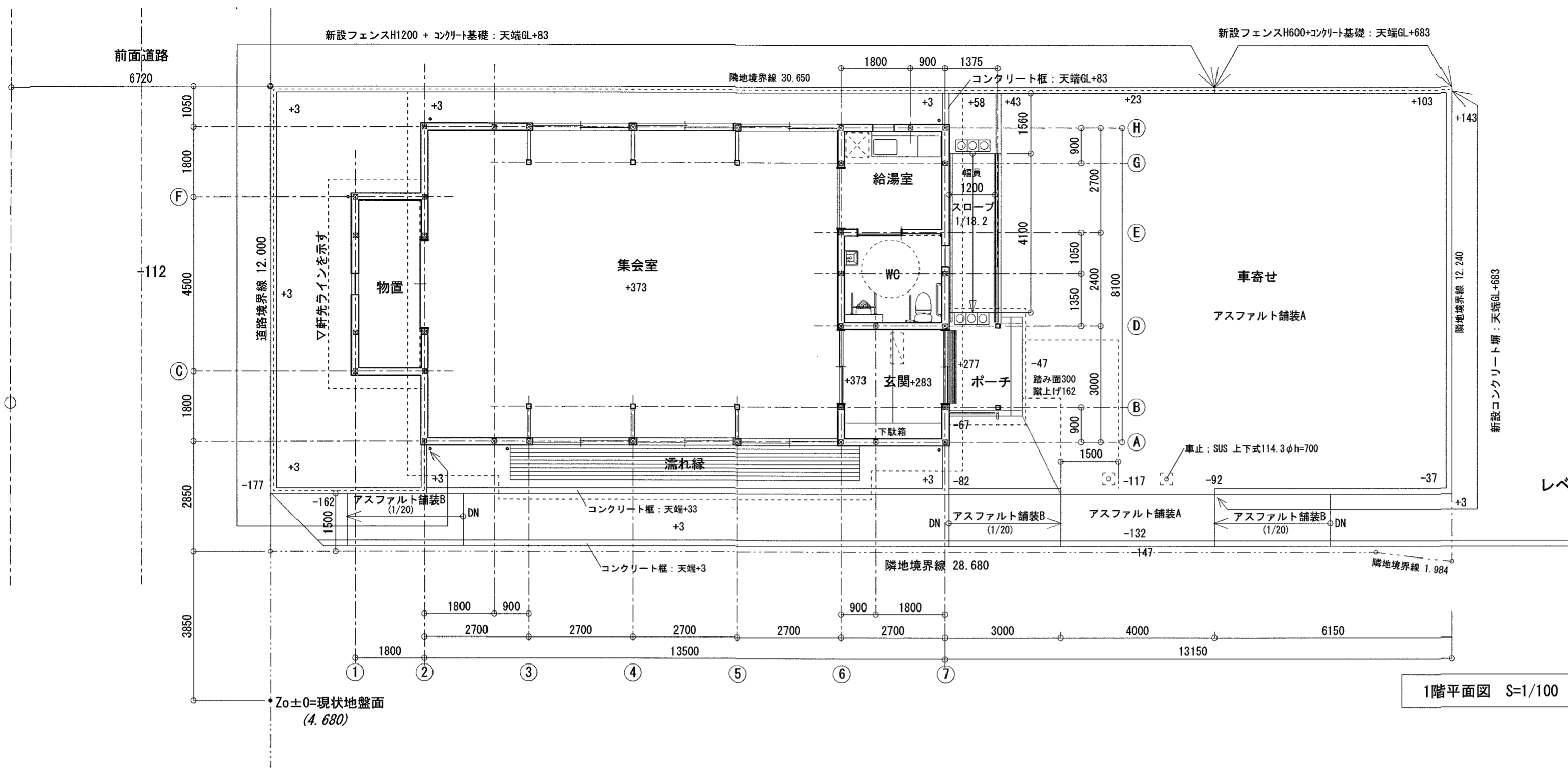
内部 仕上表

階	室名	床		巾木		壁		天井		備考			
		記号	仕上	下地	記号	仕上	記号	仕上	下地		記号	仕上	下地
1階	玄関		桧フローリングt=15張り UC、構造用合板 t=12捨張	根太：杉45×54@300	㉑	桧 h = 75 UC	① 石膏ボード12.5張 壁紙張 ④ 腰壁 (FL+1000)：桧緑甲板t=15張 (本実) UC	胴縁 (杉) 15×45	①	石膏ボードt=9.5張 壁紙張	LGS下地	上框：SUS 40×90 t=1.0 H.L. 加工	
	踏込		モルタル金コテ押えt=30	コンクリートコテ押え	㉒	モルタル金コテ押え h=90	①④	全 上	全 上	全 上	全 上	既製品アルミ製スロープ	
	集会室		桧フローリングt=15張 UC、構造用合板 t=12捨張	根太：杉45×54@300	㉑	桧 h = 75 UC	①④	全 上	全 上	②	ロックウール吸音板t=9.0張、石膏ボード t=9.5捨張	全 上	
	物置		ビニル床シート t=2.0張、構造用合板 t=12捨張	全 上	㉓	ビニル巾木 h = 75	③	ラワン合板t=12.0張	全 上	③	ラワン合板t=5.5 目透し張	全 上	
	給湯室		全 上	根太：杉45×54@300	㉔	全 上	①②	石膏ボードt=12.5張 壁紙張、一部キッチンパネル t=3貼	全 上	①	石膏ボードt=9.5張 壁紙張	全 上	
	W.C.		乾式トイレ用ビニル床シート (消臭、抗菌、防滑) t=2.0張 構造用合板 t=12捨張	全 上	㉕	ビニル巾木 h=300	① 石膏ボードt=12.5張 壁紙張、 ⑤ 腰壁 (FL+1170)：石膏ボードt=12.5張、腰壁用塩ビシート t=1.0張	全 上	①	全 上	全 上		

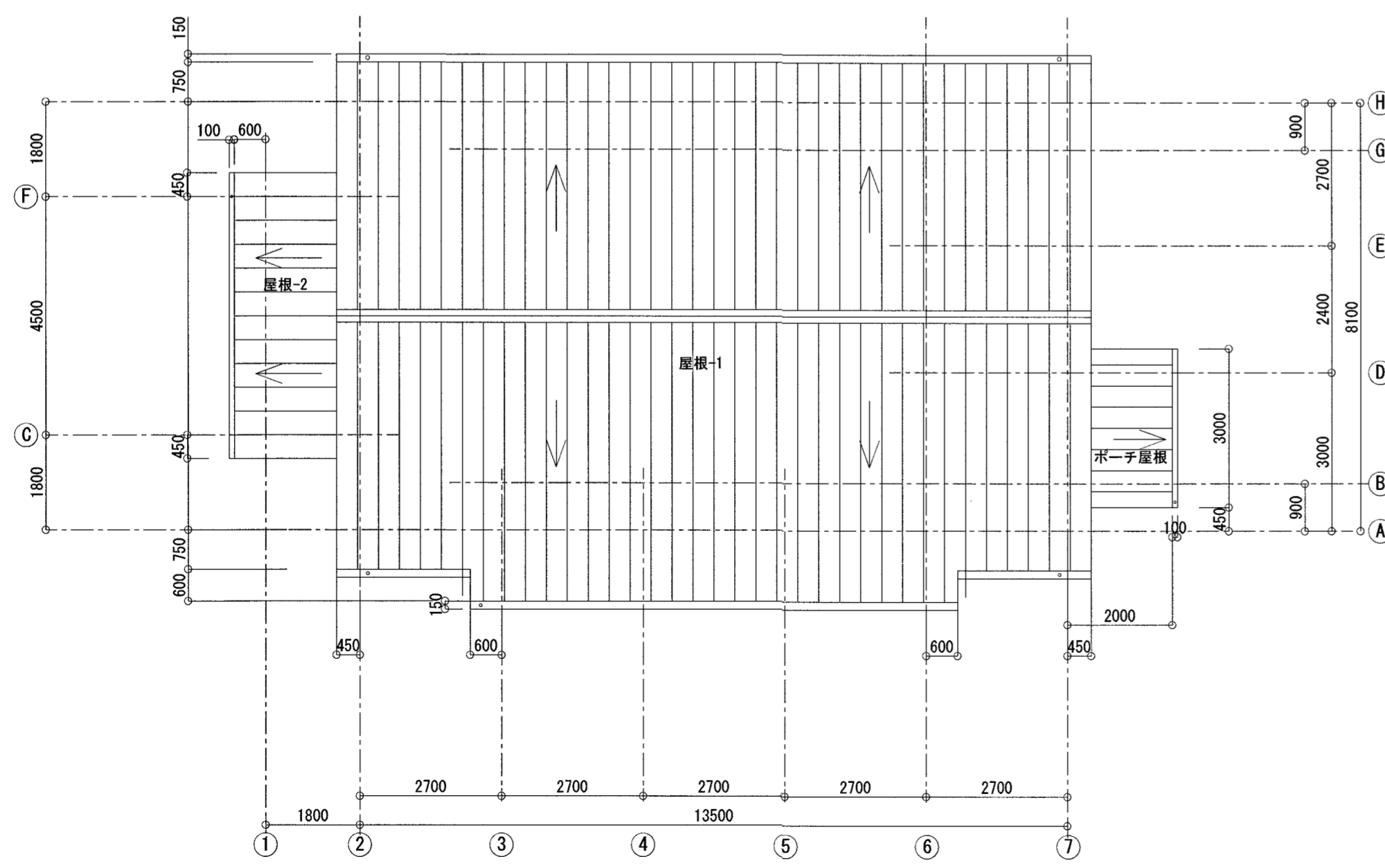
認定番号
 ・石膏ボード t=12.5；NM - 8619 (不燃) ・化粧スラグ石膏板(無塗装品) t=8(準耐火構造30分軒裏)対応品
 ・外壁 窯業系サイディングt=14 + 内部被覆
 防火構造 認定番号：PC030BE-9201

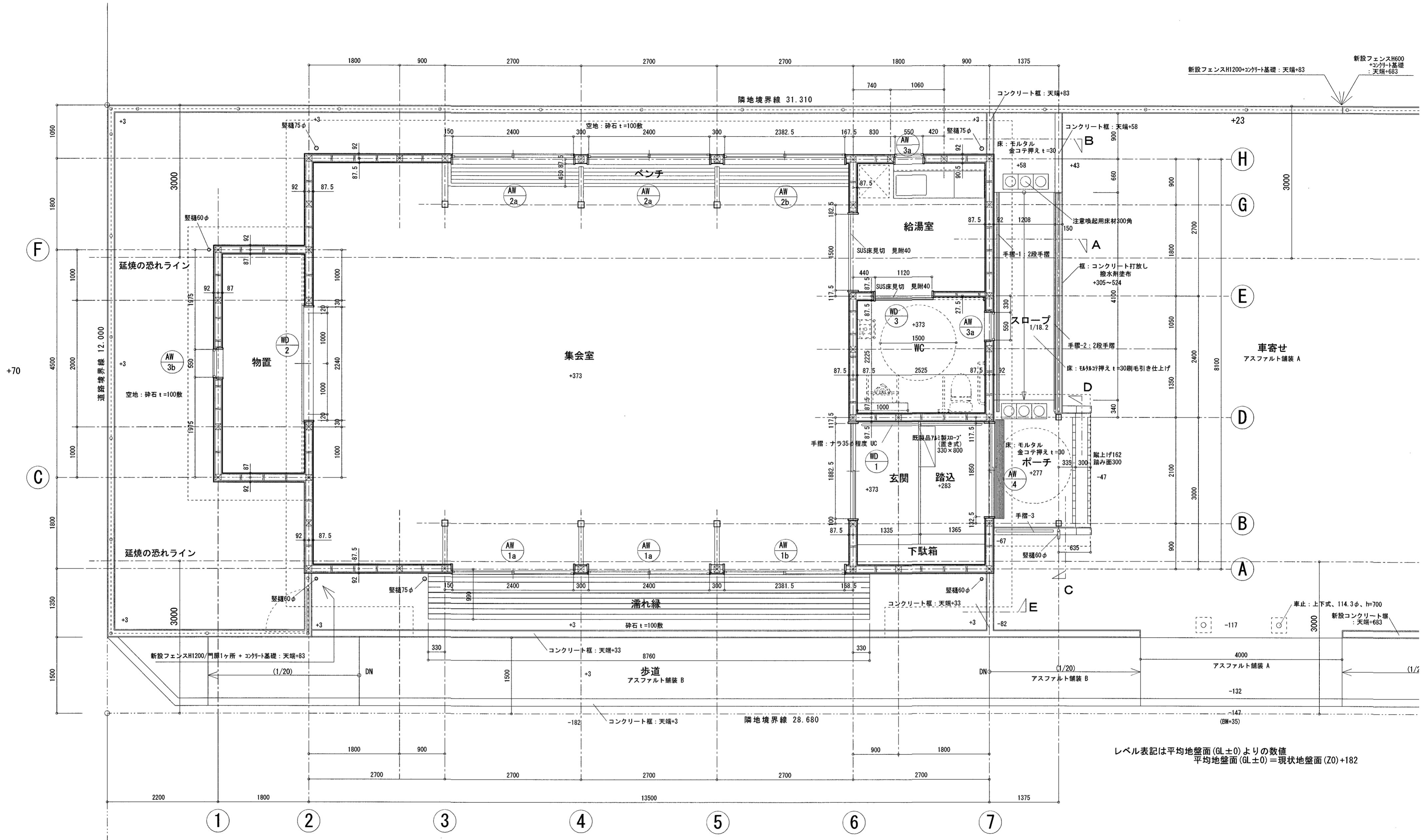


A3版は70%縮小

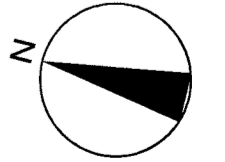


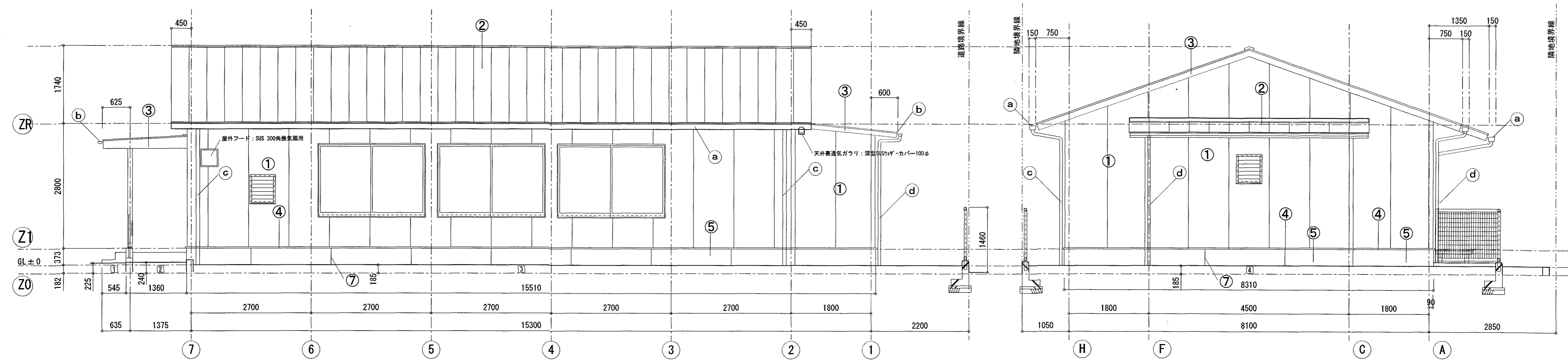
レベル表記：平均地盤面 (GL±0) よりの数値
 平均地盤面 (GL±0)=現状地盤面 (Z0)+182





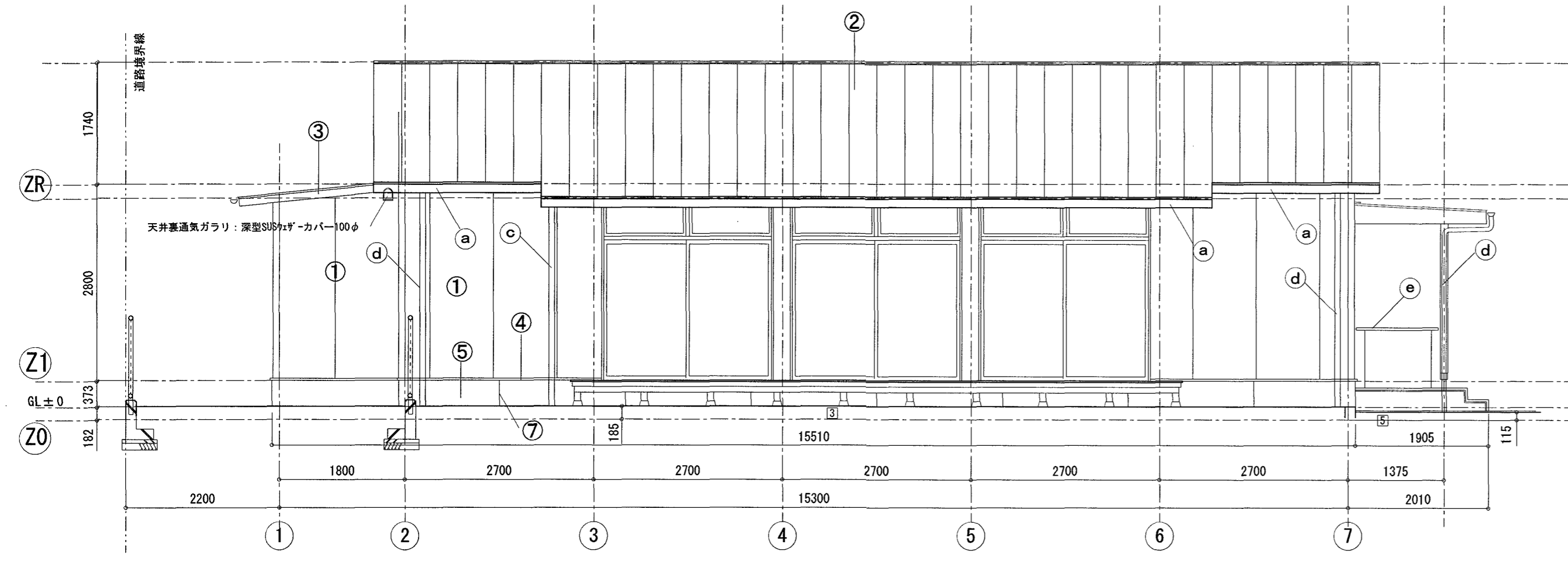
レベル表記は平均地盤面 (GL±0) よりの数値
 平均地盤面 (GL±0) = 現状地盤面 (Z0) +182



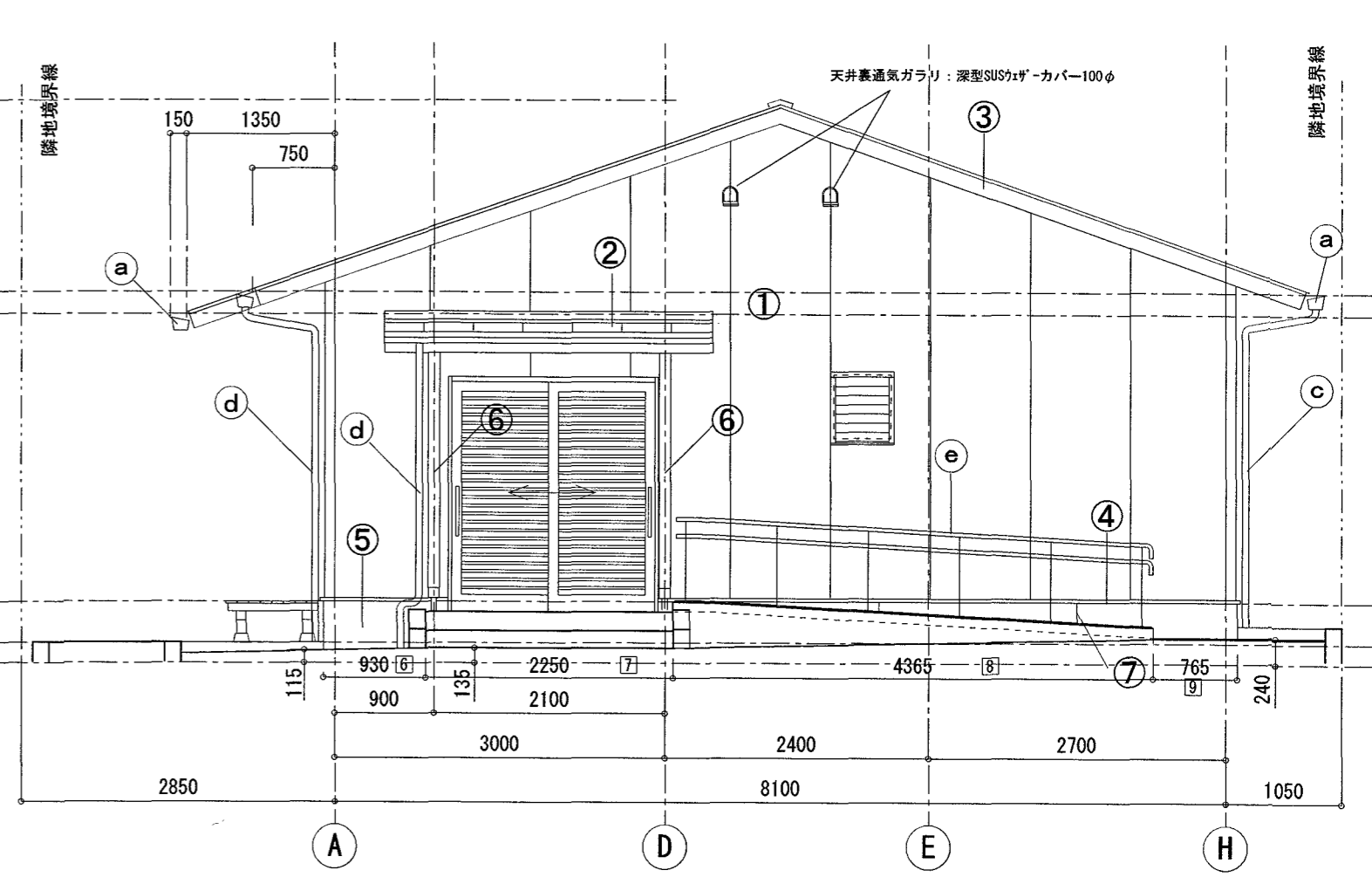


東側立面図

北側立面図



西側立面図



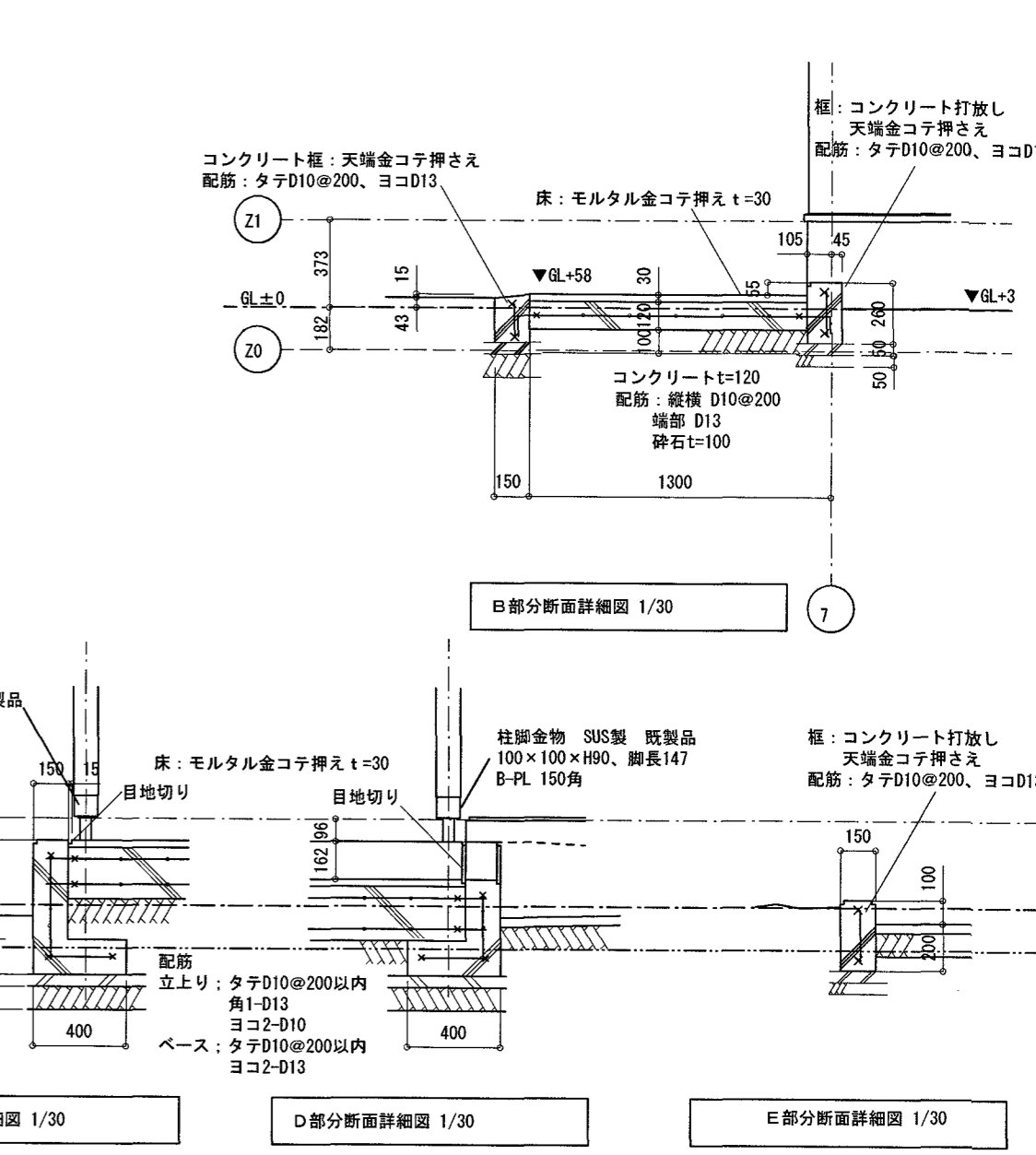
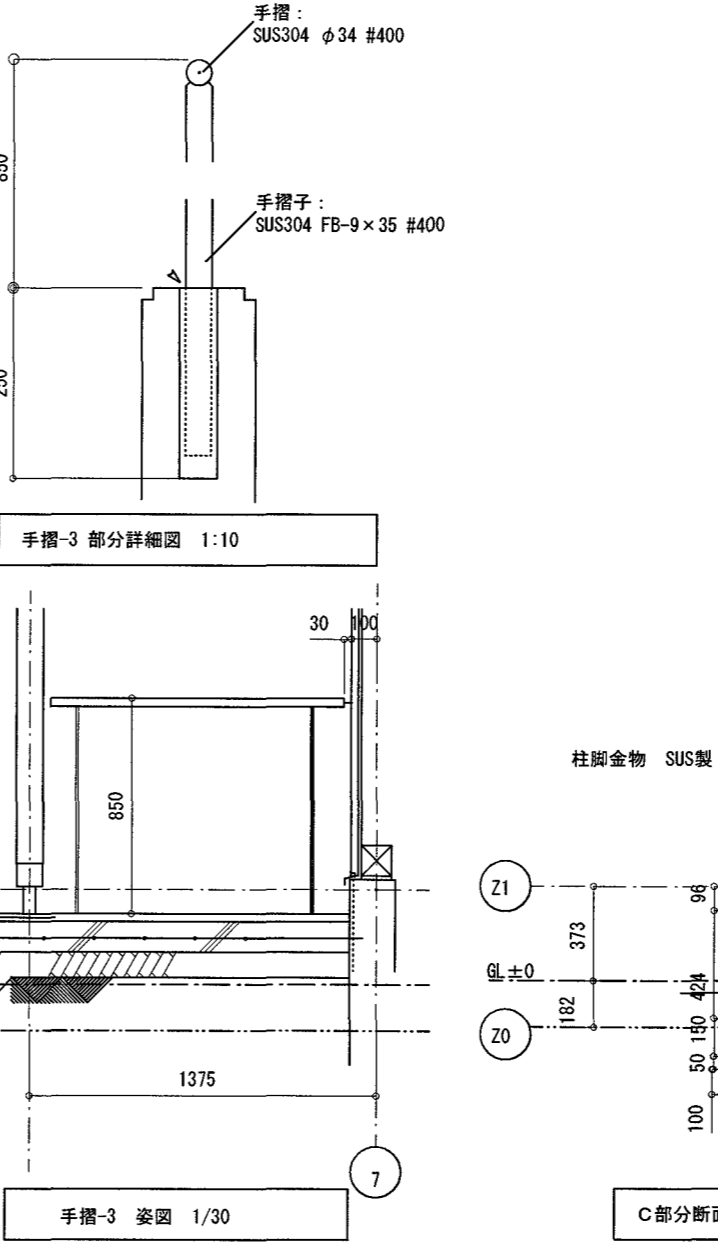
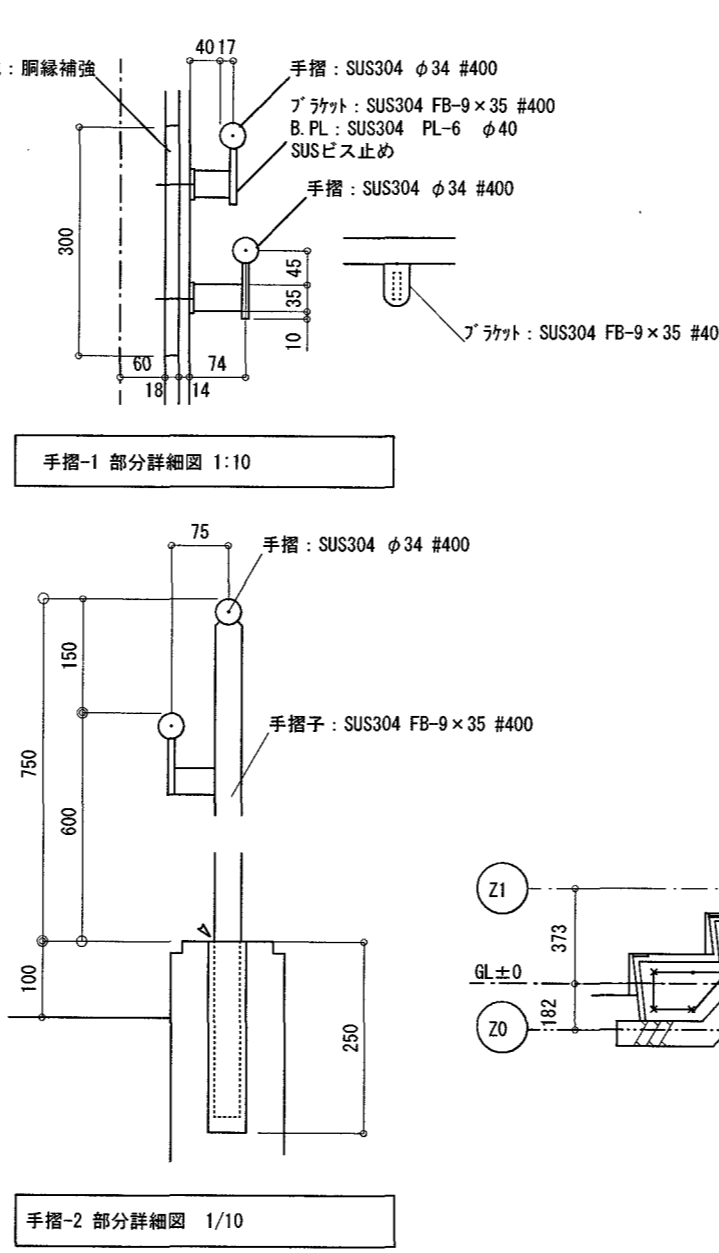
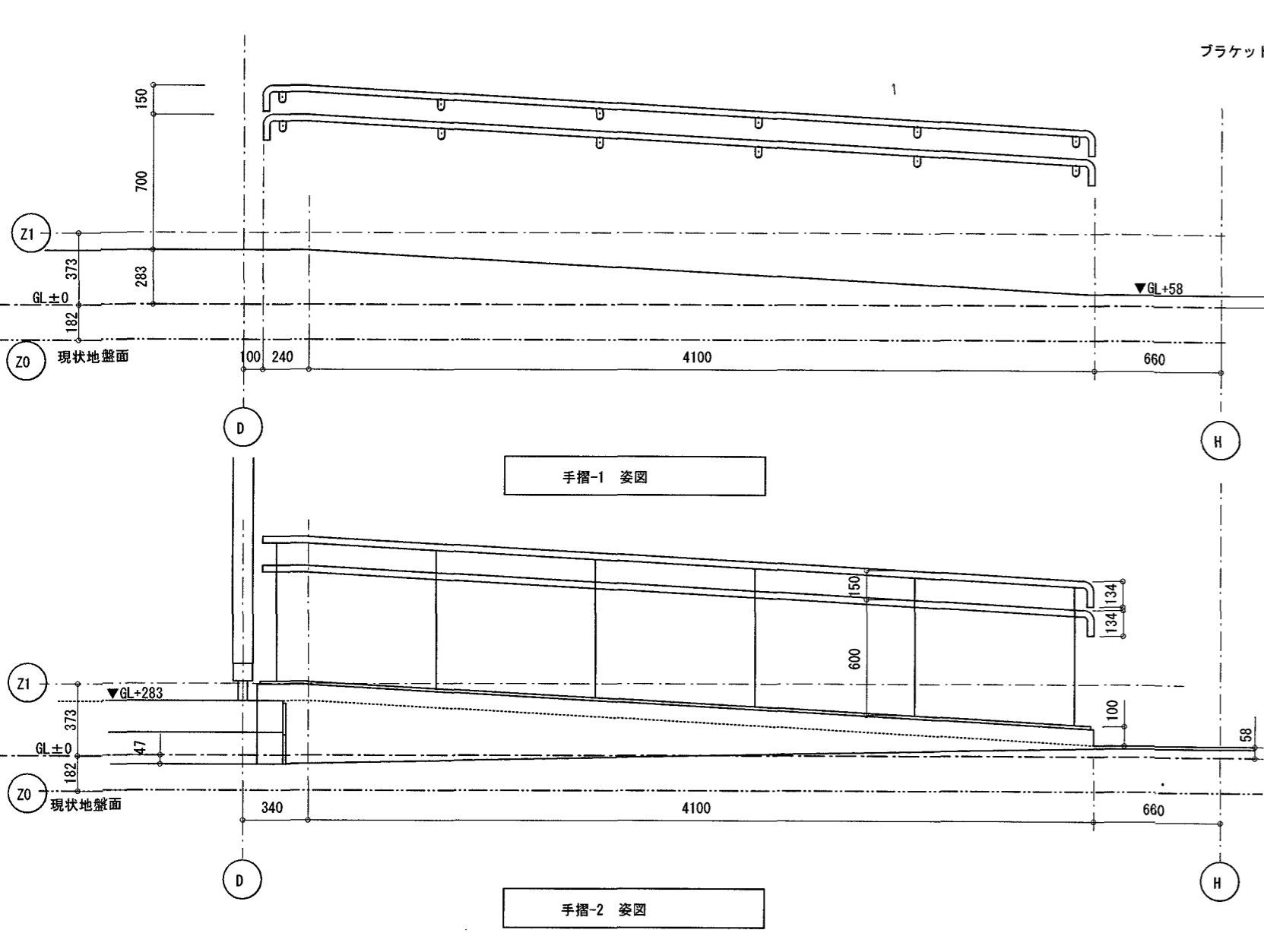
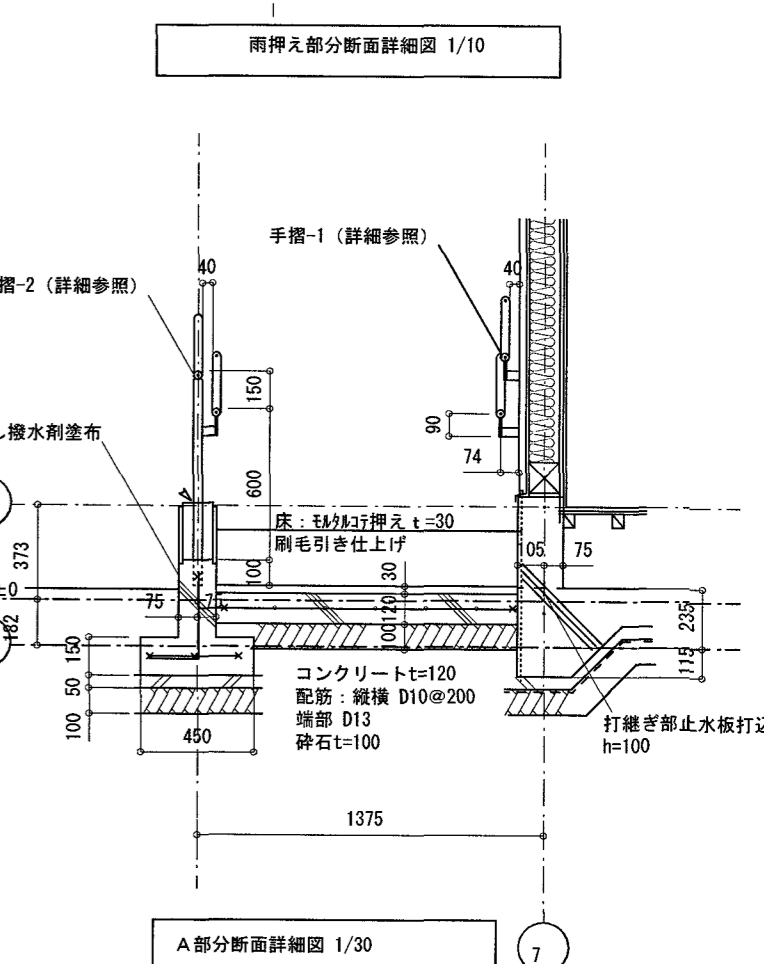
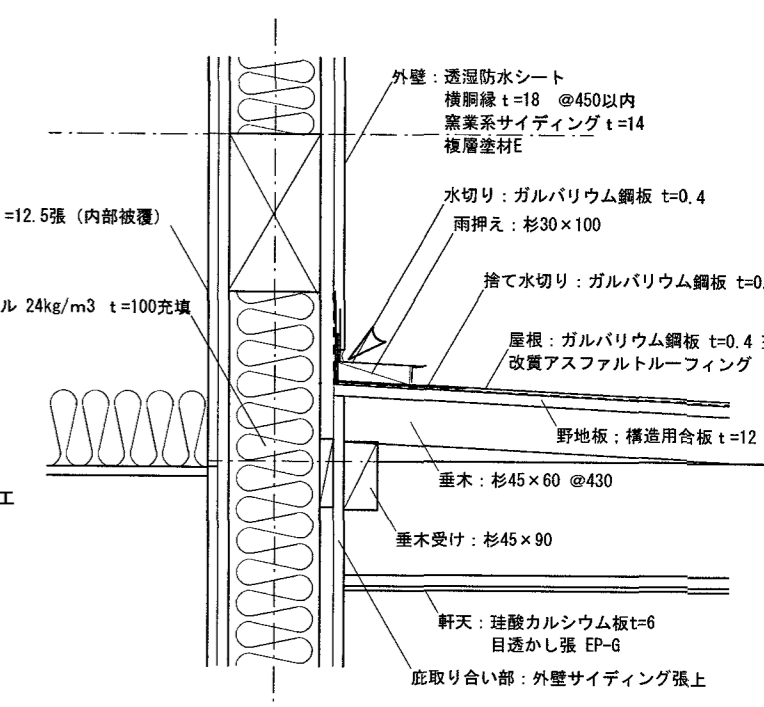
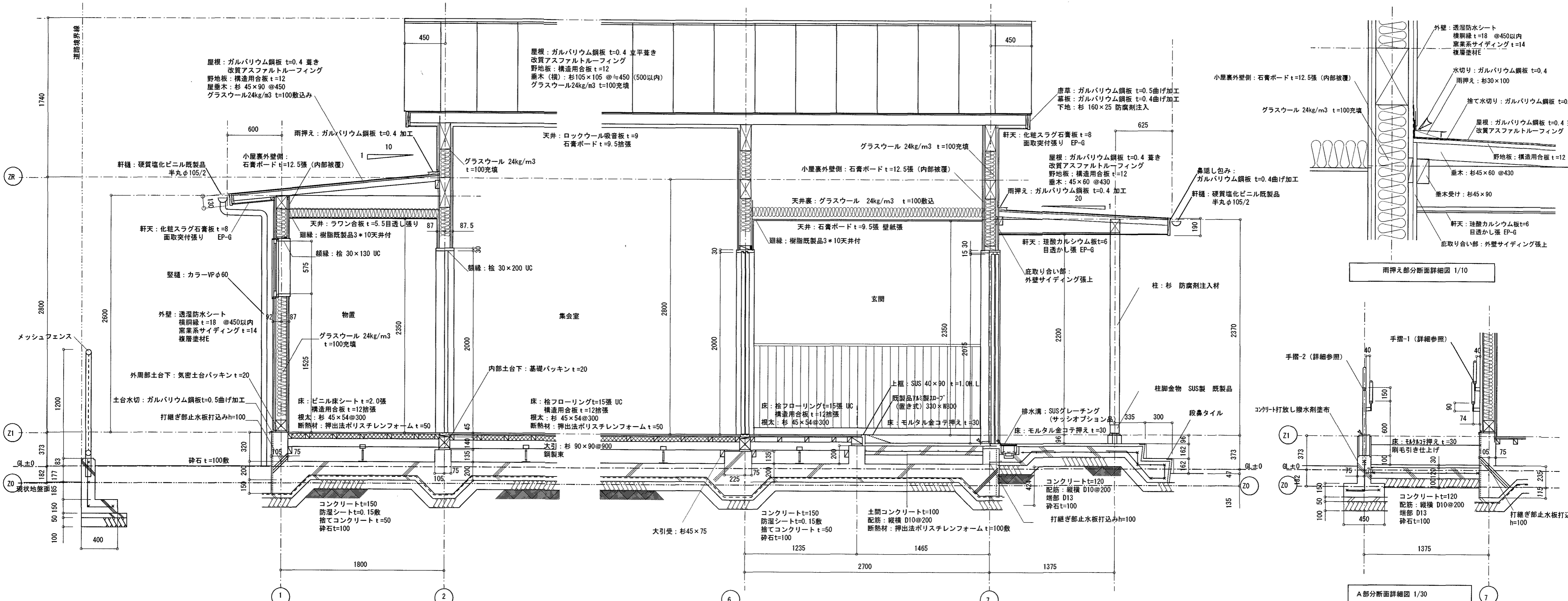
南側立面図

平均地盤面の算定

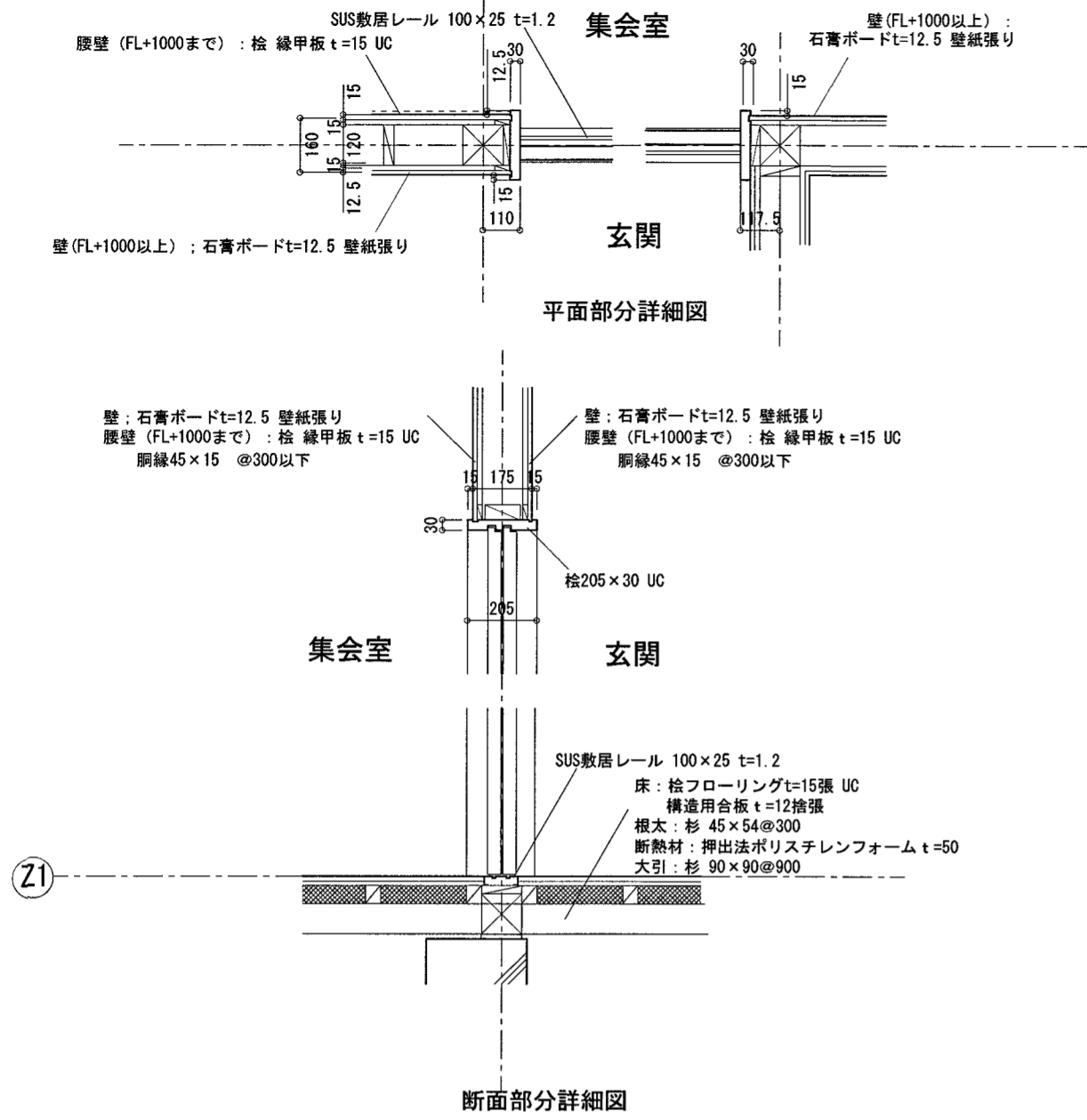
・見附面積
 東面=①+②+③=0.545×0.225+1.36×0.24+15.51×0.185=3.318 m²
 北面=④=8.31×0.185=1.537 m²
 西面=③+⑤=15.51×0.185+1.905×0.115=3.088 m²
 南面=⑥+⑦+⑧+⑨=(0.115+0.135)×0.93÷2+2.25×0.135
 + (0.135+0.24)×4.365÷2+0.765×0.24=1.422 m²
 合計=9.365 m²

・周長= (8.31+15.51+1.905)×2 = 51.45 m
 ・平均= 9.365 / 51.45 = 0.182 m 平均地盤面Z0=BM+182

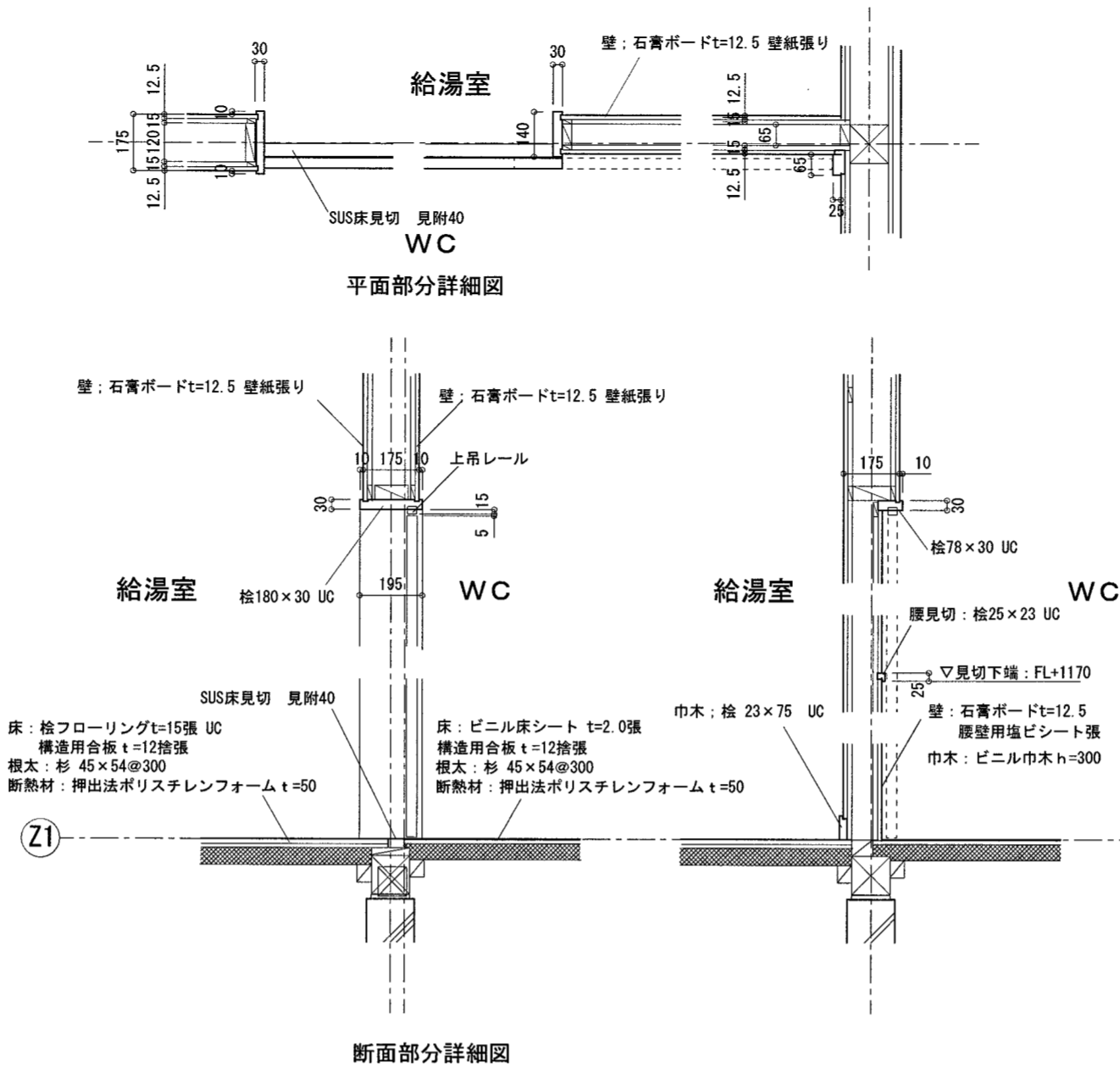
凡例表	
① 窯業系サイディング t=14 複層塗材E	a 軒樋 硬質塩化ビニル製製品 角形120×120
② ガルバリウム鋼板 t=0.4立平葺	b 軒樋 硬質塩化ビニル製製品 半丸φ105/2
③ ガルバリウム鋼板 t=0.4曲げ加工	c 壁樋 カラーV製製品φ75
④ ガルバリウム鋼板 t=0.5曲げ加工	d 壁樋 カラーV製製品φ60
⑤ コンクリート打ち放し 撥水剤塗布	e ステンレス手摺
⑥ 杉 防腐剤注入材	f
⑦ 誘発目地 15×10 シーリング @1800	g
⑧	h



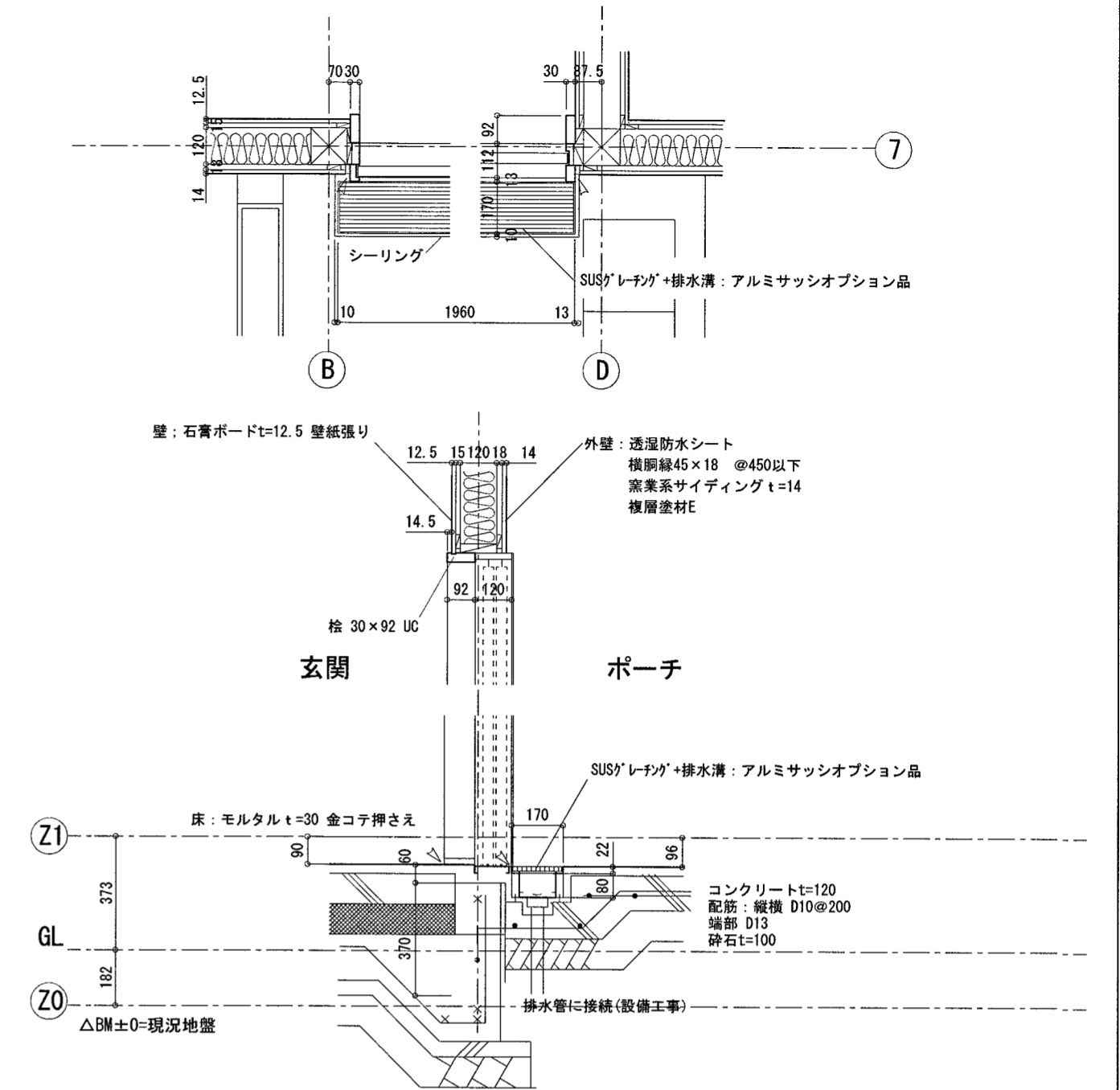
木製引違い戸部分詳細図 1/20



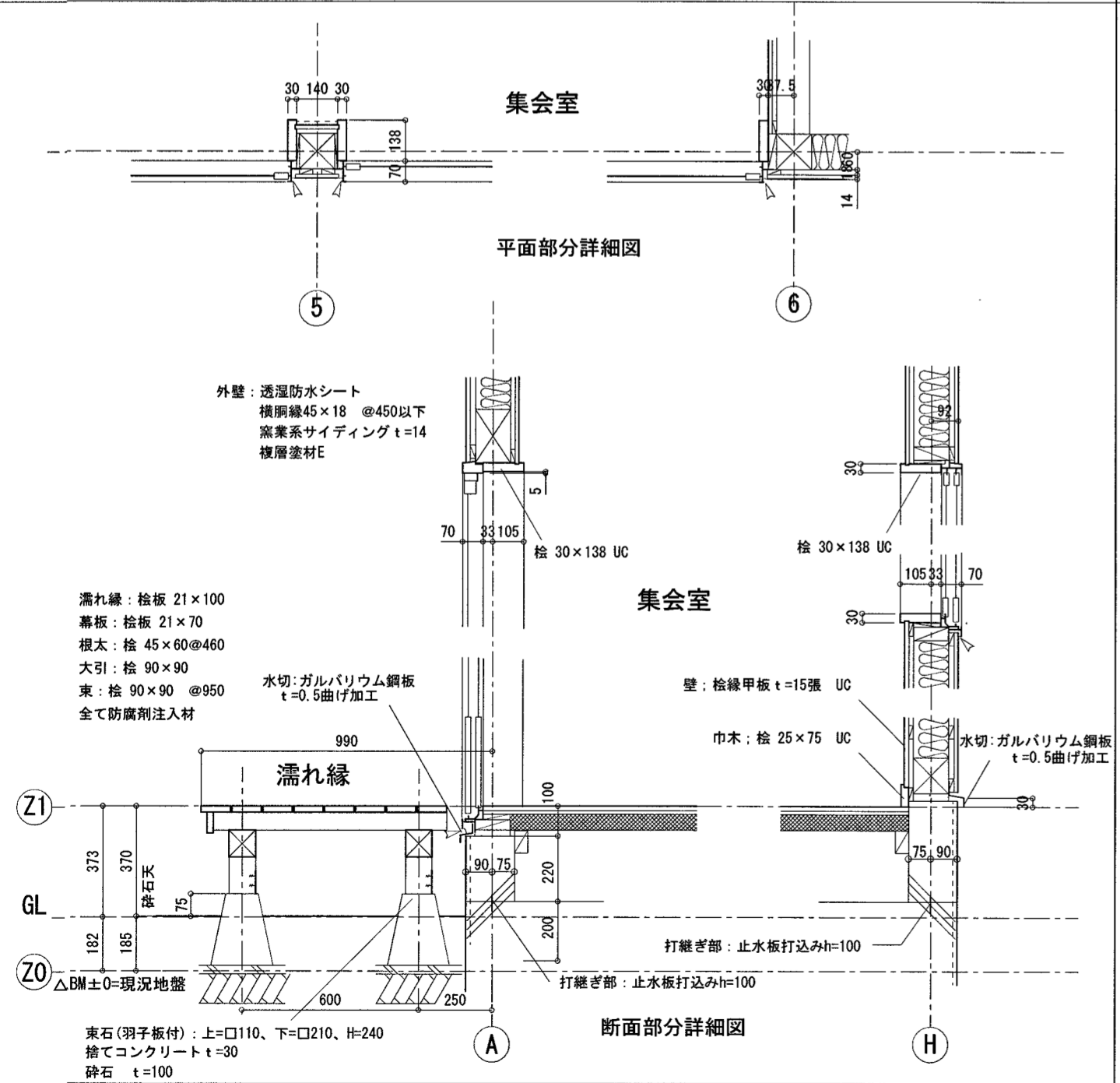
木製引き戸部分詳細図 1/20



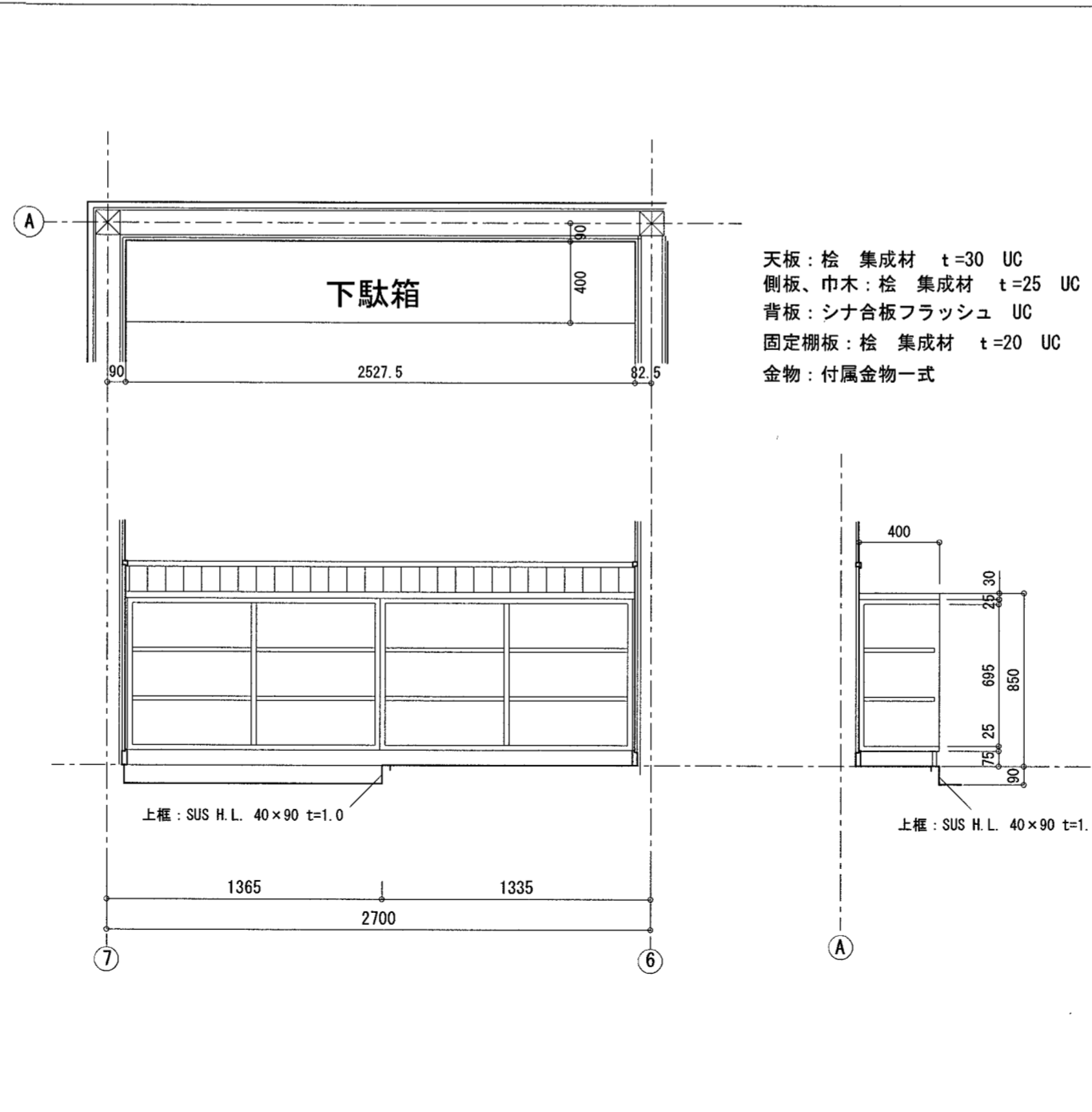
玄関部分詳細図 1/20



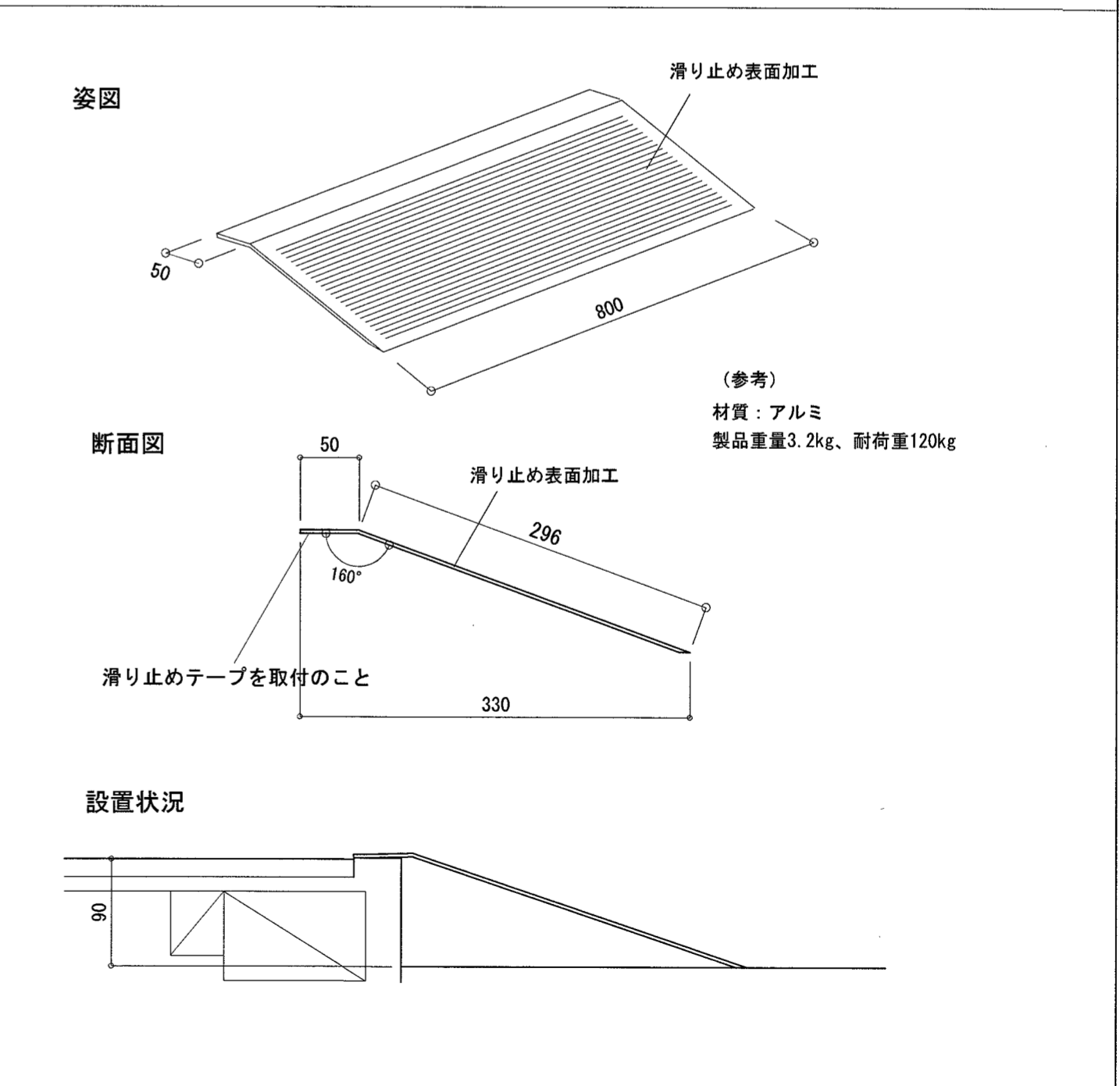
集会室サッシ・濡れ縁 部分詳細図 1/20



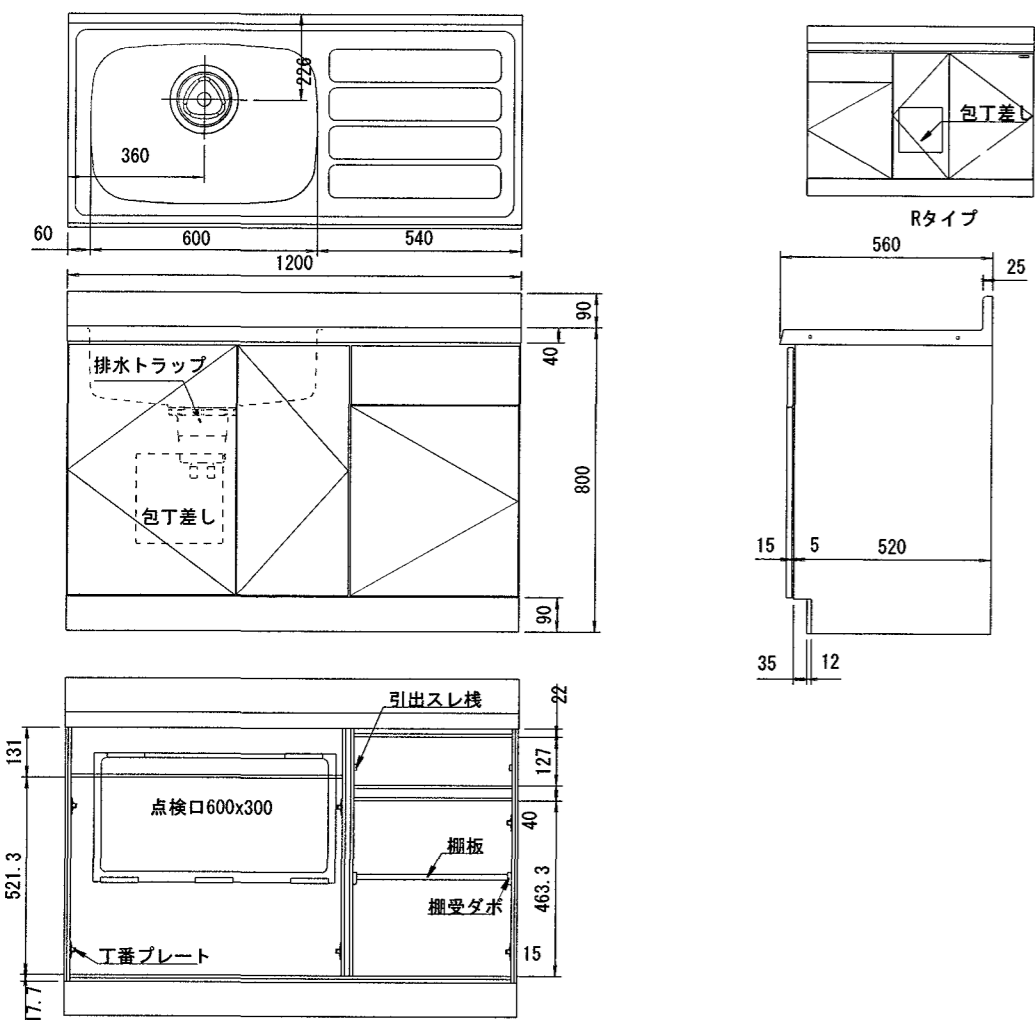
玄関 製作家具(下駄箱) 部分詳細図 1/30



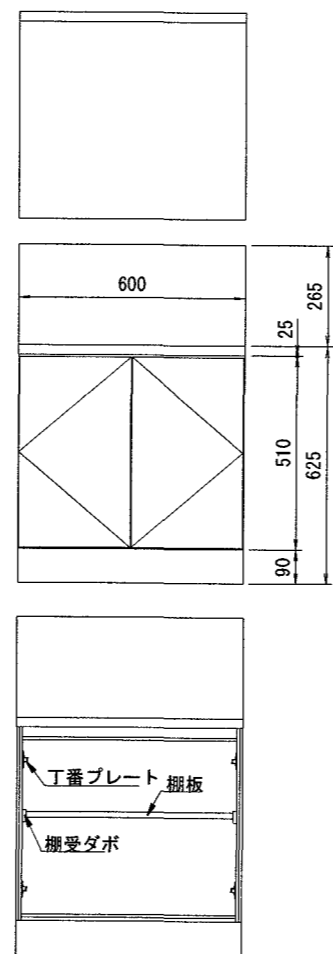
玄関 既製品アルミ製スロープ(置き式) 詳細図 1/5



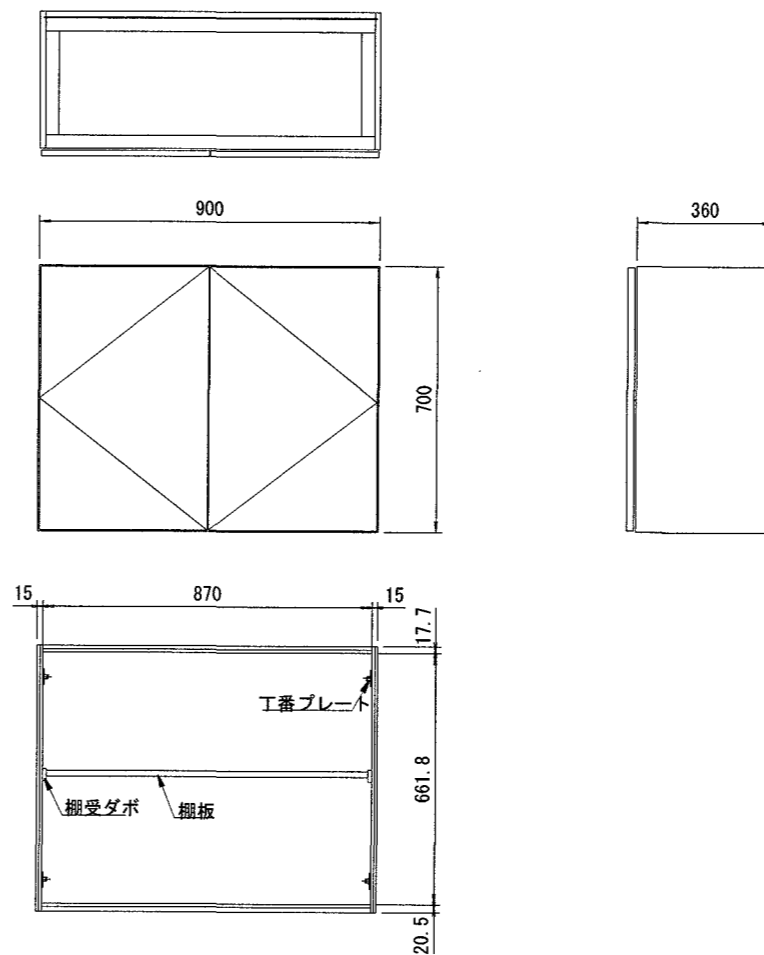
流し台詳細図 1/20



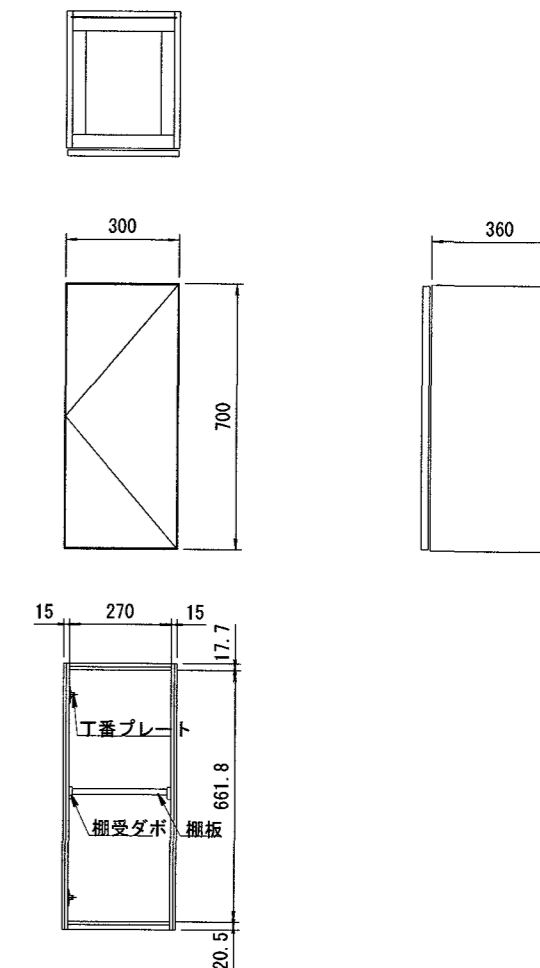
コンロ台詳細図 1/20



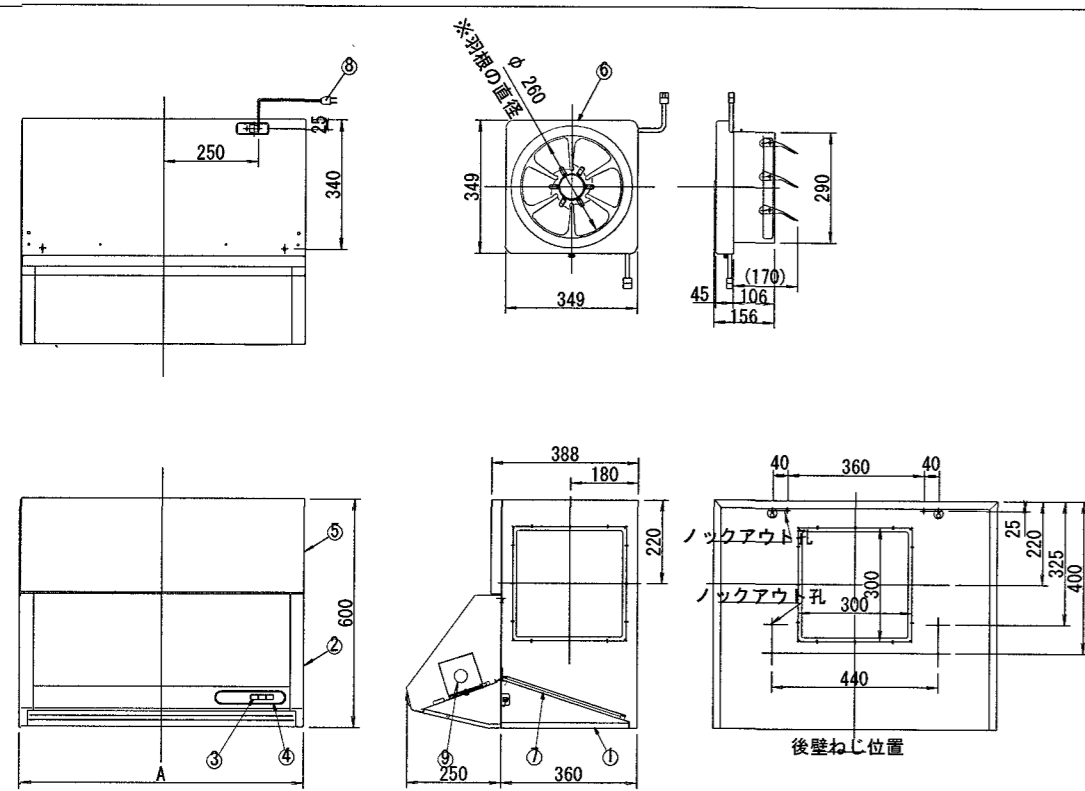
吊戸棚詳細図 1/20



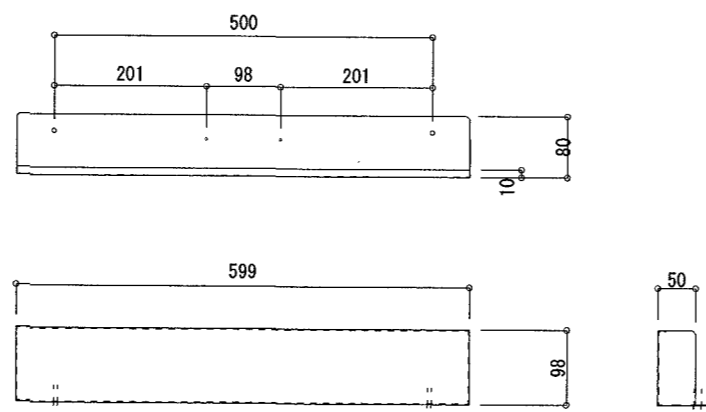
吊戸棚詳細図 1/20



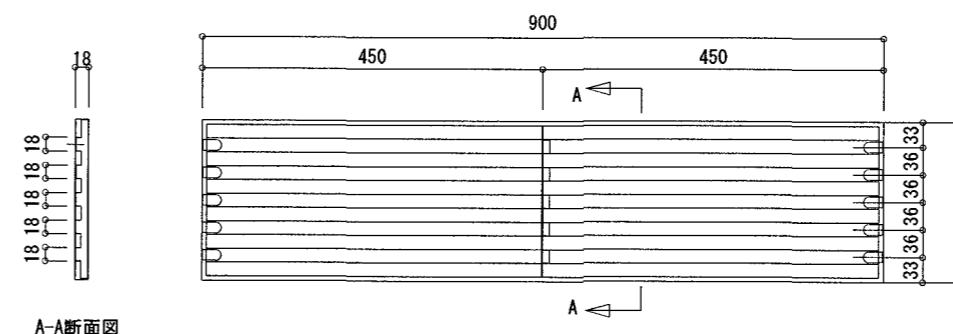
レンジフード詳細図 1/20



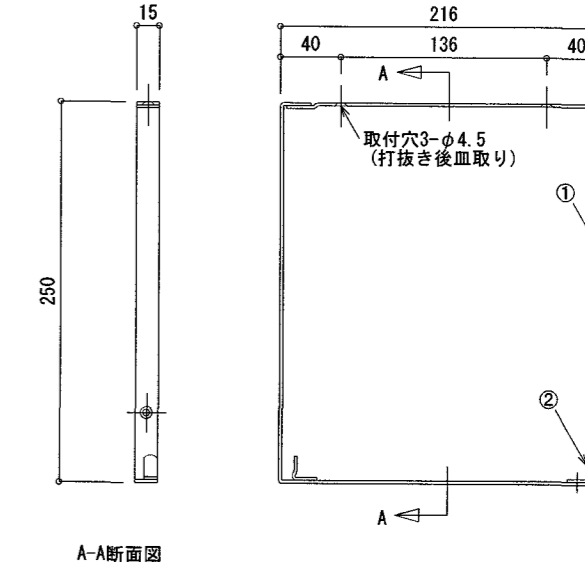
レンジフード上部幕板詳細図 1/10



水切棚詳細図 1/10



水切棚ブラケット詳細図 1/5

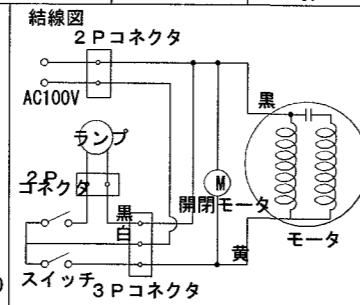
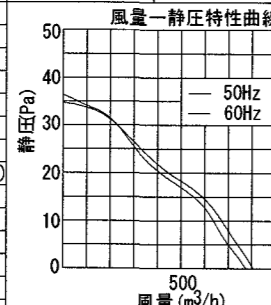


◆A寸法

開口	W600	W750	W900
A	600	750	900

排気方向: 30°角のノックアウト
排気方向: 後方, 左右の3方向排気

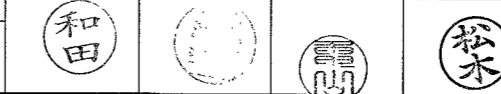
品番	部品名	材質	規格	定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
1	本体	亜鉛メッキ鋼板 (ポリエステル粉体塗装)		100	50	35	780	37
2	前面フード	亜鉛メッキ鋼板 (ポリエステル粉体塗装)			60	37	810	37
3	スイッチ	3連押しボタン式 (切・入・ランプ)						
4	スイッチ枠	PP樹脂	スイッチ銘板貼付					
5	上パネル	亜鉛メッキ鋼板 (ポリエステル粉体塗装)						
6	換気扇組立	シャッター自動開閉方式						
	ファンケース	亜鉛メッキ鋼板 (ポリエステル粉体塗装)						
	本体枠	亜鉛メッキ鋼板						
	シャッター	亜鉛メッキ鋼板 3枚						
	プロペラファン	亜鉛メッキ鋼板φ260 6枚羽根 (ポリエステル粉体塗装)						
	ファンモータ	4極コンデンサ誘導電動機 3μF						
	開閉モータ	MT8-DU 100V-3W						
7	グリッドフィルター	アルミ製スリットフィルター						
8	電源コード	0.75mm² 2線プラグ付ビニル平形コード 機体外1.0m						
9	照明	ミニ電球 40W						

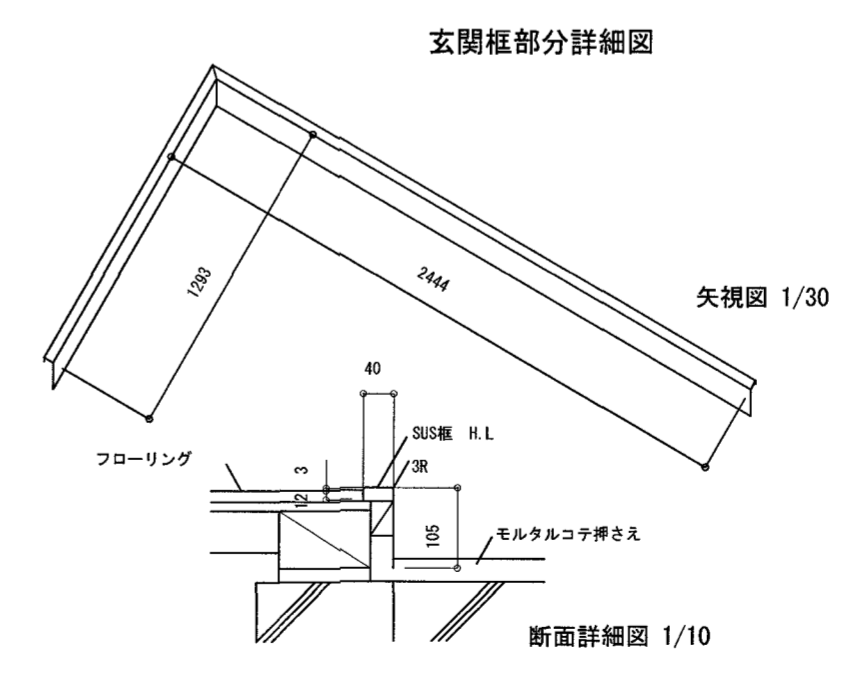
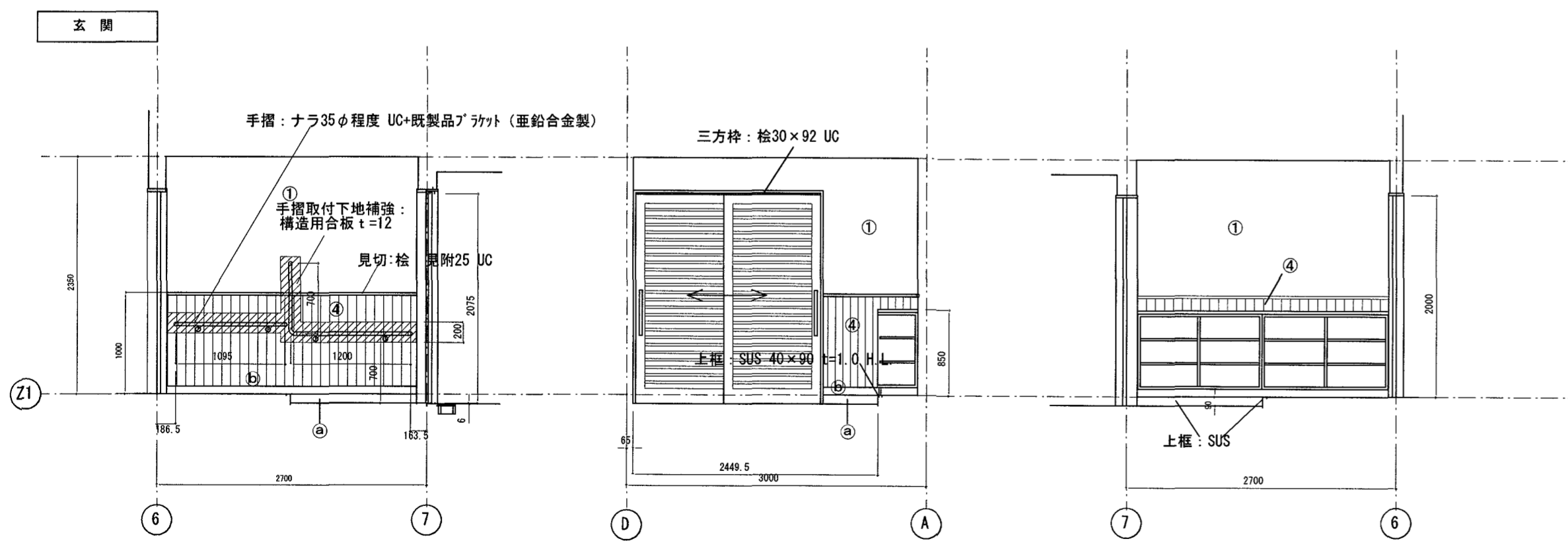
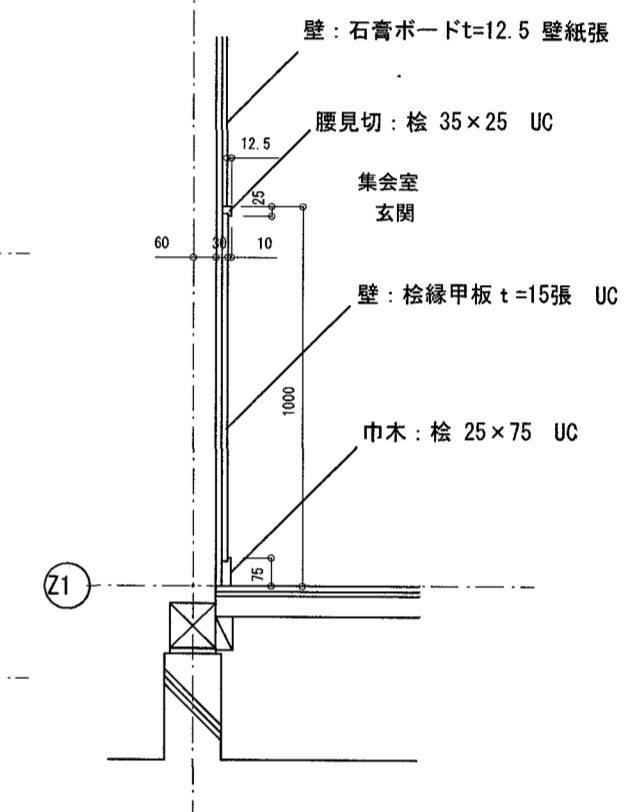
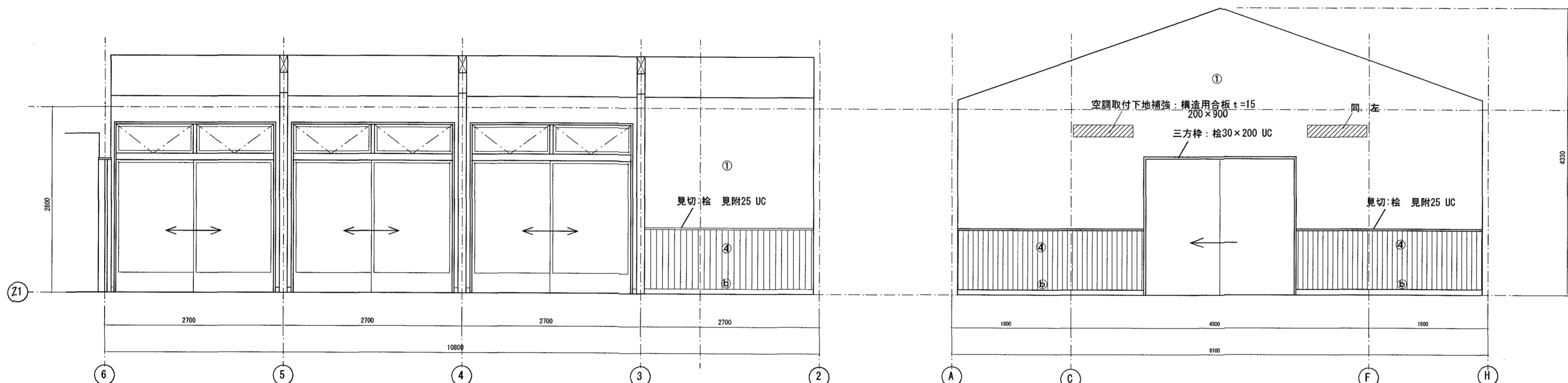
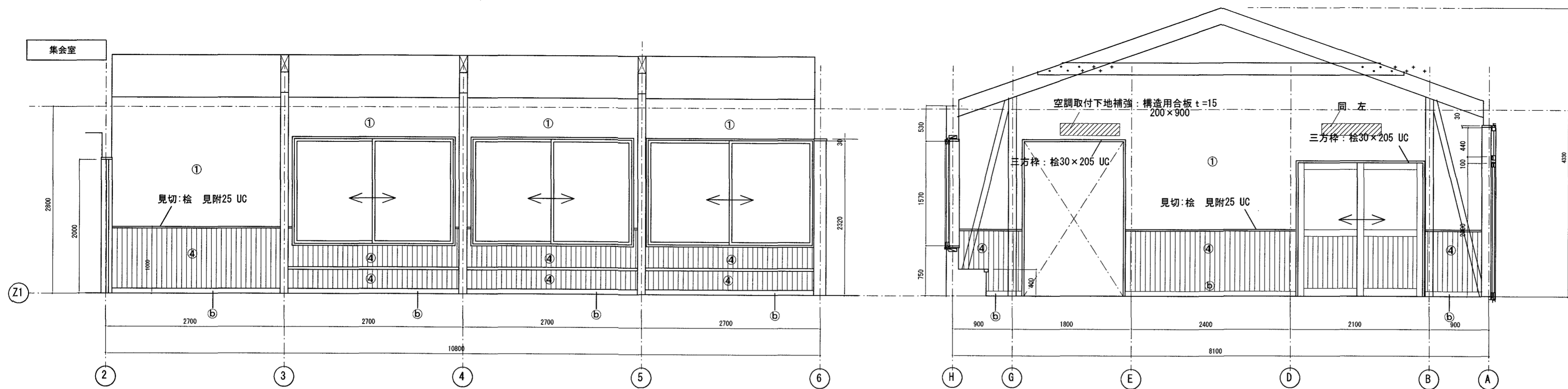


材質	数量	仕上
亜鉛メッキ鋼板 t=0.6	1	粉体塗装 指定色

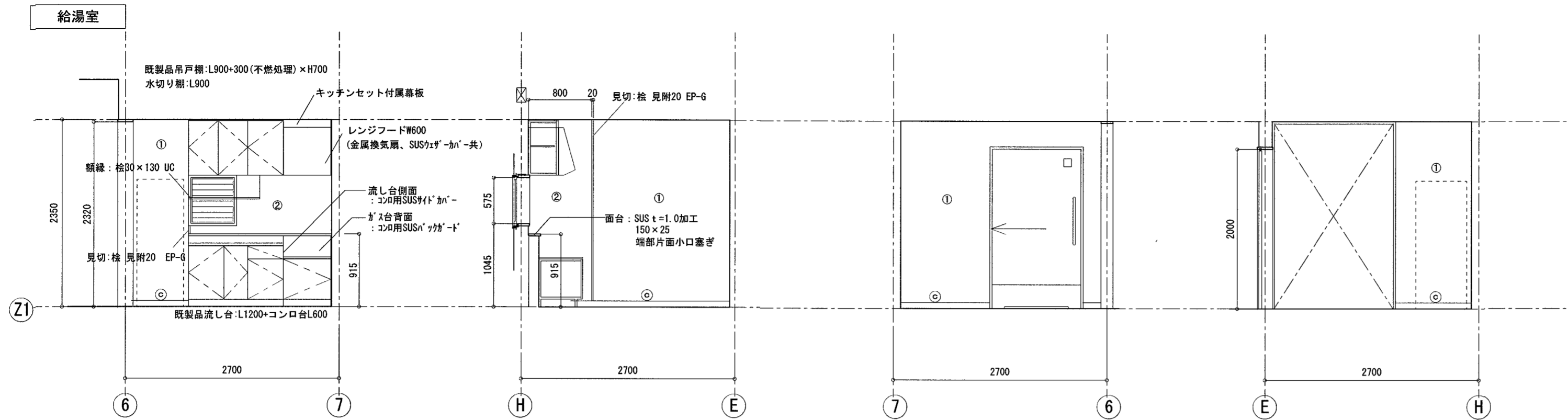
番号	名称	個数	材質	仕様
①	搬受枠	1	JFE443CT	t 0.5
②	棚 棧	5	"	t 0.5
③	棚板爪	10	"	t 1.2
④	中 受	1	"	t 1.2

番号	名称	個数	材質	仕様
①	搬受枠	2	JFE443CT	t 2.0ヘアーライン仕上げ
②	搬受爪	2×2	"	"
	枠取付ねじ	7(予備1含)	"	3.5×16 皿タッピングネジ
	ゴムパッキン	2	ネオプレンゴム	12.0 φ19

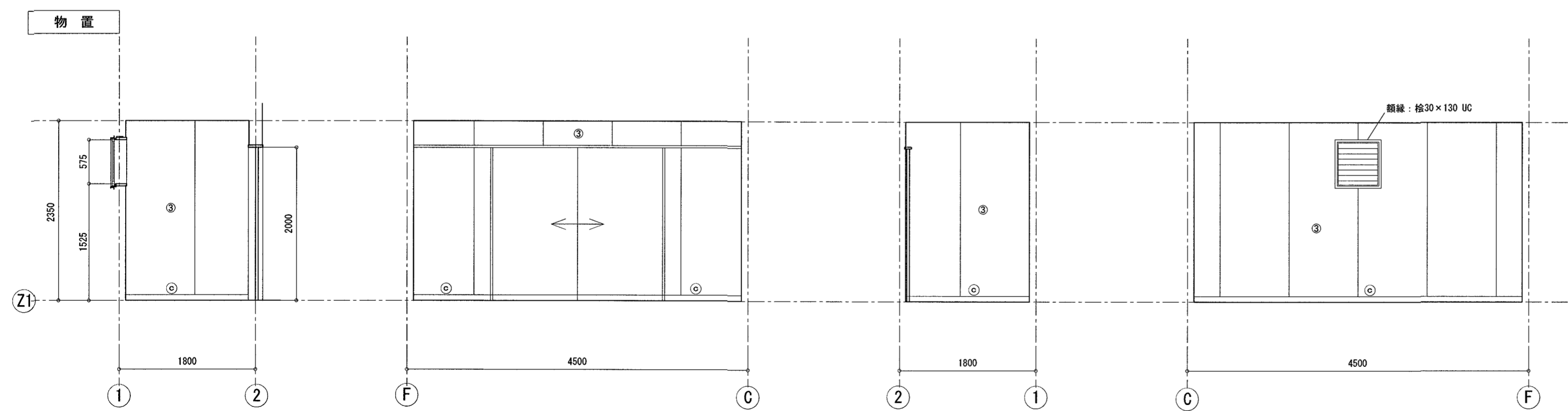
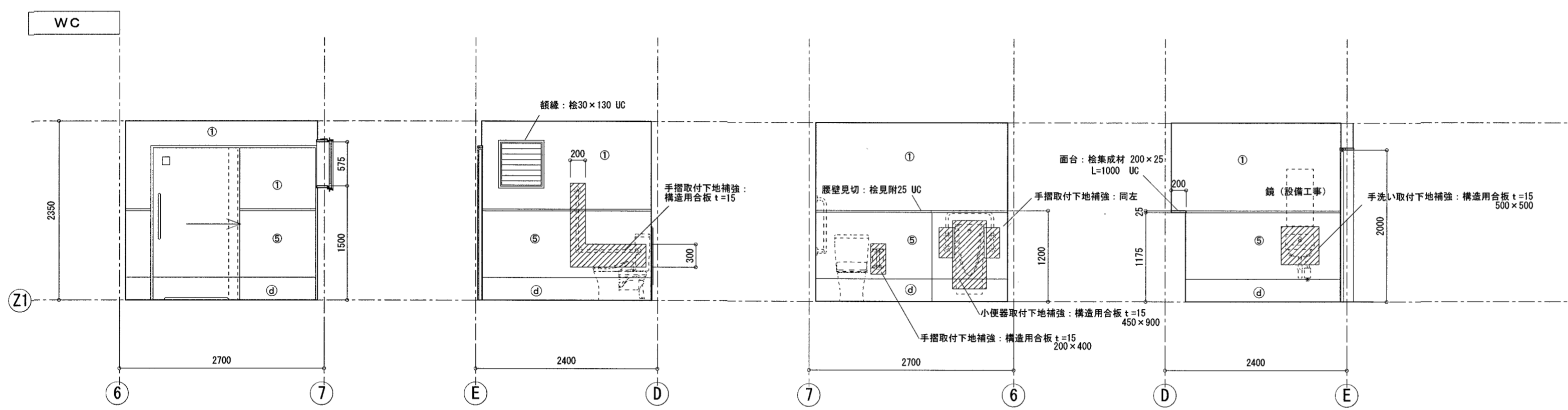
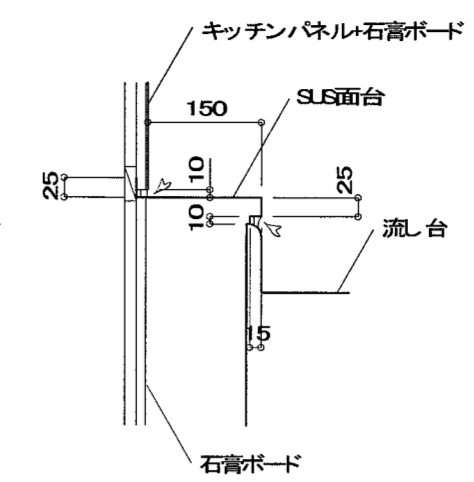




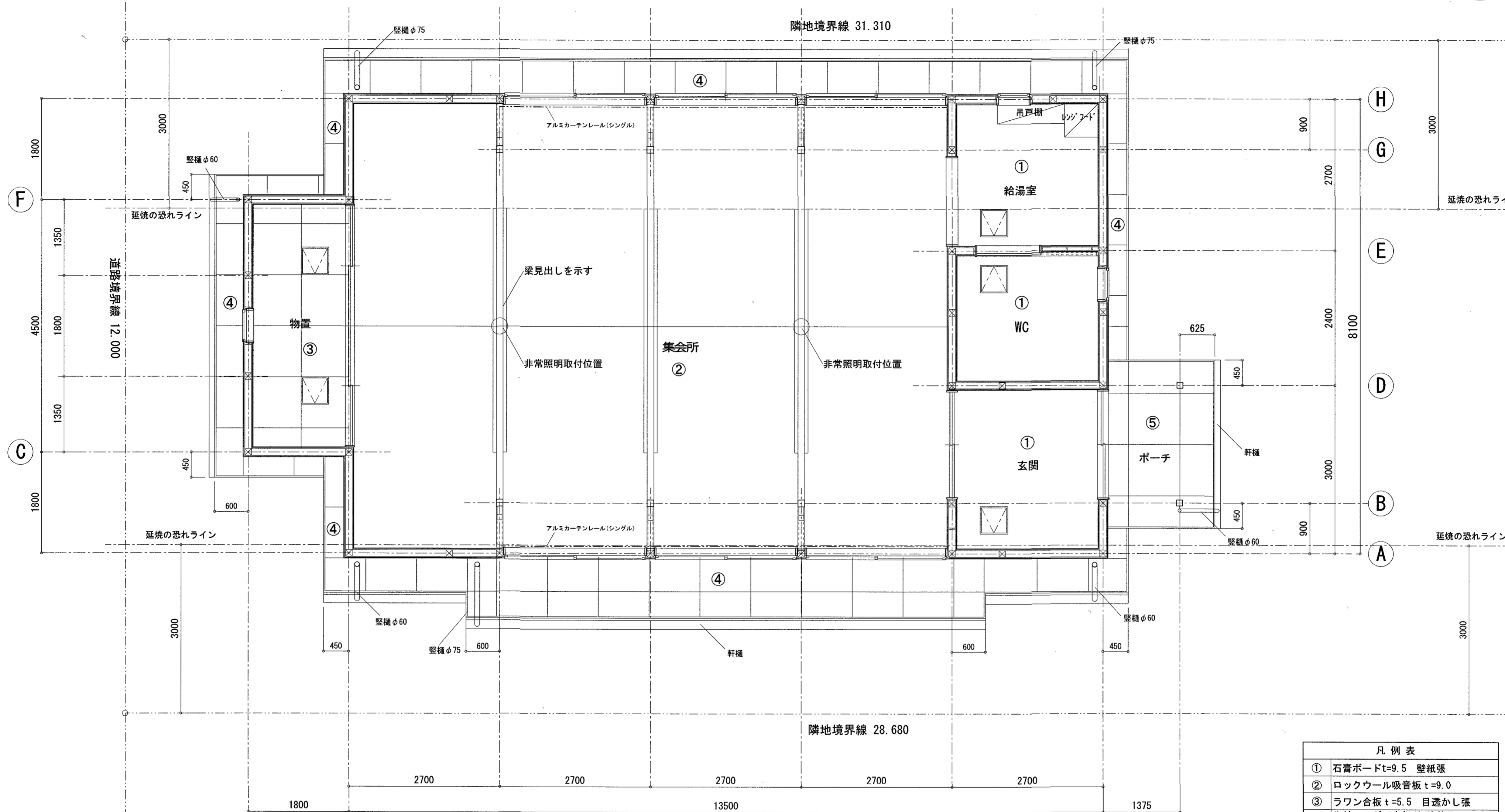
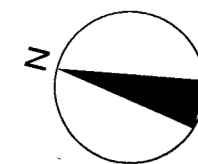
壁仕上区分	
下地	仕上
① 石膏ボード t=12.5張	壁紙張
② 石膏ボード t=12.5張	キッチンパネル t=3.0貼
③	ラワン合板 t=12.0張
④	桧縁甲板 t=15張(本実) UC
⑤ 石膏ボード t=12.5張	腰壁用塩ビシート貼
⑧	モルタル金コテ押え巾木 h=90
⑨	桧巾木 h=75 UC
⑩	ビニル巾木 h=75
⑪	ビニル巾木 h=300



SUS面台部分詳細図 1:10



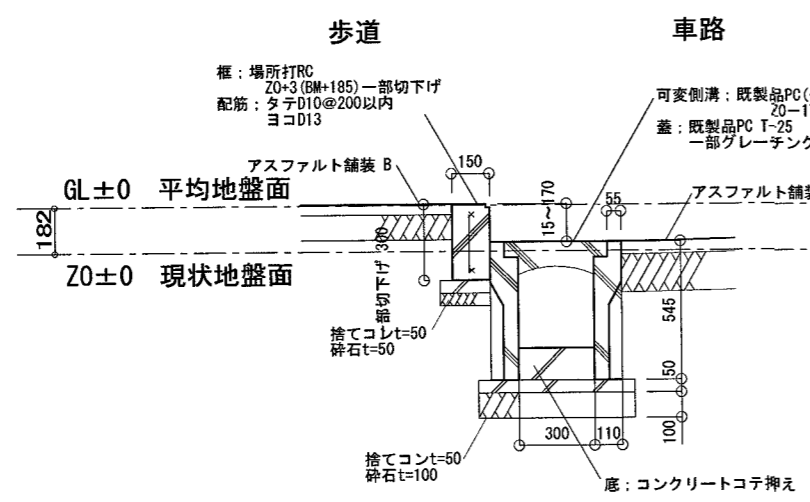
壁仕上区分	
下地	仕上
① 石膏ボード t=12.5張	壁紙張
② 石膏ボード t=12.5張	キッチンパネル t=3.0貼
③	ラワン合板 t=12.0張
④	桧縁甲板 t=15張(本実) UC
⑤ 石膏ボード t=12.5張	腰壁用塩ビシート貼
◎	モルタル金コテ押え巾木 h=90
ⓐ	桧巾木 h=75 UC
ⓒ	ビニル巾木 h=75
ⓓ	ビニル巾木 h=300



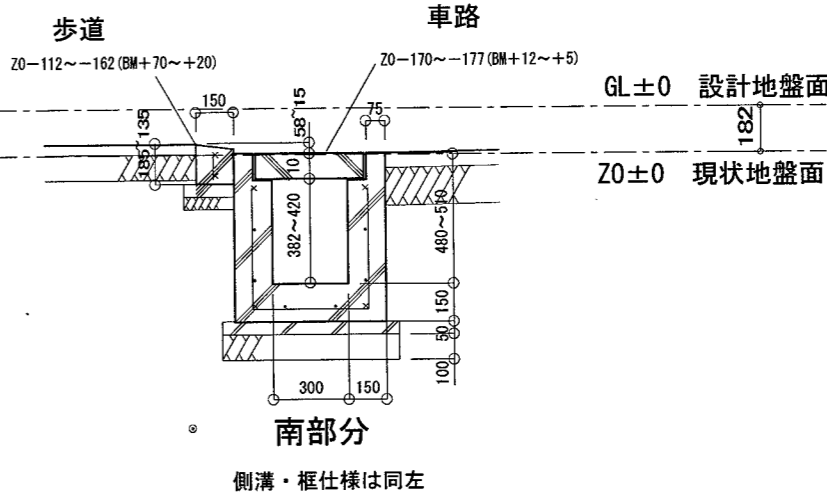
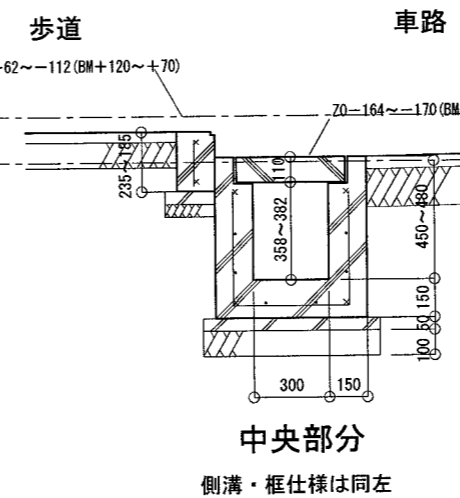
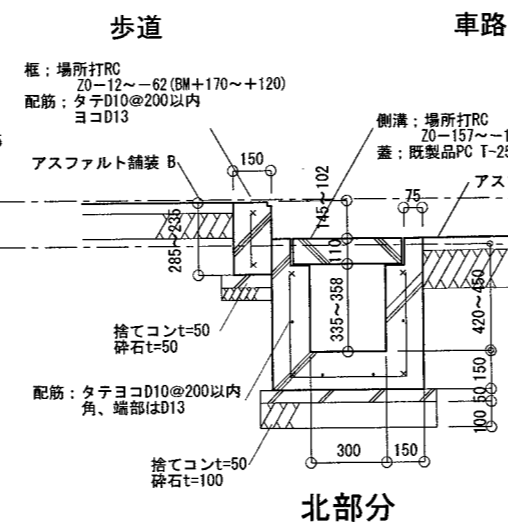
凡例表	
①	石膏ボード t=9.5 壁紙張
②	ロックウール吸音板 t=9.0
③	ラワン合板 t=5.5 目透かし張
④	化粧スラグ石膏板(無塗装品) t=8 面取突付張り EP-G
⑤	珪酸カルシウム板 t=6 目透し張 EP-G
廻縁	樹脂既製品 3*10 集会所: 壁付 その他: 天井付
	天井点検口 450x450 (位置は、設備と協議の上決定)

記号	位置 箇所数	AW 1a 集会室 2	AW 1b 集会室 1	AW 2a 集会室 2	AW 2b 集会室 1	AW 3a 給湯室、WC 2	AW 3b 物置 1	AW 4 玄関 1
姿図		<p>AW-1a : W = 2400 AW-1b : W = 2381.5</p> <p>オペレーター(※材料)参考図 表示材料</p>		<p>AW-2a : W = 2400 AW-2b : W = 2382.5</p>				
形式	見込み	引違い窓+外倒し排煙窓(鉄骨用半外付) 70		引違い窓(鉄骨用半外付) 70		ルーバー窓(住宅用半外付) 72	玄関2枚引き戸 125	
材質	仕上げ	アルミ アルミシルバー		同左		同左	アルミ 木目柄(ひのき色)	
硝子		透明強化ガラス t=5.0		同左		強化型ガラス t=4	強化型ガラス t=4.0	
金物		付属金物一式、キックプレート付下框、露出オペレーター仕様		付属金物一式		付属金物一式、AW-3a:オペレーターハンドル仕様 AW-3b:高窓用オペレーター(チェーン)仕様	付属金物一式、召合わせ錠、内外ともハンドル仕様 SUSグレーチングユニット+排水溝(ワゴン品)	
備考		網戸、欄間は固定網戸 オペレーターは、図示(参考図)のタイプを使用する。		網戸		固定網戸		
記号	位置 箇所数	WD 1 玄関 1	WD 2 物置 1	WD 3 WC 1				
姿図			<p>鴨居中央にSUSストッパー 有効開口2000</p>	<p>キックガード: ステンレスPL HL t=1.0 アンダーカット</p>				
形式	見込み	引違い戸 36	両引き込み戸 33	片引きハンガー戸 33				
材質	仕上げ	桧 UC	ポリ合板フラッシュ、小口:桧 UC	同左				
硝子		透明強化ガラス t=4.0		強化型ガラス t=4				
金物		SUS摺込引手、消音戸車、SUS敷居レール	SUS摺込引手、消音戸車、SUS敷居レール、引違戸錠、ストッパー	上吊レール(ソフトクローズ)、吊り車、下部ガイド ドアハンドルL=600木製φ32、 鍵錠(表示・非常開機能付、大型4点)				
備考								
形式	見込み							
材質	仕上げ							
硝子								
金物								
備考								

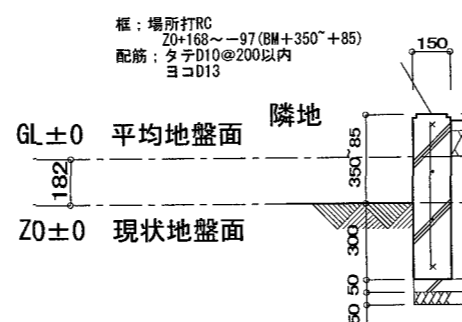
④-1中央通路側溝新設（直線部分）1/30



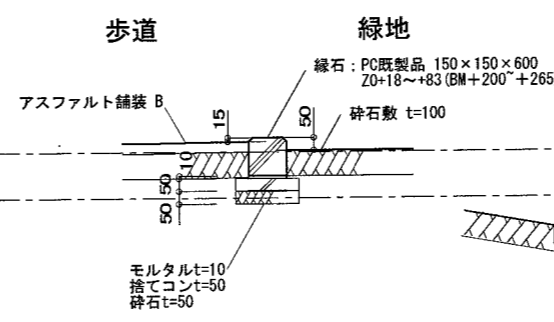
④-2中央通路側溝新設（曲線部分）1/30



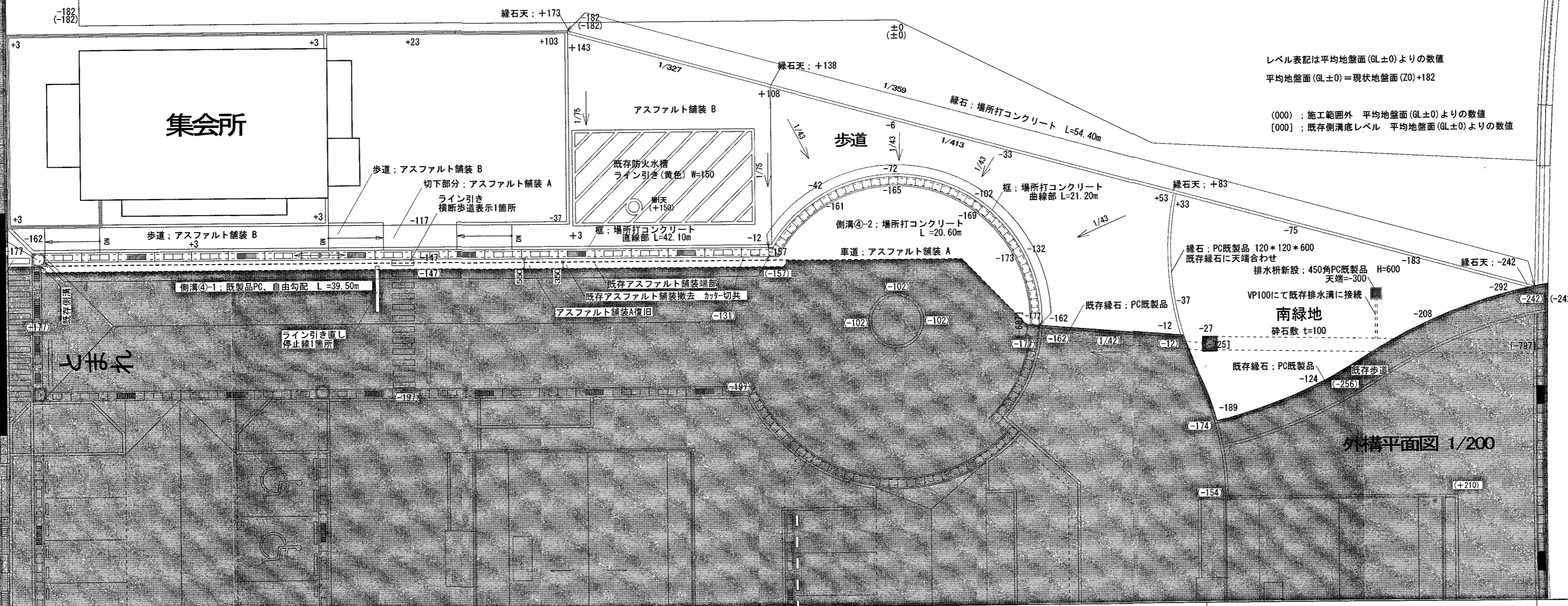
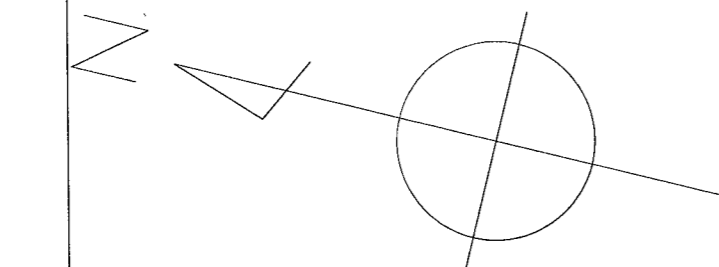
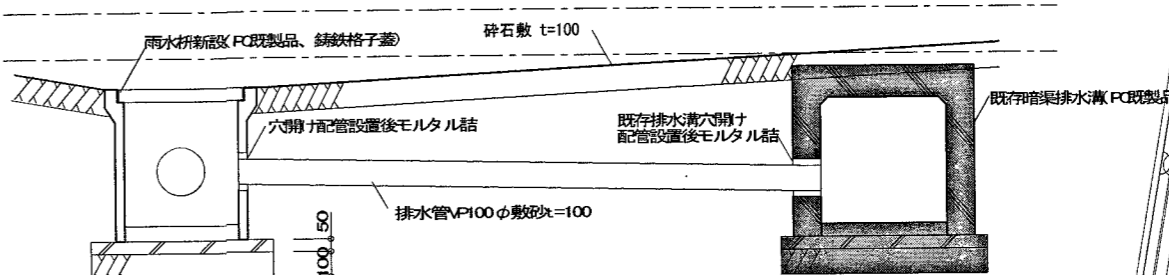
歩道・緑地東側縁石 1/30



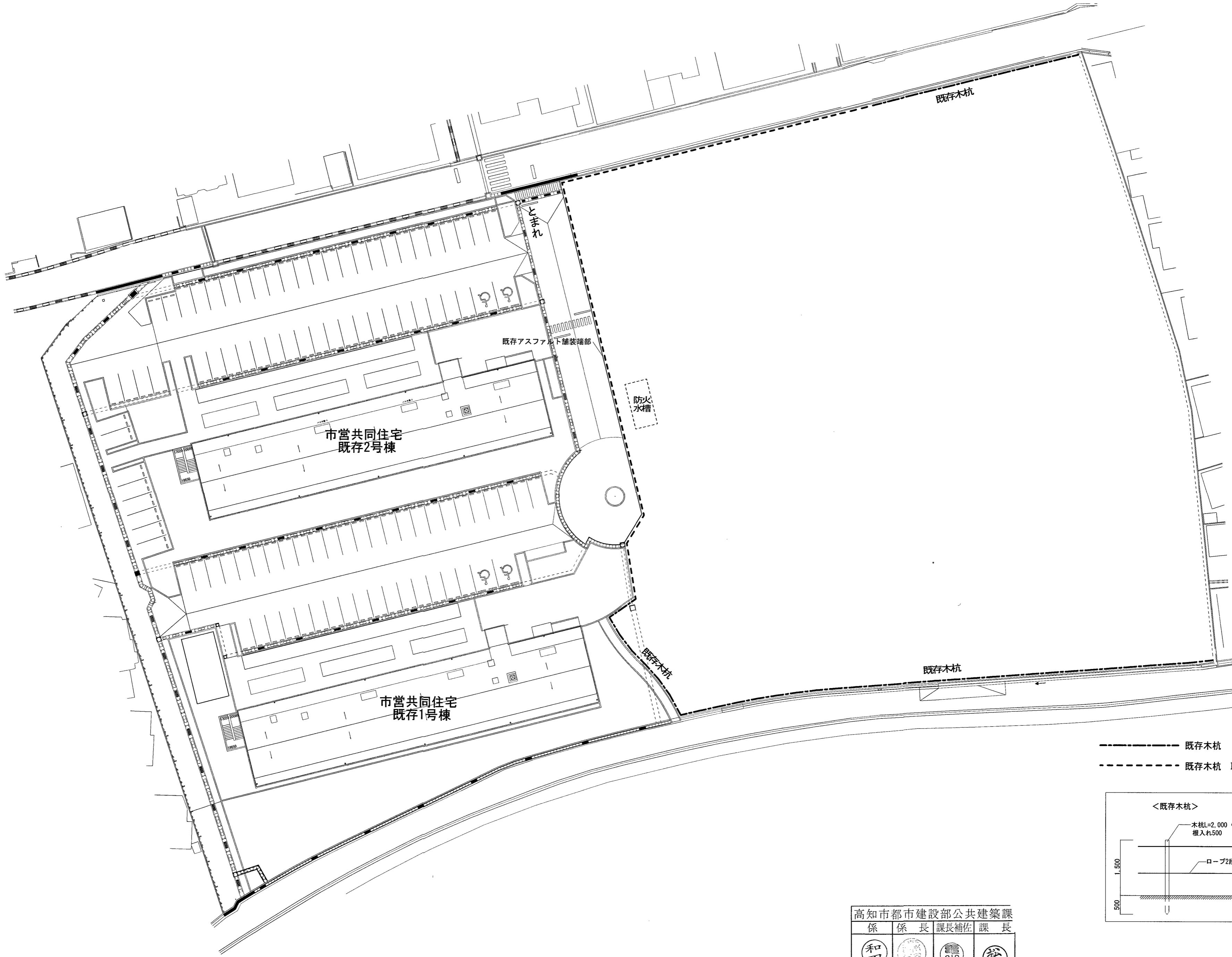
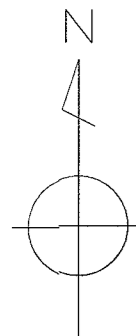
南緑地側縁石 1/30



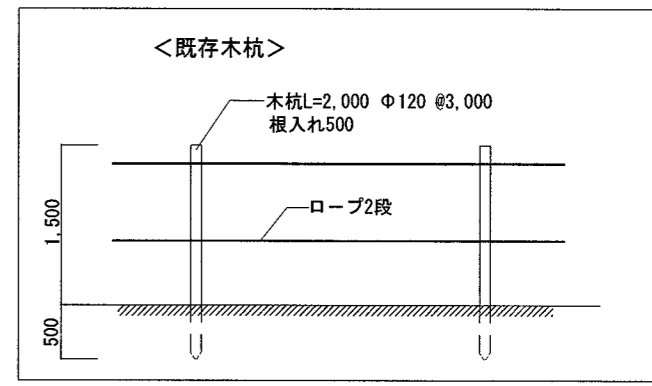
南緑地排水 1/30



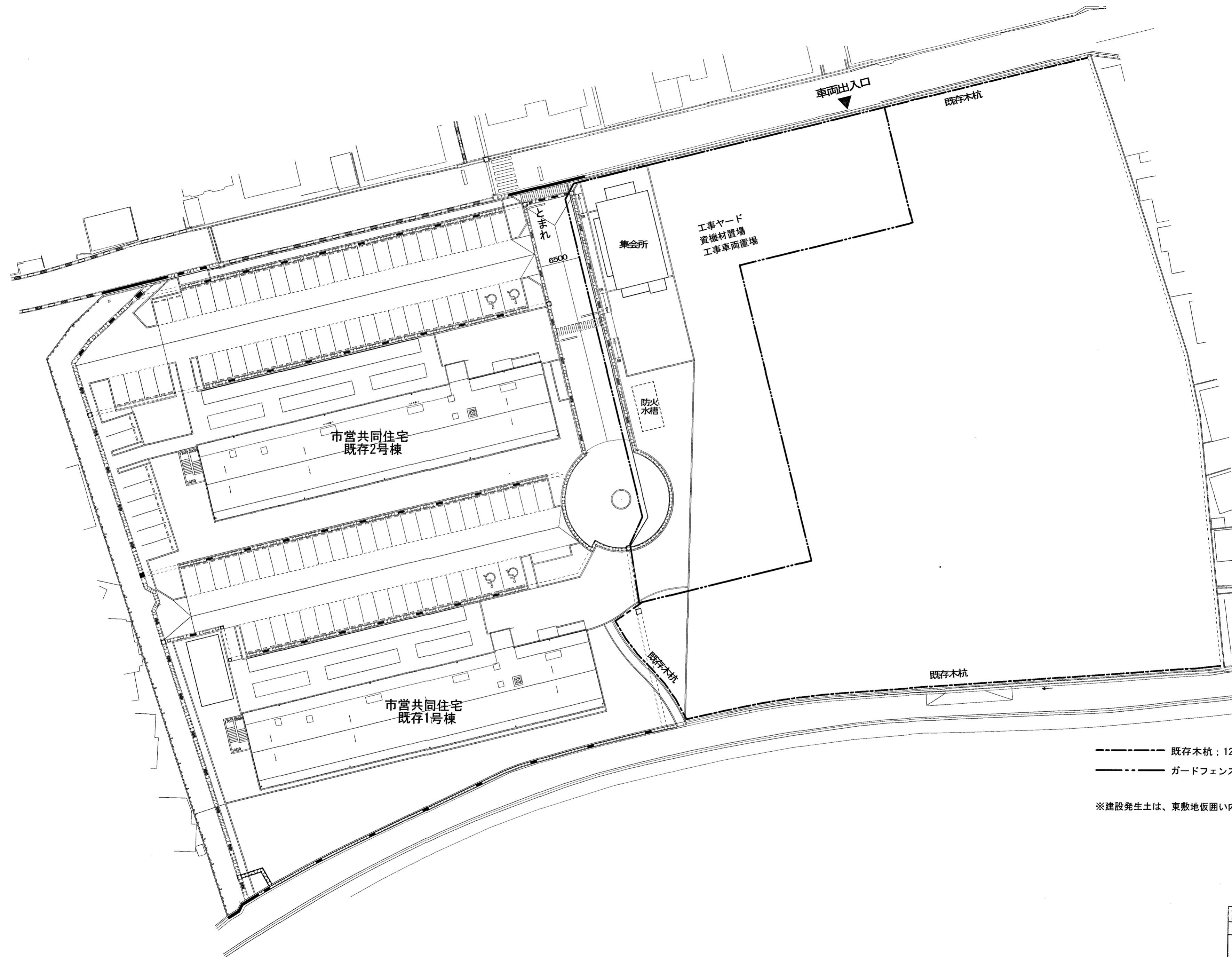
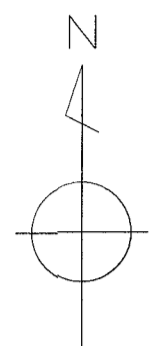
高知市都市建設部公共建築課
 係長 課長補佐 課長
 (和) (田) (書) (松)



- - - - - 既存木杭
 - - - - - 既存木杭 取外し(復旧時再利用分保管)

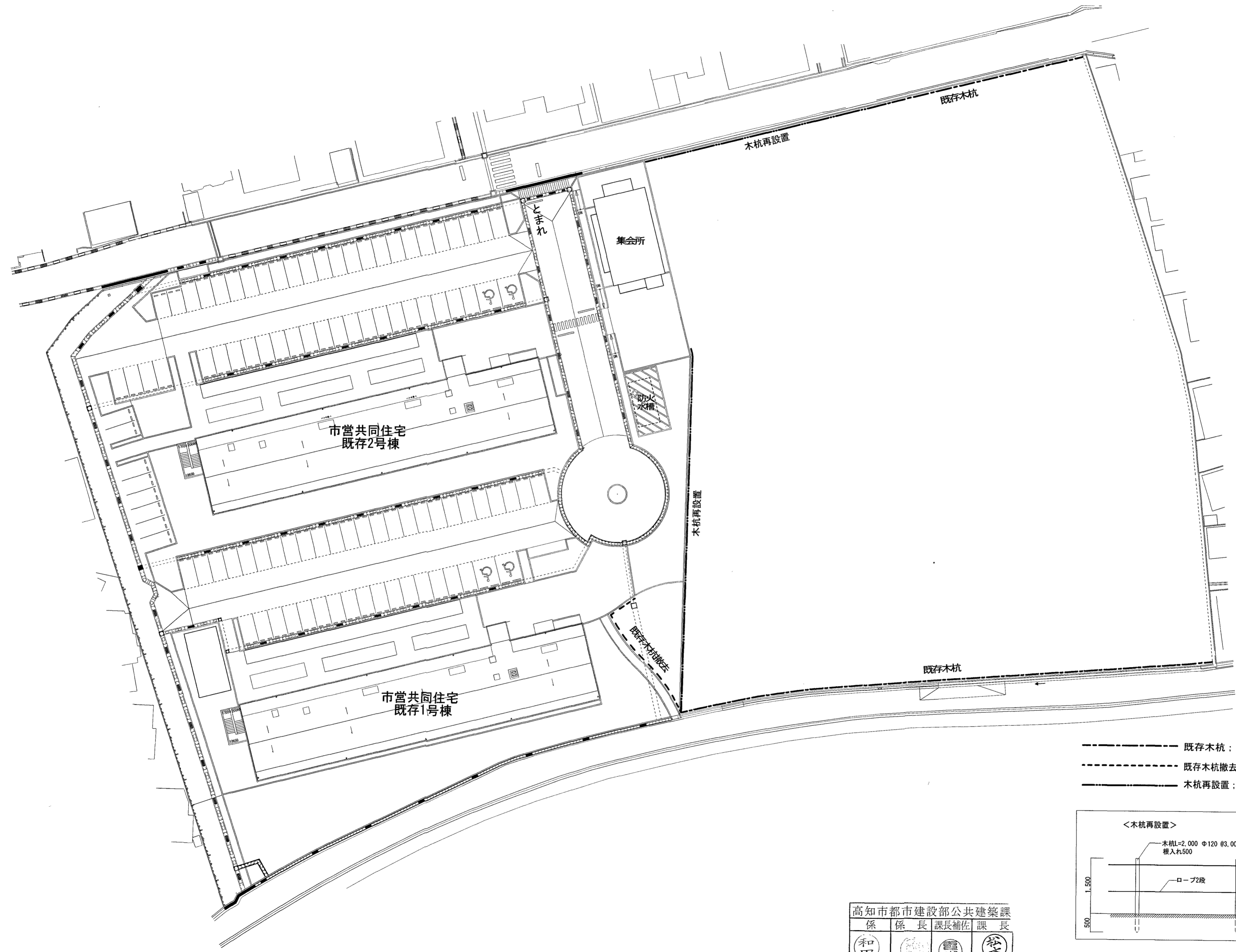
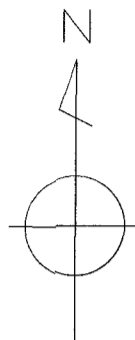


高知市都市建設部公共建築課
 係 係長 課長補佐 課長

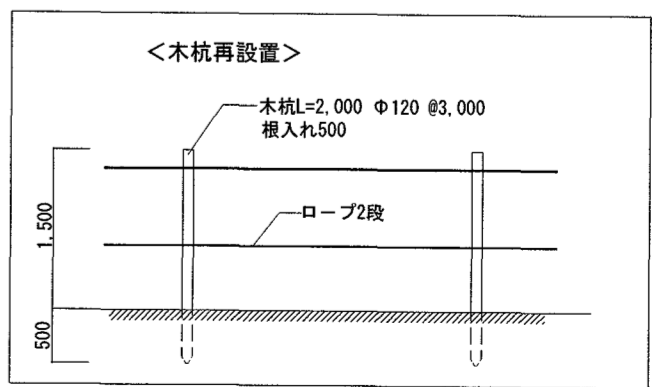


- - - - - 既存木杭；120φ、L=2000 @3000
 - - - - - ガードフェンス；H=1800程度（上部：スチールメッシュ）
 （下部：スチール板）
 ※建設発生土は、東敷地仮囲い内に敷均しとする。

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
和	田	書	松



- 既存木杭；120φ、L=2000 @3000
- 既存木杭撤去
- 木杭再設置；取外し既存品再使用



高知市都市建設部公共建築課
 係 係長 課長補佐 課長
 和 田 山 本 義 夫

構造特記仕様書 2025年度版

選択項目は○印を適用し、◎印が無い場合は※印を適用する。
○印が複数ある場合は、共に適用する。

1-1 使用材料は原則としてJIS規格適合品、JAS規格品、又は大目認定品とする。

1-2 設計図書は優先順位は下記による。

1) 本特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
 (◎鉄筋コンクリート構造配筋標準図 *鉄骨工作標準図
 *鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図 *高強度せん断補強筋施工仕様書
 *鉄筋コンクリート壁式標準配筋図)

4) 仕様書 (◎公共建築協会 ※日本建築協会)
5) 日本建築学会標準仕様書、JASS5 2018年、JASS6 2018年

1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。

1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
第三者機関による検査・試験費用は工事費に (※含む *含まない)

1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。

1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は (※意図図 *構造図 ※設備図) による。

1-7 その他

§2 構造計算ルート

2-1

方向	構造計算ルート
X	◎ルート1 *ルート2 *ルート3 *
Y	◎ルート1 *ルート2 *ルート3 *

2-2 鉄筋の継手(定着)については設計図書もしくは標準図による。
構造計算ルート別による主筋又は、耐力筋の鉄筋の継手の重ね長さ
※ 建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定
* 日本建築学会 JASS5(2014)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
* 日本建築学会 RC標準2024
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC標準2024とすることができる。

§3 仮設工事、土工

3-1 山留め、根切り

3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土 ※ 根切り土の中の良土 * 搬入良土(埋戻し土は30cm毎に転圧締めを行うこと)
盛土 ※ 根切り土の中の良土 * 搬入良土(盛土は30cm毎に転圧締めを行うこと)
残土処分 ◎ 場内均地し ※ 場外搬出処分(※ 自由 * 指定場所)

§4 地業工事

4-1 基礎及びスラブ下地業 (単位mm)

場所	捨てコンクリート厚さ	注1)		厚さ
		A: 砕石	B: 割栗石	
基礎	独立布	※ 50 * 60 * 100	※ A * B	※ 60 * 100 * 150 *
	ベタ	※ 50 * 60 * 100	※ A * B	※ 60 ◎ 100 * 150 *
土間スラブ	基礎梁	※ 50 * 60 * 100	※ A * B	※ 60 ◎ 100 * 150 *
	屋内	※ 50 * 60 * 100	※ A * B	※ 60 ◎ 100 * 150 *
土間コンクリート	屋外	※ 50 * 60 * 100	※ A * B	※ 60 ※ 100 * 150 *

注1). アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
注2). 端部は100以上とする。

4-2 設計地耐力 長期 20 kN/m² 短期 kN/m² 終局 kN/m²
地耐力載荷試験 * 行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ※ 行わない

4-3 地盤改良
* 無筋コンクリート地業 * 締め固め工法 * 機械攪拌式深層混合処理工法
* セメント系固結材 * 圧密排水工法 ◎ 機械攪拌式深層混合処理工法
[* 載荷試験 ◎ 軸圧縮試験] ◎ 行う (1箇所) ※ 行わない
[◎ 六価クロム溶出試験] ◎ 行う ※ 行わない

4-4 既設コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭

1) 杭種
* PHC杭 * A種 * B種 * C種 *
* ST杭 * A種 * B種 * C種 *
* SC杭 t mm * * * *
* PRC杭 * I種 * II種 * III種 * IV種 *
* 節杭 * A種 * B種 * C種 *
* 鋼管杭

2) 工法
* 打撃工法 * 油圧ハンマー * ディーゼルハンマー
* 埋込み工法 * プレボリングセメントミルク注入工法 * 機械攪拌式深層混合処理工法
* プレボリング拡大掘削工法(認定工法)
* 杭周固定液 ※ あり * なし
* 中掘拡大掘削工法(認定工法)
* 回転掘削工法(認定工法)
* 回転杭工法
* 先行掘削 ※ あり * なし
* 鋼管杭回転圧入工法

3) 杭径、設計耐力、本数表

杭径(杭底部)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備考
()					
()					
()					
()					

4) 杭の構成は設計図による。

5) 杭頭補強
* かが筋 * スタッド溶接 * 杭外周溶接

4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭

1) 工法
* アースドリル工法 * 底部アースドリル工法
* リバース工法 * オールケーシング工法 (* ベント工法 *)
* BH工法 * *

2) 杭径、設計耐力、本数表(杭底部は施工工を示す)

杭径(杭底部)mm	管厚 mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備考
()						
()						
()						
()						
()						

3) 杭先端深さ * GL- * * 杭リストによる * 杭伏図による

4) 孔壁測定 (2方向)
※ 行う (* 全数 * %) * 行わない

5) 使用材料 コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。
コンクリート Fc (* 普通ポルトランドセメント * 高炉セメント B種)
鉄筋 * D 以下 SD295 * D 以上 SD345
* D 以上 SD390
鋼管(リブ付) * SKK400 * SKK490

4-6 杭打地業共通事項
1) [* 試験杭 * 試験掘] * 行う (本) * 行わない
2) 載荷試験 * 行う (箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ※ 行わない
3) SL差布 * 行う ※ 行わない

§5 鉄筋工事

5-1 材料

種類	径	継手
◎SD295	D 16 以下	◎ 重ね継手 * スパイラル * 工場溶接
* SD345	D 19 以上	* 重ね継手 ※ ガス圧接 * 溶接継手
* SD390	D 以上	※ ガス圧接 * 溶接継手 * 機械継手(級)
* SD490	D 以上	* ガス圧接 ※ 溶接継手 * 機械継手(級)
* 溶接金網		* 重ね継手
* 高強度せん断補強筋	* 1275級 P * 785級 K * 685級 U	* フック加工 * スパイラル * 工場溶接

5-2 ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
抜取り検査
* 引張り試験(JISZ3120)
1検査ロットにつき ※ 3本 * 原則 柱・梁の径毎に3本
* 超音波探傷試験(JISZ3062) * 熱間押抜き試験
1検査ロットにつき * 30箇所 *
◎ 不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数量で200箇所以内

5-3 溶接、機械式継手の検査は各々の認定方法による他、日本建築学会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準)
JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準)

5-4 梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-5 その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として * ①一般 * ②地反力を受ける * ③上載荷重が大きい場合 *
梁の余長 l₁ の採用 大梁・小梁 ※ D' (梁有効長) * 端部上下筋15d 中央上下筋20d
基礎梁 ※ min(D, L₁) * 端部上下筋15d 中央上下筋20d
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1 レディミクストコンクリート(JIS A5308-2024)

1) セメント ※ 普通ポルトランドセメント JIS R5210 * 高炉ポルトランドセメント * 低熱ポルトランドセメント JIS R5210

2) 粗骨材 * 砂利 * 砕石 * 高炉スラグ骨材 * 人工軽骨材 * 再生骨材
最大径(mm) ※ 20 * 25 * 40

3) 設計基準強度 (N/mm²) (使用区分は設計図の軸組図に示す)
◎ 普通コンクリート
* Fe18 * Fe21 ◎ Fe24 * Fe27 * Fe30 * Fe * Fe
* 軽量コンクリート(※ 1種 * 2種 気乾単位容積質量 ※ 18.5 *)
* LFe18 * LFe21 * LFe24 * LFe27 * LFe30 * LFe

4) 土間コンクリート ◎ Fc 18 (ただし柱、壁等と同時に打込む場合は全体の強度とする)

5) 捨てコンクリート ◎ Fc 18

6) 防水押さえコンクリート * Fc * LFc (気乾単位容積質量 ※ 18.5 *)

7) かさ上げコンクリート * Fc * LFc (気乾単位容積質量 ※ 18.5 *)

6-2 混和材 ※ AE減水剤 * 高性能AE減水剤 * 躯体防水材料 * 膨脹材
注1). 混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたものを使用する。

6-3

箇所	基礎、基礎梁	一般	備考
スラブ厚 cm	A-02参照		
水セメント比 %			60以下
単位水量 kg/m ³			185以下
単位セメント量 kg/m ³			270以上

注2). スラブは特記なき限り施工者が決め監理者に報告する。

6-4 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)

1) 骨材 [* 塩分含有量 * アルカリシカリ反応性] ※ 行う * 行わない
2) フレッシュコンクリート [* スラブ * 空気量] ※ 行う * 行わない
3) 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 ※ 行う * 行わない
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験 * 行う * 行わない
5) マスコンクリートのひび割れ調査(温度応力解析) * 行う * 行わない
6) 単位水量測定 * 行う * 行わない

6-5 調査(補正値は工事費に含む)
計画供用期間の級()は耐久設計基準強度F_d
* 短期(18) * 標準(24) * 長期(30) * 超長期(36)
調査管理強度 F_m=Max(F_c, F_d)+S S=3-6
材齢28日の調査強度Fは下記の式を満足するものとする。
F_d≥F_m+1.73σ F_d≥0.85F_m+3σ

6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

コンクリートの材齢による場合	基礎、梁、柱、壁		スラブ下		梁 下
	15℃以上	3日	17日	28日	
5℃以上	5日		25日	28日	28日
0℃以上	8日				
圧縮試験による場合	5N/mm ²		注) 0.85Fcまたは12N/mm ²	注) 設計基準強度	

注) かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全が確認されるまで。
住宅性能表示 劣化等級 * 等級2 * 等級3
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さが変わる為、かぶりを訂正又は、設計図に明示する

6-8 Fc36を超える場合は高強度コンクリートとし、仕様は別記特記仕様書(JASS5等)による

§7 鉄骨工事

7-1 材料及び使用箇所

規格名称	鋼材名	柱	通し	内	大梁	プレス	小梁
一般構造用圧延鋼材	* SS400 * * SM400A * SM490A						
溶接構造用圧延鋼材	* SM400A * * SM400B * SM490C						
建築構造用圧延鋼材	* SN400B * SM490B * SN400C * SM490C						
一般構造用角形鋼管	* STKR400 * STKR490						
冷間成形角形鋼管	* BCR295 * * BCP235 * BCP325						
熱間成形角形鋼管	* SHC400B * SHC400C * SHC490B * SHC490C						
一般構造用炭素鋼管	* STK400 * STK490 * STKN400 * STKN490						
一般構造用軽量鋼管	* SSC400 *						
建築構造用圧延鋼材	* SNR400						

7-2 高力ボルト

高力ボルトの種類	使用箇所
トルシア形高力ボルト ※ S10T	全般
JIS形高力ボルト * F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト * F9T	母材が亜鉛メッキされている部分
超高力ボルト * S14T	屋内環境

7-3 普通ボルト、アンカーボルト
1) 材質 * SS400 * SS490 (M 以上) * ABR400 * ABR490 * ABM400 * ABM490 (ABMはM24以上)
2) 大臣認定仕舞(メーカー仕様による) * 使用する * 使用しない

7-4 取付スタッド

径	長さ(mm)				使用箇所
16 φ	80	100	120	150	*
19 φ	80	100	120	150	*
22 φ	100	120	150	*	*

7-5 溶接材料
1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選択する。
2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。
スカラップ形状 ※ ノンスカラップ工法 * スカラップ工法

7-6 7-7 継手

	柱		梁	
フランジ	* 高力ボルト * 現場溶接	※ 高力ボルト	* 現場溶接	※ 高力ボルト * 現場溶接
ウェブ	* 高力ボルト * 現場溶接	※ 高力ボルト	* 現場溶接	※ 高力ボルト * 現場溶接

7-8 溶接手法及び管理
1) 使用する溶接ワイヤ、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2) 完全溶け込み溶接はA種検査の有資格者が行うとする指定を * 行う * 行わない
3) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者質量検定付加試験を * 行う * 行わない
但し、代替タブのA種検査有資格者は質量検定付加試験を免除する。

7-9 デッキプレート (単位 mm)
1) 床用 高さ * 板厚 *
2) 合成スラブ用 高さ * 板厚 *
3) 型枠用 高さ * 板厚 * 形状 タイプ
4) 防錆処理 * プライマー * 亜鉛メッキ * Z12 * Z27

7-10 塗装(工場塗 ※ 2回 * 1回、現場タッチアップ程度とする)
1) 素地調整 ※ ケレン * プラスト
2) 下塗り用塗料

適用	塗料	種別	標準膜厚
屋外	※ 鉛、クロムフリー錆止め JIS K5674	※ 1種 ※ 2種	30 μm
室内	* 水素系止めペイント JASS18 M-111	* 1種 * 2種	40 μm
	* 変性エポキシ樹脂プライマー JASS18 M-109	* 1種 * 2種	40 μm
	* 有機ジンクリッチプライマー JIS K5652	* 2種	15 μm
	* 構造物用さび止めペイント JIS K5651	A種	30 μm

3) 溶融亜鉛メッキ * 行う * 行わない
4) 常温亜鉛メッキ * 行う * 行わない
5) 高耐食メッキ鋼板 (t3.2mm以下) * 用いる * 用いない

7-11 溶接部の検査(受入検査) ※ 行う * 行わない
1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2) 第三者検査機関は(一社)日本建築協会による(注)検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示第64号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付録6 検査精度検査基準」の規程許容率による。
5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程・同解説」2018により、合格判定は7.2 度劣を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表10.1 溶接箇所数の数え方による。
7) 受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。
a) 工場溶接の場合
?- 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
?- 抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
?- 大きさ60個のサンプル中の不適合個数が1個以下のときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合個数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30箇所のサンプルを抜取り検査する。総計60個のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下のときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。
b) 現場溶接の場合
?- 全数検査とする。
8) 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
9) ずれ・食違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。

7-12 鉄骨製作工場 下記○印のグレード認定工場の内、納期・製作能力・鉄骨数量を勘案して工場選択のこと

国土交通省大臣認定(グレード)					
S	H	M	R	J	◎ 以上とする

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

8-1 コンクリートブロック
1) 種類 * A種 * B種 * C種
2) 厚さ mm * 100 * 120 * 150 * 190

8-2 ALC パネル
1) 使用箇所 * 床 * 屋根 * 外壁 * 内壁
2) 厚さ mm * 75 (80) * 100 * 120 (125) * 150 * 175
3) 外壁取り付け構法

方向	構法	使用箇所	備考
縦	* ロッキング構法		
横	* アンカー構法		

8-3 押出成形セメント板
外壁取付構法及び厚さ mm * *

方向	構法	使用箇所	備考
縦	* ロッキング構法		
横	* スライド構法		

8-4 PCa板
1) 床及び屋根 * 床 * 屋根
* PCa板厚さ 厚さ mm *
* 合成板

PCa板厚さ mm	現場打厚さ mm	合計厚さ mm	備考

2) 外壁 厚さ mm * *

給湯設備取付特記事項
給湯設備は風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15 kg を超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法とすること

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2025年度版

§1 一般事項

1-1 基本事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(2021)」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

§2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最大径は下表による。

記号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最大径 D	11	14	18	22	26	29	33	37	40	43	47

○ フックのない場合
○ フックのある場合
○ 本数に差がある場合
○ 機械式継手表示
○ ガス圧接、溶接継手表示

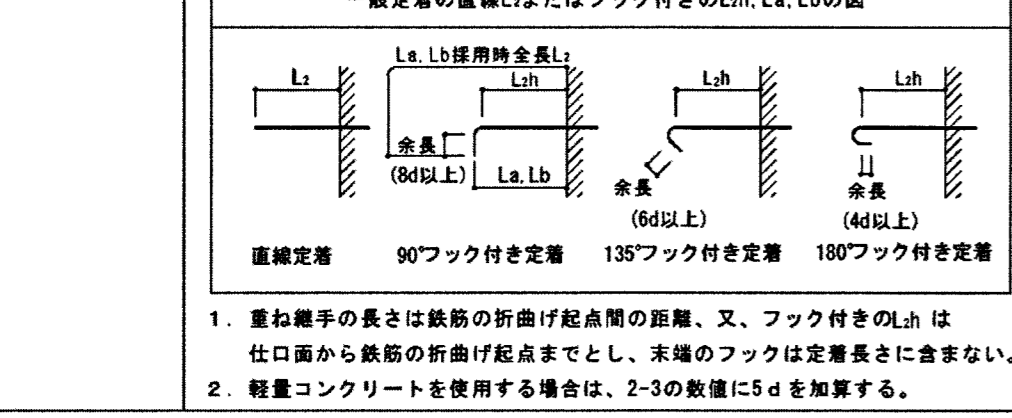
柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径(D)
180°		柱・梁主筋 基礎主筋 帯筋	SD295 SD345	D16以下 D19~D41	3d以上 4d以上
135°		あばら筋 スパイラル筋	SD390	D41以下	5d以上
90°		帯筋	SD490	D25以下 D29~D41	5d以上 6d以上

(SD490は90°のみ)

鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(N/mm ²)	重ね継手の長さ		定着の長さ	
		上層 重継手 L ₁	下層 重継手 L ₂	一般 上端筋 L ₁	小梁・床スラブ 下端筋 L ₂
SD295 SD345 (1)はSD345を示す	18	45d(50d) 35d	40d	15d	20d
	21	40d(45d) 30d	35d	15d	20d
	24~27	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d), 15d(20d)	15d	20d
	30~36	35d 25d	30d 20d, 15d	15d	20d
	39~45	30d(35d) 20d(25d)	25d(30d), 15d	15d	20d
	48~60	30d 20d	25d 15d, 15d	15d	20d
SD390 (SD490) (2)は適用外	21	50d(-) 35d(-)	40d(-) 30d(-), 20d(-)	20d	(-)
	24~27	45d(55d) 35d(40d)	40d(45d) 30d(35d), 20d(25d)	15d	(-)
	30~36	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d), 20d(25d)	15d	(-)
	39~45	40d(45d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d), 15d(20d)	15d	(-)
48~60	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d), 15d(20d)	15d	(-)	

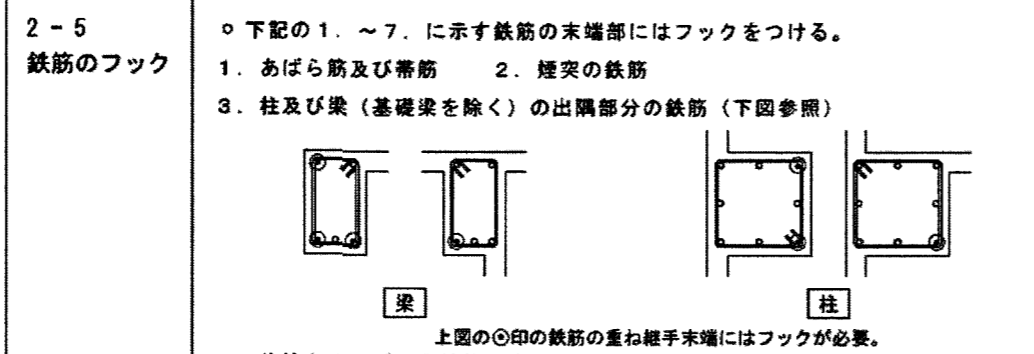
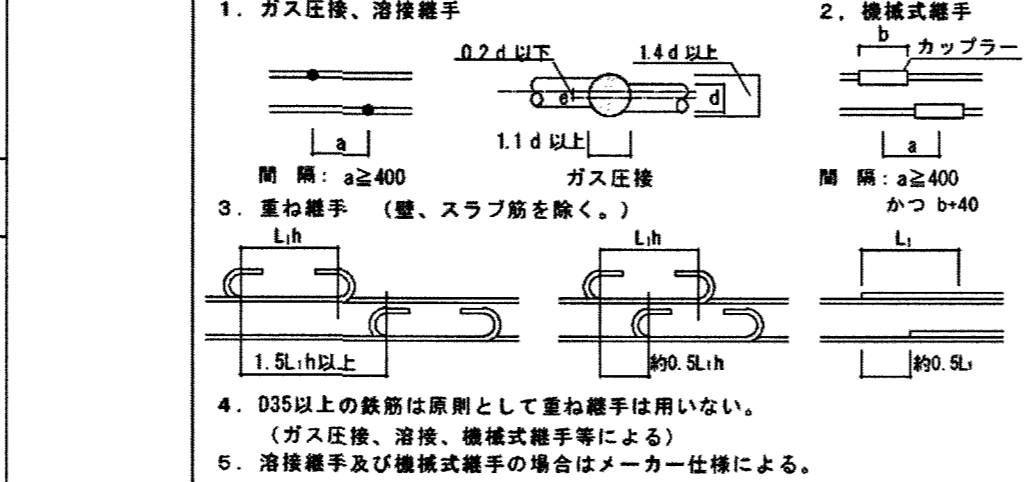


2-4 継手一般

3. 構造特記仕様書2-2で令第73条を選択した場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは左下表L1かつ40d(軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする。

4. 構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC規準2024とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは設計図によるが、参考値として左下表JASS5(2018)にL₁L₂を示す。

ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手に関する事項は、標準仕様書および施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書(2019年版)共に公益社団法人日本鉄筋継手協会編に準拠。



2-6 鉄筋のあき

○ 鉄筋のあきaは原則として下記による。

呼び名の数値dの 1.5倍以上
粗骨材の最大寸法の 1.25倍以上

○ 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。

○ 二段筋のあきは1.5dかつ粗骨材最大値の1.25倍以上とする。

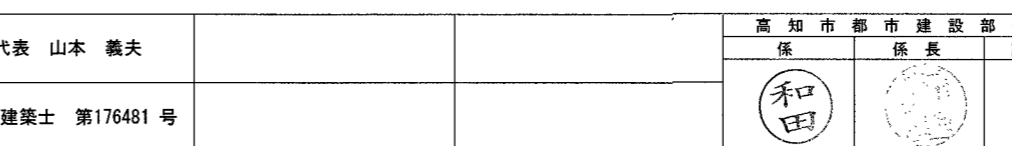
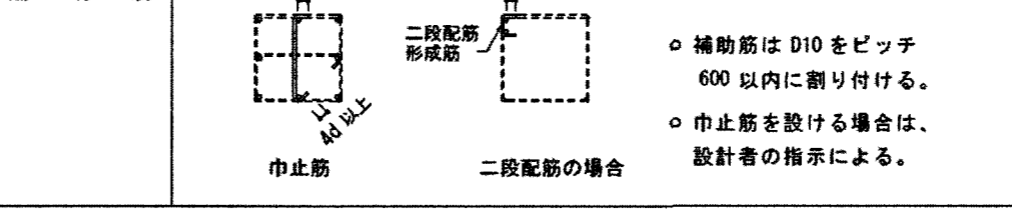
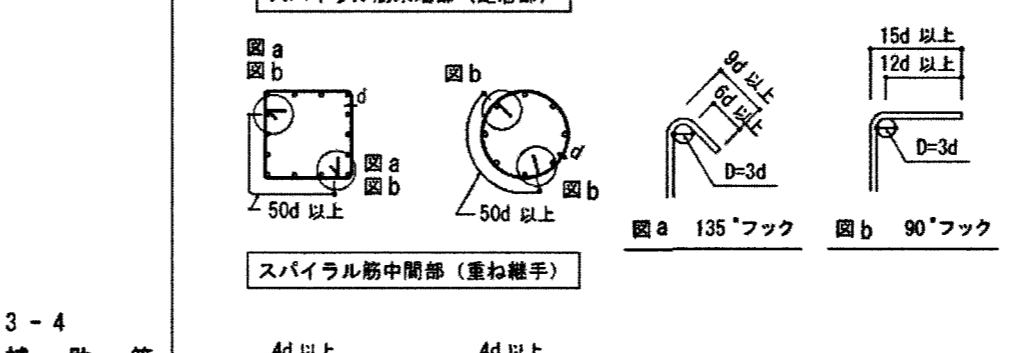
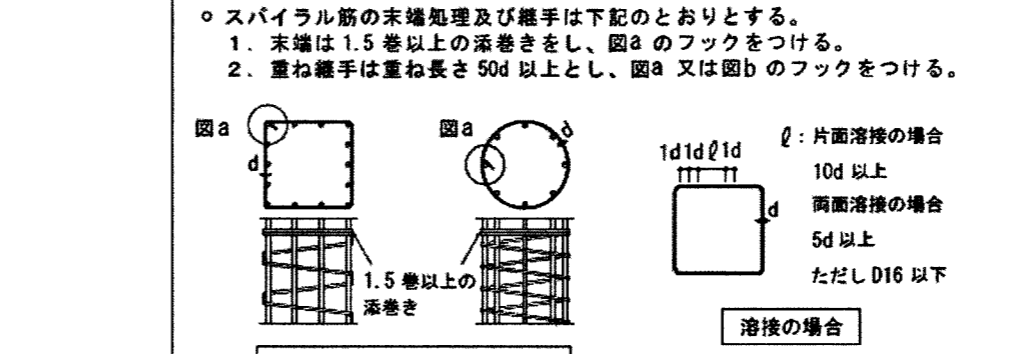
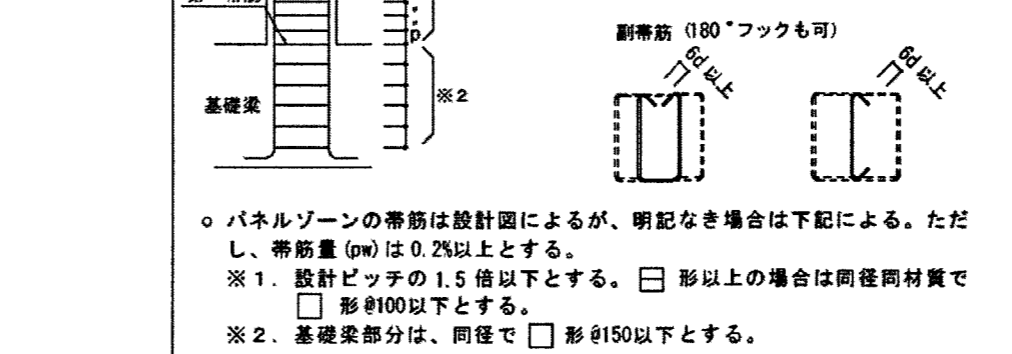
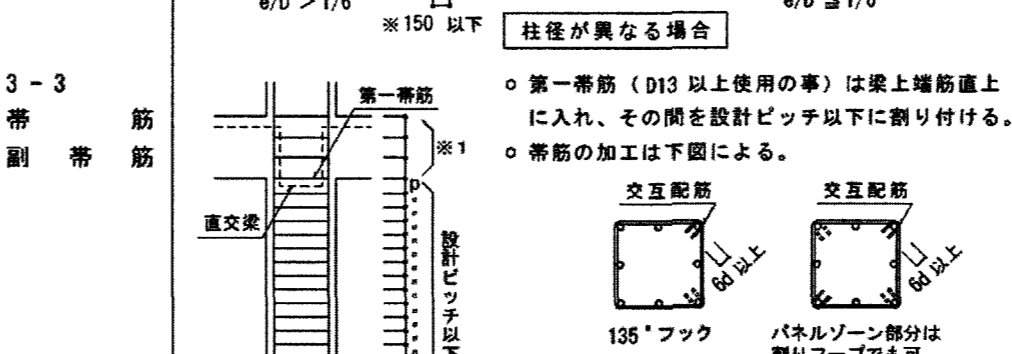
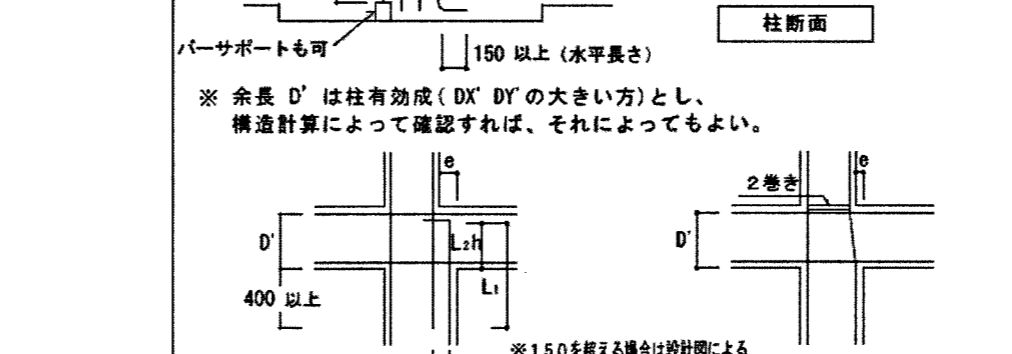
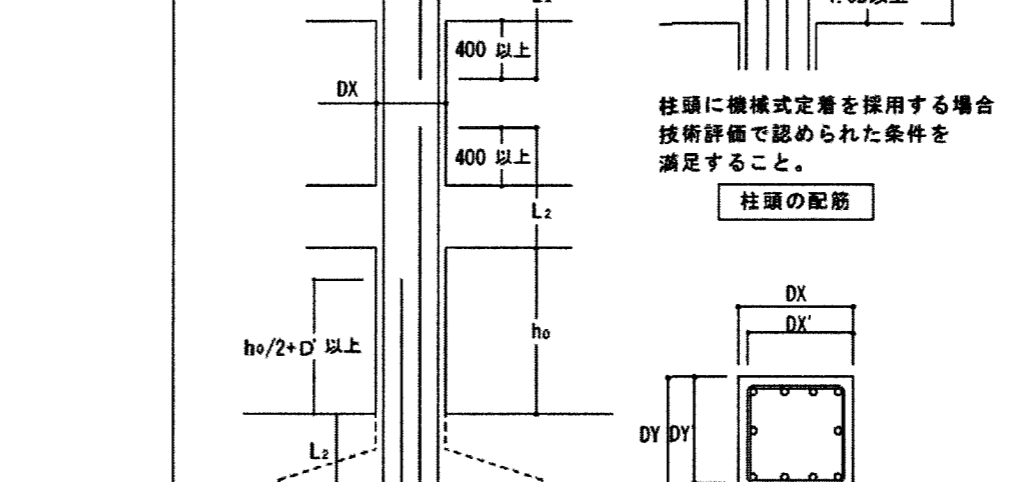
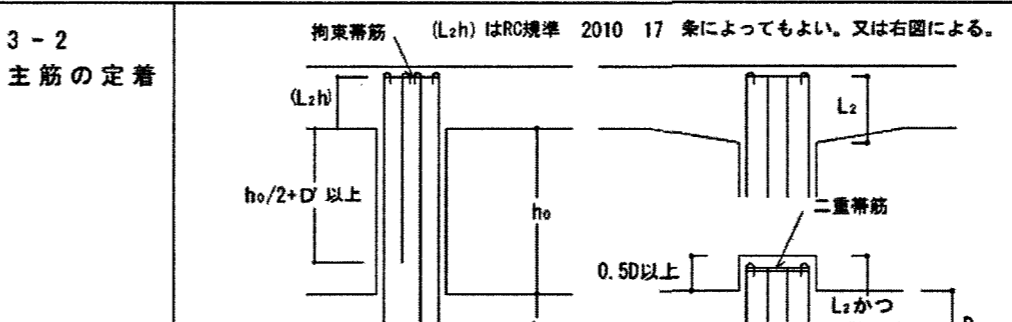
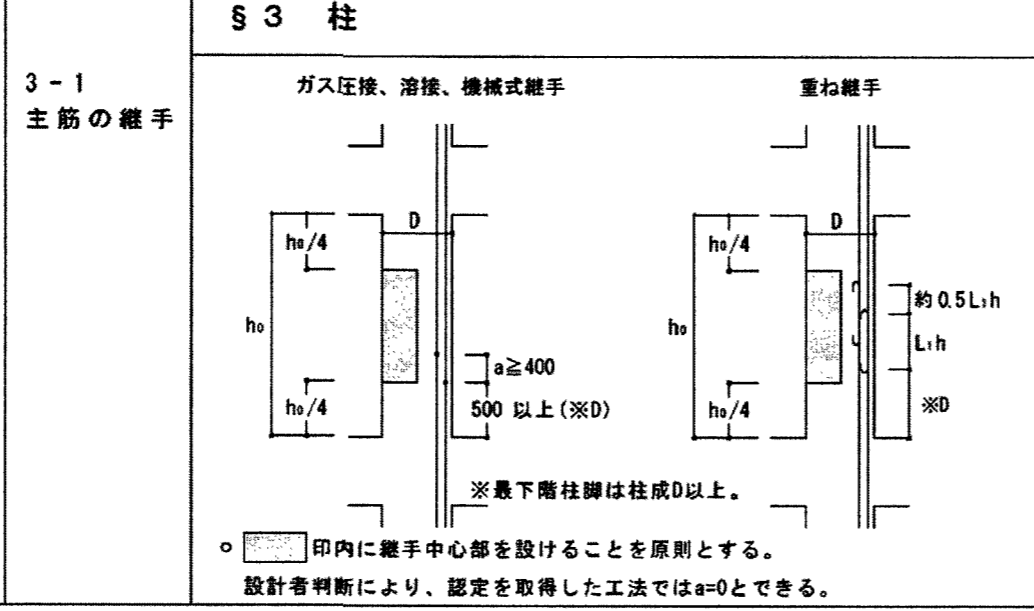
鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部 位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	30(20) 30(20) 40(30)
	柱 耐力壁	40(30) 40(30)
	梁	50(40) 50(40)
	土に接する部分	50(40) 70(60)

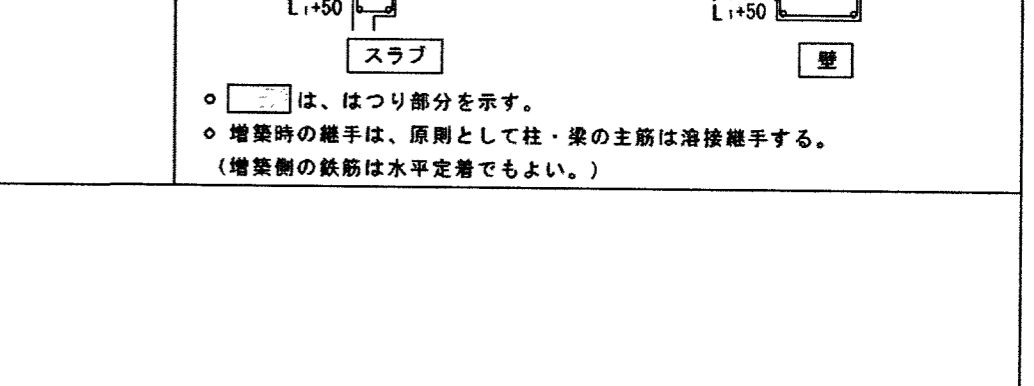
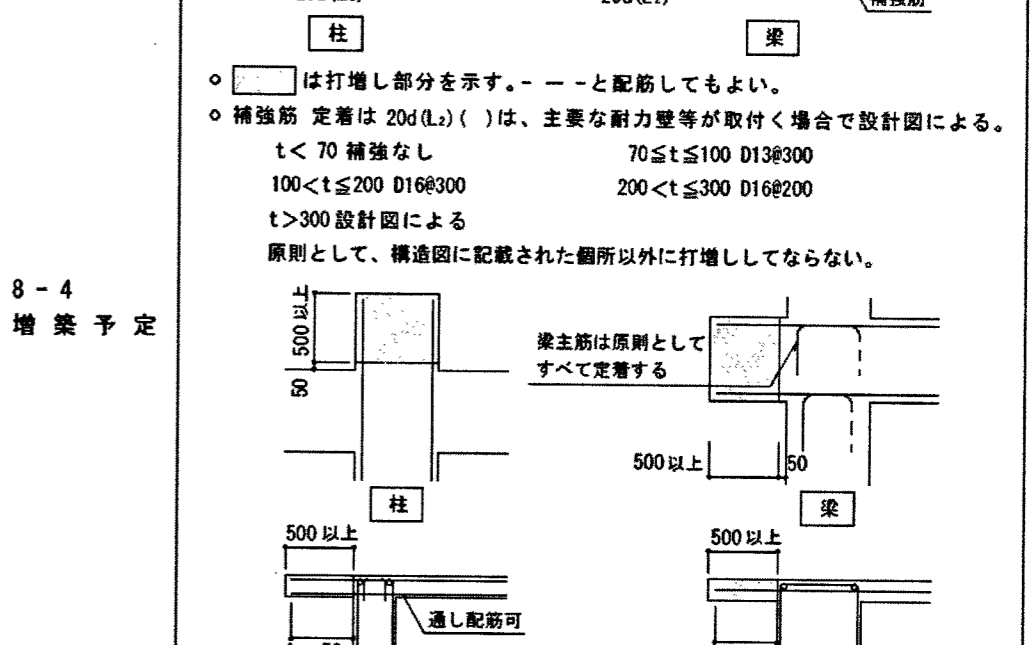
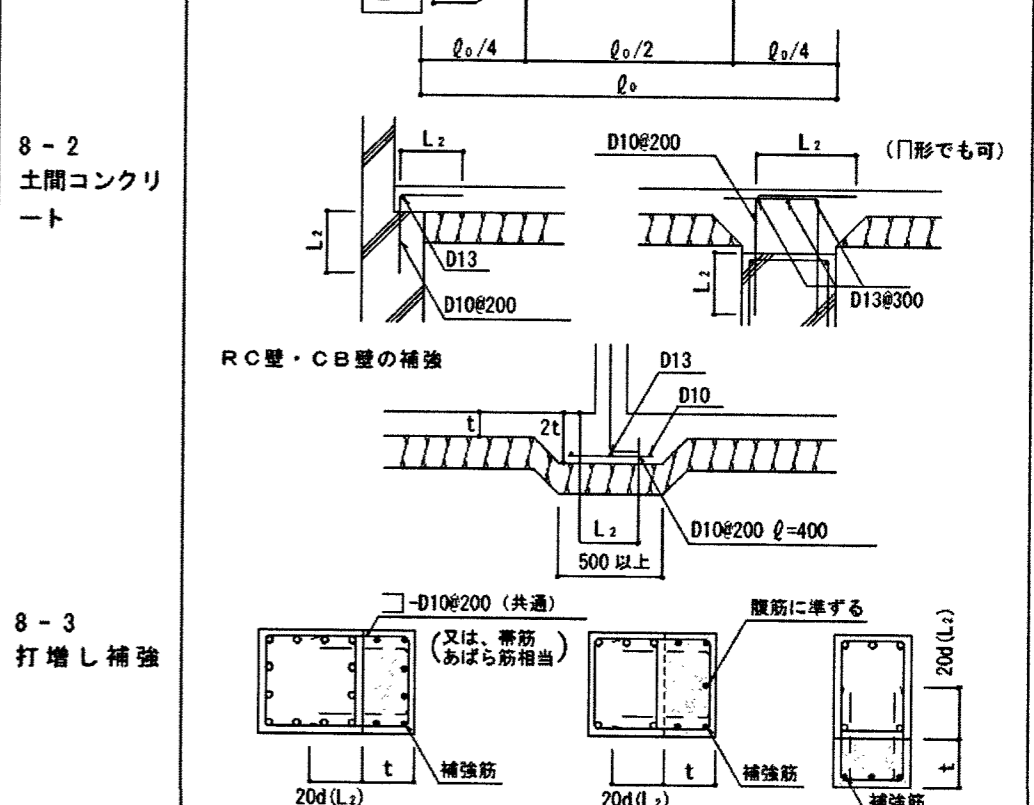
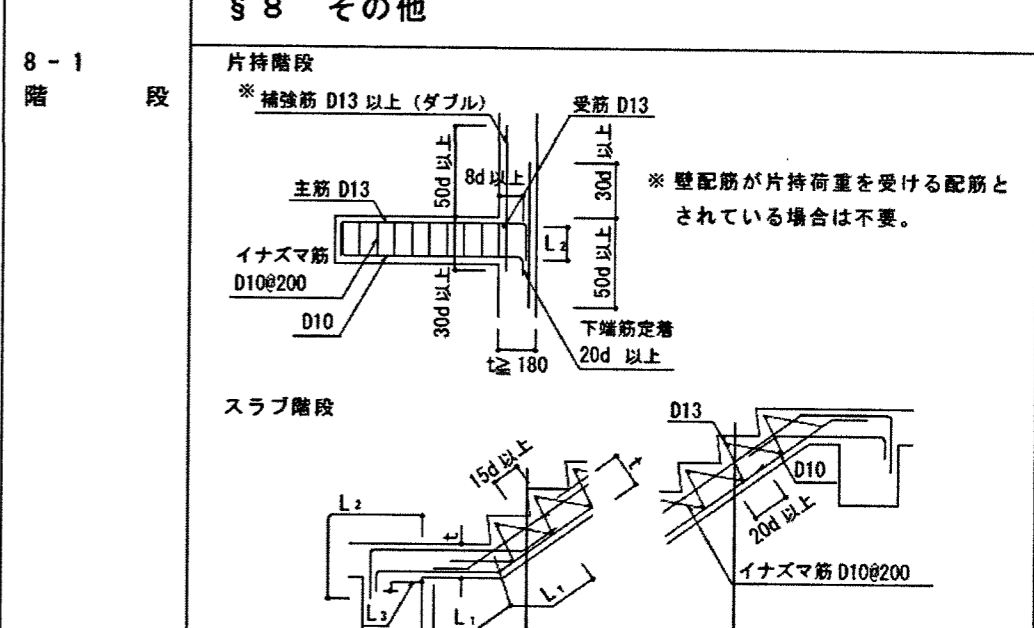
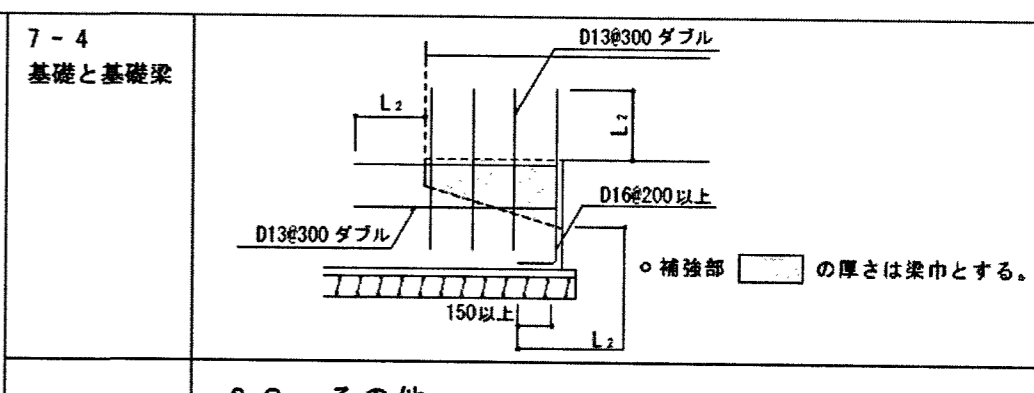
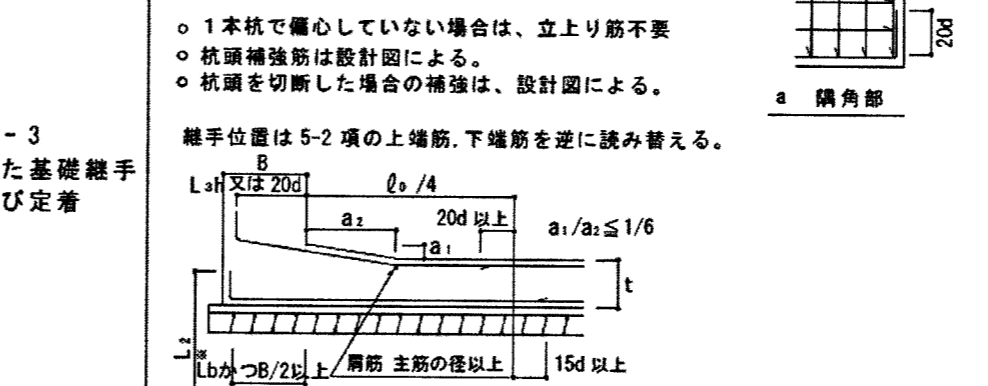
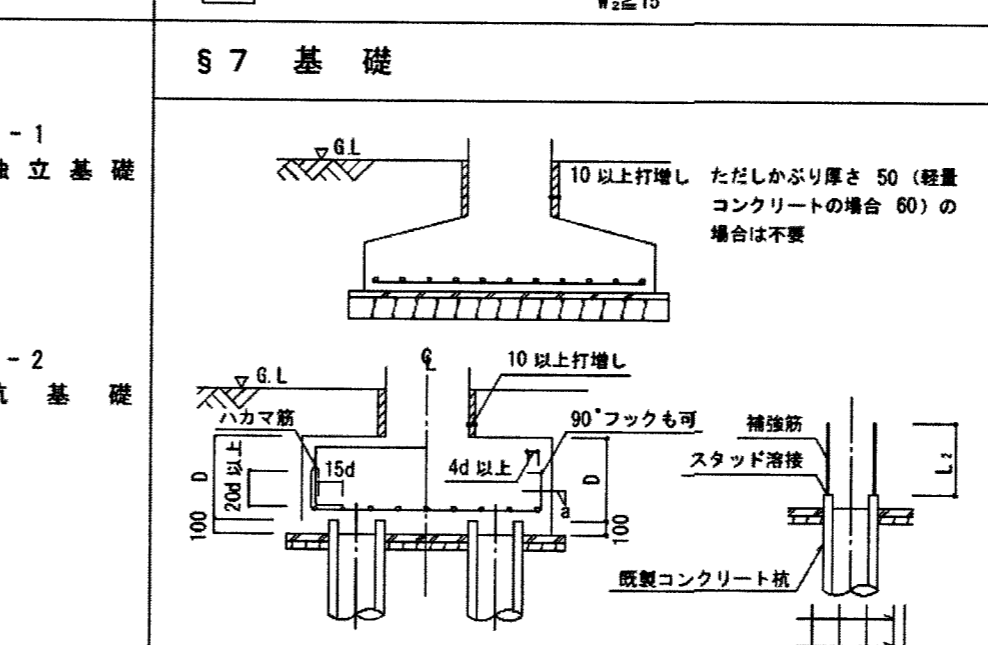
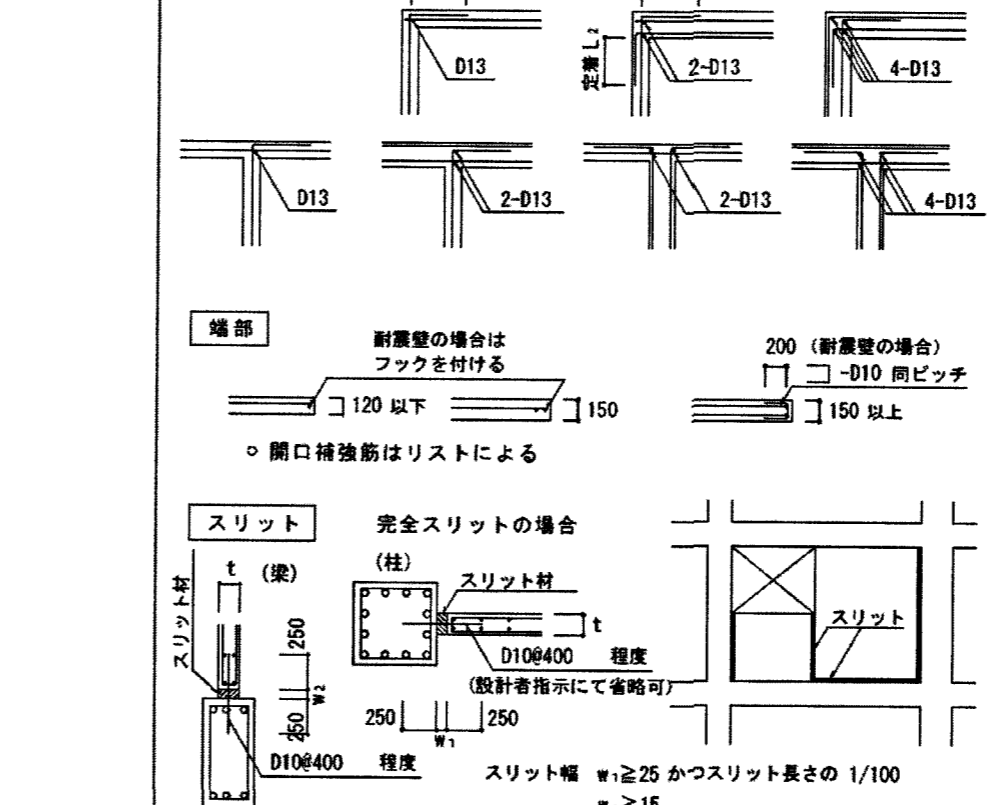
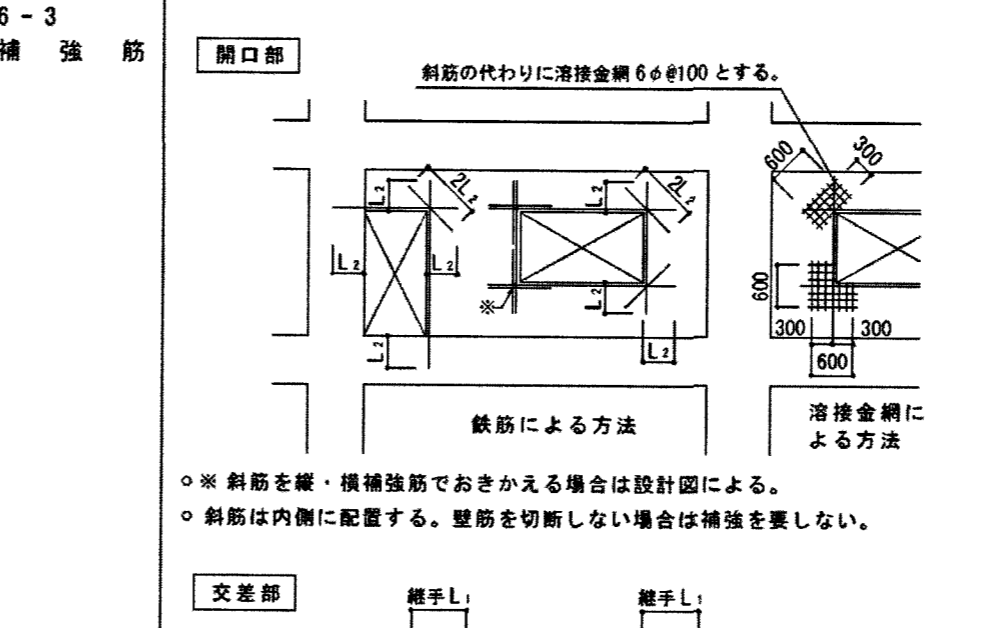
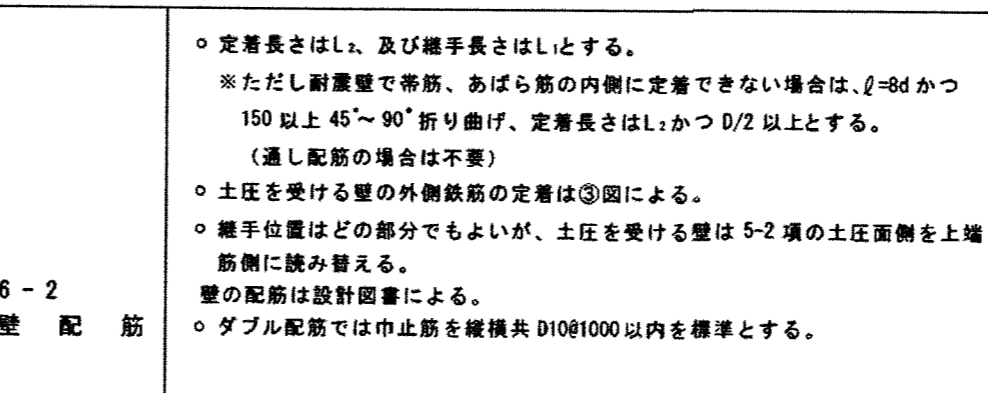
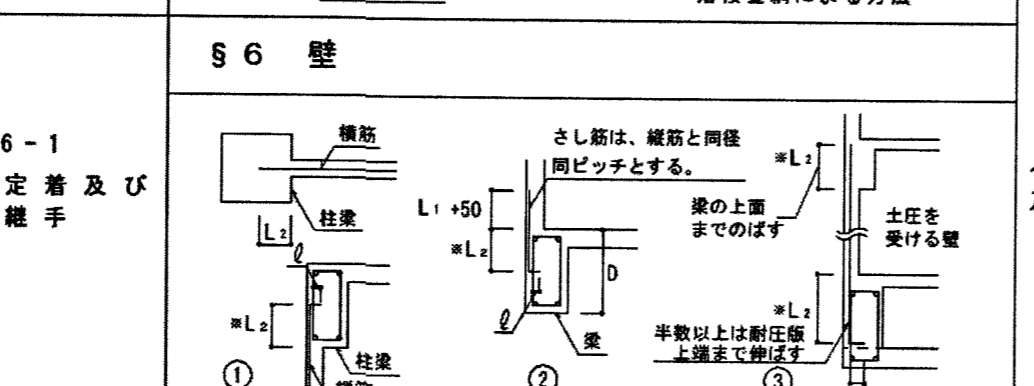
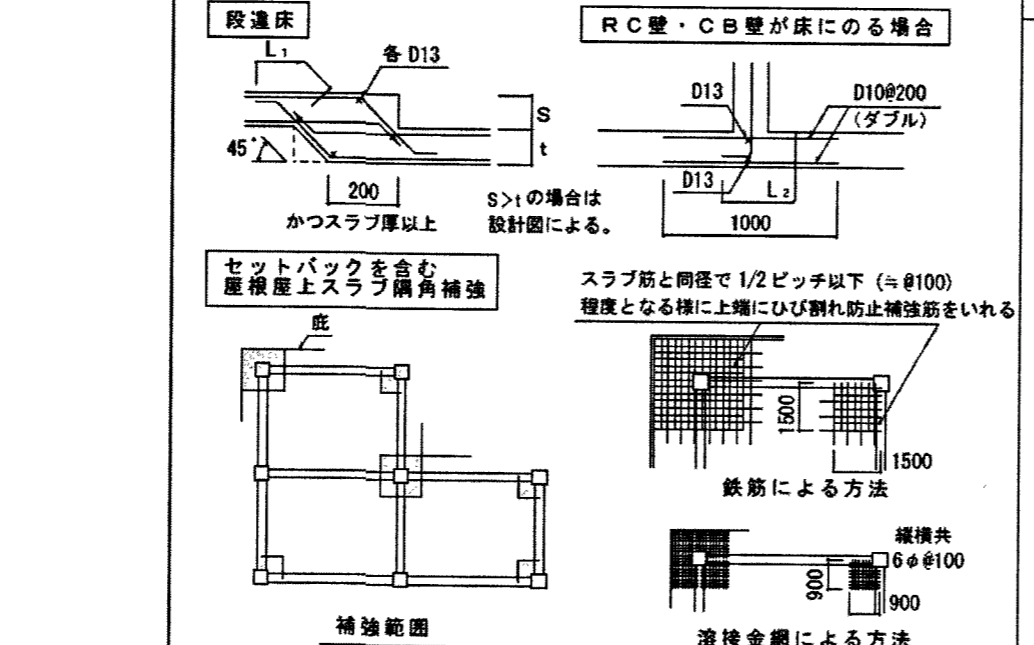
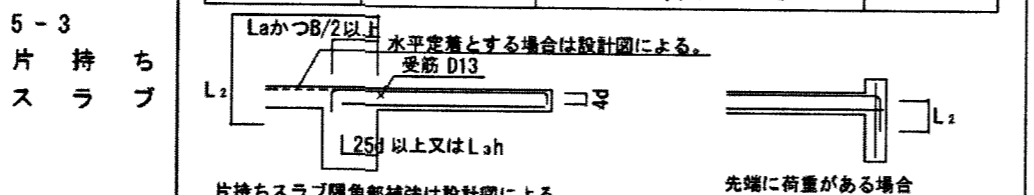
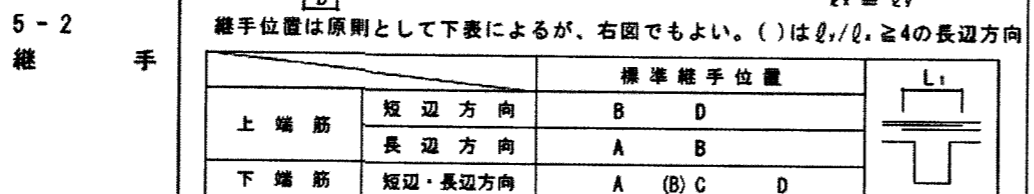
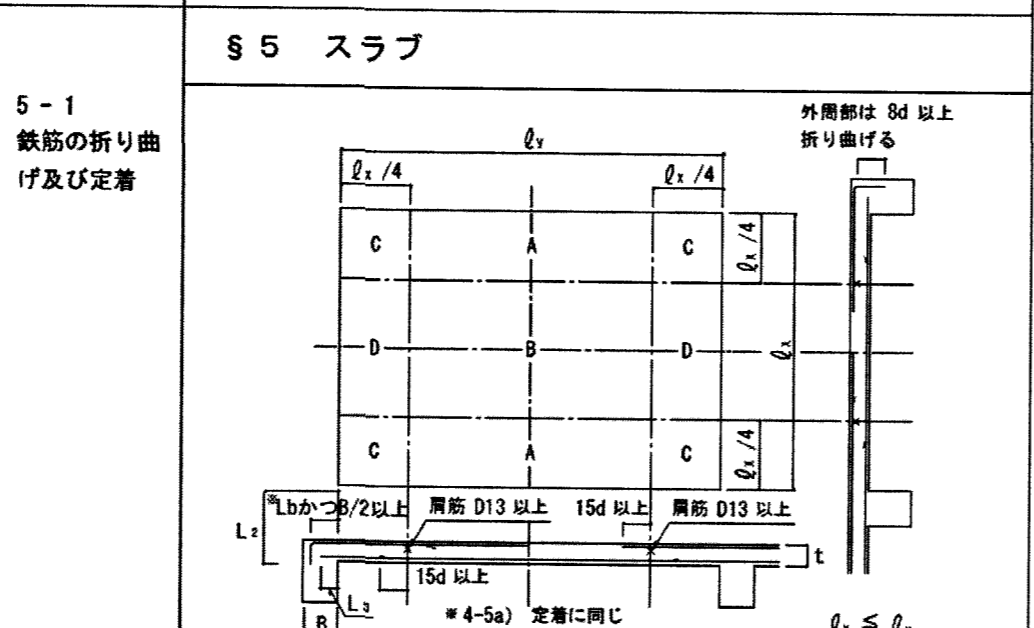
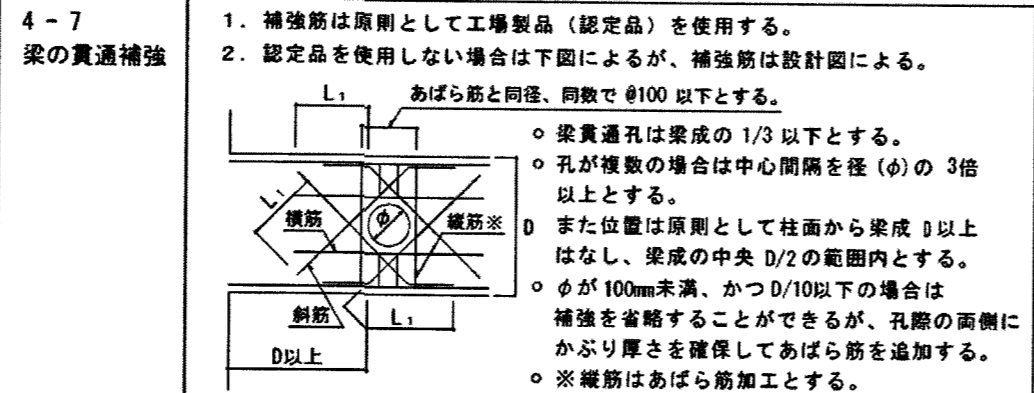
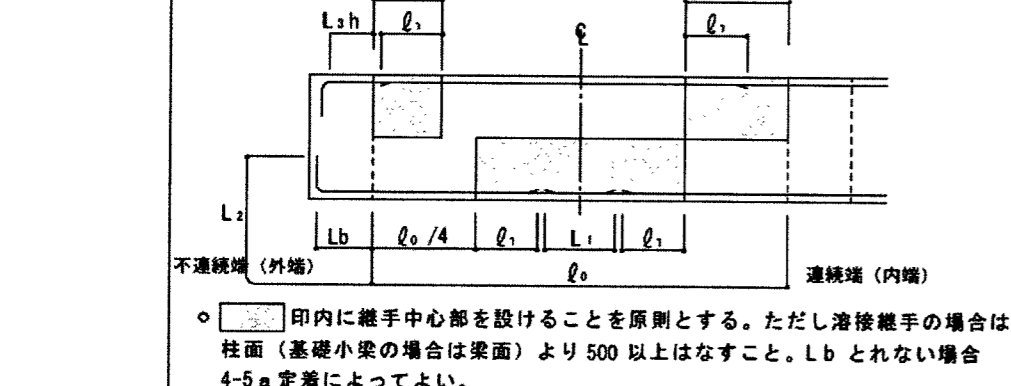
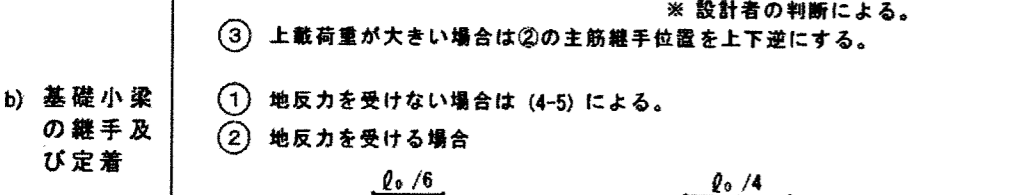
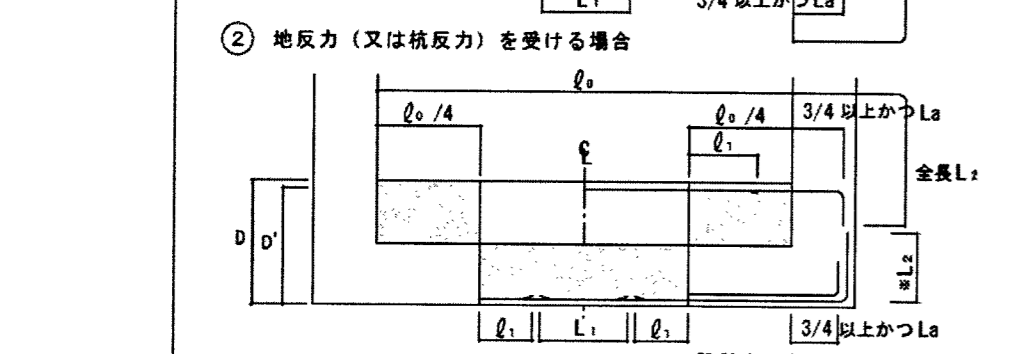
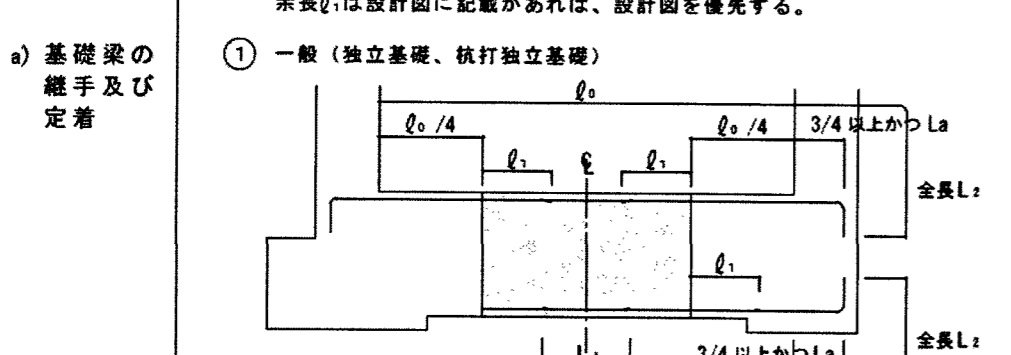
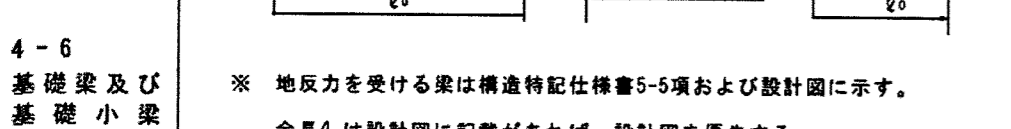
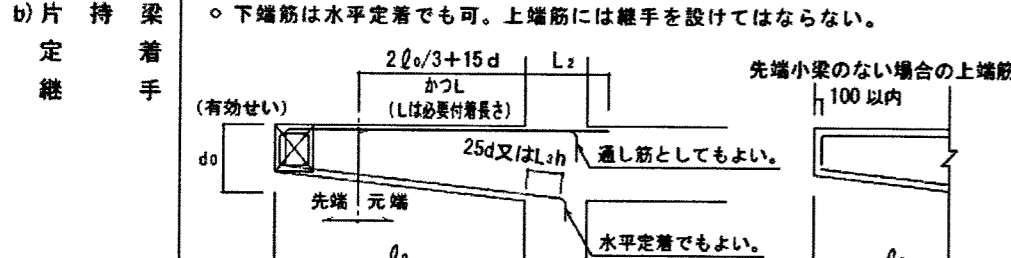
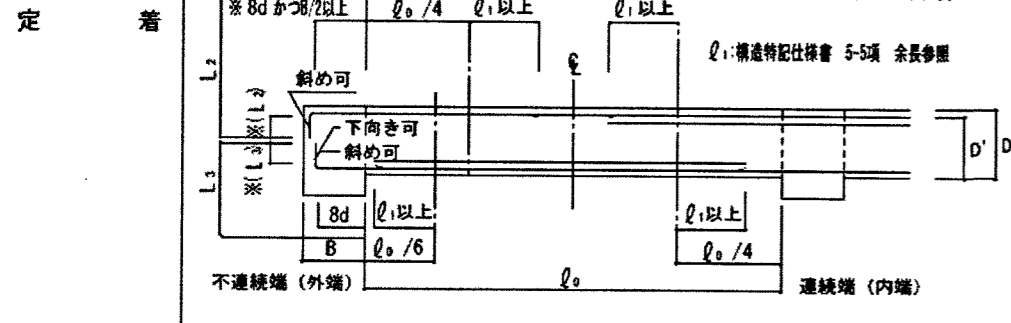
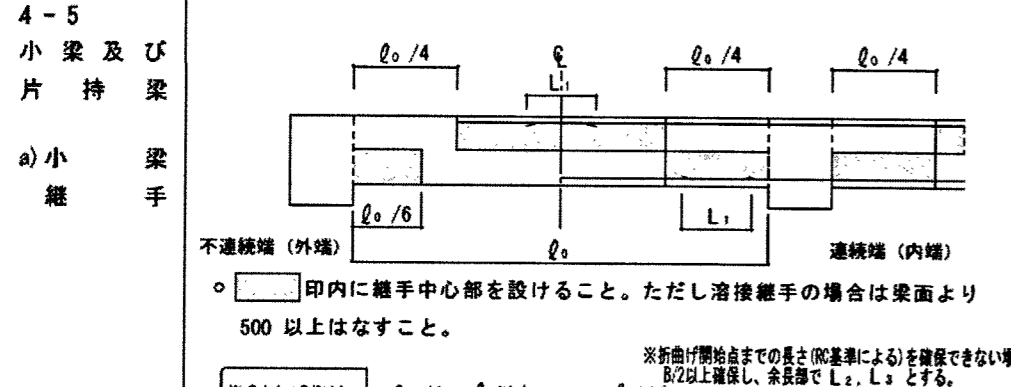
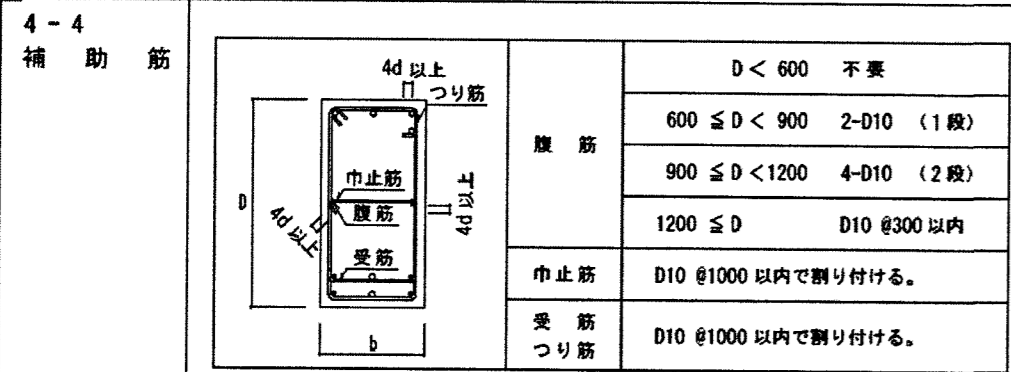
2-7 かぶり厚さ

部 位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	30(20) 30(20) 40(30)
	柱 耐力壁	40(30) 40(30)
	梁	50(40) 50(40)
	土に接する部分	50(40) 70(60)

1. () 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3. ※1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。
4. ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
5. 柱・梁の主筋の最小かぶり厚さは、表の数値以上かつ主筋径の1.5倍以上とする。



鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2025年度版



木造軸組接合部標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。
- (2) 設計図書
設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。
- (3) 準拠する図書
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。
「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準 令和7年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)」(日本住宅・木材技術センター)
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」(2015年改訂版)
- 上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
2. 特記仕様書
3. 設計図
4. 本標準図
- (5) 疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。
- (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
- (7) 施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。
- (8) 製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける
- (9) 各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。
- (10) 接合法
本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合法は、下記による。
・継手仕口による在来工法
・梁受け金物、及びホソパイプ等による金物工法
- なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。
また、本標準図は在来接合法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。
本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。
- (11) 加工部材に関する留意事項
本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場加工可能な範囲は以下による。
・梁:部材断面が幅90mm-150mm、梁成が幅と寸方-450mm、及び材長6m以下
・柱:90角-150角の正方形断面、長さ6m以下
- これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。

2. 材料

- (1) 木材及び木質材料
主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。
- (2) 接合具
- a) くぎ
主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（GN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。
- b) 木質構造用ビス
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。
- c) ボルト・ナット・座金
- 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。
・ボルトはJIS B 1051、ナットはJIS B 1052に規定される機械的性質を満たす炭素鋼
・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット
【 Zマーク表示金物 】
【 Dマーク表示金物 】
【 Sマーク表示金物 】
・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット
- 2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。
- 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。
- ※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。
- d) ドリフトピン・ラグスクリュー
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。
- e) 木栓・木ダボ
主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。樹種・径等については、特記仕様書で指定する。節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。
- (3) 接合金物
- a) 規格金物
構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。
・ JIS A 5531: 木構造用金物
・ 公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物:
Zマーク表示金物、又は Cマーク表示金物
・ 同等認定金物; Dマーク表示金物
・ 性能認定金物; Sマーク表示金物
- 上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。
使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。
- b) 製作金物
製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。
- (4) 接着剤
原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。
建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。
- (5) 防腐防蟻処理及び耐候処理
防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。
土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。
適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。

3. アンカーボルト

- ※共通事項
・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。
- (1) 土台固定用アンカーボルト
- a) アンカーボルトの埋設位置: アンカーボルトの埋設位置は以下による。
- 1. 耐力壁(筋交い、合板仕様共通)の下部:
耐力壁(筋交い、合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200mm内外)とする。
-
- ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。
- 2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口:
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。
-
- ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。
- 土台切れの場合(柱勝ち収まり等)
-
- 3. その他: 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。
- (2) 引張金物専用アンカーボルト
- a) 引張金物専用アンカーボルトの径
引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。
- b) 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ
引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360mm以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。

4. 接合一般

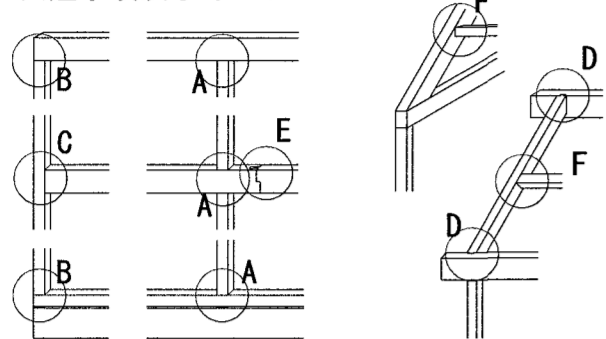
- (1) 釘接合
・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。
・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。
・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。
- (2) 木質構造用ビス接合
・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。
比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60-75 %
上記以外の樹種・・・呼び径の 40-70 %
※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。
- (3) ボルト接合
・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締め付けない。
・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座振り座金等、ナットと座金为一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。
・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。
- (4) ラグスクリュー接合
・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。
・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。
比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60-75 %
上記以外の樹種・・・呼び径の 40-70 %
※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。
・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。
・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。
・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。
・呼び径 M12以下: +1.0mm
・呼び径 M16以上: +1.5mm
- (5) ドリフトピン接合
・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。
- (6) 木栓接合
・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。
・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。
- (7) グルードインロッド接合
・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。
・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

平成27年 9月15日発行 一般社団法人 中大規模木造プレカット 技術協会

木造軸組接合部標準図(2)

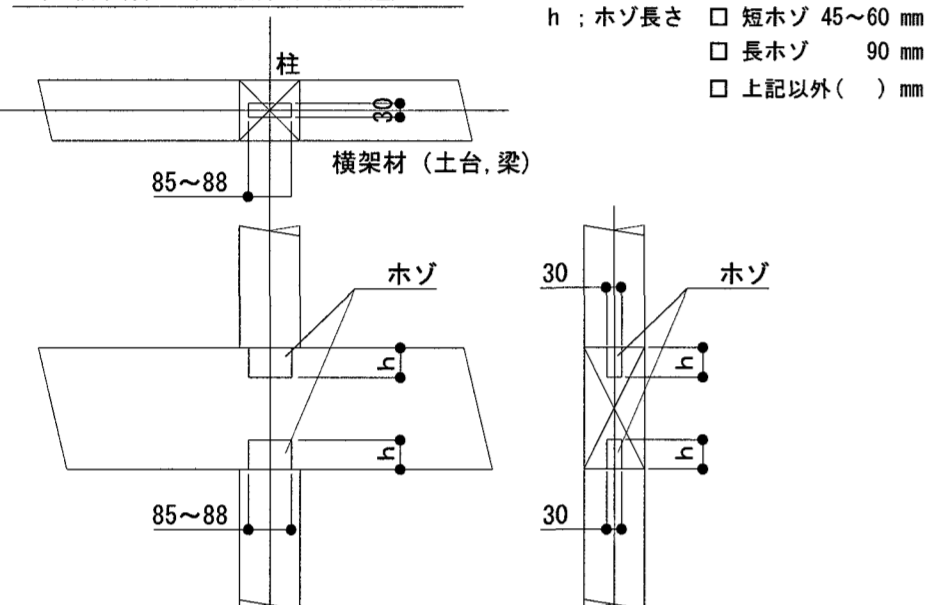
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

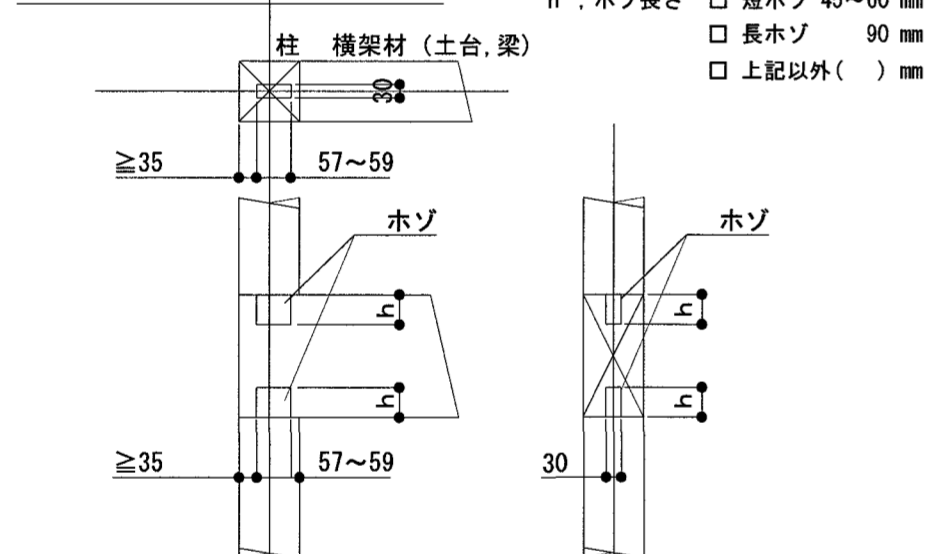


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

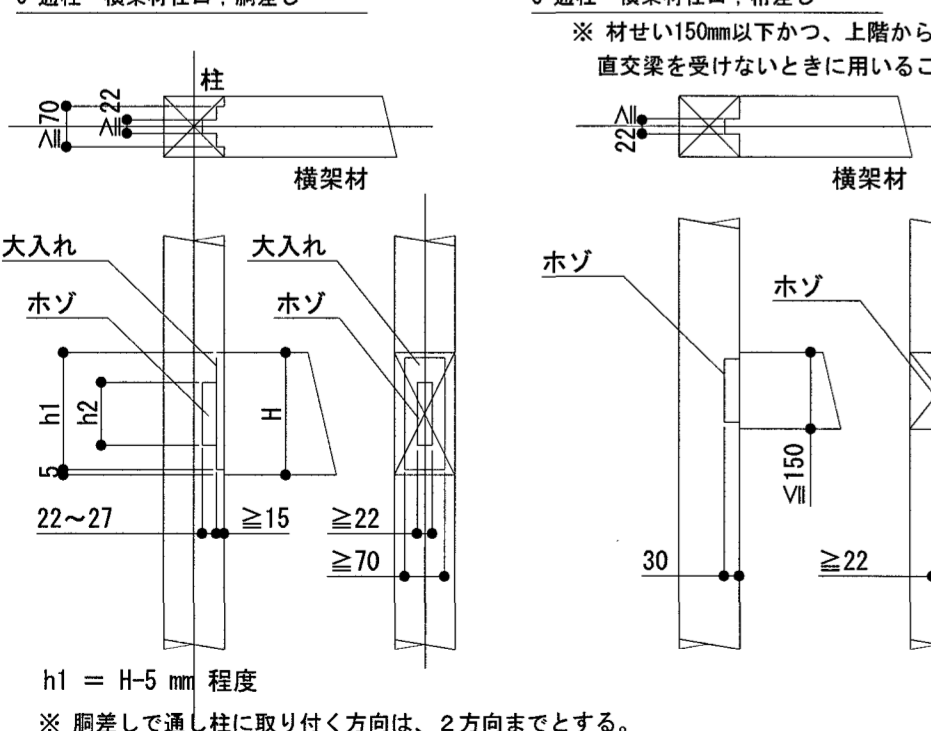
A 柱-横架材仕口：一般部 (土台共通)



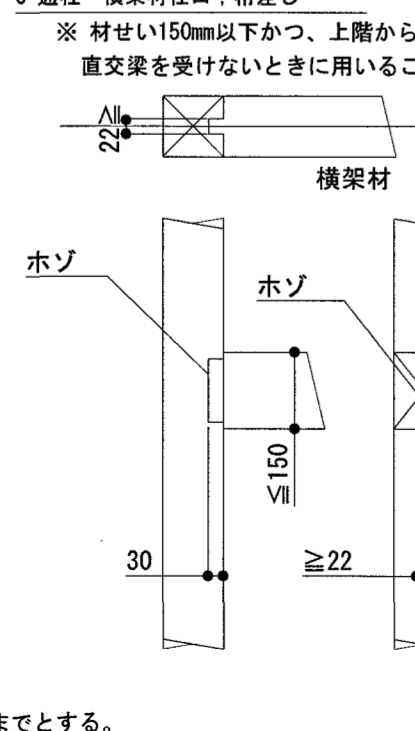
B 柱-横架材仕口：出隅部 (土台共通)



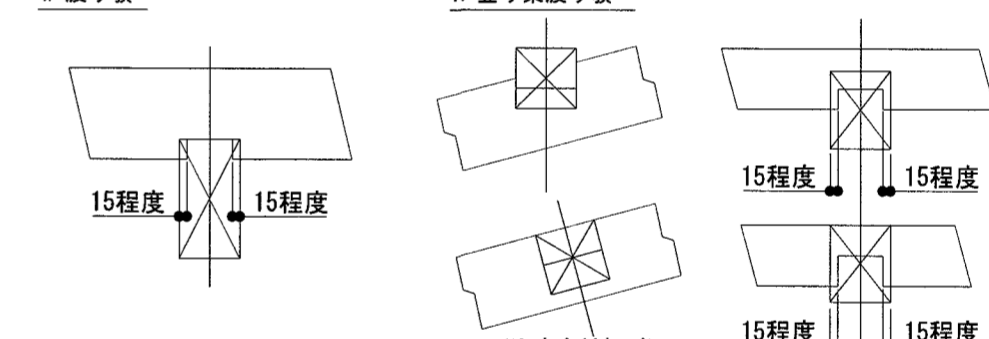
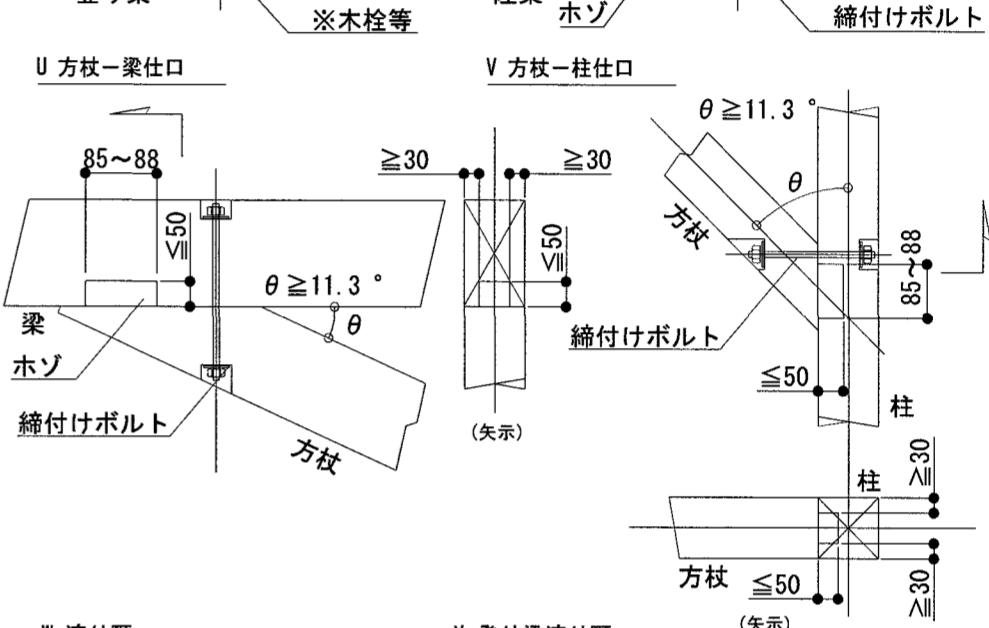
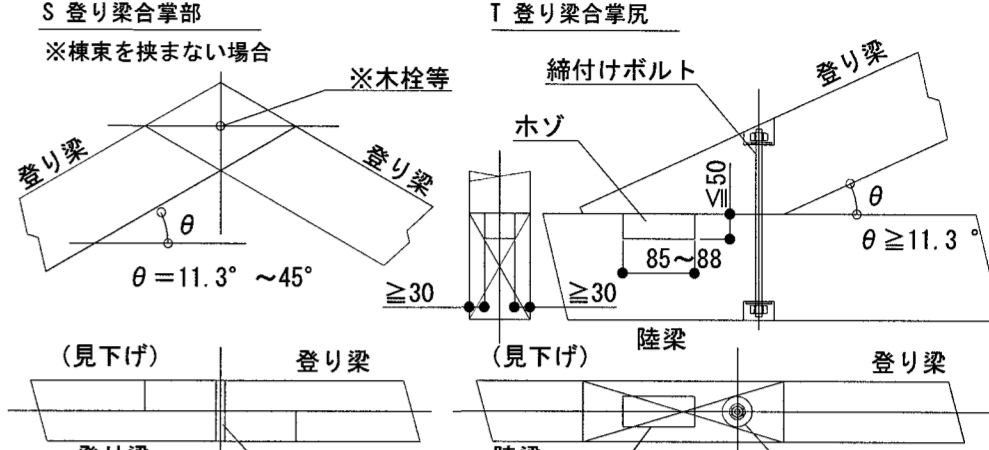
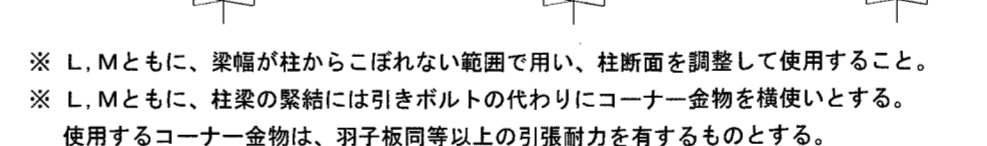
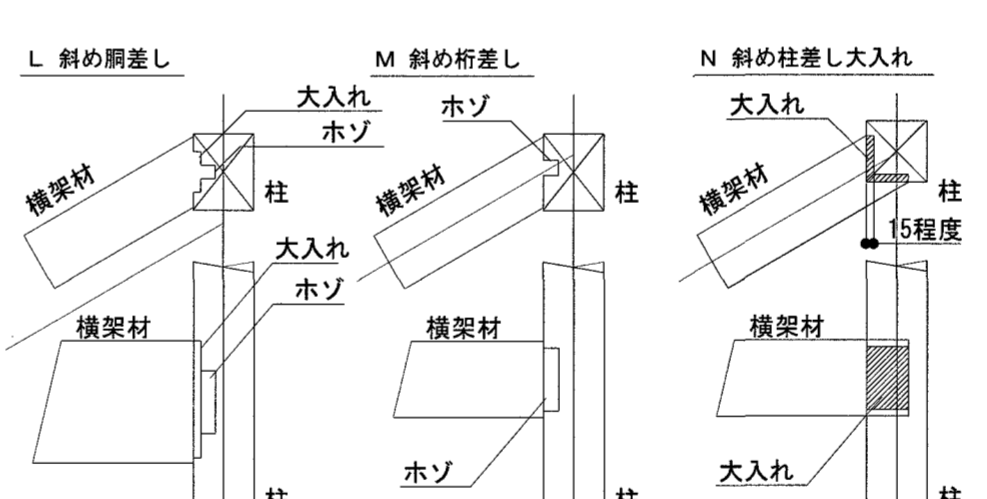
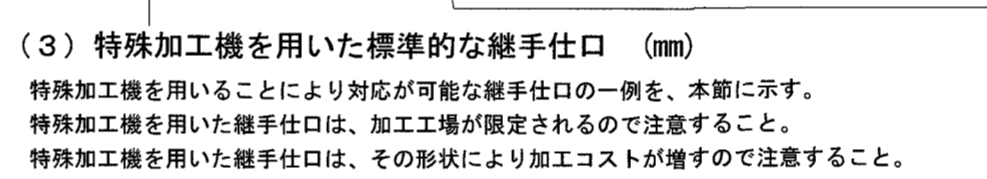
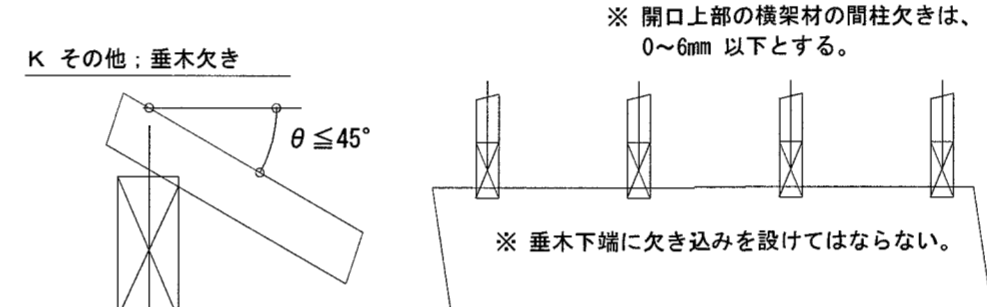
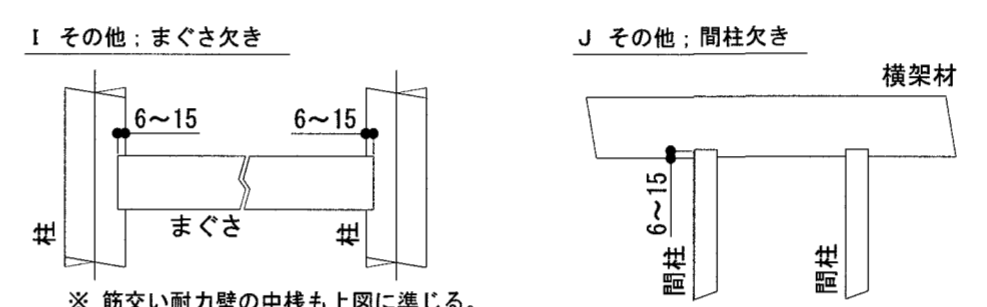
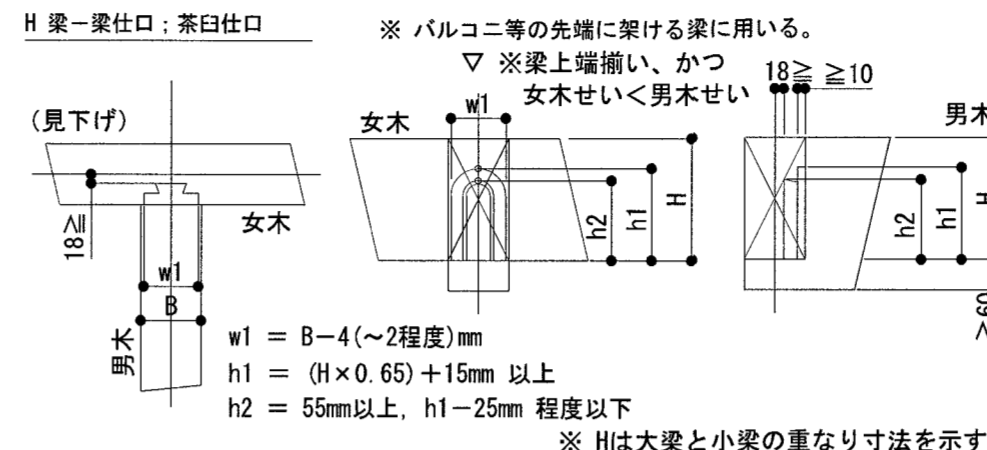
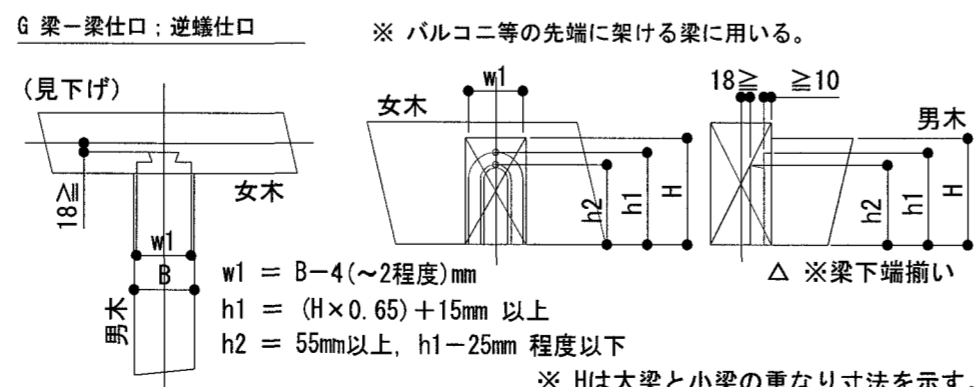
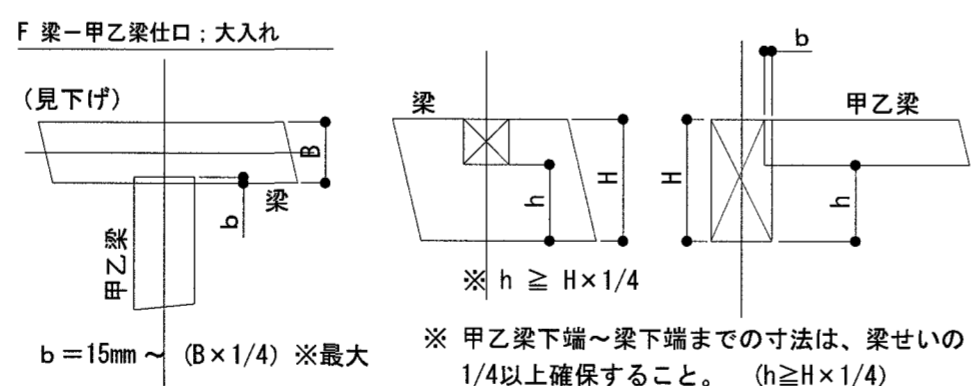
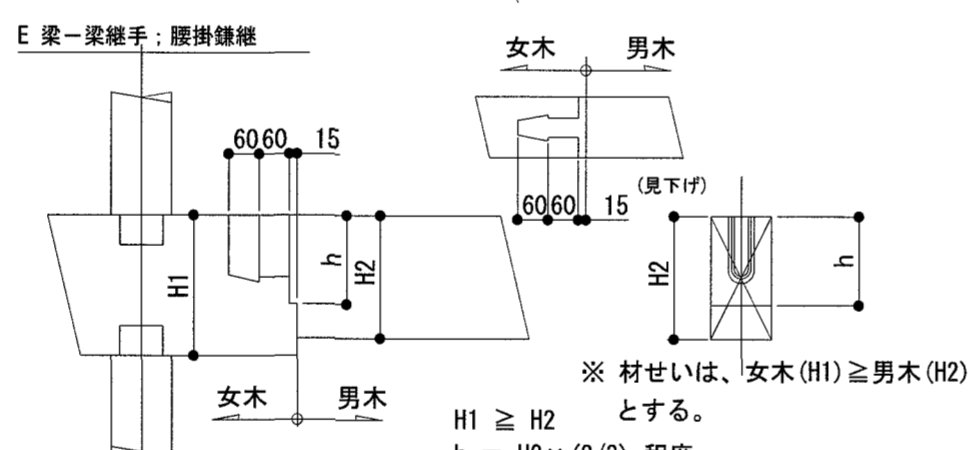
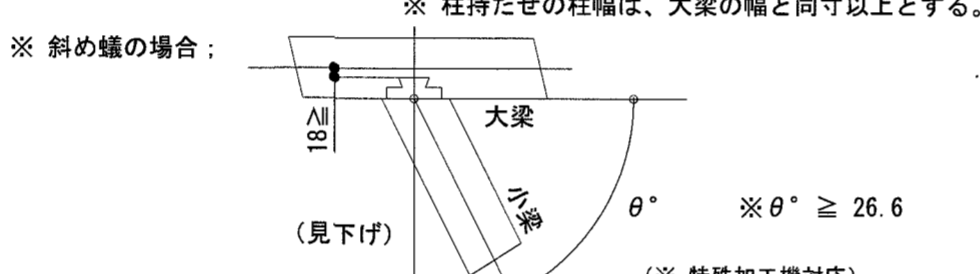
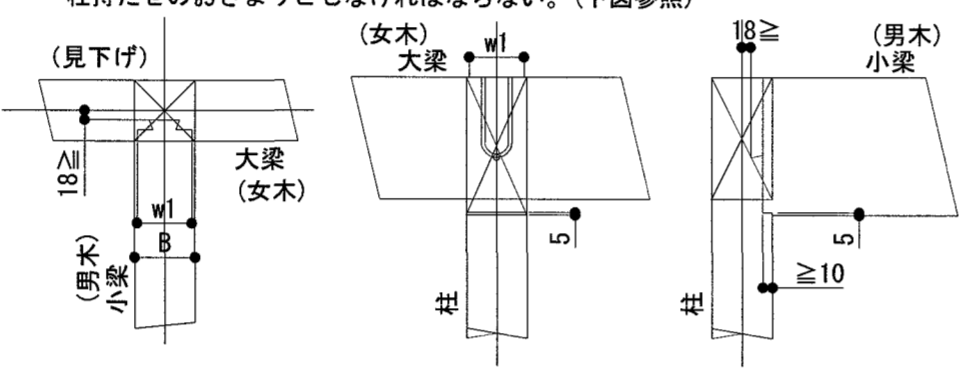
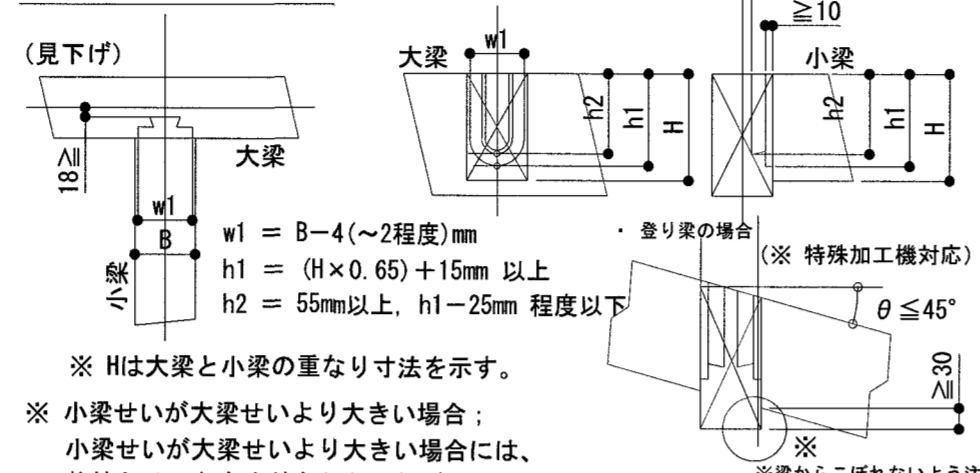
C 通柱-横架材仕口：胴差し



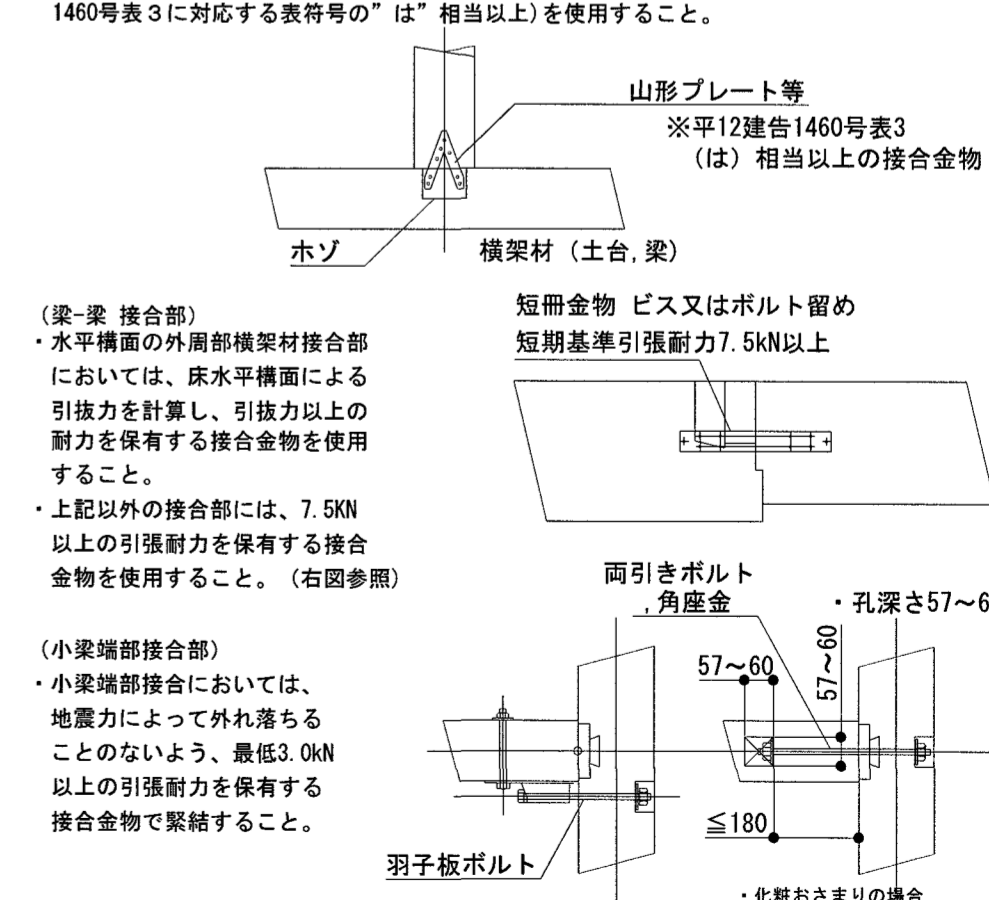
C 通柱-横架材仕口：桁差し



D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



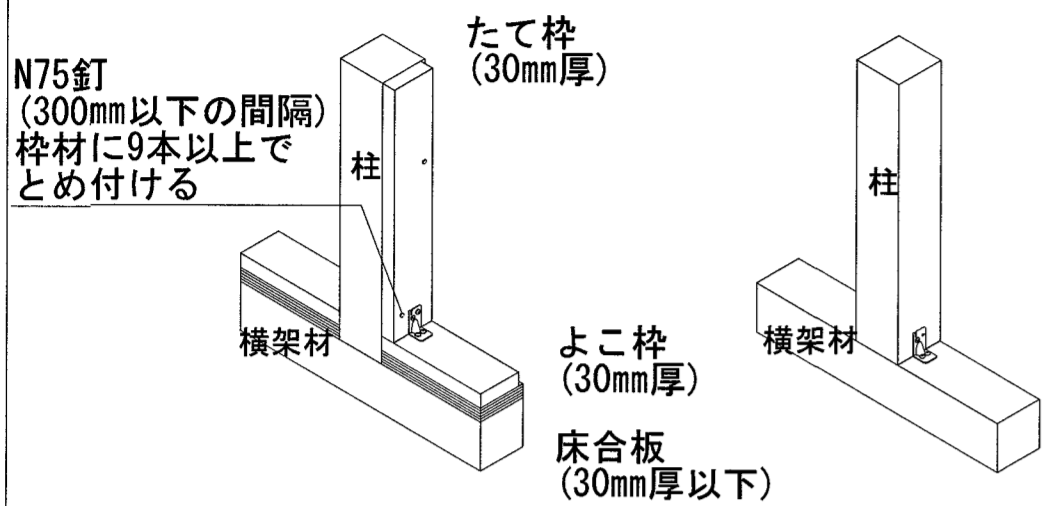
(4) 継手・仕口の補強金物



木造軸組工法 柱頭柱脚金物 ※固定ビス等はメーカー仕様による。

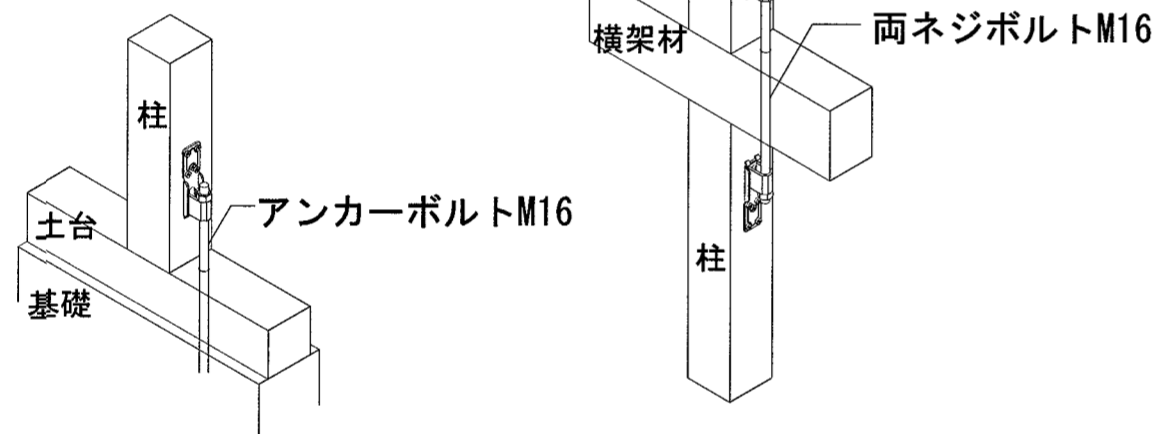
金物記号	必要耐力
いろは	5kN

枳材側から取付く場合



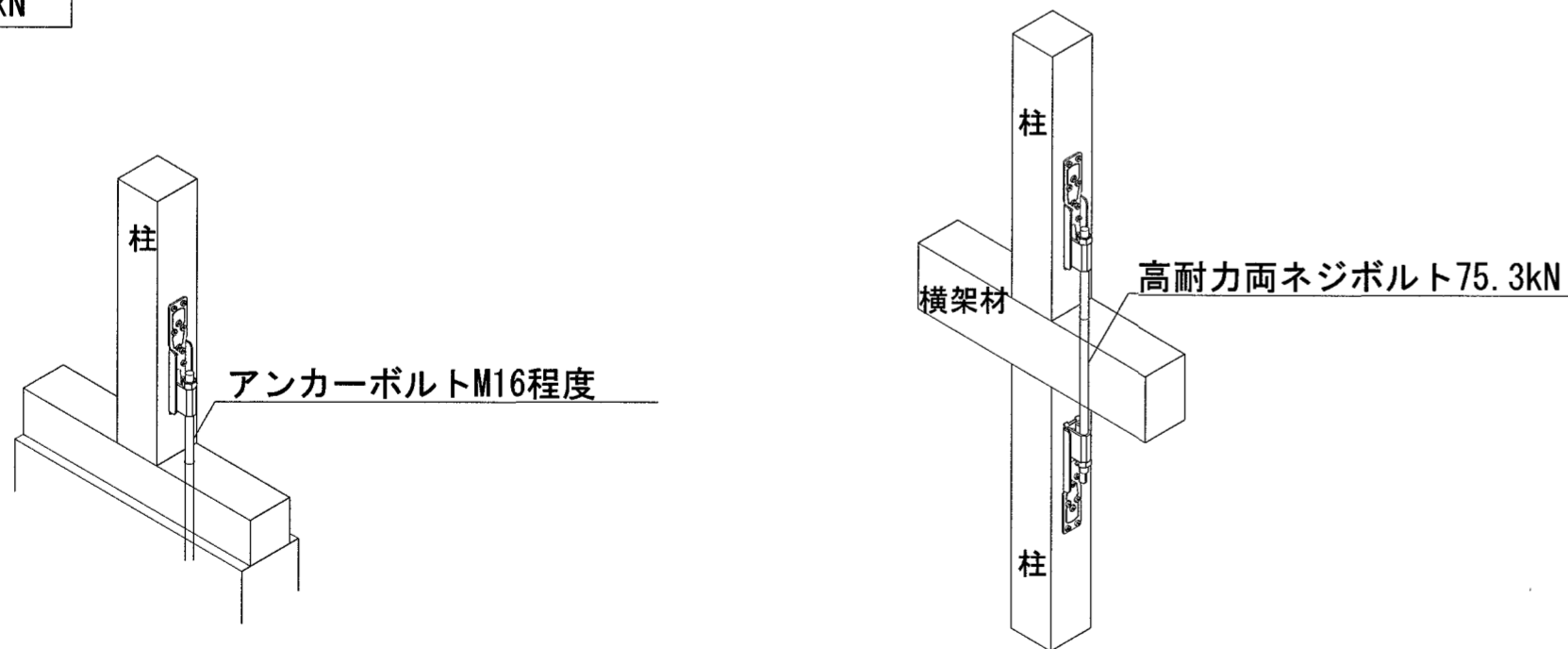
フックコーナー床枳仕様程度
フックコーナー程度

金物記号	必要耐力
へ	10kN
と	15kN
ち	20kN
り	25kN



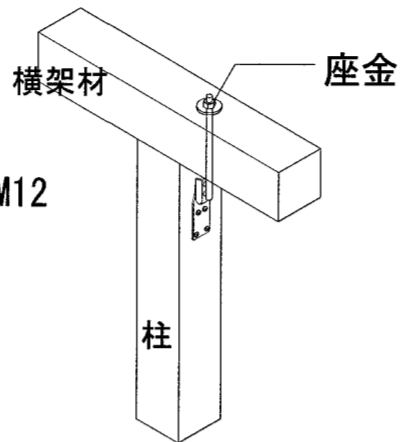
ビスどめホールダウン程度

金物記号	必要耐力
ぬ	40kN



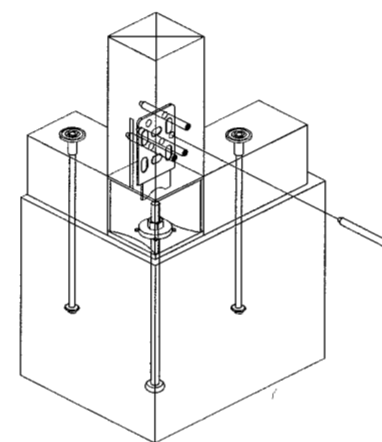
ビスどめホールダウン程度

金物記号	必要耐力
に	7.5N



ビスどめ羽子板程度

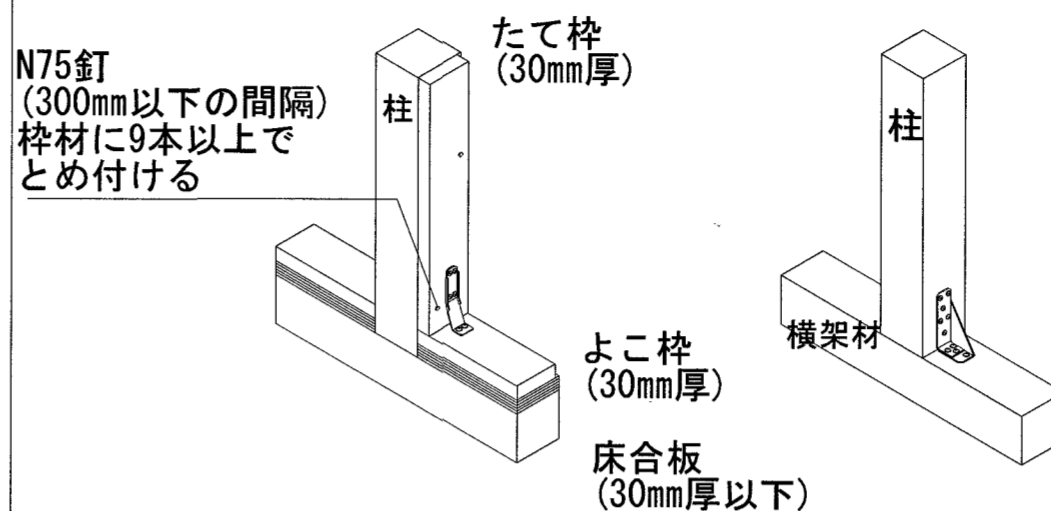
金物記号	必要耐力
ぬ	35kN



高耐力柱脚金物45(120用)程度

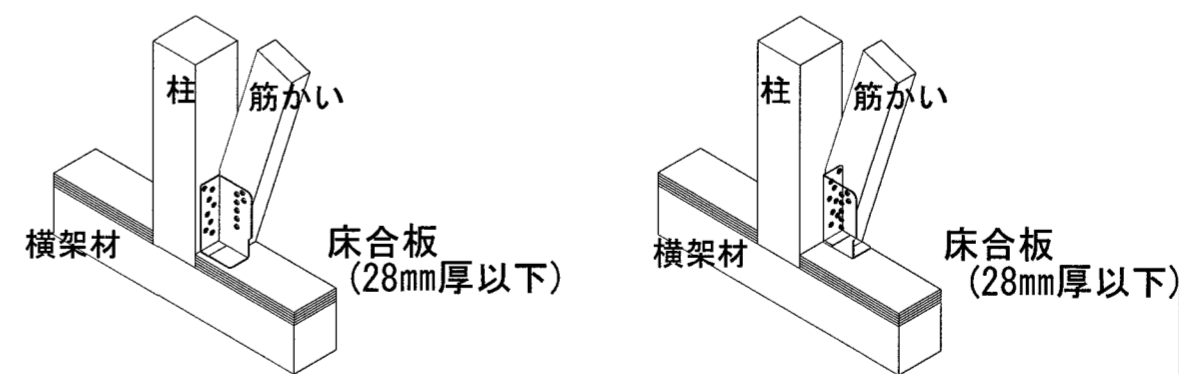
金物記号	必要耐力
へ	10N

柱に直接取付く場合



ホールダウンコーナー10kN用程度

金物記号	筋かいプレート
BP-2	2倍筋かい

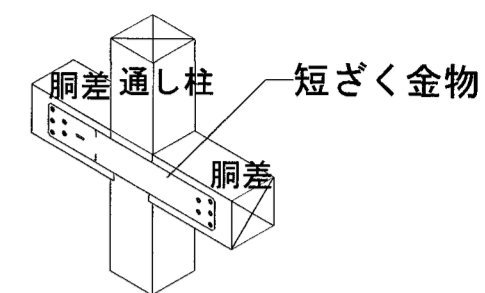


外使い 床合板有り

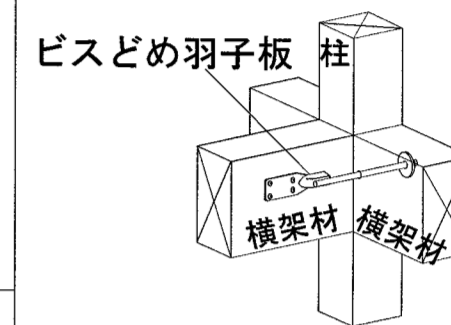
内使い 床合板有り

2倍筋かい程度

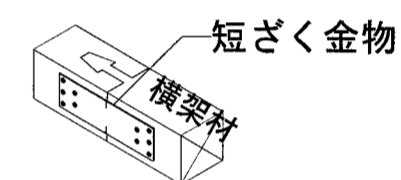
継手・仕口納まり図



Z2-1柱・胴差緊結金物



通し柱・胴差 緊結金物

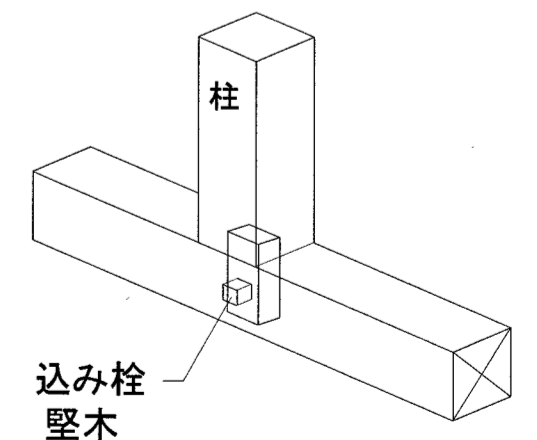
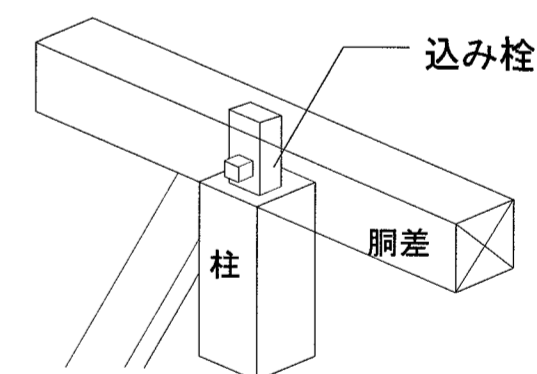


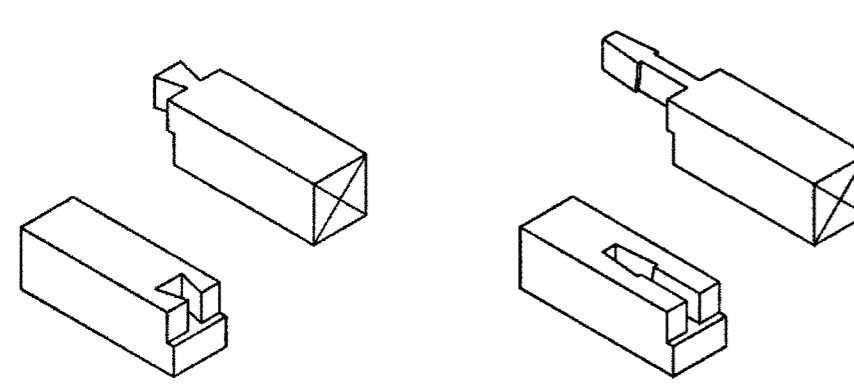
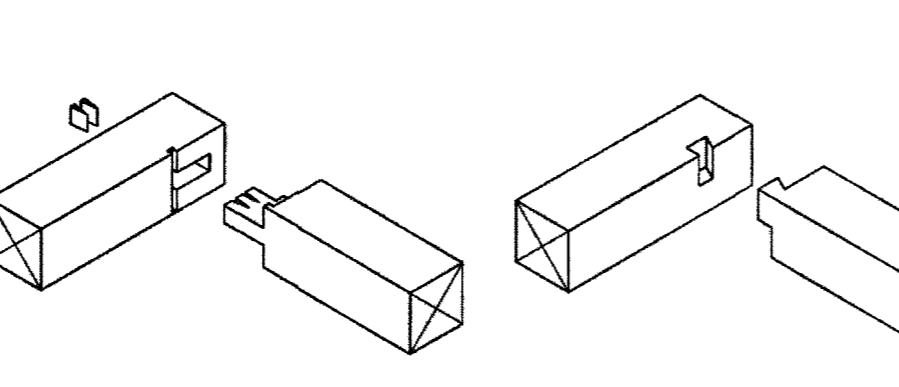
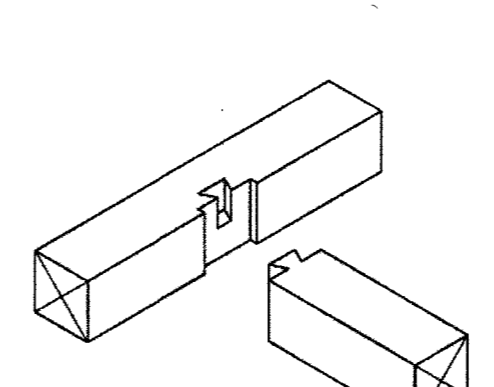
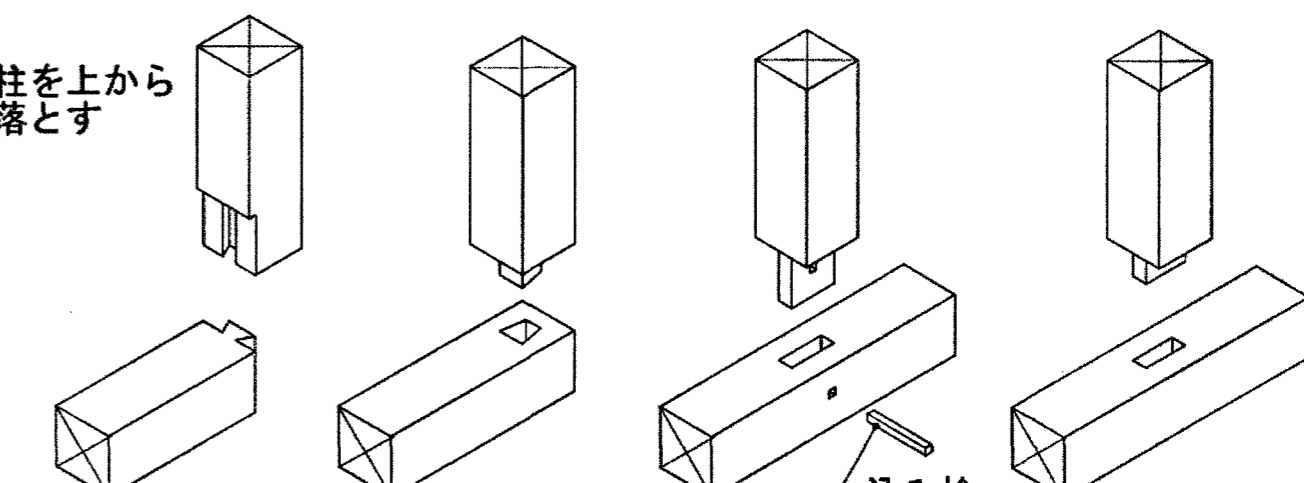
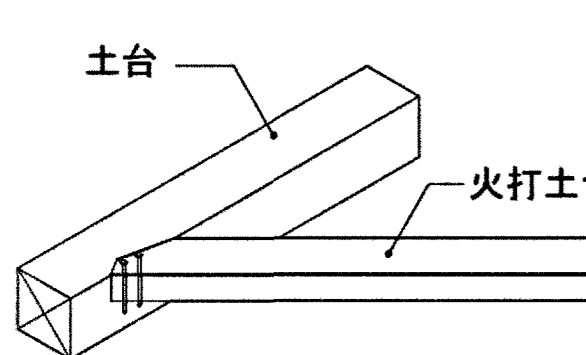
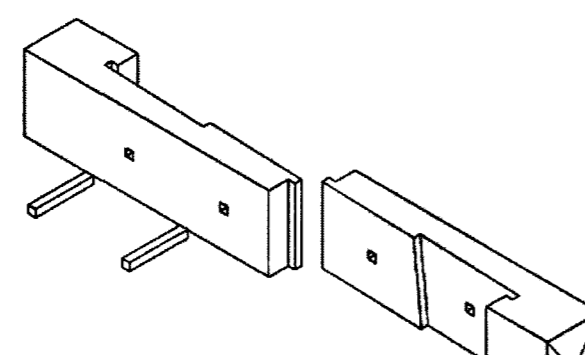
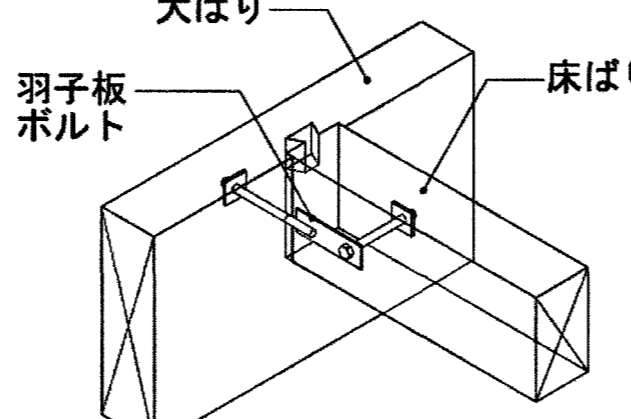
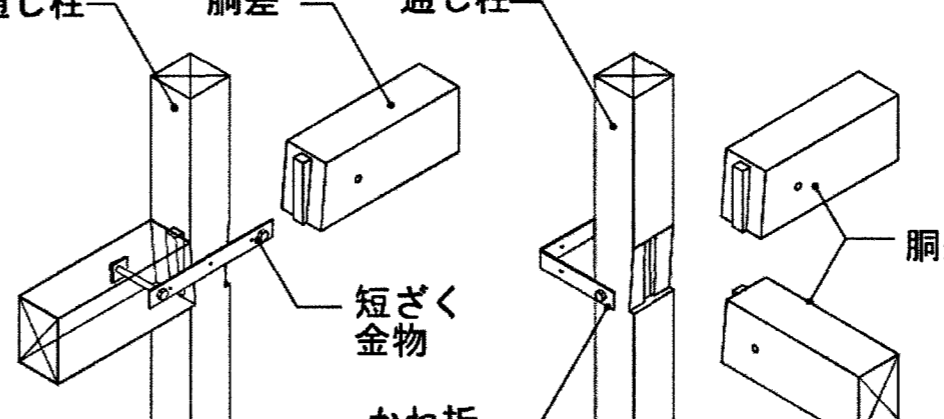
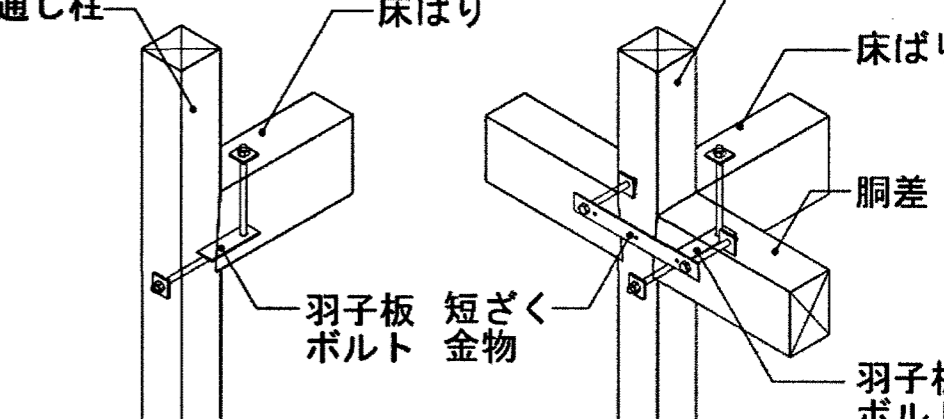
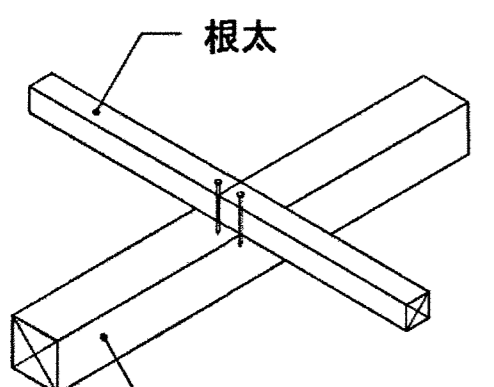
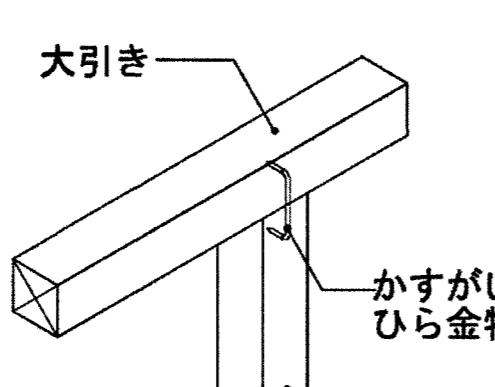
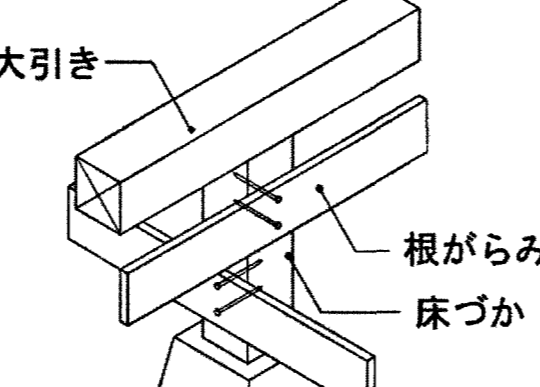
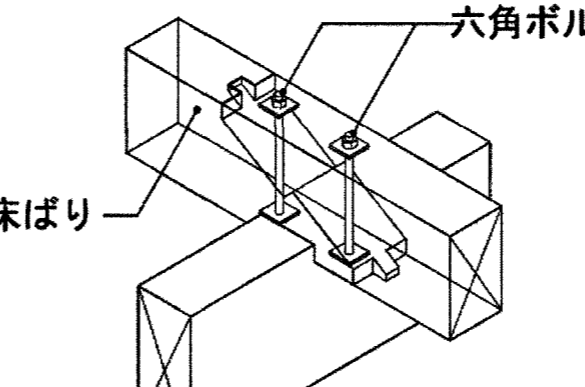
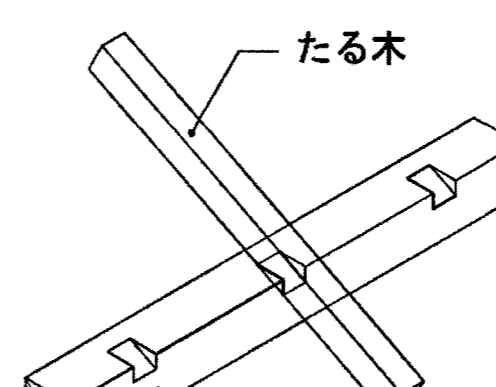
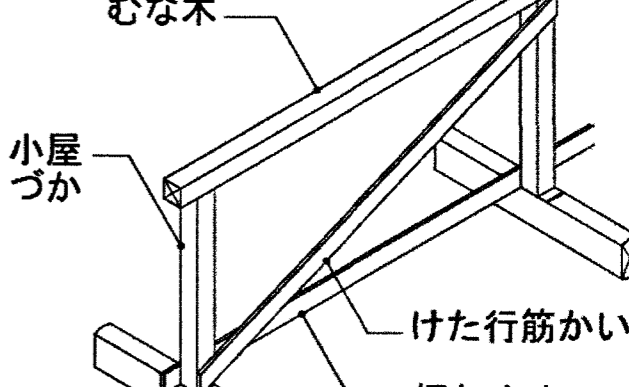
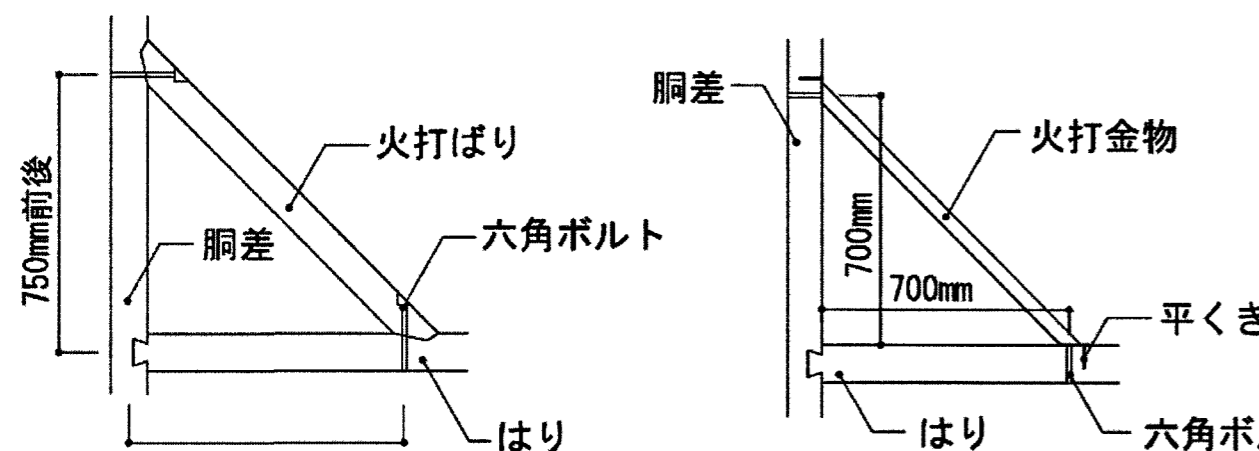
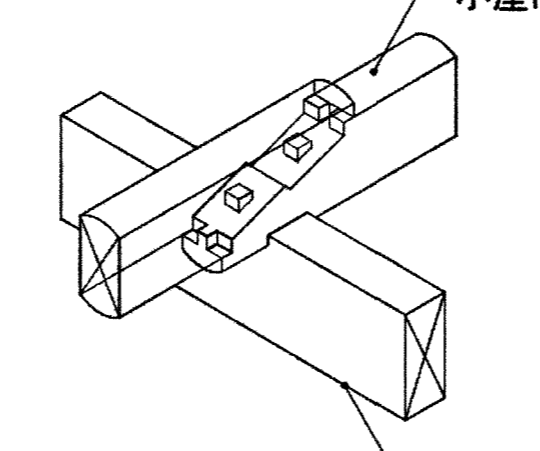
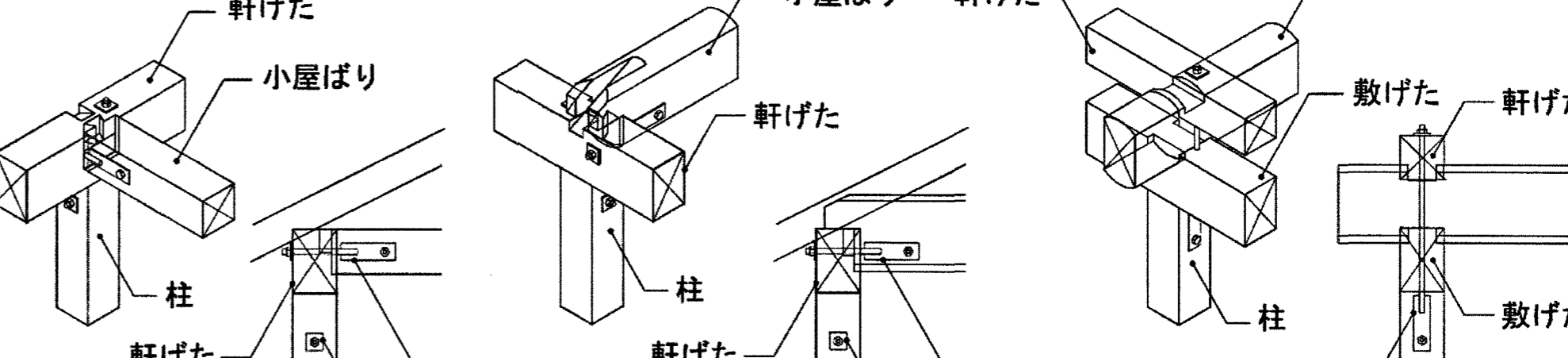
継手緊結金物

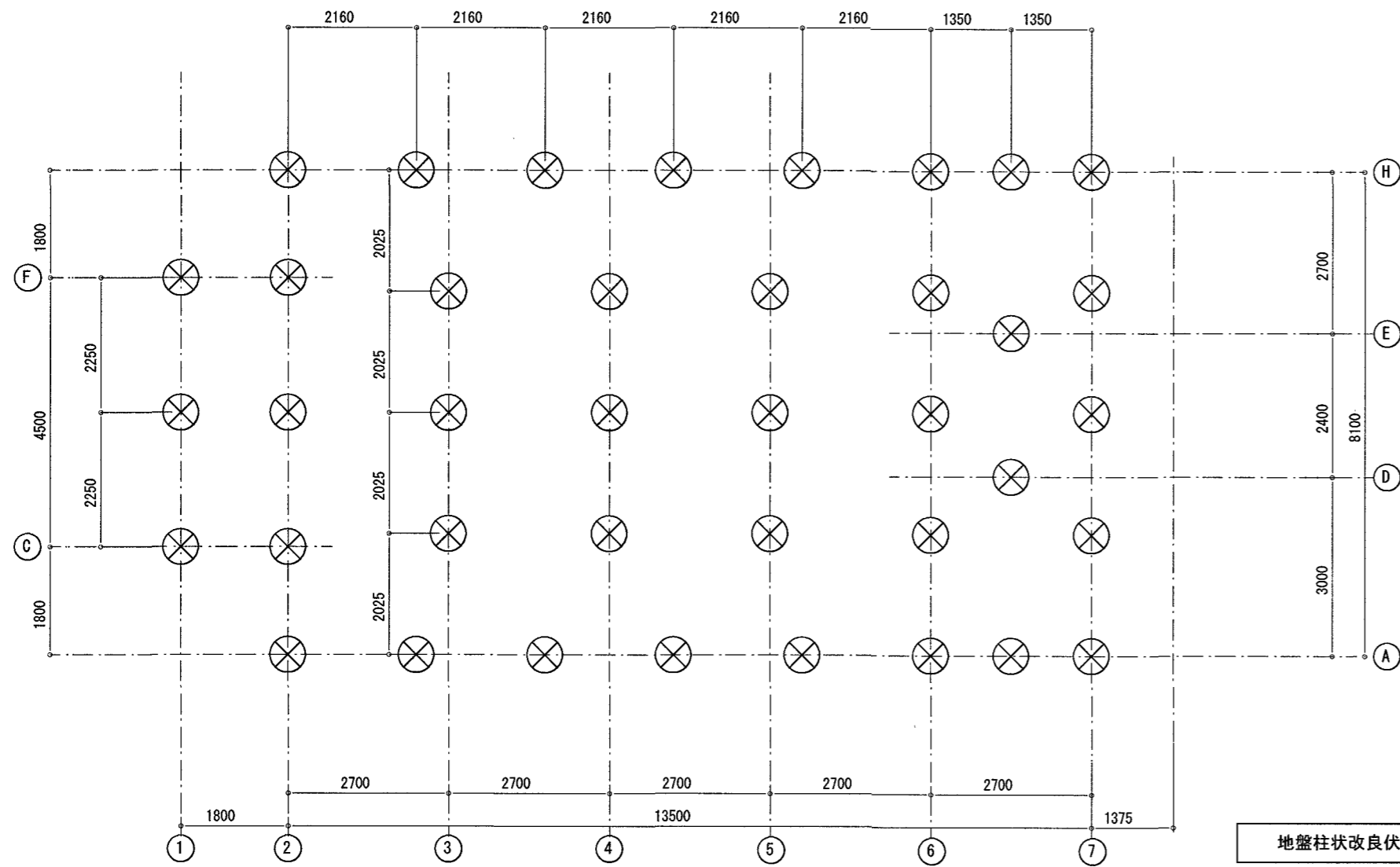
長ほぞ差し込みせん打ち

金物記号	必要耐力
ろ	3.4kN

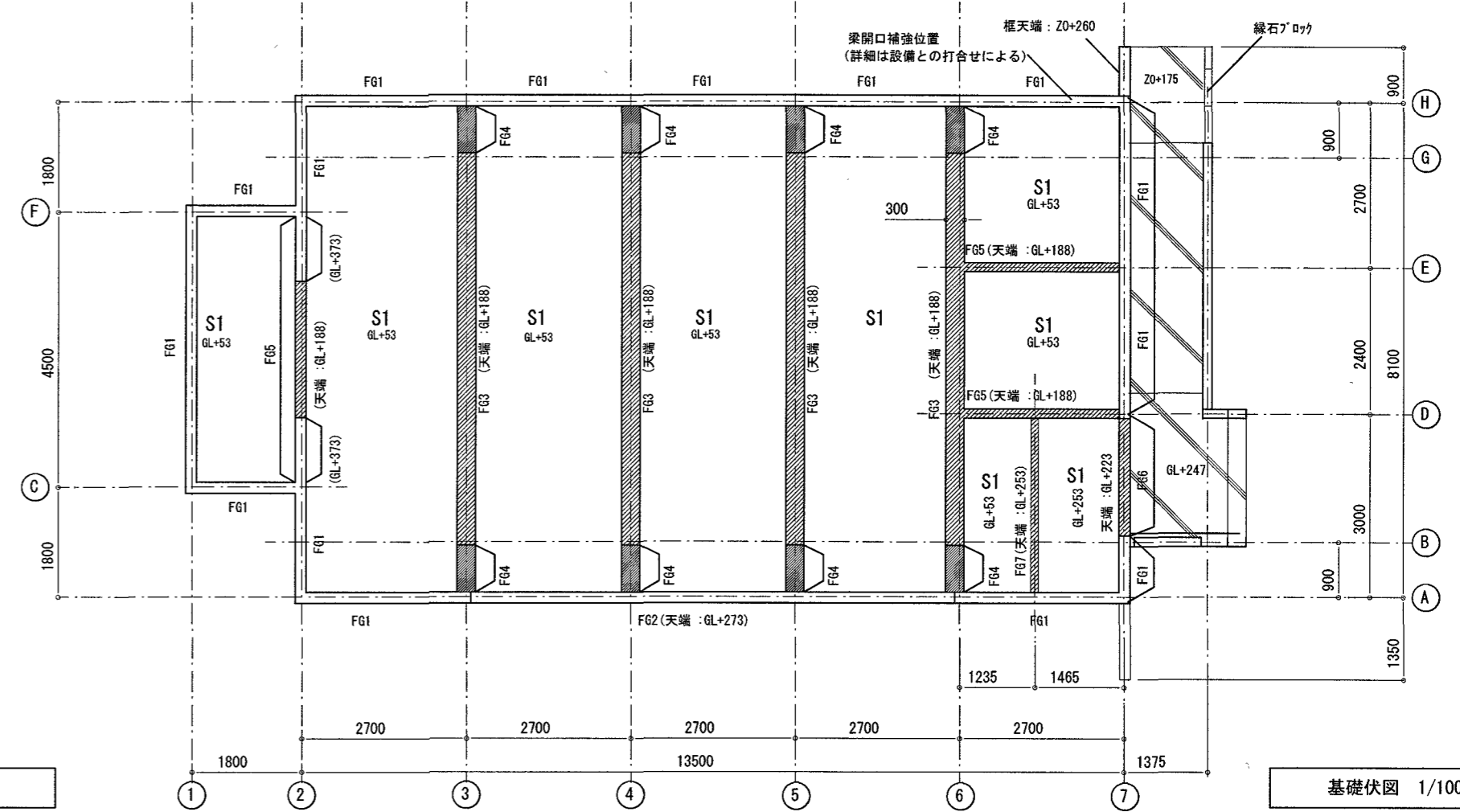
短ほぞ + 5kN金物でも可



<p>○横架材の継手</p> <p>○ (腰掛けあり継ぎ) ○ (腰掛けかま継ぎ)</p> 	<p>○土台の隅の仕口</p> <p>○ (大入れ小根ほぞ差し 割くさび締め) ○ (片あり掛け)</p> 	<p>○土台の仕口</p> <p>(大入れあり掛け)</p> 	<p>○柱と土台の仕口</p> <p>○ (落としあり) ○ (扇ほぞ差し) ○ (長ほぞ差し + 込み栓打ち) ○ (短ほぞ差し)</p> 		
<p>○火打土台の仕口</p> <p>(かたぎ大入れN90くぎ2本打ち)</p> 	<p>○胴差の継手</p> <p>(追掛け大せん継ぎ)</p> 	<p>○はりの仕口</p> <p>(大入れあり掛け)</p> 	<p>○通し柱と胴差の仕口</p> <p>(かたぎ大入れ短ほぞ差し)</p> 	<p>○通し柱と床ばりの取合い</p> 	
<p>○根太の継手</p> <p>(突付けくぎ打ち)</p> 	<p>○大引きと床づかの仕口</p> <p>(突付けひら金物又はかすがい打ち)</p> 	<p>○根がらみと床づかの取合い</p> 	<p>○床ばりの継手</p> <p>(台持継ぎ)</p> 	<p>○たる木と横架材の仕口</p> <p>(たる木当たり欠き乗せ掛け)</p> 	<p>○けた行筋かい・振れ止め</p> 
<p>○火打ばりの取合い</p> <p>○ (木製火打ばり) ○ (鋼製火打ばり)</p> 		<p>○小屋ばりの継手</p> <p>(台持継ぎ)</p> 	<p>○小屋ばりと軒げたとの仕口及び取合い</p> <p>○ (大入れあり掛け) ○ (かぶとあり) ○ (渡りあご)</p> 		



地盤柱状改良伏図 1/100



基礎伏図 1/100

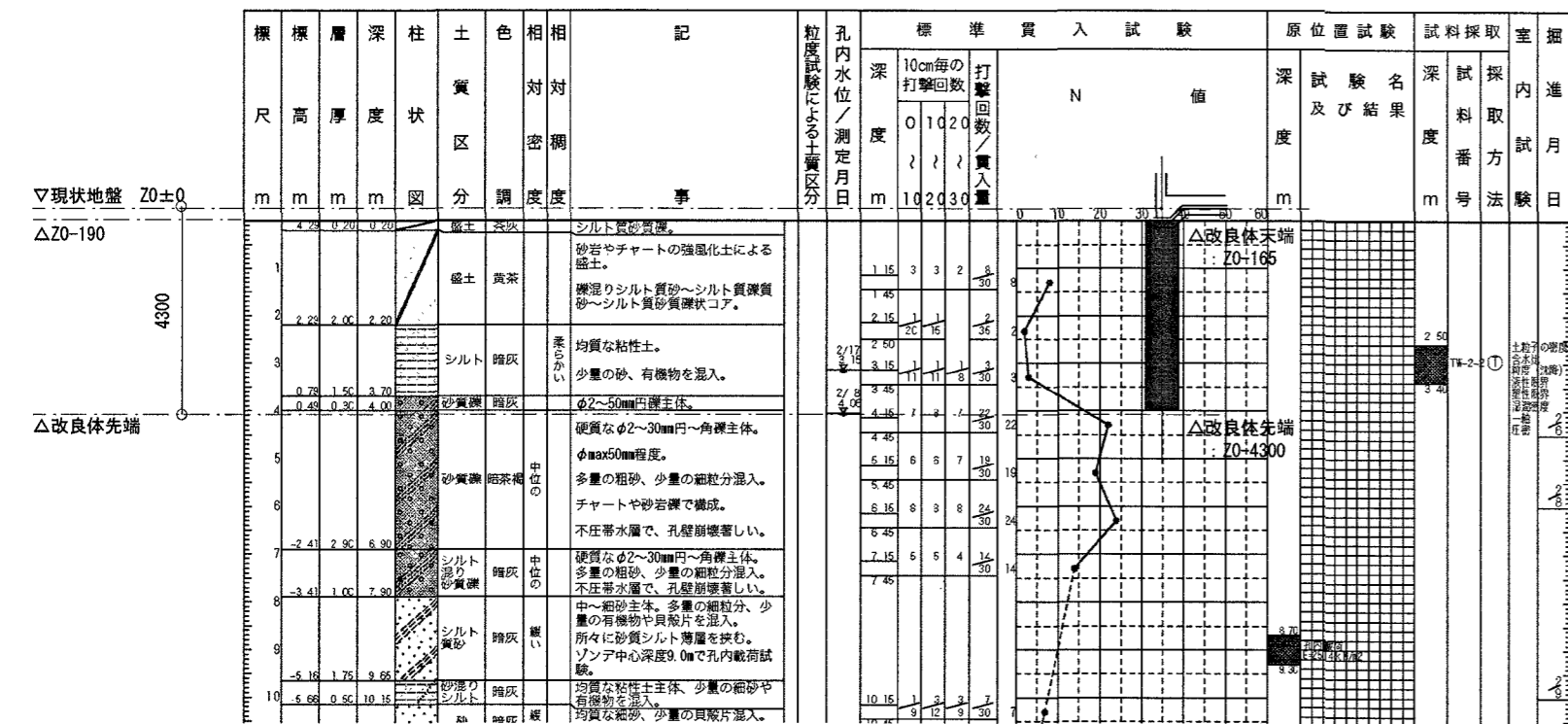
特記なき限り 基礎天端=GL+373

土質柱状図 (ボーリングNO.2)

孔口高さ=標高4.49m=Z0 -0.19m

現状地盤 (Z0±0) = 標高4.680

⊗印は柱状改良を示す



地盤改良 特記仕様

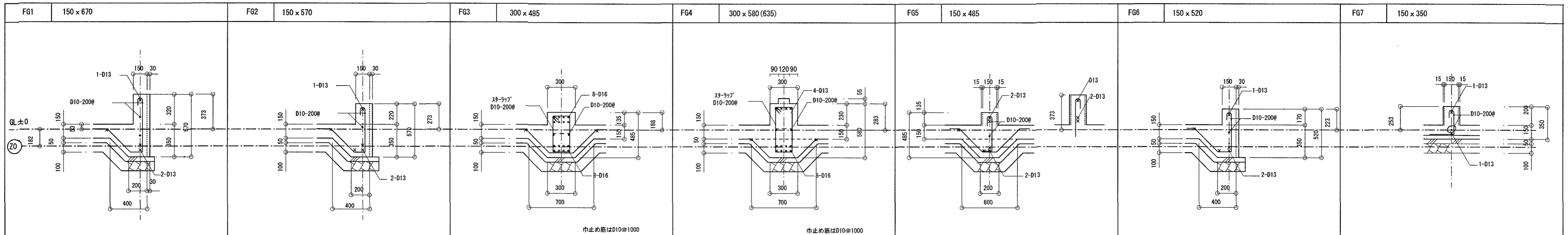
- 地盤改良による設計条件
 - 基礎形状：べた基礎
 - 改良体先端深度：Z0-4300
 - 改良体先端はN値12程度の砂礫層に到達させること。
- 地盤改良の仕様概要
 - 柱状改良 (セメントミルク) による地盤改良工法とする。
 - 施工機械 (建柱車等) により軟弱地盤を柱状に掘削後セメントミルクを注入し、柱状補強体を作り、この補強体と原地盤の支持力を複合させて地盤補強をするものである。
 - 工法は、攪拌能力・攪拌径・品質 (変動係数) に対して「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法とする。

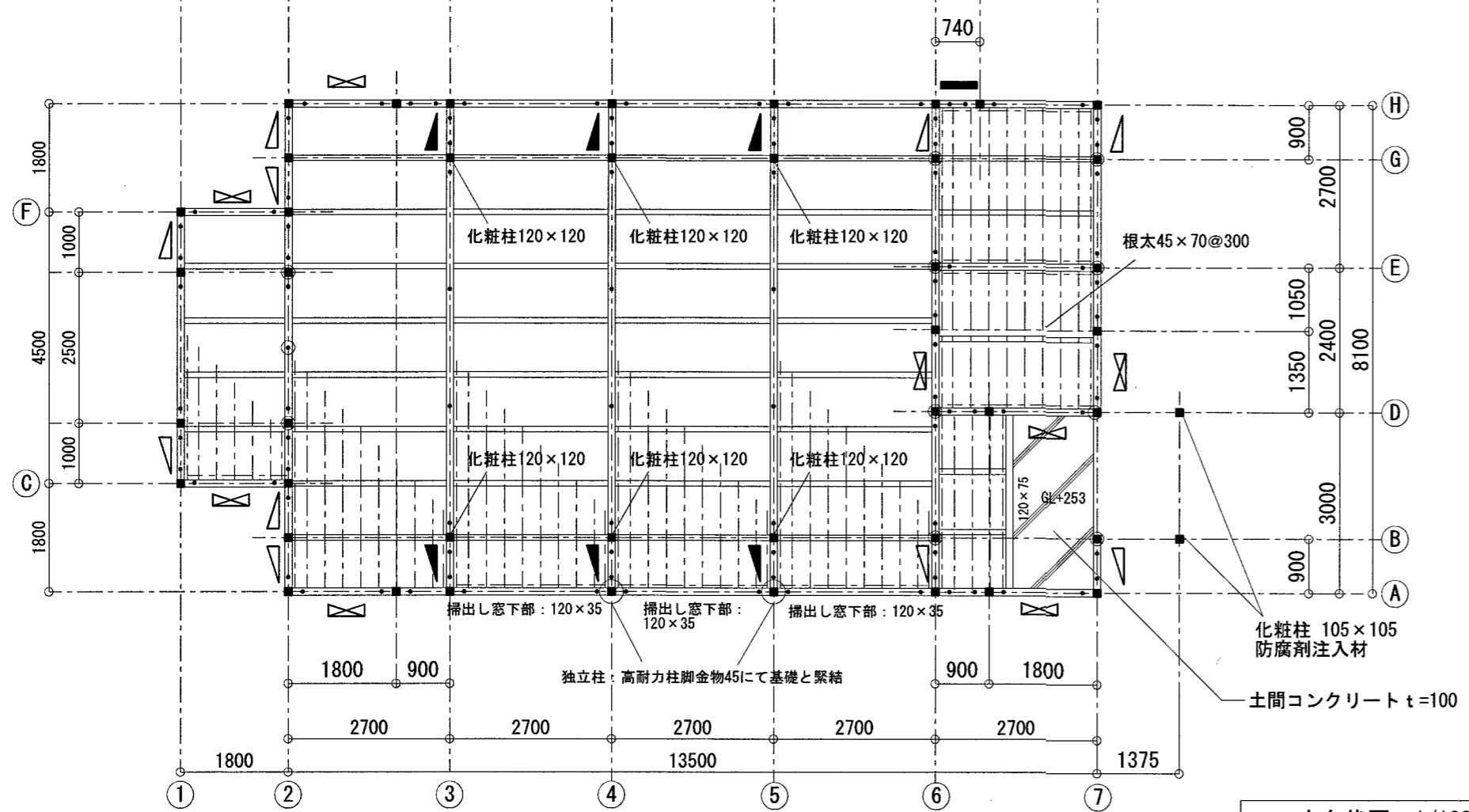
設計基準強度		F _c = 650 kN/m ²		
コラム径 (mm)	掘削長 (m)	改良長 (m)	空堀長 (m)	本数
600	4300	4135	165	39

- 固化材配合量：施工時に現状土による室内配合試験を実施し、配合量を決定する。規準配合量 300kg/m³
- 施工条件：1本目の施工時に目標トルクを設定し、残りはトルク管理にて施工する。施工コラム中で強度が最も発現し難いと想定される深度及びコラム頭部よりサンプルを各3本ずつ採取し、7日後一軸圧縮試験を行う。報告書は2部提出する。
- 六価クロム溶出試験：国土交通省 国官技第16号 国営建第1号 (平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固形化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領 (案)」による六価クロム溶出試験を実施し、試験結果を提出する。事前配合試験段階 1検体
- その他：設計及び施工は「改訂版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(日本建築センター)による。

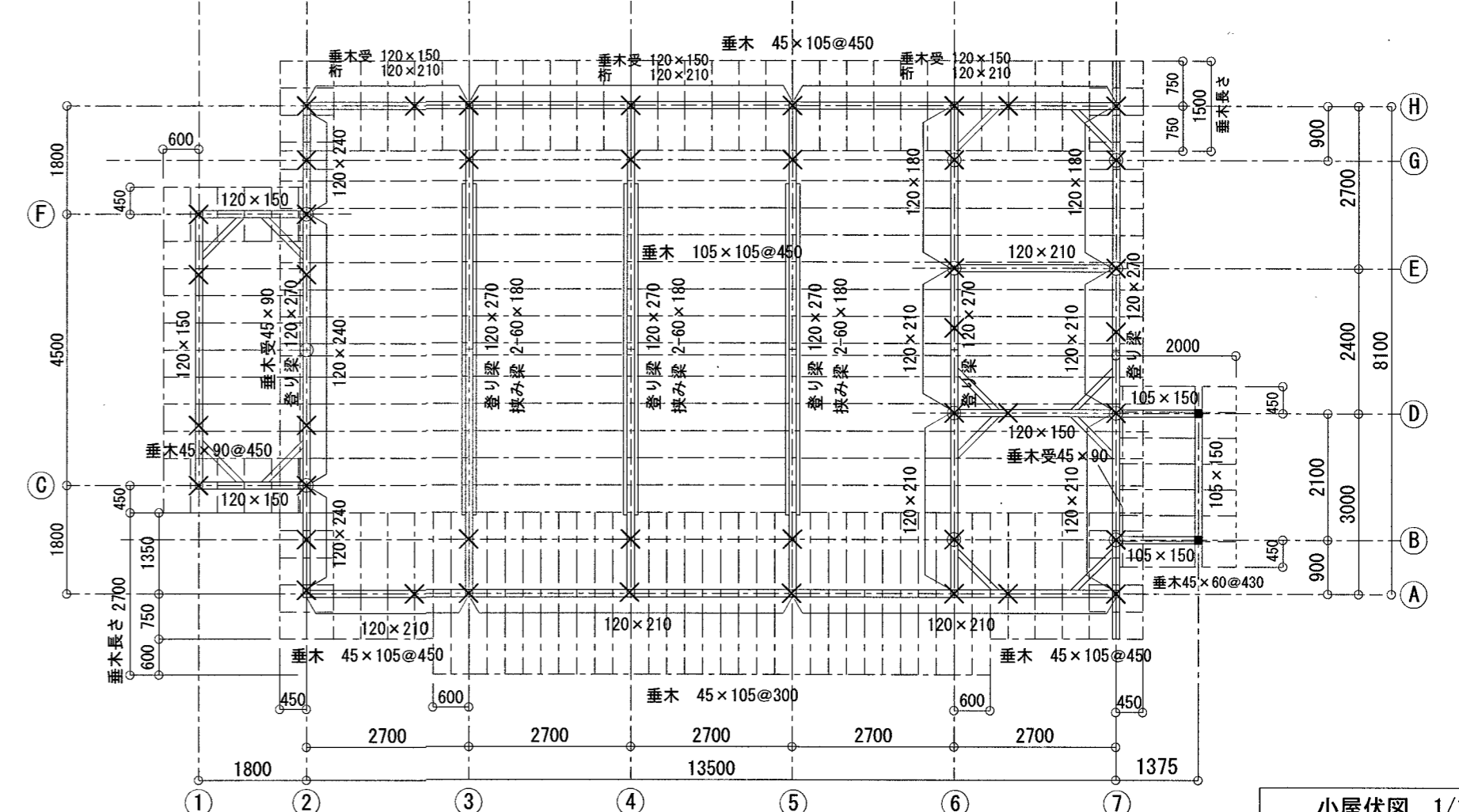
基礎リスト S=1/30

S1 スラブ：t=150 D13-200@シングルクロス
 : t=120 D10-200@シングルクロス





土台伏図 1/100



小屋伏図 1/100

凡例	
	筋かい 45x90 両スジカイ
	筋かい 45x90 片スジカイ
	筋かい 120x120 片スジカイ (化粧)
	構造用合板 t=9
	柱
	土台、梁、桁
	根太、垂木
	アンカーボルト M12
	下部に柱があることを示す
	小屋束 120x120
	火打梁 90x90

※ 横架材間最高高さ=3024
柱径=120>3024 x 1/30=100.8

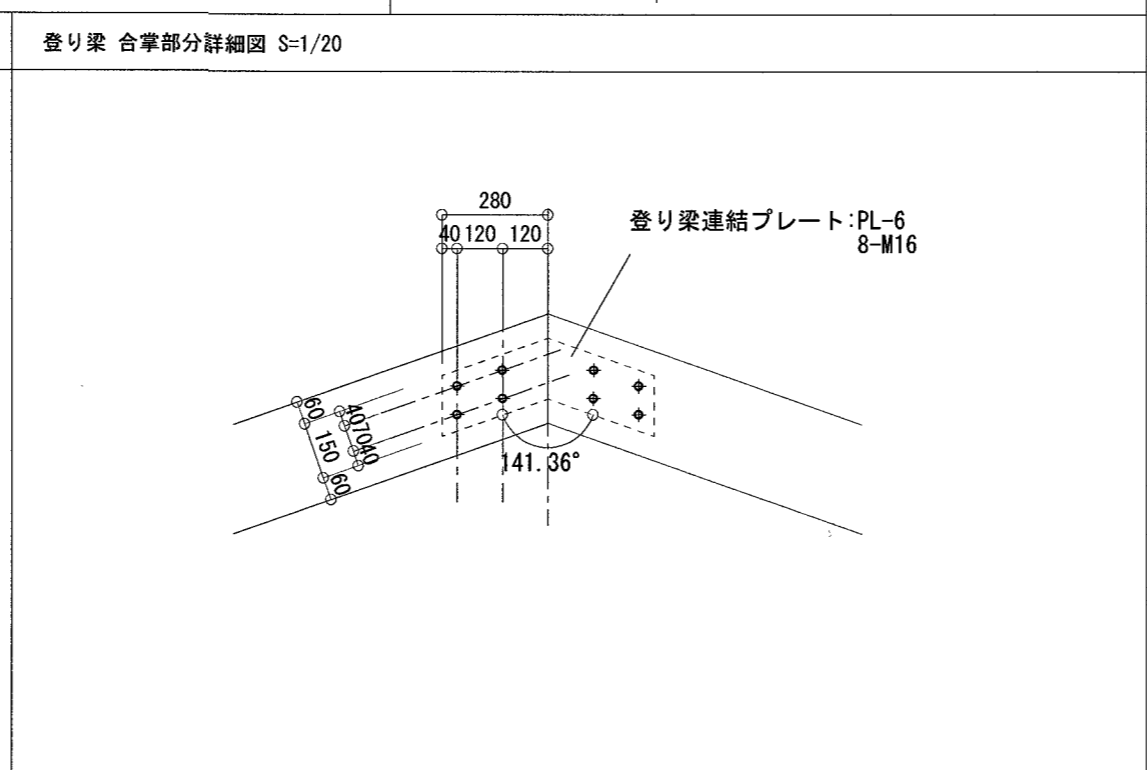
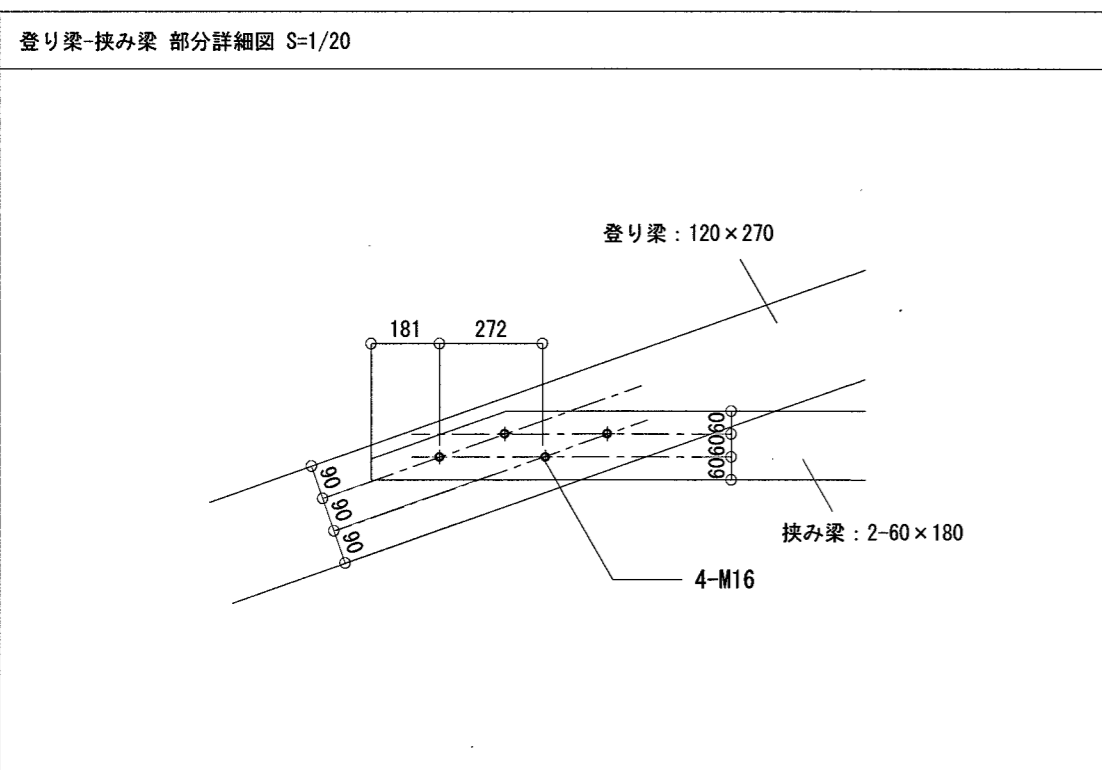
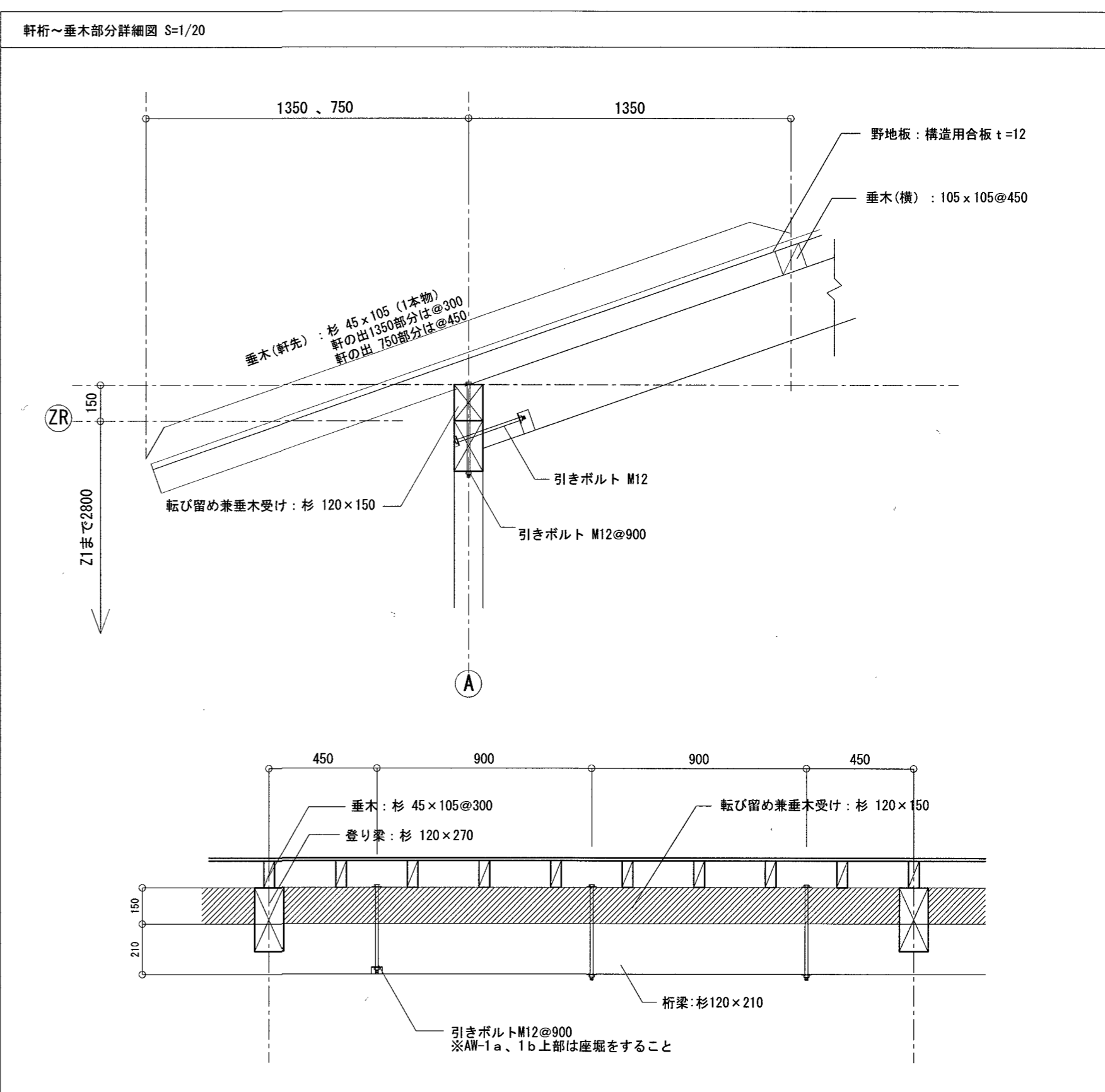
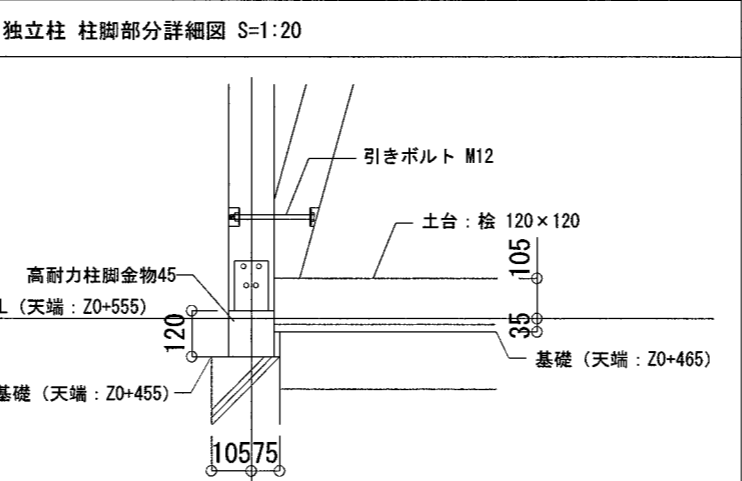
注意事項

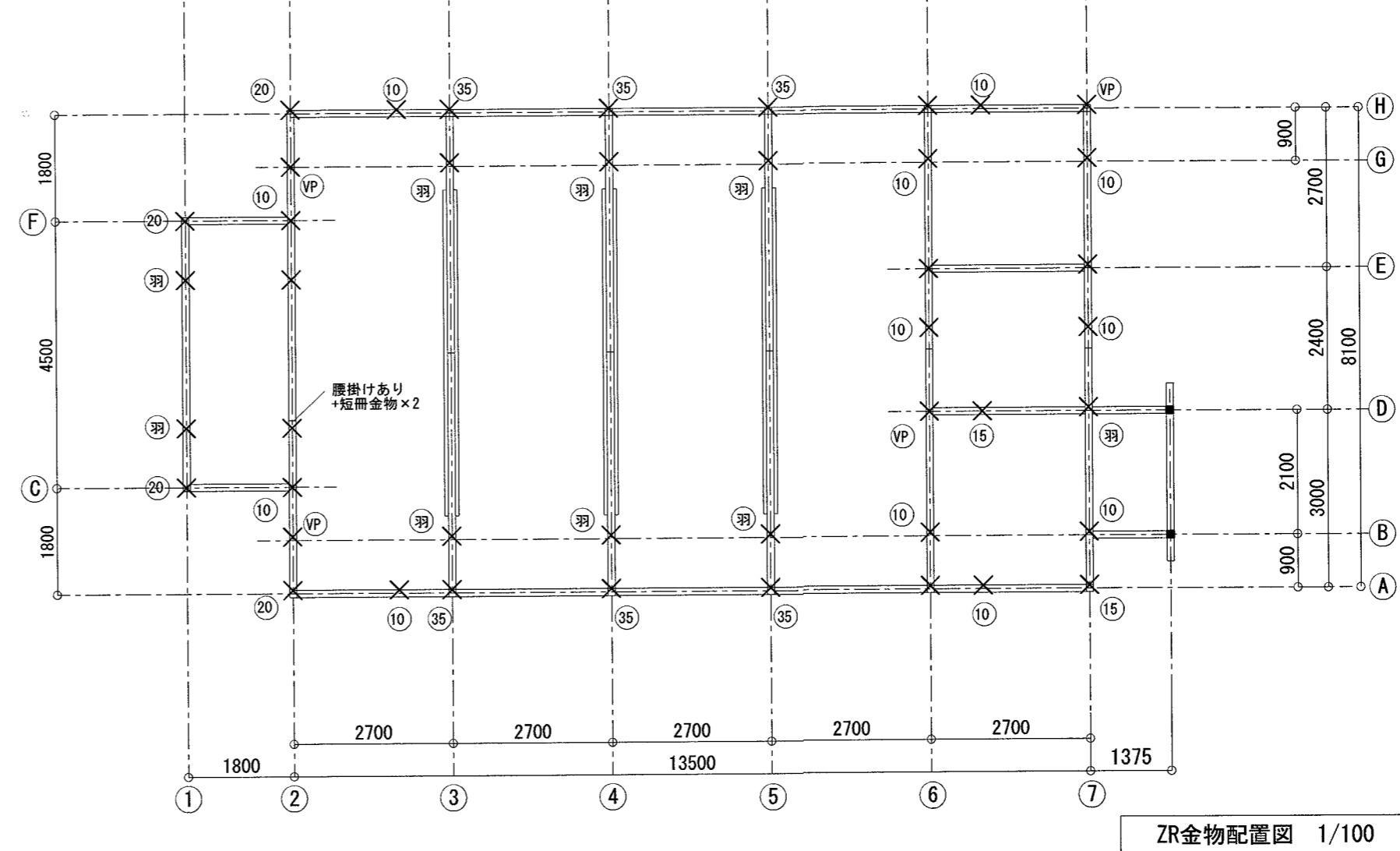
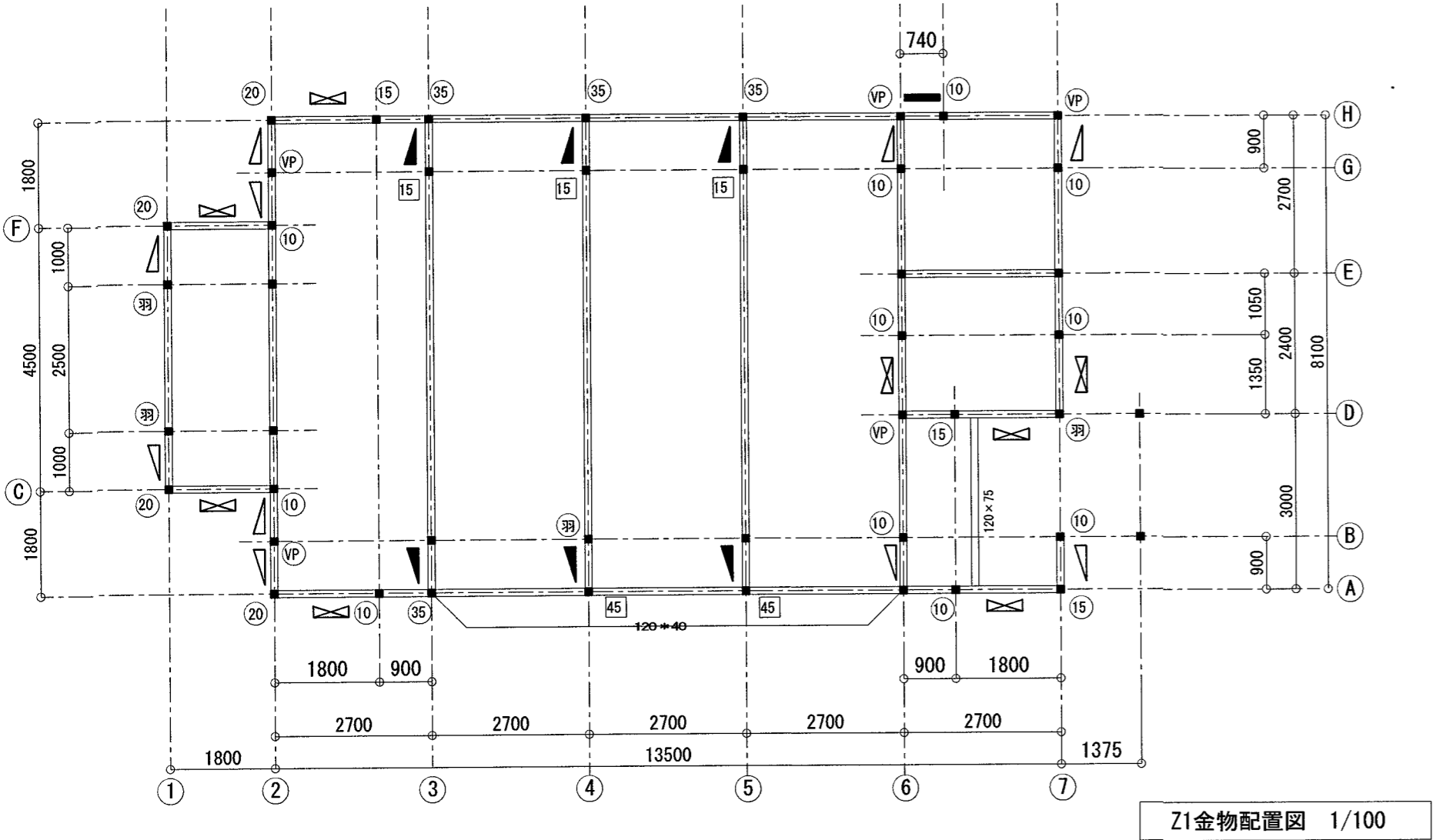
- ・特記なき梁は、杉 (甲種2級) とする
- ・特記なき柱は、120x120 杉 (乙種2級) とする
- ・化粧柱は、上小節とする
- ・土台は、120x120 桧 (甲種2級) とする
- ・母屋、垂木、根太、大引は、杉 (甲種2級) とする
- ・特記なき根太は、45x54@300、構造用合板 t=12捨張とする
- ・筋かいは、桧 (甲種2級) とする
- ・化粧筋交いは、上小節とする
- ・鋼製束はスティール溶融亜鉛メッキ製品
t=149、@900以内とする
- ・大引は 杉90x90@900以内とする
- ・特記なくとも、コンクリートに接する木部は全て、防腐剤塗とする。
- ・柱、筋交いおよび土台には防蟻処理を行う (Z0+1.15mまで)
- ・基礎コンクリートは Fc24、鉄筋は SD295 とする
- ・屋根構造仕様: (1.16kN/m以上)
- ・垂木45x105@450 (甲種2級杉)
- ・" 45x105@300 (甲種2級杉)
- ・垂木と軒桁・登り梁は垂木接合金物により接合し上記の水平断面せん断力を確保すること。
- ・垂木は登り梁または軒桁に2-N75斜留め
- ・構造用合板 (厚みは図示) 屋根 N50@150短辺方向釘打ち
壁 N50@150外周方向釘打ち

土台アンカーボルト特記事項

- ・アンカーボルトの埋め込み長さは250mm以上とする。
- ・アンカーボルトの先端は、土台上端よりナットの外にネジが3山以上出るように固定する。
- ・アンカーボルト埋設位置は次による

1. 耐力壁の両端の柱の近接部 (柱芯より240mm以内) ただし、ホールダウン専用アンカーボルトが取り付けられた場合は省略することができる。
2. 土台切れ箇所、土台継ぎ手および土台仕口箇所の上木端部とし、出隅部分はできるだけ柱に近接した位置とする。
3. その他の部分は間隔2.7m以内とする。





金物リスト

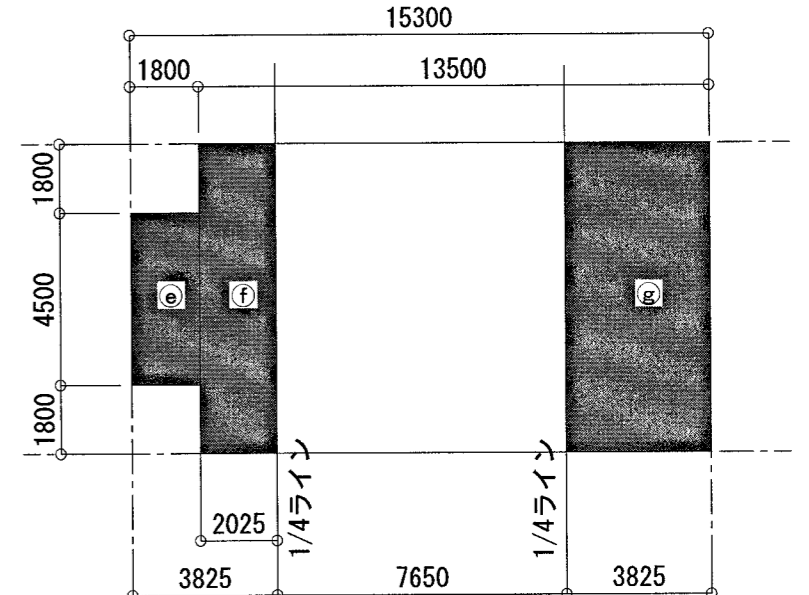
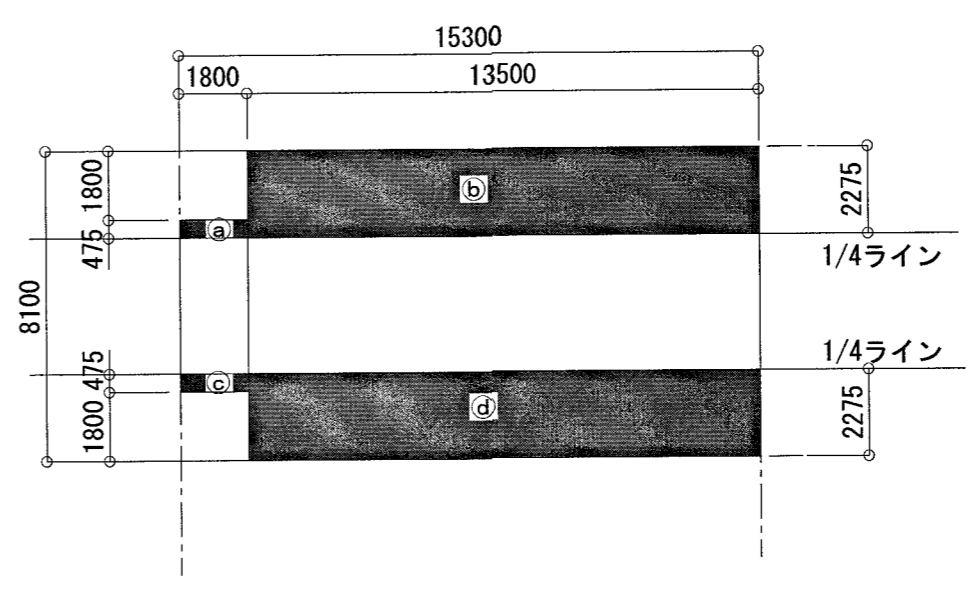
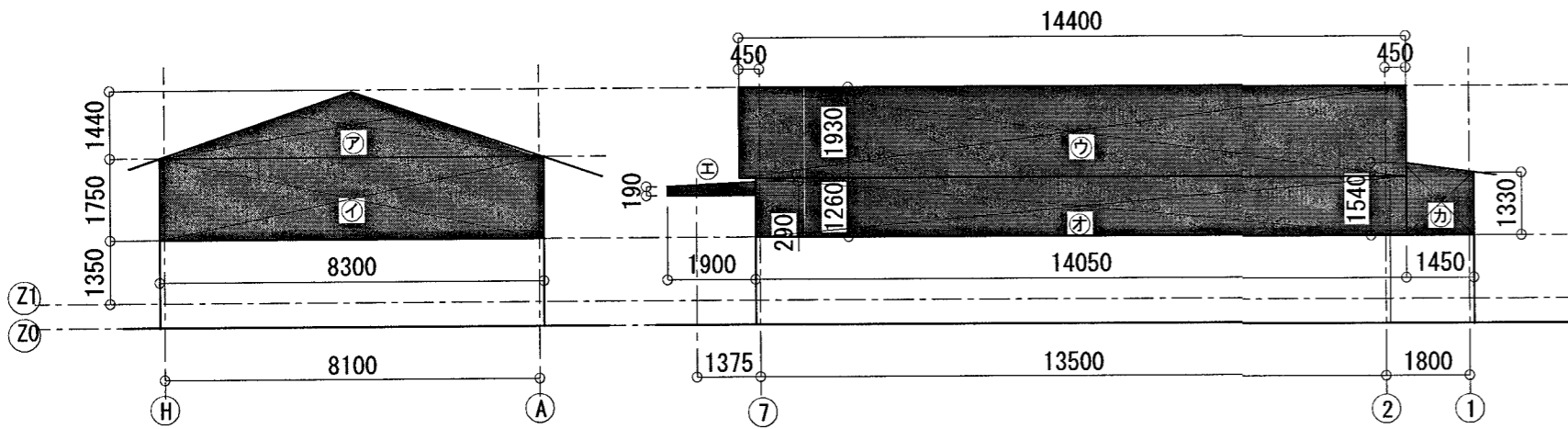
(長)	長ほぞ差しこみ栓打ち、又はかど金物
(VP)	山形プレート
(羽)	羽子板ボルトM12 ※見え掛り部は化粧金物
(10)	ホールダウン金物
(15)	ホールダウン金物
(15)	アンカー直結金具
(20)	ホールダウン金物
(35)	ホールダウン金物
(45)	高耐力柱脚金物

・上記の金物はZマーク品又は同等品とする。
 ・柱頭柱脚は同一金物を使用する。
 ・特記なき柱脚は長ほぞ込み栓打ち又はかど金物により接合する。
 ・筋かい端部は筋かいプレート、(Zマーク品又は同等品)で緊結すること。
 ・HDコーナーの使用は、1階は10kN用以下とすること。
 例) 10kN x 2箇所=20kNとしての使用は不可とする。
 ・HDコーナーの付近にアンカーボルトをとること。
 付近の土台アンカーは座金厚6×60角を2個とする。
 ・15kN以上の柱脚金物にはM16のアンカーを使用すること。
 ・(15)アンカー直結金具は、ホールダウン金物15kN以上の性能を有するものとする。

凡例

	筋かい 45×90 両スジカイ
	筋かい 45×90 片スジカイ
	筋かい 120×120 片スジカイ (化粧)
	構造用合板 t=9
	柱
	土台、梁、桁
	根木、垂木
	下部に柱があることを示す

壁量計算



- ㉞ 8.300 × 1.440 / 2 = 5.976
- ㉟ 8.300 × 1.750 = 14.525
- ㊱ 14.400 × 1.930 = 27.792
- ㊲ (0.19 + 0.290) × 1.900 / 2 = 0.456
- ㊳ 14.050 × 1.26 = 17.703
- ㊴ (1.330 + 1.540) × 1.450 / 2 = 2.080

X方向用見付面積 合計=20.501
 Y方向用見付面積 合計=48.031

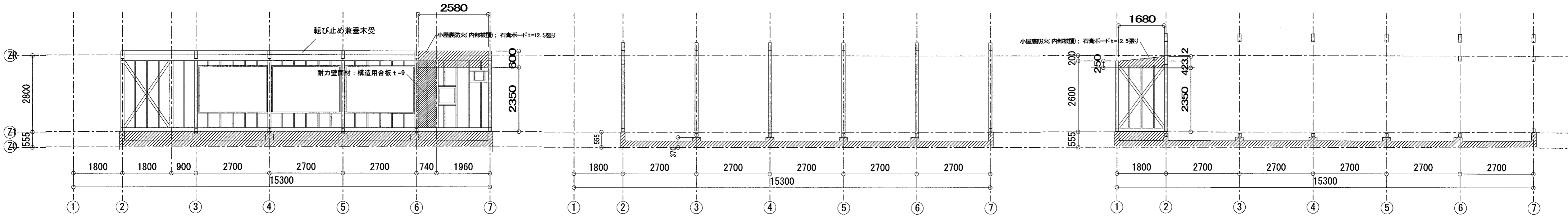
	耐力壁の種類	X方向		Y方向	
		耐力壁 (cm) × 箇所 × 倍率	存在壁量 (cm)	耐力壁 (cm) × 箇所 × 倍率	存在壁量 (cm)
1階	筋かい 45×90 両スジカイ	180 × 6 × 4.0	4320	135 × 2 × 4.0	1080
	筋かい 45×90 片スジカイ			180 × 2 × 2.0	720
				100 × 2 × 2.0	400
				90 × 4 × 2.0	720
筋かい 120×120 片スジカイ			90 × 6 × 3.0	1620	
構造用合板 t=9.0	74 × 1 × 2.5	185			
		4505		4540	

階	方向	風圧力に対する必要壁量			地震力に対する必要壁量			必要壁量	存在壁量	判定
		方向	見付面積	係数	壁量	床面積	係数			
1階	X	20.50	50		1025.0	117.45	20	2349.0	4505.0	OK
	Y	48.03	50		2401.5			2401.5	4540.0	OK

階	方向	X方向		左	Y方向	
		耐力壁 (cm) × 箇所 × 倍率	存在壁量 (cm)		耐力壁 (cm) × 箇所 × 倍率	存在壁量 (cm)
1階	上	180 × 2 × 4.0	1440	180 × 2 × 2.0	720	
		74 × 1 × 2.5	185	100 × 2 × 2.0	400	
	合計	1625	合計	1120		
	下	180 × 3 × 4.0	2160	90 × 4 × 2.0	720	
合計		2160	135 × 2 × 4.0	1080		
			合計	1800		

- ㉞ 1.800 × 0.475 = 0.855
 - ㉟ 13.500 × 2.275 = 30.712
 - ㊱ 1.800 × 0.475 = 0.855
 - ㊲ 13.500 × 2.275 = 30.712
 - ㊳ 1.800 × 4.500 = 8.100
 - ㊴ 2.025 × 8.100 = 16.402
 - ㊵ 3.825 × 8.100 = 30.982
- X方向(上) = ㉞ + ㉟ = 31.567
 X方向(下) = ㊱ + ㊲ = 31.567
 Y方向(左) = ㉞ + ㉟ = 24.502
 Y方向(右) = ㊳ = 30.982

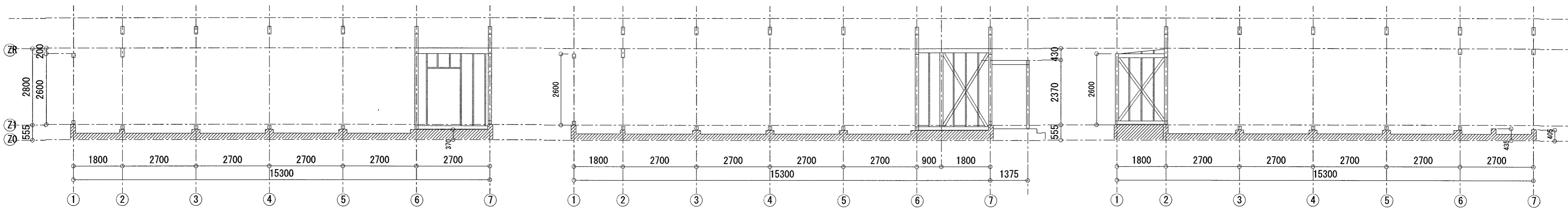
階	方向	床面積	係数	必要壁量	存在壁量	充足率	壁率比	判定
1階	X方向(上)	31.57	20	631.4	1625.0	2.573	0.752	壁率比>0.5 よりOK
	X方向(下)	31.57	20	631.4	2160.0	3.420		
	Y方向(左)	24.50	20	490.0	1120.0	2.285		
	Y方向(右)	30.98	20	619.6	1800.0	2.905		



H通り 軸組図 1:100

G通り 軸組図 1:100

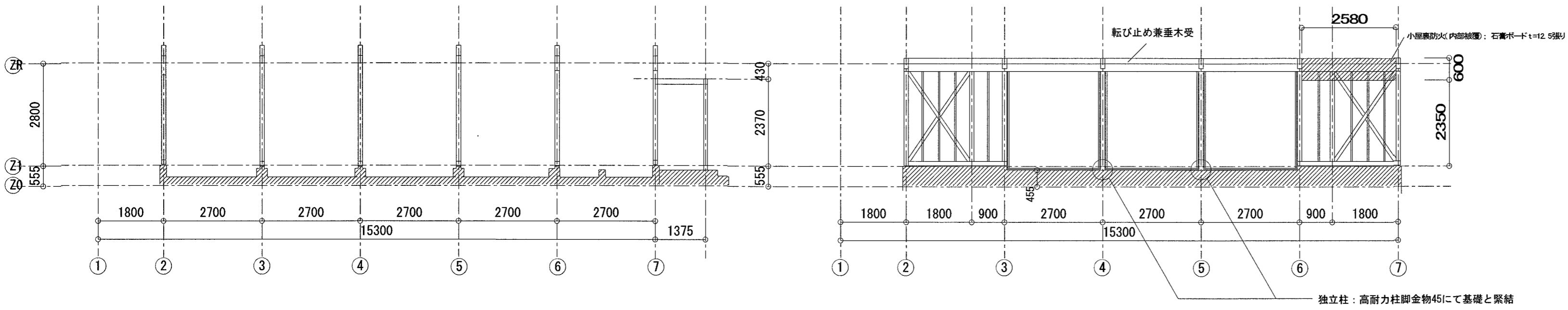
F通り 軸組図 1:100



E通り 軸組図 1:100

D通り 軸組図 1:100

C通り 軸組図 1:100



B通り 軸組図 1:100

A通り 軸組図 1:100

小開口付き耐力壁の扱いについて

小開口は、筋かいや接合部を切り欠いて設けてはならない

〇部: 小開口を設けることができる範囲

水平方向の受材等は、両端を軸組の柱に対して斜めビス止め等で緊結する

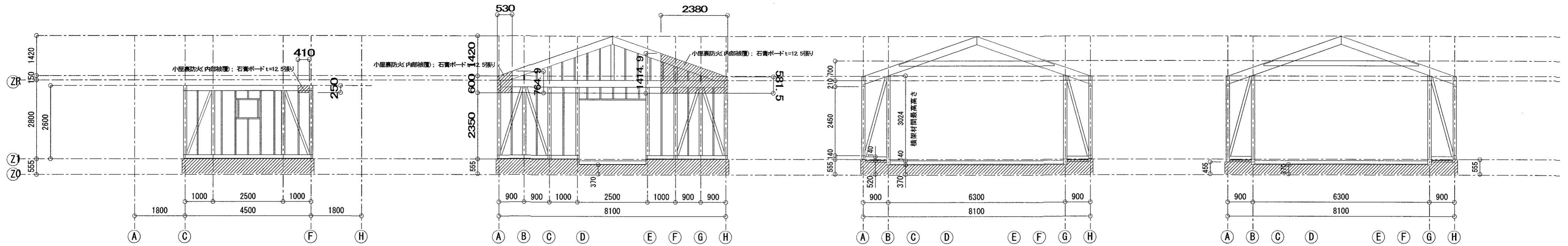
四周を受材などで補強して、穴径がL/2 (50cm程度) までなら、面材を釘打ちすれば可

穴径が12t以下かつ、L/6以下ならば補強不要

面材厚: t

面材短辺寸法L

〇部: 小開口を設けることができる範囲

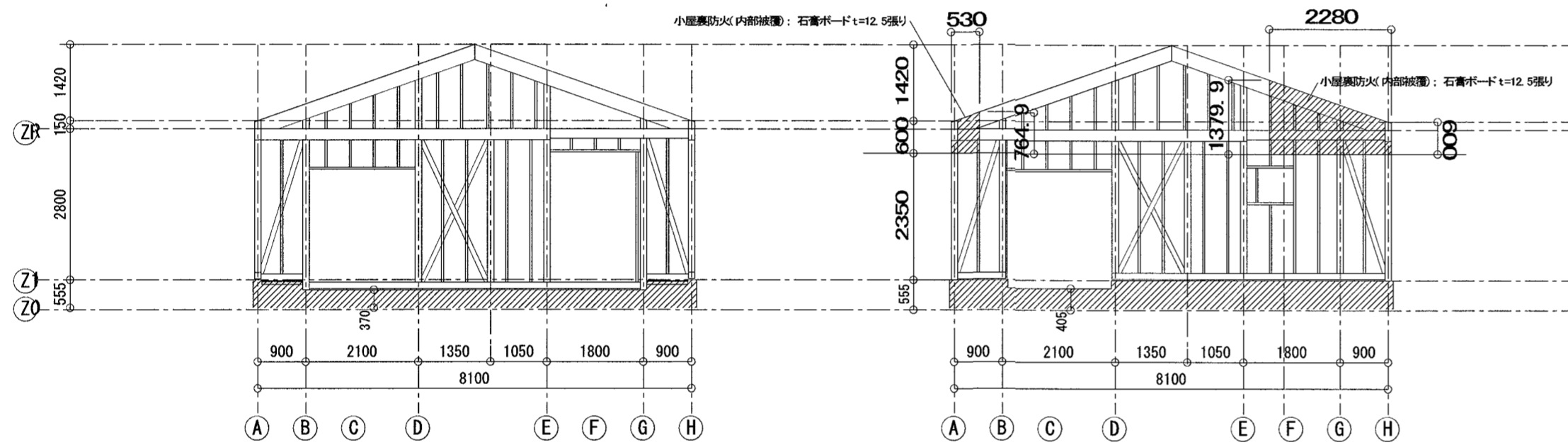


1通り 軸組図 1:100

2通り 軸組図 1:100

3通り 軸組図 1:100

4、5通り 軸組図 1:100



6通り 軸組図 1:100

7通り 軸組図 1:100